

【巻末資料】

実施事業の報告

- 1. みんなの公園会議・ワークショップ**
- 2. みんなの公園会議・事例視察**
- 3. 市民アンケート**
- 4. 関係者ヒアリング**
- 5. みんなの公園会議・報告資料の作成**

【巻末資料】実施事業の報告

1. みんなの公園会議・ワークショップ°

目次

1. 実施概要	1
1.1 実施目的	1
1.2 開催日時と参加人数	1
1.3 実施方法	1
1.4 グループワークの内容	2
1.5 実施の様子	3
2. 実施結果	4
2.1 梶野公園	4
2.2 三楽公園	9
2.3 上の原公園	13
2.4 栗山公園	20
3. 参加者アンケート	26
3.1 参加者アンケート結果	26
4. ワークショップで出された意見の整理	30
4.1 今の公園に関する意見（良いところや悪いところなど）	30
4.2 将来の公園に関する意見（要望、希望）	37
5. 準備・運営作業	46
5.1 実施計画書の作成	46
5.2 募集	52
5.3 当日資料	66

1. 実施概要

1.1 実施目的

会議（ワークショップ）を通じて、子どもたちから現在の公園に対しての意見と、未来の公園に対しての思いを聞き取り、今後の公園施設整備の設計に反映させるための意見としてとりまとめるとともに、ワークショップ参加者の相互理解を促す。

1.2 開催日時と参加人数

市内の 4 箇所の公園で開催した。実施日時の参加人数は、下表のとおりである。

公園名	実施日	参加人数	
		子ども	おとな
梶野公園	12/16(土)9:30～11:30	4 人	5 人
三楽公園	12/16(土)13:30～15:30	3 人	7 人
上の原公園	12/17(日)9:30～11:30	7 人	7 人
栗山公園	12/17(日)13:30～15:30	7 人	6 人
合計		21 人	25 人

1.3 実施方法

一人ずつの発言機会がより多くなるように、少人数のグループワーク形式とした。

参加者の人数や年齢層を考慮し、

- ・梶野公園と三楽公園は、1 グループ。
- ・上の原公園と栗山公園は 2 グループ（子どもグループ・おとなグループ）

にわけてグループワークを行った。

なお、実施に際しては外国語通訳者及び手話通訳者を配置した。手話通訳者は、小金井市手話通訳者連絡会にご協力いただいた。

また、参加者には、地元産の新鮮な野菜セットをプレゼントした。

1.4 グループワークの内容

グループワークは、次のとおり 2 部構成とした。

【前半】

協議テーマ：公園の現状と課題について

進行方法：

- ・ 意見を出しやすくするため、質問カードを準備し、一人ずつカードをめくり、質問に答えてもらう方式とした。
- ・ 発言内容は、進行補助者が、付箋に書き取り模造紙に張り出すとともに、別の進行補助者が意見をイラスト化していった。

質問カードの内容	
・たのしかったこと	・かなしかったこと
・うれしかったこと	・ざんねんだったこと
・ワクワクしたこと	・いやだったこと
・おもしろかったこと	・こわかったこと
・たすけてもらったこと	・こまったこと
・すきなばしょ	・いやなばしょ

【後半】

協議テーマ：将来の公園、未来の公園について

進行方法：

- ・ 将来どんな公園になるとよいか、将来の公園でやってみたいことを、参加者にハガキ大のカードに描いていただいた。
- ・ カードに描いたことを発表しながら、公園の地図に貼り付けて、未来の公園マップを作成した。

1.5 実施の様子

【梶野公園】



グループワーク全体の様子



カードに描いた未来像を発表する子ども

【三楽公園】

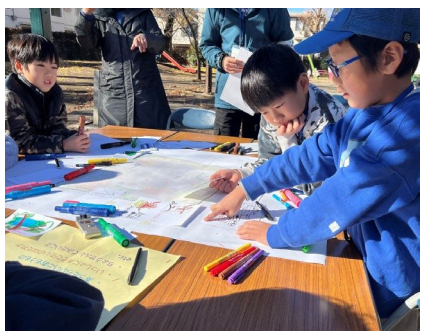


カードの質問にあわせて自己紹介



皆の意見を貼って公園マップを作成

【上の原公園】



子ども同士の意見交換



公園の未来像をカードに熱心に描く様子

【栗山公園】



子どもの障がいについて教えてくれる母



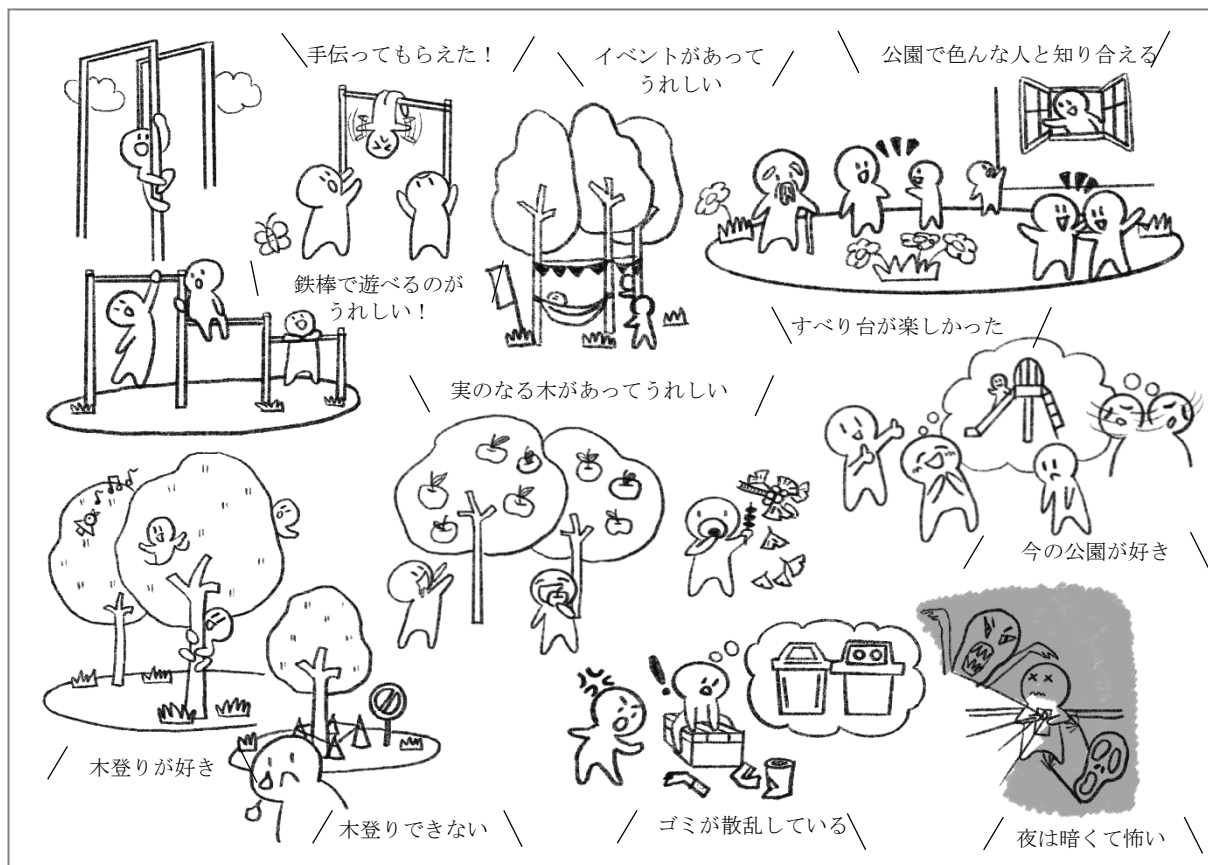
公園の未来像を順番に発表

2. 実施結果

2.1 梶野公園

(1)「公園の現状と課題」

グループワークの前半で出された「公園の現状と課題」を次のとおりイラスト化した。



■参加者から出された「公園の現状と課題」についての意見

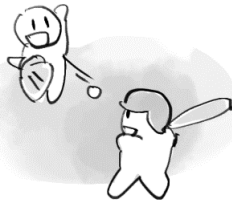
年代	質問	公園についての意見
子ども	たのしかったこと	木登りが好き。
子ども	うれしかったこと	鉄棒で遊べることが出来てうれしい。
子ども	たすけてもらったこと	高い遊具から降りることができなかつたとき、手伝ってもらった事がある。
子ども	ざんねんだったこと	他の公園では木登りができなくて残念。
おとな	うれしかったこと	公園で友達に会えてうれしい。 公園の近くに住んでいる方と知り合えたり、交流のなかった子どもや家族と友達になれたりできる事がうれしい。
おとな	うれしかったこと	知り合いが出来てうれしい。
おとな	うれしかったこと	違う年齢層の方と会えてうれしい。
おとな	たのしかったこと	すべり台で遊べて楽しかった。
おとな	すきなばしょ	遊具を増やす必要はなく、今の公園が好き。
おとな	うれしかったこと	公園にリンゴやイチョウの木があり、実を食べることが出来てうれしい。
おとな	すきなばしょ	イチョウがキレイ。
おとな	うれしかったこと	地域のイベントが開催されていてうれしい。
おとな	こまったこと	タバコの吸い殻が捨てられていて困っている。
おとな	いやだったこと	ベンチの前にゴミが残っている。
おとな	ざんねんだったこと	ゴミ箱がない。
おとな	こわかったこと	夜は暗くて怖い。

(2)「未来の公園」

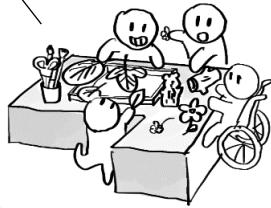
皆が考えた未来の公園をイラスト化した。

子どもの意見

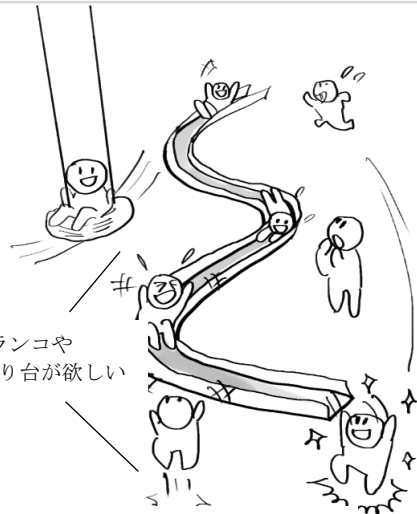
ボール遊びがしたい！



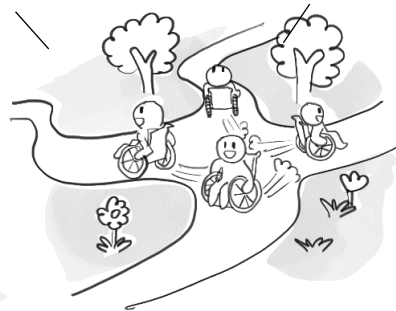
木や葉っぱを使った
工作ができるコーナー



ブランコや
長いすべり台が欲しい



車いすでも使いやすい公園がいい



虫取りをしたい



映画上映



たくさんの生き物がいる公園



食べられる実のなる木が多い公園



きれいなトイレ



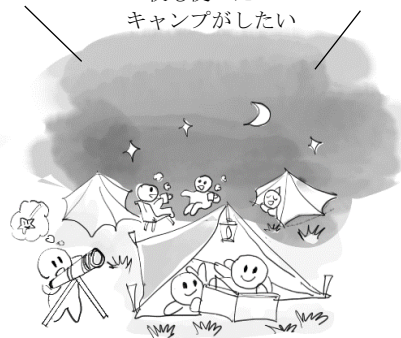
焚火をしたい



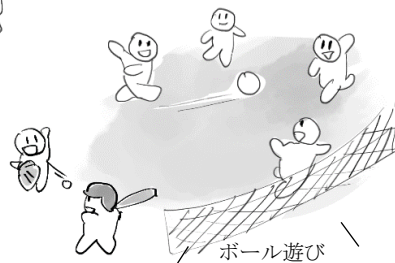
赤ちゃんから高齢者まで
交流できる公園



夜も使いたい
キャンプがしたい



ボール遊び



ふかふかの芝生



おとなの意見

■ 参加者から出された「公園の未来像」に関する意見

年代	公園の未来像について
子ども	池が欲しい
子ども	野球ができるスペース
子ども	サッカーボール
子ども	自然のものを使ってなんでも作れる工作コーナー
子ども	カブトムシを捕まえたい
子ども	木を利用するブランコ
子ども	車椅子でも、誰でも使えるトイレ
子ども	もっと木が欲しい
子ども	映画上映して欲しい
子ども	お化け屋敷
子ども	射的
子ども	長いすべり台
子ども	いっぱい遊具が欲しい
子ども	ブランコやすべり台など、遊具が少しでも欲しい
おとな	たくさんの生き物に会える場所
おとな	公園に売店等ができて欲しい
おとな	防災機能のある公園、太陽電池や Wi-Fi
おとな	情報を載せているサイネージ
おとな	火が使いたい
おとな	焚き火
おとな	火を使えるところでバーベキューしたい
おとな	野球の練習ができるスペース
おとな	ボール専用の公園が欲しい
おとな	このままの公園がいい
おとな	泥遊びができる場所
おとな	キレイなトイレ
おとな	公園でキャンプがしたい
おとな	星の観察
おとな	赤ちゃんから高齢者まで交流できる公園
おとな	皆が声を掛け合える公園
おとな	ふかふかの芝生
おとな	プレーパークなエリアを増やしたい
おとな	ここに来れば誰かに会える場所
おとな	ここは誰でも自由になれる場所
おとな	近くの店で買ったものを座って食べることができるように、テーブルがほしい
おとな	秘密基地
おとな	ツリーハウス
おとな	自由に食べてもよい、いろんな実のなる木
おとな	実がなる木
おとな	木の枝を使って、ブランコを作って遊ぶ
おとな	梶野公園に遊具はいらない

(参考) 未来の公園マップ (梶野公園)



2.2 三楽公園

(1)「今の公園の現状と課題」

皆の意見をイラストにした。

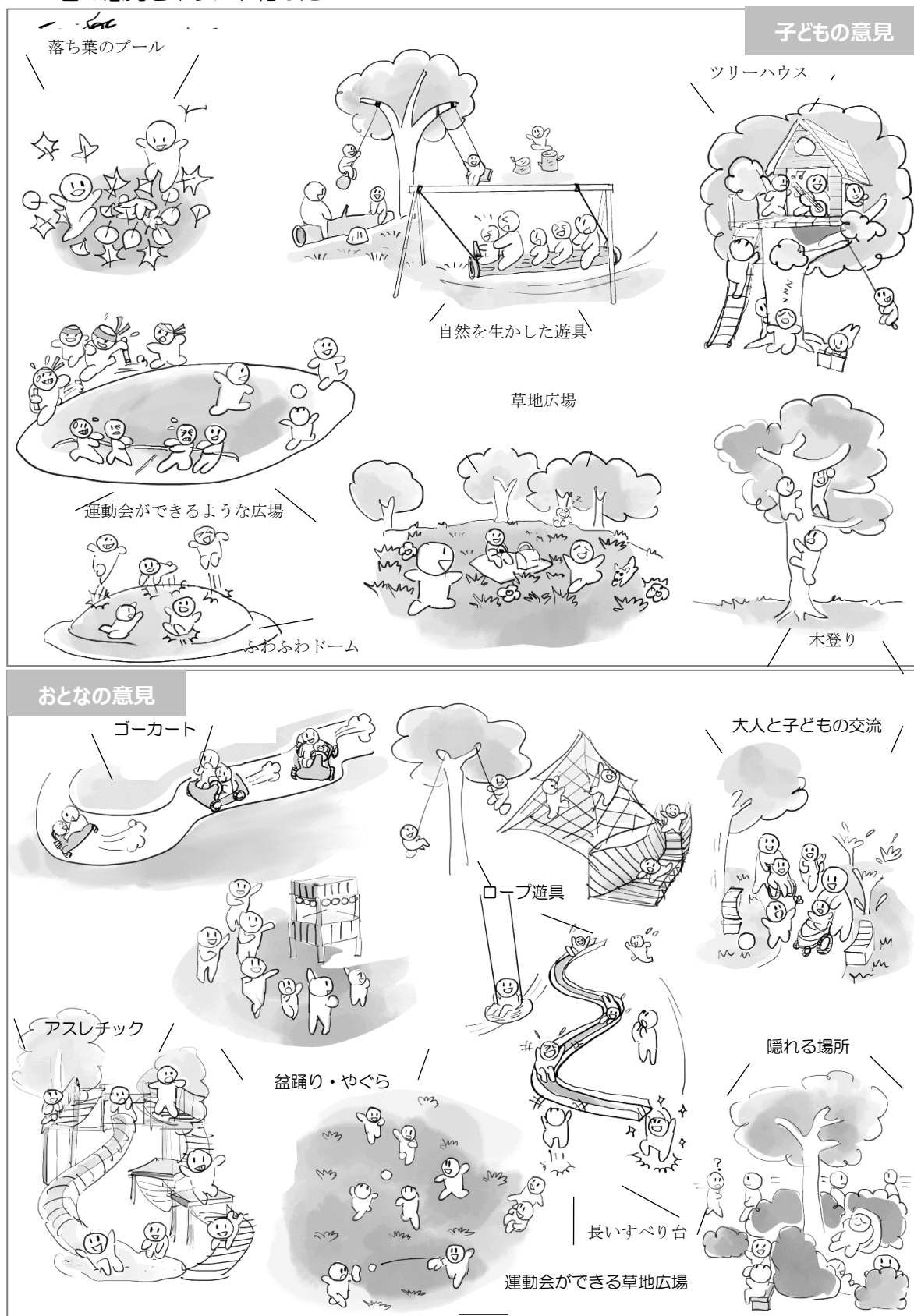


■ 参加者から出された「公園の現状と課題」についての意見

年代	質問	公園についての意見
子ども	たのしかったこと	キャッチボールで遊んで楽しかった。
子ども	たのしかったこと	カエルを観察できて楽しかった。
子ども	たのしかったこと	トイレの工事を見るのが楽しかった。
子ども	かなしかったこと	自転車でぶつかってしまったことがある。
おとな	たのしかったこと	公園で四季を楽しめる。
おとな	たのしかったこと	落葉のある所が好き。
おとな	すきなばしょ	林の中で秘密基地ごっこができる公園が好き。
おとな	たのしかったこと	三楽公園の広い敷地で隠れんぼするのが楽しかった。
おとな	すきなばしょ	遊具のある公園ではなくて、広く自然豊かな場所で探検できるのが好き。
おとな	すきなばしょ	木登りが好き。安心してキャッチボールできる所があればいい。

(2)「未来の公園」

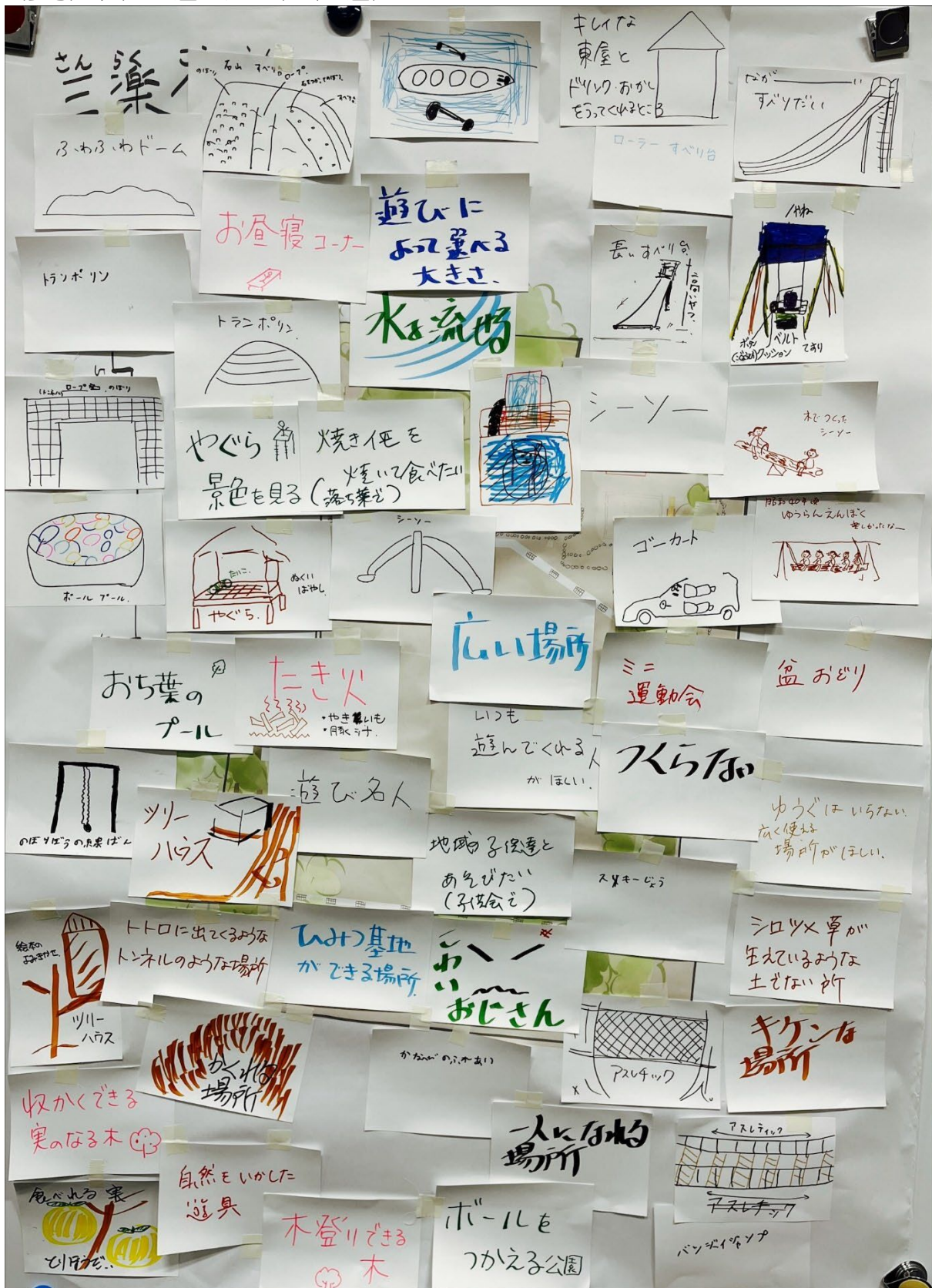
皆の意見をイラスト化した



■参加者から出された「公園の未来像」に関する意見

年代	公園の未来像について
子ども	登り棒が欲しい。
子ども	スキー場（ソリ滑り）
子ども	ゴーカート
子ども	シーソー
子ども	長いすべり台
子ども	屋根、ベルト、クッション、足置き場があるブランコ
子ども	かなへびとのふれあいの場
子ども	トンネルのある登れるロープの遊具
子ども	ボールプール
子ども	カヌーができる場所が欲しい
おとな	お昼寝コーナー
おとな	落葉のプール
おとな	落葉で焼き芋を焼いて食べたい
おとな	絵本の読み聞かせができるツリーハウス
おとな	自然を生かした遊具
おとな	危険な場所
おとな	木登りができる木
おとな	ボールを使える公園
おとな	一人になれる場所
おとな	秘密基地ができる場所
おとな	怖いおじさん
おとな	遊びの名人
おとな	地域子ども達と子供会で遊びたい
おとな	広い場所
おとな	ミニ運動会
おとな	いつも遊んでくれる人が欲しい。
おとな	作らない
おとな	盆踊り
おとな	水を流せる
おとな	焚火で焼き芋や豚汁を食べたい
おとな	アスレチック
おとな	シロツメクサが生えているような、草地広場
おとな	遊具はいらないので、広く使える場所が欲しい
おとな	やぐらで遠くの景色を見たい
おとな	トトロに出てくるようなトンネルのような場所
おとな	木のシーソー
おとな	キレイな東屋と売店
おとな	木で作ったシーソー
おとな	昭和 40 年代のような遊具
おとな	やぐら
おとな	高さのある長いすべり台
おとな	ツリーハウス
おとな	トランポリン
おとな	トランポリン
おとな	ふわふわドーム
おとな	隠れる場所
おとな	筑山、石山、ロープ、すべり台があればいい

(参考) 未来の公園マップ (三楽公園)



2.3 上の原公園

(1)「今の公園の現状と課題」

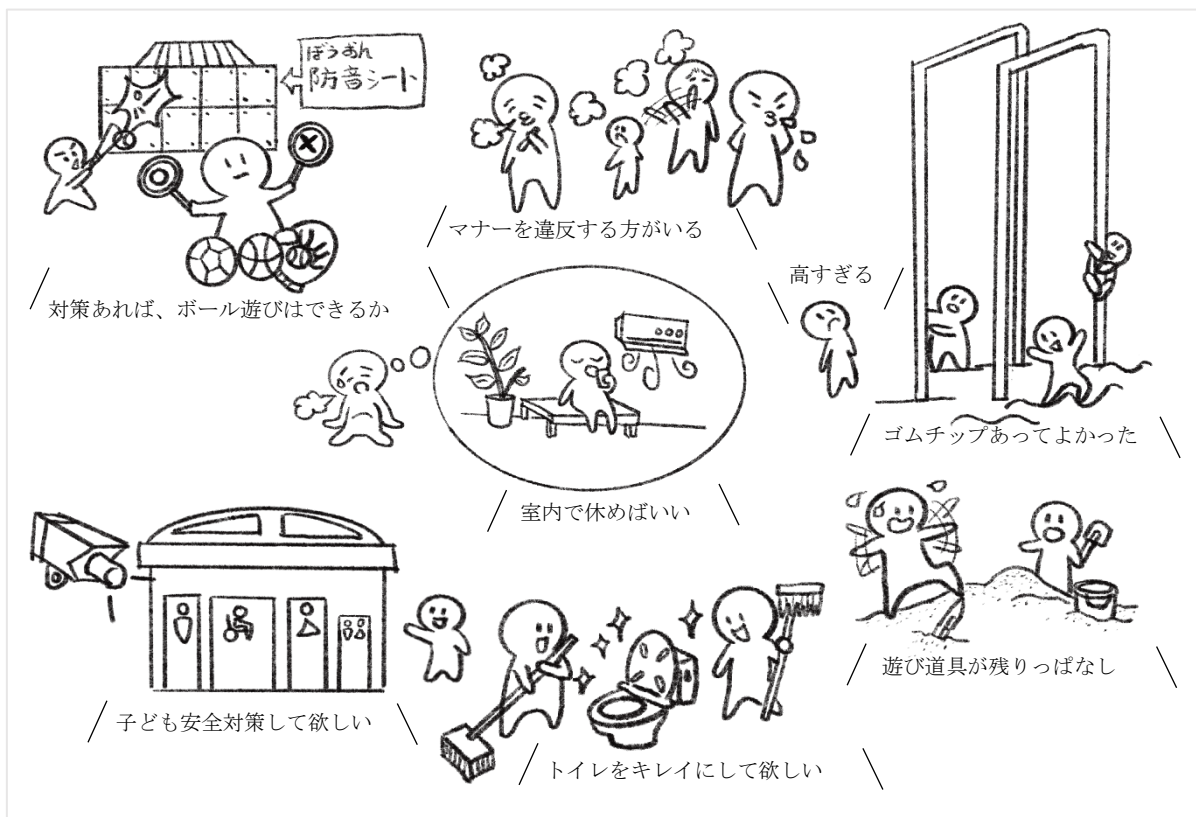
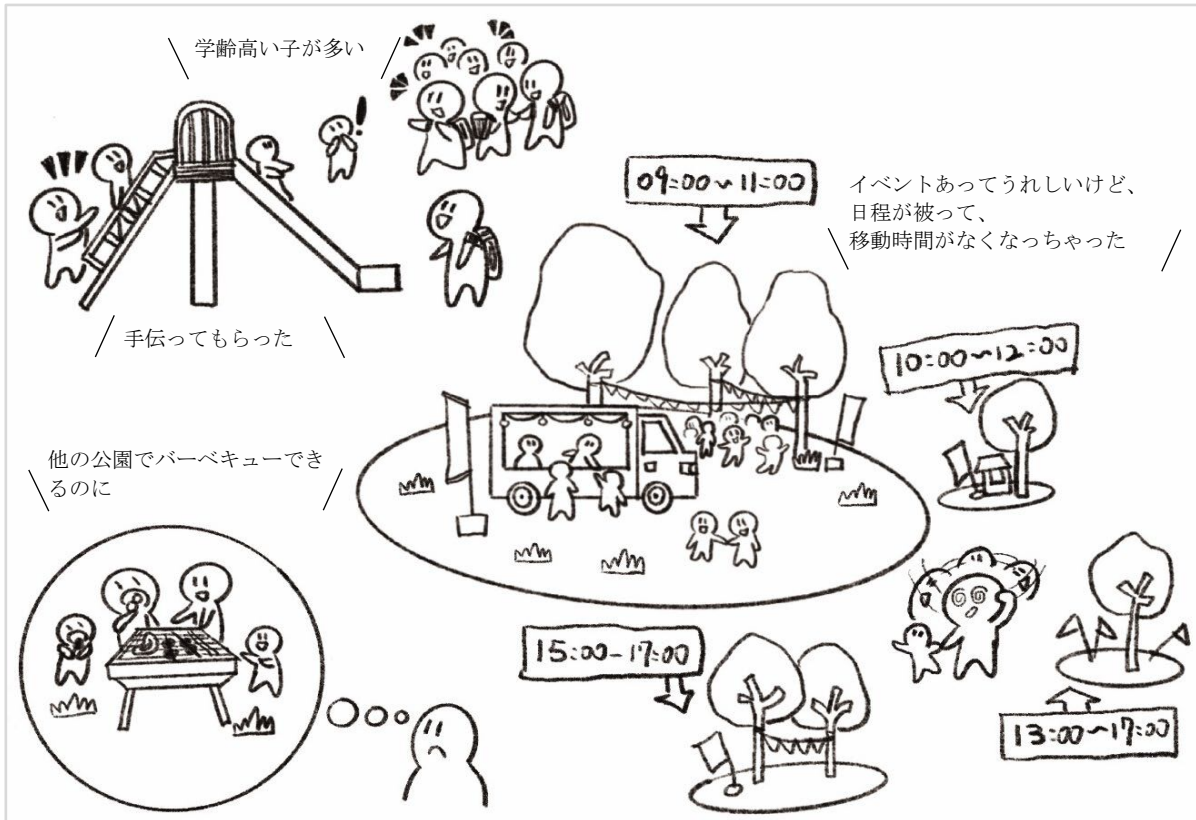
子どもの意見をイラストにした。



■子どもの参加者から出された「公園の現状と課題」についての意見

年代	質問	公園についての意見
子ども	たのしかったこと	公園で遊ぶことが楽しくて、帰りたくない。
子ども	すきなばしょ	小金井公園は大きくてよく行く。
子ども	たすけてもらったこと	迷子になった時、助けてもらった。
子ども	こまったこと	ローラーすべり台がよく混んでいる
子ども	ざんねندったこと	ローラースケート練習場は地面の凹凸が見えづらくて危ない。
子ども	いやだったこと	栗山公園は砂埃が目に入るところが嫌だ

大人の意見をイラストにした。

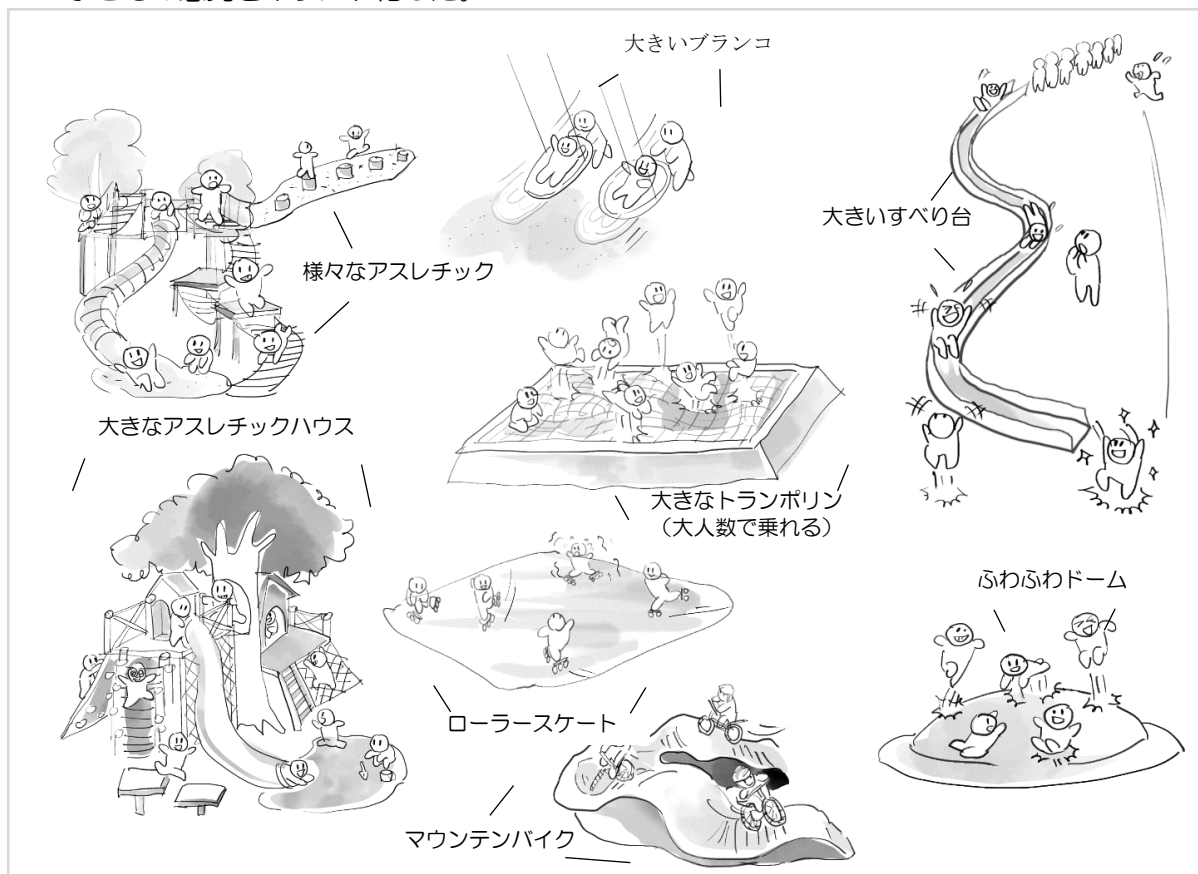


■大人の参加者から出された「今の公園の現状と課題」に関する意見

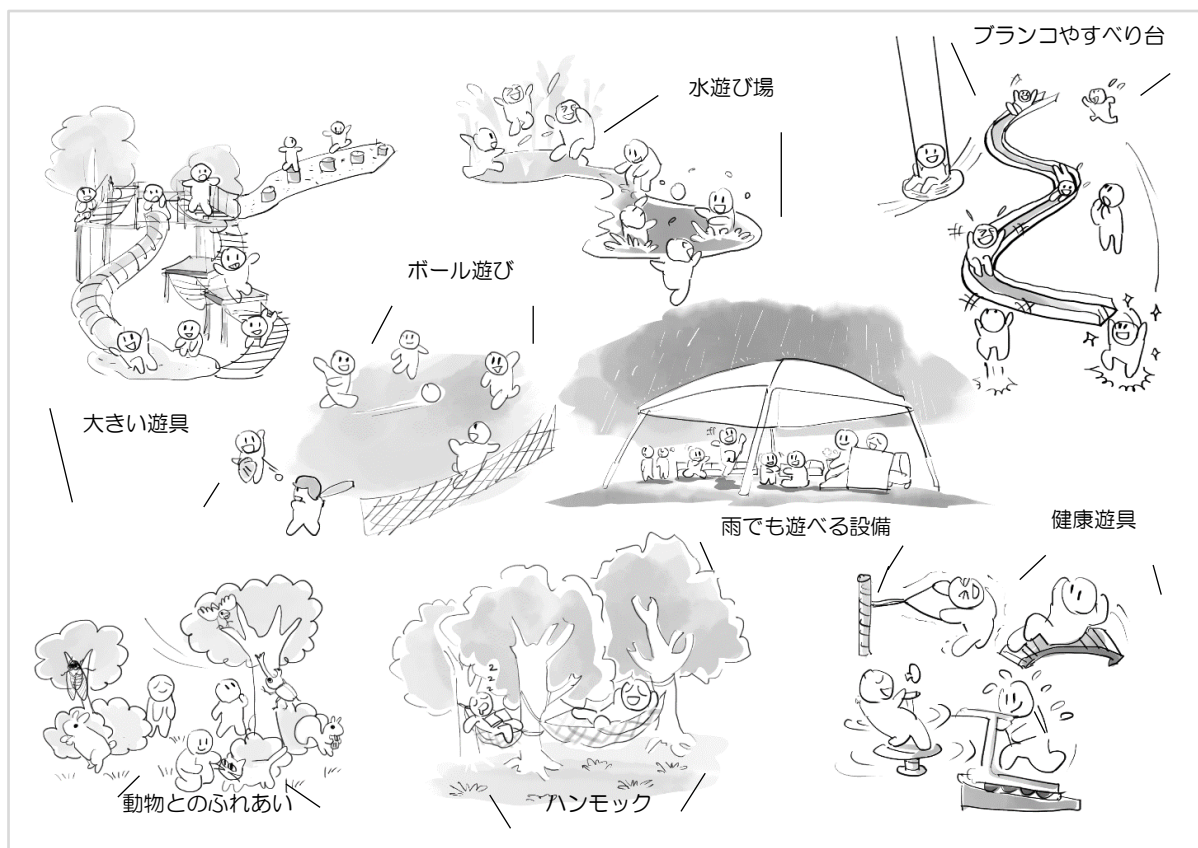
年代	質問	公園についての意見
おとな	たすけてもらったこと	小金井市に在住する方はすごく熱心で、なんでも助けてくれる。
おとな	たすけてもらったこと	他の公園で小さいすべり台が出来た時、高学年の子が遊ぶ際に手伝ってくれた。
おとな	こまったこと	高学年の子が大勢で遊具に来た時、小さい子どもの安全が不安。
おとな	たのしかったこと	最近、公園のイベントが復活した。
おとな	ざんねんだったこと	休日のイベントの日程が被ってしまい、小さい子どもは各会場への移動時間が確保できない。
おとな	すきなばしょ	植物が美しく、公園に四季を感じられる。小金井市の他の公園ではバーベキューが出来て楽しかった。
おとな	こまったこと	ボール遊びの騒音対策のため、防音シートを設置するなどの対策を考えなければいけない。
おとな	ざんねんだったこと	ボール遊びが制限されている。
おとな	こわかったこと	子ども一人でトイレに行くのは不安なため、防犯カメラを設置できれば安心。
おとな	ざんねんだったこと	子ども用トイレが欲しい。衛生の面について、特に水回り関係の施設をきれいにしたい。
おとな	いやだったこと	タバコの臭いが残っていることがある。
おとな	いやだったこと	年配の方が公園で唾を吐いていて、衛生上よくない。
おとな	こわかったこと	砂場にプラスチックの遊び道具が放置されていて危ない。
おとな	ざんねんだったこと	鉄棒が高すぎて登れない。下にゴムチップ舗装などあれば安心。
おとな	ざんねんだったこと	室内休憩できる場所があるといい。例えば公園と児童館を連携する等。

(2)「未来の公園」

子どもの意見をイラスト化した。



大人の意見をイラスト化した。



■参加者から出された「公園の未来像」に関する意見

年代	公園の未来像について
子ども	木のような中に入れるアスレチックハウス
子ども	隠しドアが複数あり、一度出たら入れない迷路
子ども	出入口がいっぱいあるすべり台
子ども	でこぼこした登り口がある速いすべり台
子ども	お皿状の大きなブランコ
子ども	サイクリングロード等のスポーツができる場所
子ども	長くて変わった形のすべり台が欲しい。でこぼこして、天井のあるすべり台が欲しい。
子ども	中に浮ける装置
子ども	5人で乗れるソリ
子ども	高低差のあるアスレチック
子ども	ぐねぐねしていたり、休憩ゾーンがあったり、ジャンプして渡るような長いアスレチックが欲しい。
子ども	長い階段のあるすべり台、赤いトランポリンをマットにしたい。急傾斜のすべり台が欲しい。
子ども	隠しドア、長い階段、休憩ゾーンがある迷路が欲しい。
子ども	制限人数なしで皆が同時に乗れる、大きいトランポリンが欲しい。
子ども	ローラースケートの練習場が欲しい
子ども	筑山の斜面を利用して遊びたい
子ども	マウンテンバイク
子ども	ふわふわドームドム
子ども	高い遊具
子ども	砂場
おとな	小動物触れ合いコーナー
おとな	すべり台に未就学レーンと高学年レーンで分けたい
おとな	父と娘/母と息子安心して使えるトイレが欲しい
おとな	バスケットゴールや壁（テニスやサッカーのボール打ちができる）があると楽しい。
おとな	踏み切り（信号）付きのすべり台
おとな	静電気が起きないすべり台
おとな	安心して座れるブランコ
おとな	大人も一緒に遊べるサイズの遊具
おとな	交通公園
おとな	初心者からでも使えるランプ
おとな	キレイなトイレ
おとな	子ども用トイレ
おとな	錆びにくく、割れないミラーウォール
おとな	ボール遊びができるフェンスで囲まれたスペース
おとな	夏場も楽しめる小さい水遊び場
おとな	じゃぶじゃぶ池
おとな	雨でも利用できる設備
おとな	監視カメラ
おとな	大きな遊具が欲しい
おとな	自然を感じられる場所
おとな	出入り口に防犯カメラが欲しい
おとな	健康遊具
おとな	ハンモックで遊びたい
おとな	ウォーキングイベント等でスタンプラリーができるといい

(参考) 子どもたちの未来の公園マップ (上の原公園)



うえのはさこうえん
上の原公園

ジブリを感じれるお台

猫

スタンゴラリ
(ウサギドント)

出入りに
防犯カメラ欲しい。

かんしカメラ。

子使用トイレ

ミラーウォール
(さびない。おれね)

ランゴ (初歩者から
使える)

ハンモックがあるほう!!

小人

健康遊具

花火

父・娘(母・息子)
お台に使えるお台

木組字レーン
又・姉レーン

バスケットゴールや
型(クニヤチ)のボール
おちかてき)か
あじと楽しい。

静電気お化けはいるお台

きれいなトイレ

交通公園

夏場も楽しめる
水遊び場(小池)

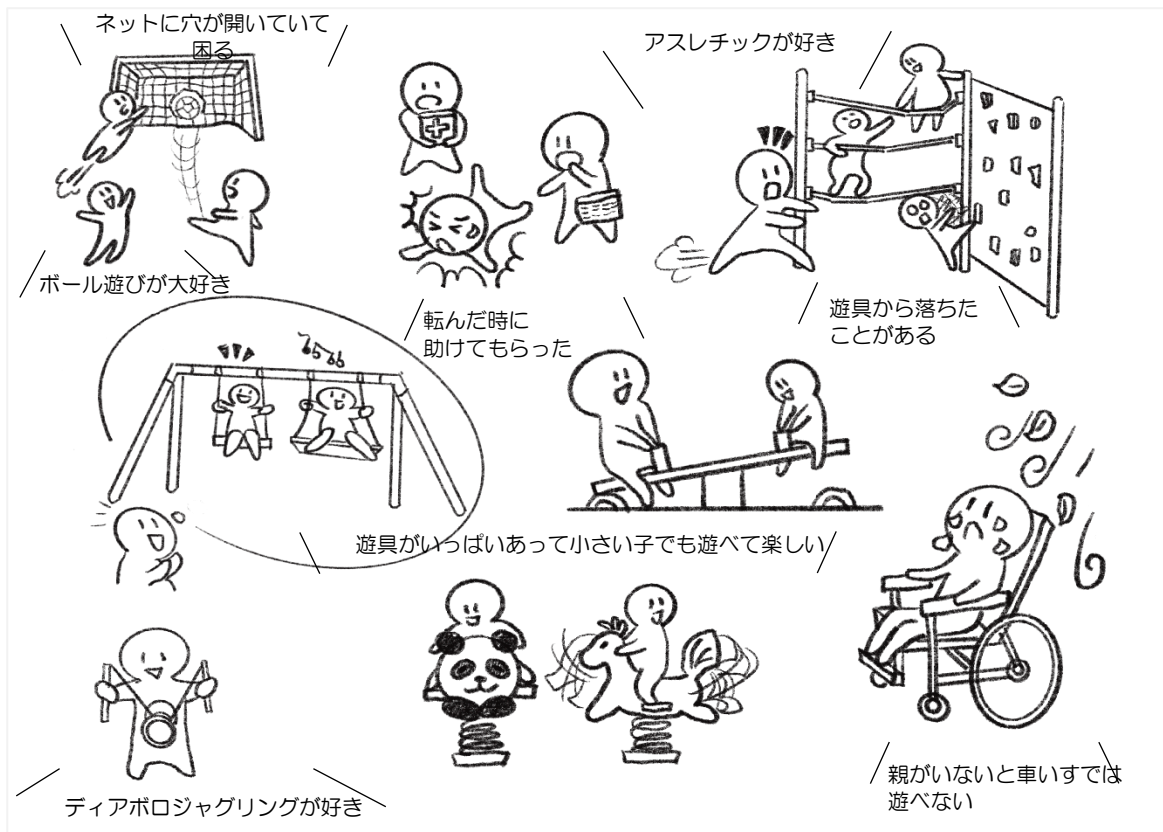
じゃぶじゃぶ池

雨でもOK

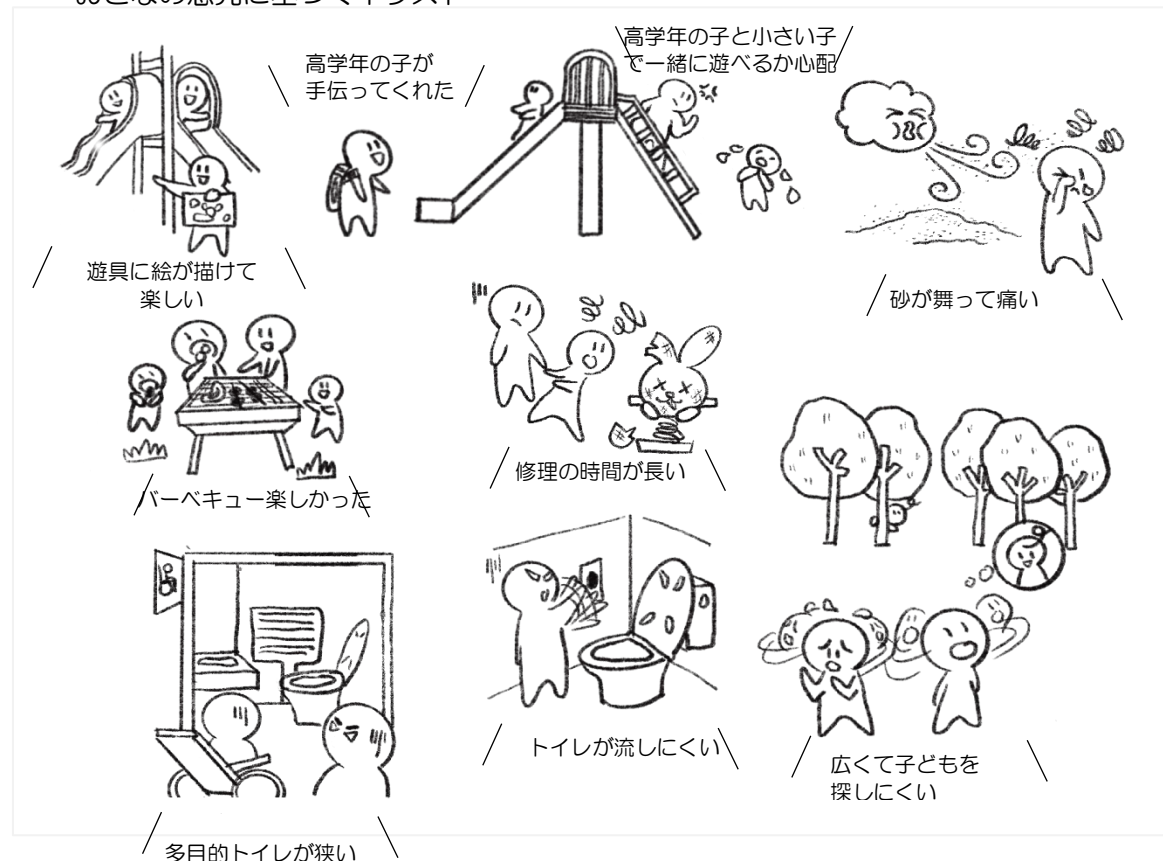
2.4 栗山公園

(1)「今の公園の現状と課題」

子どもの意見に基づくイラスト



おとなの意見に基づくイラスト

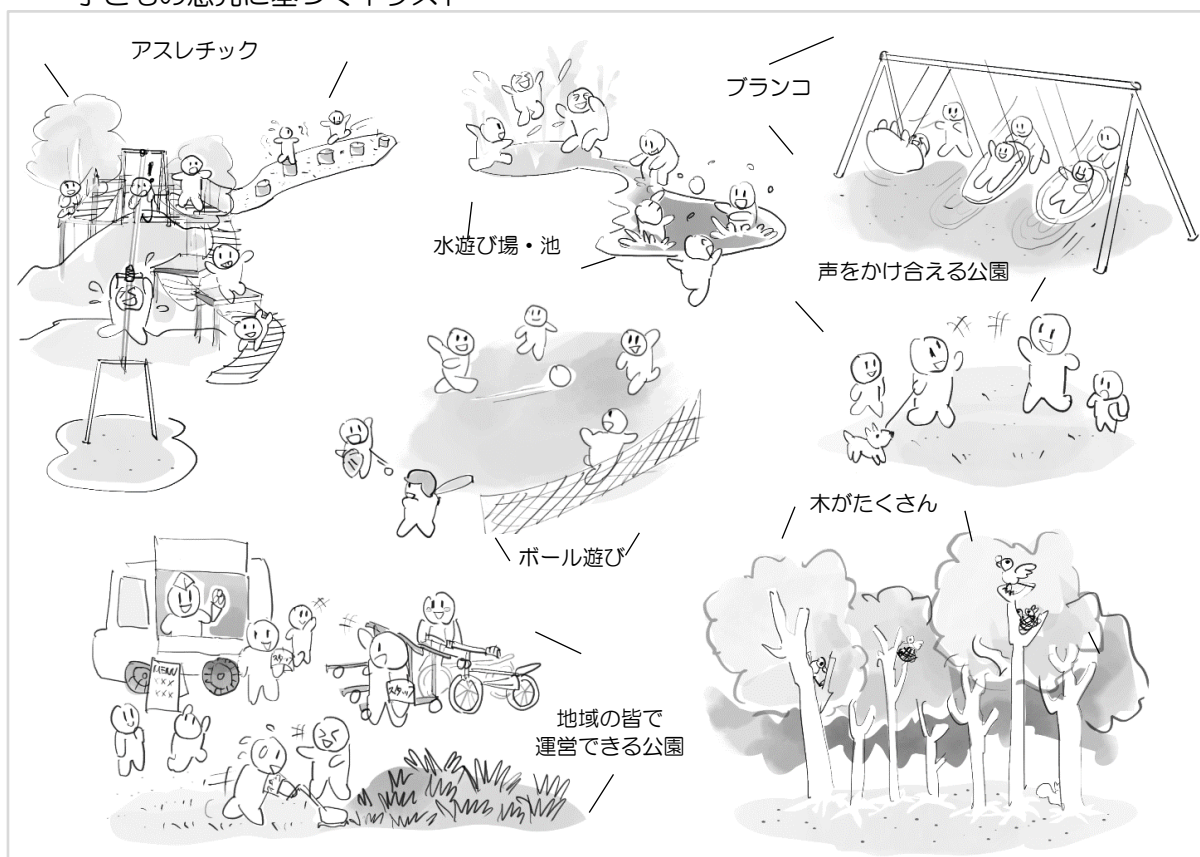


■参加者から出された「公園の現状と課題」についての意見

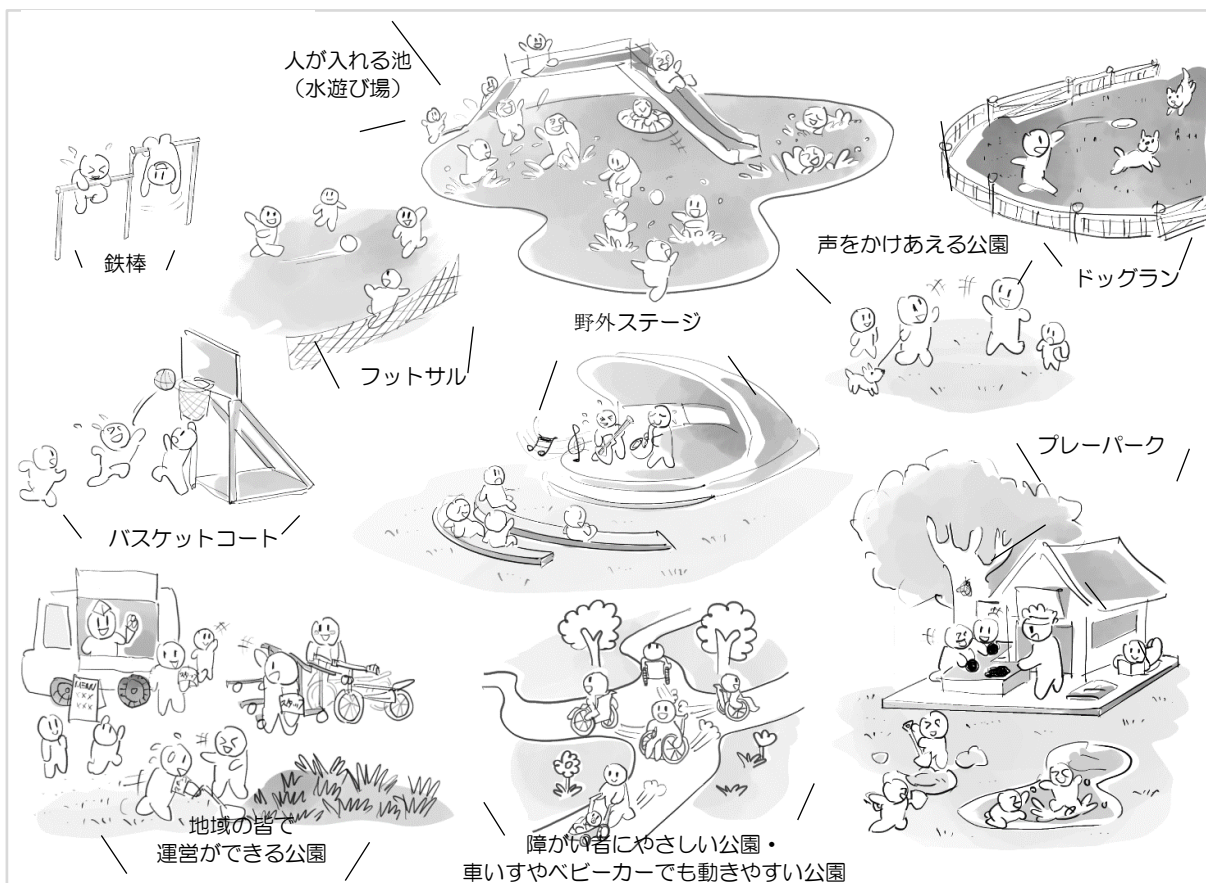
年代	質問	公園についての意見
子ども	たのしかったこと	栗山公園には大きな遊具以外にも、小さい子向けの遊具があったため、幼い時でも楽しく遊ぶことができた。また自分より小さい妹と一緒に遊ぶことができた。
子ども	うれしかったこと	小金井市の公園にいっぱい遊具がある。
子ども	ざんねんだったこと	車いすを使っているため、親と一緒にないと遊ぶことができる遊具がない。
子ども	おもしろかったこと	高く積みあがったいろんなアスレチックは遊んでいてドキドキするので好き。
子ども	かなしかったこと	ボルタリング遊具から落ちて痛かった。
子ども	たすけてもらったこと	公園で走って転んだ時に、助けてくれた人がいて絆創膏をくれた。
子ども	こまったこと	ネットに穴が空いていて、ボールが外に出て困る。
子ども	すきなばしょ	野球ができるネットがある場所が好き。
子ども	たのしかったこと	ディアボロジャグリングで遊ぶのが好き。
おとな	たすけてもらったこと	すべり台で高学年の子どもが小さい子どもを補助してくれて助かった。
おとな	こまったこと	未就学児と高学年の子が混ざって遊んでいると、危ないと感じる。
おとな	たのしかったこと	バーベキューをやって楽しかった。
おとな	いやだったこと	風が強い時、砂場の砂が公園内外を舞って痛い。
おとな	たのしかったこと	すべり台に絵を描く活動に参加したため、栗山公園のすべり台が好き。
おとな	ざんねんだったこと	栗山公園はブランコの数が少ない。
おとな	こまったこと	遊具の修理時間が少し長い。
おとな	こまったこと	トイレが流れにくい。洗浄ボタンは固過ぎて、押しにくい。
おとな	こまったこと	多目的トイレは狭くて、車椅子が移動しにくい。ベッドが小さい。
おとな	こまったこと	栗山公園は広いので、子どもを探そうとしたら、なかなか見つけられない。

(2)「未来の公園」

子どもの意見に基づくイラスト



大人の意見に基づくイラスト



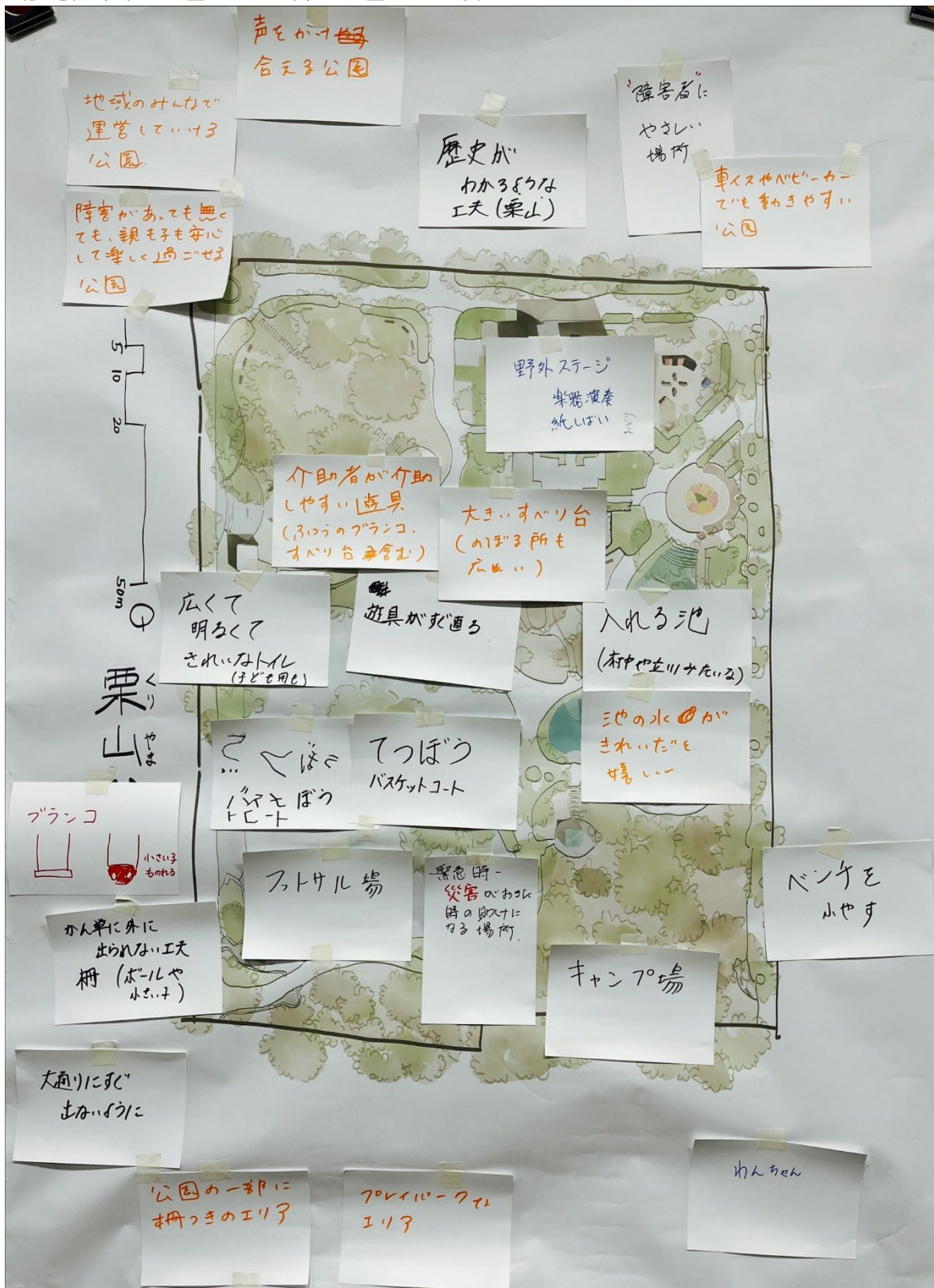
■参加者から出された「公園の未来像」に関する意見

年代	公園の未来像について
子ども	サッカーと野球でネットの争いがある。ネット付近の木の枝が邪魔で、ボールが引っかかるので解決できればいい。ネットの穴を修復して欲しい。
子ども	木を繋いだターザンロープが欲しい。公園を周りたい。
子ども	やさしいジェットコースターが欲しい
子ども	ブランコがないから欲しい
子ども	登り棒も欲しい
子ども	押して回る遊具、ターザンロープ、ジップラインが欲しい
子ども	大きいアスレチックとすべり台が欲しい
子ども	木にブランコが下がっているのが好き
子ども	ドイツの公園で遊具の上から、景色が見えるものがある
子ども	木の上を渡るようなアスレチックが欲しい
子ども	ネットをくぐる遊具
子ども	螺旋チューブのすべり台
子ども	木とベンチがいっぱい欲しい。カメとネッシーが生息できる公園がいい。
子ども	争いがない平和な公園
おとな	声をかけ合える公園
おとな	地域の皆で運営していける公園
おとな	障がいがあってもなくても親も子どもも安心して楽しく過ごせる公園
おとな	歴史がわかるような工夫（栗山公園）
おとな	障がい者にやさしい場所
おとな	車椅子やベビーカーでも動きやすい公園
おとな	野外ステージ、楽器演奏、紙芝居できる場所が欲しい
おとな	介助者が介助しやすい遊具
おとな	登りやすい大きなすべり台
おとな	広くて、明るくて、キレイなトイレが大人用、子ども用で欲しい
おとな	遊具が壊れているので直して欲しい
おとな	入れる池
おとな	池の水がキレイだとうれしい
おとな	鉄棒とバスケットコートが欲しい
おとな	小さい子も乗れるブランコが欲しい
おとな	ボールや小さい子が飛び出さないような柵
おとな	フットサル場
おとな	緊急時・災害時助けになる場所
おとな	キャンプ場
おとな	公園の一部に柵付きのエリアが欲しい
おとな	プレーパークなエリア
おとな	ワンちゃんが遊べる公園
おとな	ベンチをふやす
おとな	大通りにすぐ出ないような工夫

(参考) 未来の公園マップ (栗山公園 子ども)



(参考) 未来の公園マップ (栗山公園 おとな)



3. 参加者アンケート

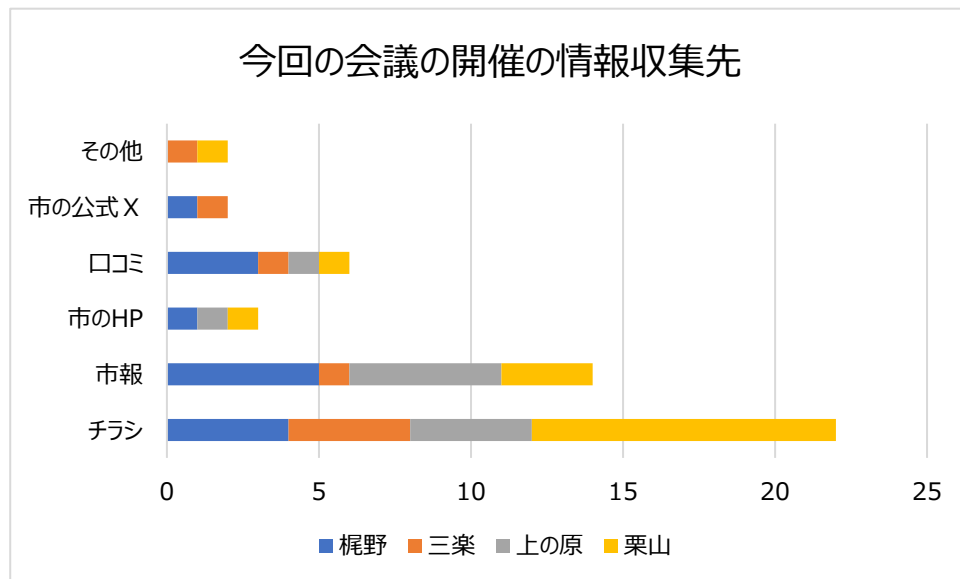
3.1 参加者アンケート結果

今後のワークショップ開催の参考とするために、参加者にアンケート調査を実施した。

(1) 会議参加のきっかけ

Q1.「みんなの公園会議」に何を見て参加されましたか(複数回答)

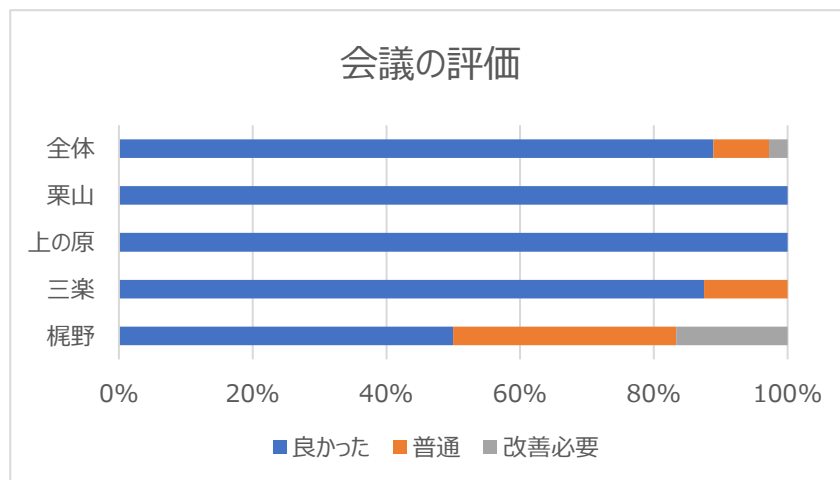
- ・ 学校等に配布したチラシで知ったという方が最も多く、次に市報であった。



(2) 会議の評価

Q2. 今回の「みんなの公園会議」に参加されたご感想をお聞きます。

- ・ 概ね「良かった」という感想をいただいた。
 - 自由に思っていることを話し合えたため、評価されたと思われます。
- ・ 課題点としては、「時間が長かった」「子どもには難しかったのでは」という点でした。



■会議の評価について、いただいたご意見

- ・ 皆で一緒に話し合えたこと、自由に話げたことを評価するご意見が多く出されている。
- ・ 子どもには会議の時間が長かった、冬に外でやるのは避けて欲しい、という指摘があった。

（改善して欲しい点）

- ・ 時間が長かった。
- ・ 外は寒かったため、室内で開催するか、冬は避けていただくとよい。

（良かった点）

- ・ 地域の方に会い、意見を一緒に聞けたことはよかった。
- ・ 未来の公園を考えるのが楽しかった。
- ・ 小金井市だからこそ、実現できそうな公園が想像できました。
- ・ 小金井らしい自然等を活かした公園ができそうでした。
- ・ 出た意見が目で見えてわかる。
- ・ 皆さんの意見が聞けて良かったです。
- ・ 質問を用意してくれていて、話しやすかったです。
- ・ お絵描きがおもしろかった。
- ・ たくさんお話が聞けたこと。
- ・ 公園をよりよくすることで、さらに皆が集まってこられる場所になると改めて思いました。
- ・ 良かった点は皆が平等に話していることがよかったです。
- ・ 皆の話をしっかり話せるようにして良かった。
- ・ 皆でできたのでよかった。
- ・ 改善して欲しい点を自由に発言できる場であったため。

(3) 事業についての自由意見

- ・ 事業全体のスケジュール感について、疑問を持たれたご意見があった（予定調和的なものではないかという懸念かと思われる）。
- ・ いろいろな立場の方のご意見を聞く場を、他の方法でも設けたほうが良いというご指摘もある。
- ・ 今回の事業において、様々な人と話し合えたこと、意見を聞ける場を設けたことは評価されている。

①事業の進め方や会議の設定についてのご意見

- ・ インクルーシブに関する文言が最後の「今後の予定」のところで初めて出たのが疑問に思いました（引っかかりました）。既に、遊具の視察も予定にあるのですね。今日出た意見が少しでも実現されることを希望します。よろしくお願いします。
- ・ みなさんの理想の公園像を聞くことができて良い時間だったと思います。これが一段階として、実現に向けてはどのような道すじがあるのかを考えていけたらと思っています。ものを作るだけが進歩ではないと思っているので、今の環境をどうしたら残していけるかということが大切なのだと思っています。
- ・ インクルーシブの話があったらよかったなと思いました。小さい子連れのお母さん達は行きづらい（会議等に参加しづらい）という話もありました。色々な公園で普段話している所で今日の様な話をしているところをよくみるのですが、そういう人達がもっと参加できたら良かったなと思いました。
- ・ 市民の方もそうだが関係団体（児童館とかプレーパークなど）遊びについての専門家にもお話をきいてもらいたい。プレーリーダーもぜひとりいれていただきたい。

②会議の形式や運営について

- ・ やはり、よりたくさんの方の話（声、想い）がきけるのがよいと思いました。そこから話し合って考えることがインクルーシブだなあと。
- ・ とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- ・ 色々なご意見がきけて楽しかったです。是非1つでも実現して下さい。
- ・ 色々な意見が聞けて楽しかったです。
- ・ また参加したいです！
- ・ 手話のことが聞けて楽しかった。
- ・ 一人一人のお話をきけてよかったです。皆の思いを生かして公園をつくっていけたらとてもいいと思います。
- ・ 皆で言いにくかった事はないです。
- ・ ありがとうございました。今日の様に地域の人達と話し合える機会があるとうれしいです。
- ・ いろいろな意見（自分では全く知らなかった）が聞けてとても良かったと思います。
- ・ お金がかかるかもしれませんが小金井市子供が増えているので意見が反映されると良いと思います。
- ・ 青空の下、公園でのワークショップたのしかったです。これから先のことを考え、みなさんのよい意見をきけて、わくわくしました。

公園 No.

みんなの公園会議アンケート

※ スマートフォン等により、右の二次元コードからも回答が可能です。

右上の公園名及び番号を入力の上ご回答ください。



※ 本アンケートは、今後の事業実施において参考とさせていただきます。

Q1 今回の「みんなの公園会議」に、何を見て参加されたかお聞きます。

あてはまる番号に「○印」をお付けください。

- | | | |
|-----------|-------------------------|----------------|
| 1. チラシ | 2. 市報 | 3. 小金井市のホームページ |
| 4. 口コミ | 5. 小金井市環境政策課公式X(旧ツイッター) | |
| 6. その他() | | |

Q2 今回の「みんなの公園会議」に参加された感想をお聞きます。

あてはまる番号に「○印」をお付けください。

- | | | |
|---------|-------|------------|
| 1. 良かった | 2. 普通 | 3. 改善して欲しい |
|---------|-------|------------|

良かった点や改善して欲しい点をお聞かせ下さい。

()

Q3 その他のご意見やご要望等について、ご自由に記入して下さい。

※みんなの前で言いにくかったことなどでも結構です

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

アンケートのご提出後、市内で収穫された季節のお野菜をお渡ししますので、お忘れなくお持ち帰りください。

4. ワークショップで出された意見の整理

4.1 今の公園に関する意見（良いところや悪いところなど）

今の公園について良いところや悪いところ、好きなことなどを伺った意見について、いくつかの要素で分類・整理した。

4つの会議で67の意見をいただいている。

複数の要素に触れている意見は、再掲・再再掲している場合もある。

(1) 遊具に関する意見

- ・ 遊具の「有・無」、「量」、「種類」について意見が出されている。
- ・ 既存の公園で、遊具の種類や数が少ないと、遊具で「遊べない子」、「遊びづらいと感じる子」がいることがわかる。

- ・ 公園の遊具については、栗山公園で最も多くの意見が聞かれた。4公園の中で最も遊具の種類や量が多いことも影響していることが推測される。
- ・ 「遊具がたくさんあって楽しい」と「遊具はいらない」という意見がある
- ・ 遊具で遊びたいが「障がいがあって今の遊具では遊べない」「体力や体格などに合わない場合がある」「多様な遊具があると、年齢などにあわせて選んで楽しめる」という、遊具の種類についての意見も見られる。
- ・ 年齢差があっても一緒に遊べる場合、一緒になると安全性に不安という意見もある。
- ・ 「遊具がたくさんある」「少ない」という、遊具の量についての意見もある。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	8	2	0	1	5
おとな	8	2	0	3	3
計	16	4	0	4	8

梶野公園	子ども	鉄棒のぼりが出来て嬉しい。
梶野公園	子ども	高い遊具から降りることができなかったとき、手伝ってもらった。
梶野公園	おとな	すべり台で遊んで楽しかった。
梶野公園	おとな	遊具はいらない、今の公園が好き。
上の原公園	子ども	ローラー滑り台がよく混んでいる。
上の原公園	おとな	他の公園で、ちいちゃい滑り台が出来た。高学年の子が手伝ってくれた。
上の原公園	おとな	高学年の子が大勢で遊具に来た時、小さい子どもの安全に不安がある。
上の原公園	おとな	鉄棒は高すぎて、のぼりできない。下にゴムチップ舗装などあれば安心。
栗山公園	子ども	幼かったときは大きな遊具は怖くて遊べなかったけど、栗山公園には大きな遊具以外にも、小さい子向けの遊具があったため、楽しく遊ぶことができた。 また自分より小さい妹と一緒に遊ぶことができた。
栗山公園	子ども	小金井市の公園にいっぱい遊具がある。
栗山公園	子ども	車いすを使っているため、親が一緒じゃないと遊ぶことができる遊具がない。
栗山公園	子ども	高く積みあがったいろんなアスレチックで遊んで、ドキドキして好き。
栗山公園	子ども	ボルタリング遊具から落ちて痛かった。
栗山公園	おとな	栗山公園のすべり台が好き。すべり台に絵を描く活動に入選したからです。
栗山公園	おとな	栗山公園にブランコの数が少ない。
栗山公園	おとな	遊具の修理時間は少し長い。

(2) 遊び方に関する意見

- ・ ボール遊び、木登り、バーベキューなど、多様な楽しみ、遊び方があるが、公園によってはできないものもある。
- ・ 雑木林などでの多様な遊び方も評価されている。

- ・ 公園によっては禁止されているが、「木登り」や「ボール遊び」などを望んでいる子、楽しみにしている意見が複数ある。
- ・ 一方で、既存の公園でのボール遊びは、周辺への影響の視点から難しいのではと感じられてもいる。
- ・ 広い敷地に多様な環境があれば、木々を利用して隠れたり、秘密基地を作ったりと、遊具がなくても楽しめるという意見がある。（三楽の森での遊びも含まれたご意見）
- ・ 公園の四季を楽しみたいという意見がある
- ・ バーベキューが楽しいという意見がある。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	5	2	1	0	2
おとな	10	0	4	5	1
計	15	2	5	5	3

梶野公園	子ども	木のぼりが好き。
梶野公園	子ども	他の公園で木登りでできなくて残念。
三楽公園	子ども	キャッチボールで遊んで楽しかった。
三楽公園	おとな	林で秘密基地できる公園が好き。
三楽公園	おとな	三楽の広い敷地で隠れんぼ等で、遊んで楽しかった。
三楽公園	おとな	遊具のある公園ではなくて、広くて、自然豊かな場所で探検できるのは好き。
三楽公園	おとな	木のぼりが好き、キャッチボールを安心して遊べるところであればいい。
上の原公園	おとな	最近、公園のイベントが復活した。
上の原公園	おとな	休日、イベントの日程が被ってしまい、小さい子どもは各会場への移動時間が確保できない。
上の原公園	おとな	植物はキレイで、公園に四季を感じられる。
上の原公園	おとな	小金井市内のほかの公園で、家族連れのでBBQ出来て、楽しかった。
上の原公園	おとな	ボール遊びが可能であれば、騒音問題が出てしまい、防音シートを設置するなどの対策を考えなければいけない。
上の原公園	おとな	ボール遊びが制限されている。
栗山公園	子ども	野球ができるネットがある場所が好き。
栗山公園	子ども	ディアボロジャグリングで遊ぶのが好き。
栗山公園	おとな	ここでバーベキューをやって楽しかった。

(3) ルール

- ・ 大人の来園者（利用者）のマナー問題がある（喫煙、ゴミ、つば吐きなど）

- ・ タバコの吸い殻やゴミの散乱など、主に大人の来園者起因と思われるマナーに関する意見が複数出されている。
- ・ 砂場への遊び道具の残置など、子どもの遊びに起因する問題の指摘もある。
- ・ ボール遊びなどの制限についても複数の意見がある。
- ・ 混雑や、年齢差がある子どもたちが錯綜することへの意見もある

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	3	1	1	1	0
おとな	10	3	1	5	1
計	13	4	2	6	1

梶野公園	おとな	ゴミ箱がない。
梶野公園	おとな	夜は暗くて怖い。
三楽公園	子ども	トイレの工事を見るのは楽しかった。
上の原公園	子ども	ローラースケート練習場は見えない壁で凸凹があって危ない。
上の原公園	子ども	栗山公園は砂埃が目に入るところが嫌だ。
上の原公園	おとな	ボール遊びが可能であれば、騒音問題が出てしまい、防音シートを設置するなどの対策を考えなければいけない。
上の原公園	おとな	子ども一人でトイレ行くのは不安で、もし防犯カメラを設置できれば助かった。
上の原公園	おとな	子ども用トイレが欲しい。衛生の面については不安で、特に水回り関係の施設をきれいにしてほしい。
上の原公園	おとな	鉄棒は高すぎて、のぼりできない。下にゴムチップ舗装などあれば安心。
上の原公園	おとな	室内休憩できる場所あればいい。例えば公園と児童館を連携する。
栗山公園	子ども	ネットに穴があってボールが外に出て困る。
栗山公園	子ども	野球ができるネットがある場所が好き。
栗山公園	おとな	ここでバーベキューをやって楽しかった。
栗山公園	おとな	トイレが流れにくい。洗浄ボタンはがたくて、押しにくい。
栗山公園	おとな	多目的トイレは狭くて、車椅子が移動しにくい。今の着換え用ベッドが小さい。

(4) 設備

- ・ 誰でも安心して利用できるトイレの整備が重要である。
- ・ 照明等の防犯設備についてもニーズがある。

- ・ 上の原公園と栗山公園での意見が多くなった。
- ・ トイレに関する意見が多数聞かれた。多様な障がい者の方が利用するには、広さや設備が不十分であるという指摘がある。
- ・ この意見に関連した話合いの中では、トイレが利用できない、利用しづらいと、公園に遊びに行けなくなる（行かなくなる）という指摘も複数の参加者から出ており、重要な要素であると考えられた。
- ・ トイレの安全性、公園の照明など、防犯対策となる設備の充実を求める意見がある。
- ・ 遊具や遊ぶ施設の改善を求める意見がある（ローラースケート場の壁面の荒れ、野球ネットの破れなど）

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	5	0	1	2	2
おとな	10	2	0	5	3
計	15	2	1	7	5

梶野公園	おとな	ゴミ箱がない。
梶野公園	おとな	夜は暗くて怖い。
三楽公園	子ども	トイレの工事を見るのは楽しかった。
上の原公園	子ども	ローラースケート練習場は見えない壁で凸凹があって危ない
上の原公園	子ども	栗山公園は砂埃が目に入るところが嫌だ
上の原公園	おとな	ボール遊びが可能であれば、騒音問題が出てしまい、防音シートを設置するなどの対策を考えなければいけない。
上の原公園	おとな	子ども一人でトイレ行くのは不安で、もし防犯カメラを設置できれば助かった。
上の原公園	おとな	子ども用トイレが欲しい。衛生の面については不安で、特に水回り関係の施設をきれいにしてほしい。
上の原公園	おとな	鉄棒は高すぎて、のぼりできない。下にゴムチップ舗装などあれば安心。
上の原公園	おとな	室内休憩できる場所があればいい。例えば公園と児童館を連携する。
栗山公園	子ども	ネットに穴があってボールが外に出て困る。
栗山公園	子ども	野球ができるネットがある場所が好き
栗山公園	おとな	ここでバーベキューをやって楽しかった。
栗山公園	おとな	トイレが流れにくい。洗浄ボタンはがたくて、押しにくい。
栗山公園	おとな	多目的トイレは狭くて、車椅子が移動しにくい。今の着換え用ベッドが小さい。

(5) 安全・安心

- ・ 照明設備や防犯カメラなどによる対策が求められている。
- ・ 多数の子どもの利用による錯綜などは、子ども同士の中での理解や思いやりが必要だと考え
- ・ 前項と同様に上の原公園と栗山公園での意見が多い
- ・ 夜間の防犯、トイレの防犯についての意見がある。
- ・ 子どもが一つの公園、遊具に集中した際、年齢差の大きい子どもたちが錯綜した際の安全性に関する意見、遊具等そのものの安全性に関する意見が出されている。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	6	0	1	3	2
おとな	9	1	0	5	3
計	15	1	1	8	5

梶野公園	おとな	夜は暗くて怖い。
三楽公園	子ども	自転車でぶつけちゃった。
上の原公園	子ども	ローラー滑り台がよく混んでいる。
上の原公園	子ども	ローラースケート練習場は見えない壁で凸凹があって危ない。
上の原公園	子ども	栗山公園は砂埃が目に入るところが嫌だ。
上の原公園	おとな	高学年の子が大勢で遊具に来た時、小さい子どもの安全に不安がある。
上の原公園	おとな	子ども一人でトイレ行くのは不安で、もし防犯カメラを設置できれば助かった。
上の原公園	おとな	年配の方は公園で唾を吐いて、衛生上に悪い。
上の原公園	おとな	砂場にブラの遊び道具が残rippなしで、危ない。
上の原公園	おとな	鉄棒は高すぎて、のぼりできない。下にゴムチップ舗装などあれば安心。
栗山公園	子ども	幼かったときは大きな遊具は怖くて遊べなかったけど、栗山公園には大きな遊具以外にも、小さい子向けの遊具があったため、楽しく遊ぶことができた。 また自分より小さい妹と一緒に遊ぶことができた。
栗山公園	子ども	ボルタリング遊具から落ちて痛かった。
栗山公園	おとな	未就学児と学齢高い子が混ざって遊んで、危ない。
栗山公園	おとな	風が強い時、砂場の砂が公園内に散らばって眩しい。
栗山公園	おとな	栗山公園は大きいので、子どもを探そうとしても、なかなか見つけられない。

(6) 交流

- 公園は、多様な利用者と出会える、友達ができる場として評価されている。
- 一緒に遊ぶことで、年上の子が年下の子の面倒を見たり、助けたりする関係が生まれるが、人数が多い場合時としてお互いの遊びを阻害する課題が生じる場合もある。
- 公園でのイベントは新たな交流のきっかけになると期待される。
- 公園で困っていると、年上の子に助けてもらったり、声をかけてもらったりしたという意見が複数ある
- 公園では友達と会える、家族同士が友達になる、違う年代（年齢）の方とも知り合えるというプラスの意見と、高学年がたくさん遊んでいると幼い子ども達は遊びづらいという意見もあった。
- 公園でのイベントは喜ばれている。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	4	1	0	2	1
おとな	9	4	0	4	1
計	13	5	0	6	2

梶野公園	子ども	高い遊具から降りることができなかったとき、手伝ってもらった。
梶野公園	おとな	公園で友達と会えて嬉しい。近くに住んでいる方、子どもと家族同士は友達になって、嬉しい。
梶野公園	おとな	知り合いが出来て嬉しい。
梶野公園	おとな	違う年齢層の方とあえて、うれしい。
梶野公園	おとな	地域のイベントがあって、うれしい。
上の原公園	子ども	公園で遊ぶことが楽しくて、帰りたくない。
上の原公園	子ども	迷子になった時、助けてもらった。
上の原公園	おとな	小金井市に在住する方はすごく熱心で、なんでも助けてもらう。
上の原公園	おとな	他の公園で、ちいちゃい滑り台が出来た。高学年の子が手伝ってくれた。
上の原公園	おとな	高学年の子が大勢で遊具に来た時、小さい子どもの安全に不安がある。
上の原公園	おとな	最近、公園のイベントが復活した。
栗山公園	子ども	公園で走って転んだけど、絆創膏をもらって、助けをもらった。
栗山公園	おとな	すべり台で、高学年の子が、小さい子どもを助けていた。

(7) 植物・生き物などについて

- ・ 公園は季節を感じ、楽しめるところとして評価されている。
- ・ 五感を使って感じる事が期待される。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	2	0	1	1	0
おとな	7	2	4	1	0
計	9	2	6	2	0

梶野公園	おとな	公園にリンゴの木、イチヨウがあって、味わうことができ、うれしい。
梶野公園	おとな	イチヨウがキレイ。
三楽公園	子ども	カエルを見てるので楽しかった。
三楽公園	おとな	公園で四季を楽しめる。
三楽公園	おとな	落葉のある所が好き。
三楽公園	おとな	林で秘密基地できる公園が好き。
三楽公園	おとな	遊具のある公園ではなくて、広くて、自然豊かな場所で探検できるのは好き。
上の原公園	子ども	栗山公園は砂埃が目に入るところが嫌だ。
上の原公園	おとな	植物はキレイで、公園に四季を感じられる。

(8) 広さについて

- ・ 小金井公園は、広くて、いろいろな楽しみができる公園として認知されており、広い公園に行きたいときには、小金井公園にという方が多いようである。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	0	0	0	1	0
おとな	0	0	2	0	1
計	4	0	2	1	1

三楽公園	おとな	三楽の広い敷地で隠れんぼ等で、遊んで楽しかった。
三楽公園	おとな	遊具のある公園ではなくて、広くて、自然豊かな場所で探検できるのは好き。
上の原公園	子ども	小金井公園は大きくてよく行く。
栗山公園	おとな	栗山公園は大きいので、子どもを探そうとしても、なかなか見つけない。

4.2 将来の公園に関する意見（要望、希望）

将来の公園に関しては、絵を描かれた参加者も数多くいた。そのため絵の説明をされた時のお話をもとに、言語化した。

将来の公園に対する要望や意見は、169 件になった。

(1) 遊具に関する意見

- ・ 大人数で使えるような大型遊具、思い切り体を動かすような遊具のニーズが高い。
- ・ 樹木をいかした遊具や施設のニーズも高い。
- ・ 障がい者の方でも利用できる遊具ニーズもある。
- ・ 親子で使えたり、大人数で使えたりするすべり台、長い変形したすべり台など、大型遊具が欲しいという意見が多くある。
- ・ 木を活かしたブランコやツリーハウス、アスレチックなど、体をたくさん動かして遊べる施設（遊具）への要望も多い。
- ・ 安心して乗れるブランコ、介助しやすい遊具などを求める意見もある。
- ・ 遊具はいらないという意見もある。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	35	4	7	14	10
おとな	35	3	15	12	5
計	70	7	22	26	15

梶野公園	子ども	木を利用するブランコ
梶野公園	子ども	長いすべり台
梶野公園	子ども	いっぱい遊具が欲しい。
梶野公園	子ども	ブランコやすべり台など、遊具が少しでもほしい。
梶野公園	おとな	ツリーハウス
梶野公園	おとな	いろんながそのままあると木の良さを生かした遊びができる。木の枝を使って、ブランコをつくって遊ぶ。
梶野公園	おとな	梶野公園に遊具いらない。
三楽公園	子ども	のぼり棒も欲しい。
三楽公園	子ども	ゴーカート
三楽公園	子ども	シーソー
三楽公園	子ども	長～いすべり台
三楽公園	子ども	屋根があり、ベルトとクッション、足置き場があるブランコ
三楽公園	子ども	トンネルのある登れるロープの遊具
三楽公園	子ども	ボールプール
三楽公園	おとな	落葉のプール
三楽公園	おとな	絵本の読み聞かせができるツリーハウス
三楽公園	おとな	自然を生かした遊具
三楽公園	おとな	何も作らない。
三楽公園	おとな	アスレチック
三楽公園	おとな	遊具はいらない、広く使える場所が欲しい。
三楽公園	おとな	木のシーソー
三楽公園	おとな	木で作ったシーソー
三楽公園	おとな	昭和40年代のような遊具
三楽公園	おとな	長いすべり台（高さもある）
三楽公園	おとな	ツリーハウス
三楽公園	おとな	トランポリン
三楽公園	おとな	トランポリン
三楽公園	おとな	ふわふわドーム
三楽公園	おとな	筑山に石山、ロープ、すべり台があればいい。

(続き)

上の原公園	子ども	木のような中に入れるアスレチックハウス
上の原公園	子ども	のぼり口がいっぱいすべり台
上の原公園	子ども	でこぼこしたのぼり口がある速いすべり台
上の原公園	子ども	ベルトに乗る大きいブランコ
上の原公園	子ども	長くて変な形のあるすべり台がほしい。でこぼこして、天井のあるすべり台が欲しい。
上の原公園	子ども	中に浮ける装置
上の原公園	子ども	5人乗れるソリ
上の原公園	子ども	落ちたら終わりのアスレチック
上の原公園	子ども	長いアスレチックが欲しい。ぐねぐねの、休憩ゾーンがある、ジャンプして渡る。
上の原公園	子ども	長い階段のあるすべり台、赤いトランポリンをマットにしたい。急傾斜のすべり台が欲しい。
上の原公園	子ども	隠しドア、長い階段、休憩ゾーンなある迷路が欲しい。
上の原公園	子ども	制限人数なし、みんな同時に乗れる、大きいなトランポリンが欲しい。
上の原公園	子ども	ふわふわドームドム
上の原公園	子ども	背の高い遊具
上の原公園	おとな	すべり台に未就学レーンと兄・姉レーンを分けたらいい。
上の原公園	おとな	バスケットゴールや壁（テニスやサッカーのボール打ちができる）があると楽しい。
上の原公園	おとな	踏み切り（信号）つきの滑り台
上の原公園	おとな	静電気が起きない滑り台
上の原公園	おとな	安心して座れるブランコ
上の原公園	おとな	おとなも一緒にいれるサイズの遊具
上の原公園	おとな	初心者からでも使えるランプ
上の原公園	おとな	ミラーウォール（さびない、割れない）
上の原公園	おとな	でっかい遊具が欲しい。
上の原公園	おとな	ジブリを感じられるもの
上の原公園	おとな	健康遊具
上の原公園	おとな	ハンモックで遊びたい。
栗山公園	子ども	木を繋いでターザンロープが欲しい。公園一週したい。
栗山公園	子ども	やさしいジェットコースターが欲しい。
栗山公園	子ども	ブランコがないから欲しい。
栗山公園	子ども	のぼり棒も欲しい。
栗山公園	子ども	押して回る遊具ターザンロープジャンプラインが欲しい。
栗山公園	子ども	大きいアスレチックとすべり台が欲しい。
栗山公園	子ども	木にブランコが下がっているのが好き。
栗山公園	子ども	木の大きいアスレチックが欲しい、木の上を渡るのが欲しい（ドイツの公園）。
栗山公園	子ども	ネットくぐる遊び場（ドイツの公園）
栗山公園	子ども	螺旋チューブのすべり台で、マットに着地。
栗山公園	おとな	介助者が介助しやすい遊具（ふつうのブランコすべり台含む）
栗山公園	おとな	大きいすべり台のぼる所も広い。
栗山公園	おとな	遊具が壊れて、直してほしい。
栗山公園	おとな	鉄棒とバスケットコートが欲しい。
栗山公園	おとな	小さい子も乗れるブランコが欲しい。

(2) 公園の機能、施設に関する意見

- ・ スポーツ、自然遊びなど、屋内外を問わず、子どもも大人も、多様なニーズを持っていることがわかる。
- ・ 火を使えるところ、泥遊びができる、水遊びができるなど、多様なニーズがあります。
- ・ サイクリング、ローラースケート、マウンテンバイク、バスケットボールなどスポーツの場を求める意見も出ています。
- ・ プレーパークや交通公園、野外ステーにある公園など、特色ある公園のニーズもあります。
- ・ 雨天でも使える場所を求める声もあります。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	10	1	3	6	0
おとな	19	5	2	7	5
計	29	6	5	13	5

梶野公園	子ども	池が欲しい。
梶野公園	おとな	火を使えるところでバーベキューしたい。
梶野公園	おとな	泥遊びができるところ
梶野公園	おとな	ふかふかの芝生
梶野公園	おとな	プレーパークなエリアを増やしたい。
梶野公園	おとな	秘密基地
三楽公園	子ども	スキー場（ソリ滑り）
三楽公園	子ども	かなへびとのふれあいの場
三楽公園	子ども	カヌーできる場所が欲しい。
三楽公園	おとな	お昼寝コーナー
三楽公園	おとな	危険な場所もあったほうがよい。
上の原公園	子ども	隠しドアが複数あり、一度出たら入れない迷路
上の原公園	子ども	サイクリングロード、スポーツできる場所
上の原公園	子ども	ローラースケートの練習場が欲しい。
上の原公園	子ども	筑山の斜面を利用して、遊びたい。
上の原公園	子ども	マウンテンバイク
上の原公園	子ども	砂場
上の原公園	おとな	バスケットゴールや壁（テニスやサッカーのボール打ちができる）があると楽しい。
上の原公園	おとな	交通公園
上の原公園	おとな	ボール（ソフトボール）をけったり、打ったりできるスペース（フェンスで囲まれている空間で）
上の原公園	おとな	夏場も楽しめる小さい水遊び場
上の原公園	おとな	しゃぶしゃぶ池
上の原公園	おとな	雨でも使える場所
上の原公園	おとな	ジブリを感じられるもの
栗山公園	おとな	野外ステージ、楽器演奏、紙芝居できる場所が欲しい。
栗山公園	おとな	入れる池（府中や立川みたいな）
栗山公園	おとな	鉄棒とバスケットコートが欲しい。
栗山公園	おとな	公園の一部に柵付きのエリア
栗山公園	おとな	プレーパークなエリア

(3) 公園の設備に関する意見

- ・ 誰でも使いやすく、安全できれいなトイレへの要望が強いことがわかる
- ・ きれいなトイレ、車いすでも使いやすいトイレなど、トイレに関する意見が多い
- ・ ベンチやテーブルなどを望む意見も複数ある
- ・ 防犯カメラを望む意見もある

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	4	1	0	0	3
おとな	20	4	7	6	3
計	24	5	7	6	6

梶野公園	子ども	車椅子でも、誰でも使えるトイレ
梶野公園	おとな	防災機能のある公園、太陽電池やWi-Fi
梶野公園	おとな	情報を載せているサイネージ
梶野公園	おとな	キレイなトイレ
梶野公園	おとな	テーブルがあれば、近くのお店で買ったものを座って食べることができる。
三楽公園	おとな	絵本の読み聞かせができるツリーハウス
三楽公園	おとな	秘密基地ができる場所
三楽公園	おとな	やぐらで景色を見る。
三楽公園	おとな	トトロに出てくるようなトンネルのような場所
三楽公園	おとな	キレイな東屋とドリンク、お菓子を売ってくれるところ
三楽公園	おとな	やぐら
三楽公園	おとな	筑山に石山、ロープ、すべり台があればいい。
上の原公園	おとな	父と娘/母と息子安心して使えるトイレが欲しい。
上の原公園	おとな	交通公園
上の原公園	おとな	キレイなトイレ
上の原公園	おとな	子ども用トイレ
上の原公園	おとな	監視カメラ
上の原公園	おとな	出入り口に防犯カメラが欲しい。
栗山公園	子ども	サッカーと野球でネットの争いがあるので、出入口がある広いネット。ネット付近の木の枝が邪魔で、ボールが引っかかるので解決できればいい。ネットの穴を修復してほしい。
栗山公園	子ども	ネットくぐる遊び場（ドイツの公園）
栗山公園	子ども	木とベンチがいっぱい、カメとネッシーが生息できる公園
栗山公園	おとな	広くて、明るくて、キレイなトイレが欲しい（子ども用も）。
栗山公園	おとな	簡単に外に出られない工夫、柵（ボールや小さい子）
栗山公園	おとな	ベンチをふやす。

(4) 遊び方、過ごし方に関する意見

- ・ ボール遊びのニーズは高い。
 - ・ 非日常体験の場としてのニーズも高い。
 - ・ サードプレイスとして期待されている。
- ・ サッカーや野球などのボール遊びのニーズが多い。
 - ・ キャンプ、星の観察、宿泊など、夜の利用に関するニーズ、火の使用や、プレーパークのような遊びのニーズ、一人になったり、隠れたりできる場所のニーズもある。
 - ・ 誰でも自由になれる、サードプレイスとしての期待も出ている。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	3	3	0	0	0
おとな	19	6	7	2	4
計	22	9	7	2	4

梶野公園	子ども	野球ができるスペース
梶野公園	子ども	サッカーをしたい。
梶野公園	子ども	射的
梶野公園	おとな	火を使えるところでバーベキューしたい。
梶野公園	おとな	野球の練習できるところ
梶野公園	おとな	ボール専用の公園が欲しい。
梶野公園	おとな	公園で泊まりたい。
梶野公園	おとな	星の観察
梶野公園	おとな	ここは誰でも自由になれる。
三楽公園	おとな	木登りのできる木
三楽公園	おとな	一人になれる場所
三楽公園	おとな	秘密基地ができる場所
三楽公園	おとな	地域の子どもたちと遊びたい（子供会で）。
三楽公園	おとな	ミニ運動会
三楽公園	おとな	水を流せる。
三楽公園	おとな	隠れる場所
上の原公園	おとな	ボール（ソフトボール）をけったり、打ったりできるスペース（フェンスで囲まれている空間で）
上の原公園	おとな	ハンモックで遊びたい。
栗山公園	おとな	野外ステージ、楽器演奏、紙芝居できる場所が欲しい。
栗山公園	おとな	フットサル場
栗山公園	おとな	キャンプ場
栗山公園	おとな	プレーパークなエリア

(5) 安全・安心に関する意見

- ・ 設備等による安全や安心の確保と、人の優しさや交流による安全・安心の向上を求めている。
- ・ 栗山公園における意見が多くなった。障がいを持つお子様とその保護者の方が参加されて、状況をお話くださったことで参加者の皆さんも気づきが多く得られたことが現れたものと思われる。
- ・ 安心して使えるトイレや、ボールや子どもが飛び出さないような安全対策について複数の意見が見られた。
- ・ また防災に関する意見も見られる。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	2	0	0	1	1
おとな	14	1	0	4	9
計	16	1	0	5	10

梶野公園	おとな	防災機能のある公園、太陽電池やWi-Fi
上の原公園	子ども	でこぼこしたのぼり口がある速いすべり台
上の原公園	おとな	父と娘/母と息子安心して使えるトイレが欲しい。
上の原公園	おとな	ミラーウォール（さびない、割れない）
上の原公園	おとな	監視カメラ
上の原公園	おとな	出入り口に防犯カメラが欲しい。
栗山公園	子ども	争いがない平和な公園
栗山公園	おとな	声をかけ合える公園
栗山公園	おとな	障がいがあってもなくても親も子どもも安心して楽しく過ごせる公園
栗山公園	おとな	障がい者にやさしい場所
栗山公園	おとな	車椅子やベビーカーでも動きやすい公園
栗山公園	おとな	広くて、明るくて、キレイなトイレが欲しい（子ども用も）。
栗山公園	おとな	簡単に外に出られない工夫、柵（ボールや小さい子）
栗山公園	おとな	緊急時・災害時助けになる場所
栗山公園	おとな	公園の一部に柵付きのエリア
栗山公園	おとな	大通りにすぐに出ないように。

(6) 交流に関する意見

- ・ 年代を超えて人と人がつながる場となることを望む意見が多く出されている。
- ・ 子どもの意見は少なく、大人の意見が多くなった。
- ・ 年代を超えて、声をかけあえる、お互いに顔がつながる場とすることを望む意見が多く出されている。
- ・ 子どもからは、人と一緒に遊べる（大人数でも使える）ことを求める意見がある。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	2	0	0	2	0
おとな	14	3	5	2	4
計	16	3	5	4	4

梶野公園	おとな	赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃんまで顔がつながる公園
梶野公園	おとな	みんなが声を掛け合える公園
梶野公園	おとな	ここに来れば誰かに会える。
三楽公園	おとな	こわいおじさん
三楽公園	おとな	遊び名人
三楽公園	おとな	地域の子どもたちと遊びたい（子供会で）。
三楽公園	おとな	いつも遊んでくれる人が欲しい。
三楽公園	おとな	盆踊り
上の原公園	子ども	5人乗れるソリ
上の原公園	子ども	制限人数なし、みんな同時に乗れる、大きいなトランポリンが欲しい。
上の原公園	おとな	おとなも一緒にいれるサイズの遊具
上の原公園	おとな	スタンプラリー（ウォーキングイベント）
栗山公園	おとな	声をかけ合える公園
栗山公園	おとな	地域のみんなで運営していける公園
栗山公園	おとな	障がいがあってもなくても親も子どもも安心して楽しく過ごせる公園
栗山公園	おとな	野外ステージ、楽器演奏、紙芝居できる場所が欲しい。

(7) 動物や植物に関する意見

- ・ 遊び、体験活動（学び）に樹木を中心とした自然とのふれあいを活かしたいという思いが感じられる。
- ・ 樹木のある公園、樹木を活かしたブランコなどを望む意見が、子どもからも大人からも複数出ている
- ・ エディブルガーデン（実のなる植物をいかした園庭）のように、実のなる木を楽しみたいという意見がある。
- ・ 昆虫や小動物とふれあえる場、犬と遊べる公園という意見もある。
- ・ 生き物に関する意見は、梶野公園と三楽公園で多く出されている。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	5	3	1	0	1
おとな	10	4	4	1	1
計	15	7	5	1	2

梶野公園	子ども	カブト虫
梶野公園	子ども	木を利用するブランコ
梶野公園	子ども	もっと木が欲しい。
梶野公園	おとな	たくさんの生き物に会える場所
梶野公園	おとな	みんな食べていい、いろいろな実のなる木
梶野公園	おとな	実がなる木
梶野公園	おとな	いろんながそのままあると木の良さを生かした遊びができる。木の枝を使って、ブランコをつくって遊ぶ。
三楽公園	子ども	かなへびとのふれあいの場
三楽公園	おとな	落葉のプール
三楽公園	おとな	自然を生かした遊具
三楽公園	おとな	木登りのできる木
三楽公園	おとな	シロツメクサが生えているような、土でない場所
上の原公園	おとな	小動物触れ合いコーナー
栗山公園	子ども	木とベンチがいっぱい、カメとネッシーが生息できる公園
栗山公園	おとな	ワンちゃんが遊べる公園

(8) ルールに関する意見

- ・ 焚火、火が使える公園を望む大人が多い。

- ・ 梶野公園と三楽公園で焚火をしたい、火を使いたいという意見が複数ある
- ・ その他、木になった実を皆で食べられるようにという意見、ボール遊びをしたい、犬と遊びたいという意見もあった

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	1	1	0	0	0
おとな	7	3	3	0	1
計	8	4	3	0	1

梶野公園	子ども	サッカーをしたい。
梶野公園	おとな	火が使いたい。
梶野公園	おとな	焚き火
梶野公園	おとな	みんな食べていい、いろいろな実のなる木
三楽公園	おとな	落葉で焼き芋を焼いて食べたい。
三楽公園	おとな	ボールが使える公園
三楽公園	おとな	焚火できる（焼き芋、豚汁）。
栗山公園	おとな	ワンちゃんが遊べる公園

(9) イベントに関する意見

- ・ 多様なイベントの要望があるが、既存の公園での開催が難しい内容が寄せられた。

- ・ 映画、お化け屋敷、運動会、盆踊りなど多様なイベント開催の要望が出された。しかし実際に開催するとなると大きな音が出るイベントが多く、既存の公園で行うことが難しいイベントが挙げられたと推察される。

	全体	梶野	三楽	上の原	栗山
子ども	1	2	0	0	0
おとな	4	0	2	1	0
計	5	1	2	1	0

梶野公園	子ども	映画上映、公園でスポンジポップを見たい。
梶野公園	子ども	化け屋敷
三楽公園	おとな	ミニ運動会
三楽公園	おとな	盆踊り
上の原公園	おとな	スタンプラリー（ウォーキングイベント）

5. 準備・運営作業

5.1 実施計画書の作成

実施計画書を作成した。

「みんなの公園会議」実施計画（案）

■ 会議（ワークショップ）の主旨

会議（ワークショップ）を通じて、子どもたちから現在の公園に対しての意見と、未来の公園に対しての思いを聞き取り、今後の公園施設整備の設計に反映させるための意見としてとりまとめるとともに、ワークショップ参加者の相互理解を促す。

■ 開催時間・場所

第1回目：12/16（土）9:30～11:30 梶野公園（雨天：区画整理課事務所）

第2回目：12/16（土）13:30～15:30 三楽公園（雨天：三楽集会所）※

第3回目：12/17（日）9:30～11:30 上の原公園（雨天：上之原会館）※

第4回目：12/17（日）13:30～15:30 栗山公園（雨天：マロンホール）

※三楽公園と上の原公園については、雨天時の会場が隣接していることから、状況に応じて野外でのWSを取り止め、屋内で開催することも検討する。

■ 参加人数

各公園で、最大30人程度（子ども、保護者含む）

■ 会議概要

会議は、大きく【前半】と【後半】を分けて行う。

【前半】は、参加者を3～4班程度の班に分け、ゲームしながら、参加者が現在感じている公園に対する思いを質問し、グラフィックファシリテーションの形式で意見をまとめる。

【後半】は参加者の自由創作の時間です。目下の公園でやりたいことや、あったら楽しいと思う事などを紙（ハガキ大のカードなど）に描いてもらう。紙に描いてもらった意見は、公園マップには貼り付けてもらい、各グループで出来上がった公園の地図にまとめ、それぞれの班で発表をしてもらう。

■ 受付

- ワークショップ開始20分前から受付を開始する。
- 受付時に、配慮が必要な事項と写真・動画撮影の協力の有無について確認する。
- 動画・写真の撮影に協力していただけない方には、目印となるシールを貼らせてもらう。
- 名前（ニックネーム）を書いてもらい、ネームフォルダに入れて首からかけてもらう。ネームフォルダは、班毎に違う色の紙を用意する。
- 参加のお礼のお土産については、受付時に手渡すと荷物になることから、ワークショップ終了時に渡すことを説明する。（お土産は袋に入れて1人1個渡す）

■ 会議の流れと想定時間（詳細は、別紙 WS 詳細スケジュール参照）

会議の前半が 55 分、休憩時間は 10 分、後半が 55 分、全体で 120 分の予定。

前半	開会挨拶 ・会議の大きな流れの説明と班分け	3 分
	自己紹介 ・各班に分かれて自己紹介（アイスブレイク） ・ゲーム的な要素を取り入れた自己紹介とし、質問カードを用い、遊びの要素を取り入れて行う。	10 分
	公園に対する思いを聞き出す・意見共有 ・子どもたちから、現在の公園に対して感じている思いを聞き出す。多様な意見を聞き出せるよう、事前に様々な質問を用意しておく。質問はカードに書いたものを準備し、子どもに引いてもらって答える形をとる。 ・聞き出した思いや意見は、グラフィックファシリテーションの形式で紙に書き出し、班の他の子どもの意見を班の中で共有する。	42 分
	休憩	10 分
後半	公園の未来像を描く ・未来の公園に対する思いや意見を聞き出す。質問は事前に用意しておき、内容を子どもに提示する。 ・思いや意見を表現する方法として、ハガキ大の紙等を用意し、そこに思いや意見を絵や文字で表現してもらう。	16 分
	みんなの公園マップを作る ・参加者に描いてもらったハガキ大の紙等を、公園マップに貼り付け、「みんなの公園マップ」を完成させる。	25 分
	発表（意見共有） ・各班で作成した「みんなの公園マップ」を、それぞれの班から発表してもらい、他の班でどのような意見があったのかを共有する。状況に応じ、前半で出た公園に対する思いについても発表し、他の班の子どもたちと意見を共有する。	10 分
	締めの挨拶 ・参加のお礼とともに、今後の先行事例視察や次年度のワークショップ等の予定を伝える。 ・アンケートについても案内し、回答・回収についてお願いする。	4 分
終了	お土産の配布	

	・アンケートと名札の回収に合わせ、お土産を配布する。	
	資機材の撤去→次の会場へ移動	

※保護者の方にも、同じテーマでワークショップを実施する

■ 配置イメージ（別紙 配置イメージ図参照）

- ✓ なるべく参加者全員が発言できるよう、各班はできるだけ小人数でグループを分ける。参加者が最大 30 名の場合、1 グループは 6～8 人程度とし、一か所の公園で最大 4 グループに分ける。1 グループに対し、スタッフ 2 名を配置する。配慮が必要な参加者がいる場合は、スタッフの配置を調整する。
- ✓ 参加者の保護者に対しては、子どものそばに居る必要のある方を除き、子どもたちと同様なワークショップを行ってもらふ。テーマは子どもたちと同じものとし、ワークショップの形態としては、意見等を付箋紙に書いてもらい、公園マップに貼り付けた後、意見交換を行う。ワークショップを通じ、保護者同士のコミュニケーションをできるだけ図ることとし、保護者同士の相互理解も深まるように配慮する。

■ 詳細内容

（キーワード：アートの要素を取り入れる、グラフィックファシリテーション）

1. 開会挨拶

参加者に挨拶し、会議の大きな流れを紹介する。ワークショップ参加に対するアンケートの回答をお願いする。

2. 自己紹介（アイスブレイク）

各班で、初対面の子どもたちがお互いに親しみを持ってもらい、これからの会議で発言しやすくするために、グループ内でゲームの要素を取り入れた自己紹介を行う。全員が名札にニックネームを書き、順番に自己紹介し、その時質問カードを引いて、カードの質問に答える。

3. 公園に対する思いを聞き出す・意見共有（各班）

各班で、子どもたちに現在の公園について感じたことや思い（下記）を言葉で発表してもらふ。子どもたちから出された意見や思いは、グラフィックファシリテーションの形で随時描きだし、子どもたちの意見を整理するとともに、相互理解の一助とする。現状に対する多様な意見を出してもらふよう、事前に以下のような質問を書いたカードを用意し、順番に引いてもらふ。グラフィックファシリテーションで描いた絵により、自分以外の多様な意見を共有する。

- 公園で楽しかったこと
- 公園の好きな場所
- 公園でワクワクしたこと
- 公園でおもしろかったこと

- 公園で嬉しかったこと
- 公園で悲しかったこと
- 公園で残念だったこと
- 公園で嫌だったこと
- 公園の嫌いな場所
- 公園で困ったこと
- 公園で怖かったこと
- 公園で助けてもらったこと etc.

4. 休憩・前半部分の結果共有（全体）

前半が終了後、10 分間の休憩をとる。休憩時間に、他の班でどのような意見が出たのか見に行ってみてもらいように案内する。

5. 公園の未来像を聞き出す

子どもたちに公園の未来像を自由に想像してもらうために、未来の公園について考えてもらったことをハガキ大の紙（※）に描いてもらう。未来の公園に対する多様な意見を出してもらいよう、事前に以下のような質問を用意しておく。

※ハガキ大の紙に描いてもらった絵はワークショップ終了後に持ち帰り保管しておき、上の原公園で予定されているトイレ外壁に貼り付けるタイルに印字する素材として活用することを想定する。他の公園での活用についても検討する。

- 公園でやってみたいと思うこと
- 公園にあったらいいと思う遊具
- 公園にあったらいいと思う場所
- 公園にあったらいいと思う物
- 公園でいっしょに遊びたいのは誰か
- 公園で挑戦してみたいこと etc.

6. みんなの公園マップを作る（アートの要素）

大きな模造紙に公園の図面を描いたものを用意し、子どもたちの思いを描いたカードをマップ上に貼り付けてもらう。カードについては、一人1枚だけでなく、複数のカードに描いてもらってもよい。マップそのものに絵を描くことも可能とし、子どもたちの表現したいことを、可能な限り描いてもらうよう配慮する。各グループ出来上がった公園マップをもとに、各班の中で、どのような思いや意見があったかを共有し、各班の中での相互理解を深める。

7. 発表（意見共有：全体）

各班で作成した「みんなの公園マップ」（アートの要素）を、それぞれの班から発表してもらう。（1班3分程度）他の班で、どのような思いや意見が出たのか、参加者の間で共有し、相互理解を深める。

8. 縮めの挨拶

WS への参加のお礼を述べるとともに、今後の先行事例視察やその後の実施予定のアンケート調査について、協力を依頼する。参加のお礼のお土産については、挨拶後に WS 参加に対するアンケートと名札の回収に合わせて参加者へ渡す（1 人 1 個：袋入りの農作物）

9. ワークショップに対するアンケートの実施

参加者に対して、ワークショップ自体に対するアンケート調査も実施し、参加者の満足度や進行等に対する意見をいただき、今後のワークショップの企画・運営に活かす。原則的に、その場で回答してもらって回収することとし、アンケート回収後に参加者の属性が把握できるように、アンケート用紙には通し番号を付記しておく。当日回答できない参加者の声を聞く手段として、アンケートのフォームを用意しアンケート用紙に QR コードを記載しておき、後日回答できるように配慮する。その際に、フォームに通し番号の記入欄を設けておき、紙アンケートと同様に属性を把握できるようにする。

アンケートの設問は、①ワークショップに参加された満足度（3 段階程度）、②次に同じようなワークショップがあったら参加したいか（2 択）、③その他自由意見（任意の文章記入欄）程度とする。

■ スタッフの人員配置

各会場とも、司会者 1 名、スタッフ 8 名の計 9 名の体制とする。全て弊社の社員で構成され、各班（最大 4 班想定）に 2 名ずつ配置して会を運営する。その他、動画撮影者を 1 名配置し、専属でワークショップの動画を撮影する。（合計 10 名の構成）

■ 備品リスト

✓ 会場設置

- ・ 長机（15 脚）、椅子（35 脚）、マイク、スピーカー（ハンドスピーカー）、デジカメ、「みんなの公園会議」を書いているのぼり旗 2 つ
- ※長机 10 脚とパイプ椅子 25 脚については、前日夕方に市役所から借り受ける

✓ 参加者へ配布するもの

- ・ 筆記用具（ブロッキー 8 本セット、サインペン、鉛筆、ネームプレート、4 色の名札カード、白い画用紙ハガキ大のカード、グループ分け用紙、大型付箋三色、配慮が必要な目印等）
- ・ ワークショップ参加に対するアンケート用紙

✓ WS用の資料

- ・ 参加者名簿（各会場別）
- ・ WSスケジュール（A0サイズ・ブラデン貼り付け）
- ・ A0サイズの公園マップ4枚（前半）
- ・ A0サイズの公園マップ4枚（後半）
- ・ 質問カード（自己紹介用）
- ・ 質問カード（前半）
- ・ 保護者用アンケート
- ・ プレゼント（JAにてコーディネート中）
- ・ 「受付」を書いているA3紙（受付の机に貼り付け）
- ・ 「〇班」を書いているA4紙4枚（三角に織り、各班の机に置く）



5.2 募集

(1) 募集期間

募集期間は 2023 年 12 月 1 日（金）から 2023 年 12 月 13 日（水）までとした。

(2) 募集方法

1) 小金井市ホームページ

募集要項を作成し、小金井市のホームページに掲載した。

募集要項は、日本語、英語、中国語、韓国語の 4 か国語で作成した。（次頁に掲載）

2) チラシ配布

参加者募集のチラシを作成し、以下のように市内の小中学校で配布した。

■小学校生徒数とチラシ配布数

学校名	通常学級	特別支援学級	全生徒数	配布数
小金井第一小学校	724	17	741	770
小金井第二小学校	578	24	602	630
小金井第三小学校	876		876	910
小金井第四小学校	606		606	630
東小学校	820	17	837	870
前原小学校	619		619	640
本町小学校	576		576	600
緑町小学校	738		738	770
南小学校	602		602	630
計	6,139	58	6,197	6,450

■中学校生徒数とチラシ配布数

学校名	通常学級	特別支援学級	全生数数	配布数
小金井第一小学校	724	17	741	770
小金井第二小学校	578	24	602	630
小金井第三小学校	876		876	910
小金井第四小学校	606		606	630
東小学校	820	17	837	870
前原小学校	619		619	640
本町小学校	576		576	600
緑町小学校	738		738	770
南小学校	602		602	630
計	6,139	58	6,197	6,450

(参考) 募集要項

■日本語版

「みんなの公園会議」参加者募集要項

■目的：みんなが過ごせる公園にするために、みんなの意見を聞く、「みんなの公園会議」を行います。

■募集対象：3歳～高校生までの子どもとその保護者
(小学校3年生以上は、子どもだけの参加も可能です)

■募集期間：12月1日(金)～12月13日(水)まで

■開催日時・会場

日付	時間	公園	雨天の場合	募集人数(先着)
12/16(土)	9:30～11:30	桃野公園	区画整理課事務所	30名
12/16(土)	13:30～15:30	三楽公園	三楽集会所	30名
12/17(日)	9:30～11:30	上之原公園	上之原会館	30名
12/17(日)	13:30～15:30	栗山公園	マロンホール	30名

■参加申し込み方法
右の二次元コードもしくは、次のURLから申し込みサイトにアクセスして申し込んでください。

URL: <https://forms.gle/P96Dh1QnYQp2MQQK8>

■その他
・手話通訳者、英語、中国語、韓国語の話せるスタッフが参加します。
・その他、参加に際してなんらかの配慮が必要な方は、参加申し込み時に教えてください。事前に相談させていただきます。
・当プログラムの連絡先については、参加される方に12月14日ごろまでにご連絡させていただきます。

■参加者の方へ
市内で収穫された季節の農作物をプレゼントにします。



■英語版

"Our Park Conference" Application Guidance

■Conference Purposes: To improve our life quality and daily experience with nearby parks, we are eager to hear your voices. We will take your advice seriously into the next stages for producing better future park experiences for kids and everyone.

■Participants' Requirements: from three year-old kids to high school teenagers, including their parents
(※Primary students of third grade and above may participate individually).

■Application Period: December 1st (Fri.) - December 13th (Wed.), 2023.

■Conference Schedule

Date	Time	Park Name	Alternative Location in Case of Rainy Day	*Maximum of Participants (by people)
Dec.16 th Sat.	9:30～11:30	Kajino Park	Land Readjustment Division Office	30
Dec.16 th Sat.	13:30～15:30	Sanraku Park	Sanraku Meeting Place	30
Dec.17 th Sun.	9:30～11:30	Uenohara Park	Uenohara Assembly Hall	30
Dec.17 th Sun.	13:30～15:30	Kuriyama Park	Maron Hall	30

*The principle is "first-come-first-served". Admission will be closed sooner after applicants are beyond 30.

■Application Method
Please scan the QR code at right, or apply by accessing the website below:
(URL: <https://forms.gle/P96Dh1QnYQp2MQQK8>)



■Others
・Our staff, who are familiar with sign language, English, Chinese, and Korean, are here to provide help.
・For participants who need assistance due to disability or other reasons, please inform us before applying.
・About the details of programs and contact information on the dates, we will inform the participants no later than December 14th, 2023.
■ To Our Participants
We will send participants fresh local vegetables or fruits as PRESENTS!!!

■中国版

「大家的公园会议」参与者招募指南

■目的：为了让大家享受到一个舒适的公园，我们将召开“大家的公园会议”，听取大家的意见。

■招募对象：3岁至高中生的孩子及其监护人
(小学3年级以上的孩子可以单独参加)

■招募期间：12月1日(星期五)至12月13日(星期三)

■举办日期和地点

日期	时间	公园	雨天时的会场	招募人数(先到先得)
12/16(星期六)	9:30～11:30	桃野公园	区划整理课事务所	30人
12/16(星期六)	13:30～15:30	三乐公园	三乐集会所	30人
12/17(星期日)	9:30～11:30	上之原公园	上之原	30人
12/17(星期日)	13:30～15:30	栗山公园	东小金井站开设纪念馆	30人

■报名方式
请扫描右側的二維碼或访问以下网站进行申请。
URL: <https://forms.gle/P96Dh1QnYQp2MQQK8>

■其他
・参加本次活动的工作人员可以提供手语翻译和会说英语、中文、韩语的帮助。
・如果您有特殊的需求，请在申请时告知我们，我们会提前与您协商。
・活动的内容和当天的联系方式，我们将在12月14日前后通知您。

■致参与者
我们将赠送本市收获的时令蔬果作为礼物。



■韓国語版

「모두의 공원 회의」참가자 모집 요강

■목적: 모두 함께 지낼 수 있는 공원으로 만들기 위해 모두의 의견을 모으는 「모두의 공원 회의」를 실시합니다.

■모집 대상: 만 3세~고등학교까지의 어린이와 그 보호자
(초등학교 3학년 이상은 보호자 없이도 참여하실 수 있습니다.)

■모집 기간: 12월 1일(금)~12월 13일(수)까지

■개회 일시 및 회장

날짜	시간	공원	후원처 장소	모집인원(전라소)
12/16(토)	9:30~11:30	카지노 공원	구좌경리과 사무소	30명
12/16(토)	13:30~15:30	삼라주 공원	삼라주 일회소	30명
12/17(일)	9:30~11:30	우에노하라 공원	우에노하라 회관	30명
12/17(일)	13:30~15:30	구리아다 공원	마론 홀	30명

■참가 신청 방법
요원쪽 QR 코드 또는 아래의 URL을 통해 신청 사이트에 접속해 신청하시면 됩니다.
URL: <https://forms.gle/P96Dh1QnYQp2MQQK8>



■기타
・수화 통역사, 영어, 중국어, 한국어가 가능한 지원이 가능합니다.
・그 외, 참가 시에 특수한 배려가 필요한 분은, 참가 신청 시에 알려 주시면 미리 상담해 드리겠습니다.
・달력 프로그램 및 연락지는 참가하시는 분께 12월 14일까지 연락 드리겠습니다.

■참가하시는 분들께
시내에서 수확된 계절 농산물을 선물로 드립니다.

こどもたちあつまれ〜!!

こうえんかいぎ みんなの公園会議

12/16 (土)
9:30 ~ 11:30 かじの 梶野公園
13:30 ~ 15:30 さんらく 三楽公園

12/17 (日)
9:30 ~ 11:30 うえ はら 上の原公園
13:30 ~ 15:30 くりやま 栗山公園



みんなが思っていることを教えて!

さんかしゃ ぼしゅう きかん
参加者募集期間: 12/1金 ~ 12/13水

さんかしゃ かた しない しゅうかく きせつ のうさくぶつ
参加者の方へ: 市内で収穫された季節の農作物をプレゼント

みんなが過ごせる公園にするために、みんなの意見を聞く、 「みんなの公園会議」を行います。

募集対象

3歳～高校生までの子どもとその保護者
(小学校3年生以上は、子どもだけの参加も可能です)

募集期間

2023年12月1日(金)～12月13日(水)まで

参加申し込み方法

右の二次元コードもしくは、次の URL から申し込みサイトに
アクセスして申し込んでください。

URL : <https://forms.gle/s4LySejhGS3WbdZJ9>



日付	時間	公園	雨天の場合	募集人数(先着)
12/16(土)	9:30～11:30	梶野公園	区画整理課事務所	30名
12/16(土)	13:30～15:30	三楽公園	三楽集会所	30名
12/17(日)	9:30～11:30	上の原公園	上之原会館	30名
12/17(日)	13:30～15:30	栗山公園	マロンホール	30名

そのほか

- ①手話通訳者、英語、中国語、韓国語の話せるスタッフが参加します。
- ②そのほか、参加に際してなんらかの配慮が必要な方は、参加申し込み時に教えてください。事前に相談させていただきます。
- ③当日のプログラムや連絡先については、参加される方に12月14日ごろまでにご連絡させていただきます。



【問い合わせ】

小金井市 環境部 環境政策課 緑と公園係

電話：042-387-9860 メール：s040199@koganei-shi.jp

【委託先】パシフィックコンサルタンツ株式会社 総合プロジェクト部 環境デザイン室 担当者：松田
メール：koganei_kodomoasobiba@tk.pacific.co.jp

(3) 申し込みフォームの作成

インターネット上に、申し込みフォームを以下のように作成した。

申し込みフォームは日本語、英語、中国語、韓国語の4か国語対応とした。

1) 申し込みフォーム 日本語版

「みんなの公園会議」参加申し込み			
保護者が参加します。			
セクション 1 基本情報			
1	必須	選択	参加したい公園を選んでください。
			・梶野公園（かじのこうえん） 12月16日 9:30～11:30
			・三楽公園（さんらくこうえん） 12月16日 13:30～15:30
			・上の原公園（うえのはらこうえん） 12月17日 9:30～11:30
			・栗山公園（くりやまこうえん） 12月17日 13:30～15:30
2	必須	記入	電話番号
3	必須	記入	メールアドレス
4	任意	記入	住所
セクション 2 参加される人のことを教えてください。			
1	必須	記入	お名前
2	必須	記入	ふりがな
3	必須	記入	年齢
4	必須	選択	障がい等によりなんらかの配慮が必要な方は教えてください。
			・あり
			・なし
		記入	・その他
5	任意	記入	障がいの種類を教えてください。
6	必須	選択	他に、一緒に参加する人はいますか。
			・はい、います。
			・いいえ、参加者は以上です。
セクション 3～4 はセクション 2 と同様			
セクション 5 申し込み者以外の参加される方のことを教えてください。 5人以上で場合には、2回にわけて申し込んでください。			
1	必須	記入	お名前
2	必須	記入	ふりがな
3	必須	記入	年齢
4	必須	選択	障がい等によりなんらかの配慮が必要な方は教えてください。
			・あり
			・なし
		記入	・その他
5	任意	記入	障がいの種類を教えてください。
セクション 6 下記の内容をお読みいただき、十分に理解をされた上でお申し込みください。			
1	必須	選択	■個人情報保護について

			ご記入頂いた個人情報に関しては、本事業のみで取り扱い、第三者に開示することはございません。ただし、万が一事故等による緊急対応が必要な場合、個人情報を使用させて頂くことがございます。
			会議中にお子様の写真・動画等の撮影を行い、事業の記録等に使用する場合がありますので、予めご了承ください。写真・動画等の撮影及びその使用を拒否する場合は、本申込み最後の自由記入欄に必ず記入してください。記入が無かった場合、写真・動画等の撮影に同意いただいたものとさせていただきます。
			・了解しました。
2	必須	選択	■お子様の安全確保について
			会議の参加者は、全員、団体保険に加入致します。
			お子様が怪我をされた場合や、病気が疑われる場合は、速やかに医療機関へ連絡をいたします。
			<u>お子様に持病等がある場合は、必ず本申込み最後の自由記入欄に記入してください。保護者様の付き添いや持病のお薬の持参など必要な対応を行ってください。</u>
			会議開催時には、市販薬や救急用品を用意しておりますが、医薬品等の服用補助行為等を行うことができませんので、ご了承ください。
			・了解しました。
3	必須	選択	■免責事項について
			会議の会場への往復の移動中は、保護者様の責任においてお子様の安全を確保してください。移動中の事故トラブル等について、当社に故意または重過失がある場合を除き、その責任を負うことができません。
			当社は、会議において、参加者またはその保護者との相互の間で、及び参加者またはその保護者と第三者との間で生じた一切のトラブルに関して、当社に故意または重過失がある場合を除き、責任を負うことができません。
			当会議の参加にあたり個人の持ち物は自身で管理してください。
			・了解しました。
4	必須	選択	■設備の損傷について
			参加者が、故意又は過失により設備等に損傷を与えた場合はその修理費等を負担していただく場合があります。
			・了解しました。
5	必須	選択	■会議の中止について
			やむをえない理由により会議の開催日時の変更や、会議を中止する場合がありますので、ご了承ください。
			・了解しました。
セクション7 ご自由記入してください。			
1	任意	記入	なんらかの配慮が必要なことがあれば、具体的に記入してください。
2	任意	記入	参加にあたって不安に思うことや疑問に思うことがあれば、こちらにご記入ください。

2) 申し込みフォーム 英語版

"Our Park Conference" Application Form			
Note: Participants also Include Children's Parents			
セクション 1 basic information			
1	必須	選択	Please choose the park on the day that you would like to visit from below:
			•Kajino Park, 9:30-11:30, December 16th (Sat.), 2023
			•Sanraku Park, 13:30-15:30, December 16th (Sat.), 2023
			•Uenohara Park, 9:30-11:30, December 17th (Sun.), 2023
			•Kuriyama Park, 13:30-15:30, December 17th (Sun.), 2023
2	必須	記入	Cellphone
3	必須	記入	E-mail
4	任意	記入	Home Address
セクション 2 : Please inform us of your simple backgrounds			
1	必須	記入	Name
2	任意	記入	Furigana
3	必須	記入	Age
4	必須	選択	Do you need any help in case of disability or for any other reasons?
			•Yes, I do.
			•No, I don't.
		記入	•Others (Please write down):
5	任意	記入	Please write down the types of disability:
6	必須	選択	Is there anybody else who would like to participate with you as well?
			•Yes.
			•No, just me.
セクション 3 ~ 4 はセクション 2 と同様			
セクション 5 Would you like to inform us of the person who will come along together? (A form can be maximumly applied by 5 people. In case of more than 5 people, the rest of applicants must apply by using another form.)			
1	必須	記入	Name
2	任意	記入	Furigana
3	必須	記入	Age
4	必須	選択	Please let us know if you require any accommodation due to disability.
			•yes, I have.
			•no, I haven't.
		記入	•others
5	任意	記入	Please let us know the type of disability:

セクション 6 Please read carefully and fully understand the information below before applying.			
1	必須	選択	■About personal information protection The personal information you provide will be handled solely by this business and will not be released to third parties. However, in the unlikely moment to deal with accidents or for emergency response, personal information may be used. Please note that photos and videos of children may be taken during the conferences and may be used for business records. If you would not like to be taken photographs, videos, etc., please make sure to note it in the space at the end of this application form. In the case of without notice from the participant, we will assume that you have given consent to the usage of photos, videos, etc. taken in the conferences. •I understand.
2	必須	選択	■About ensuring the safety of children All conference participants will be covered by group insurance. If your child is injured or suspected of being ill, we will contact a medical institution immediately. <u>If your child has a chronic illness, please be sure to write it down in the free entry field at the end of this application.</u> Please take necessary measures, such as having a guardian accompanied or bringing medication for chronic illnesses with your belongings. At the time of the conference, we will have over-the-counter medicines and first aid supplies available. However, please note that we will not be able to encourage or to give any advice for taking any medicine without proper instructions/prescriptions from a medical staff. •I understand.
3	必須	選択	■About disclaimer Parents are responsible for ensuring the safety of their children during transportation to and from the conference venue. We are not able to take any responsibility for accidents or troubles during the transportation unless there is intentional negligence on our part. The Company will not take responsibility for any trouble that arises between participants or their guardians, or between participants or their guardians and third parties at the conference unless there is intentional negligence on our part. Please take care of your personal belongings while participating in the conference.

			・I understand.
4	必須	選択	■ Regarding equipment damage
			If a participant damages equipment, etc. intentionally or negligently, the participant may be required to pay for the repair costs.
			・I understand.
5	必須	選択	■ Regarding cancellation of the meeting
			Please note that the date and time of the meeting may be changed or canceled due to unavoidable reasons.
			・I understand.
セクション 7 Please feel free to fill in.			
1	任意	記入	If you need any accommodations or assistance, please write down with details.
2	任意	記入	If you have any concerns or questions regarding the conference participation, please write them down.

3) 申し込みフォーム 中国語版

“ 大家的公园会议 ”参加申请			
监护人陪同参加。			
セクション1 基本信息			
1	必須	選択	请选择想参加的公园。
			・梶野公园 12月16日 9:30~11:30
			・三乐公园 12月16日 13:30~15:30
			・上之原公园 12月17日 9:30~11:30
			・栗山公园 12月17日 13:30~15:30
2	必須	記入	手机号码
3	必須	記入	邮箱
4	任意	記入	住址
セクション2 请告诉我们参会人员的信息。			
1	必須	記入	姓名
2	任意	記入	平假名
3	必須	記入	年龄
4	必須	選択	如果您因残障而需要任何帮助, 请告诉我们。
			・我需要帮助
			・我不需要帮助
		記入	・其他
5	任意	記入	可以告诉我们残障的类型吗。
6	必須	選択	还有其他人参加吗。
			・有
			・没有
セクション3 ~ 4はセクション2と同様			
セクション5 请告诉我们除申请人之外的参会人员。如果1次的申请人数超过5人, 请您分两次填写该表。			
1	必須	記入	姓名
2	任意	記入	平假名
3	必須	記入	年龄
4	必須	選択	如果您因残障而需要任何帮助, 请告诉我们。
			・我需要帮助
			・我不需要帮助
		記入	・其他
5	任意	記入	可以告诉我们残障的类型吗。
セクション6 请在提交申请前阅读并充分理解以下内容。			
1	必須	選択	■关于个人信息保护
			您提供的个人信息将由本项目负责人单独处理, 不会透露给第三方。但是, 万一发生事故而需要紧急对应时, 可能会使用个人信息。敬请谅解。

			会议期间可能会拍摄您和孩子的照片和视频等，用于工作内容记录等。 <u>如果您不希望被拍摄，请务必在本申请表的末尾注明。</u> 如果您并未注明，我们将视为您已同意拍摄。
			・我已经了解了。
2	必須	選択	■关于保障孩子的安全
			我们为参会人员购买了团体保险。
			如果您的孩子受伤或疑似患病，我们将立即联系医疗机构。
			<u>如果您的孩子患有慢性病等，请务必在本申请的末尾注明。并且请采取监护人陪同、携带慢性病药物等必要措施。</u>
			活动期间，我们将提供非处方药和急救用品。但是我们无法提供服药等帮助，敬请谅解。
			・我已经了解了。
3	必須	選択	■关于免责事项
			请监护人确保孩子在往返会议场地时的交通安全。除非主办方的重大过失，否则主办方不会对往返过程中的事故等负责。
			除非主办方的重大过失，主办方对参会者或其监护人之间、参会者或其监护人与第三者之间发生的任何纠纷不承担任何责任。
			请参会者自行保管好携带的财物。
			・我已经了解了。
4	必須	選択	■关于损坏设备
			如果因参会者故意或过失损坏设备，参会者可能需要支付维修费用。
			・我已经了解了。
5	必須	選択	■关于活动终止
			如果发生不可避免的原因，本次活动的日期和时间可能会更改或取消。
			・我已经了解了。
セクション7 请告诉我们您的需求			
1	任意	記入	如果您需要帮助，请告诉我们。
2	任意	記入	如果您对本次活动有任何顾虑或疑问，请告诉我们。

4) 申し込みフォーム 韓国語版

「모두의 공원 회의」 참가 신청서			
보호자가 참가함			
섹션 1 기본 정보			
2	필수	선택	참가를 원하는 공원을 선택해주세요.
			・梶野公園(카지노 공원) 12 월 16 일 9:30~11:30
			・三樂公園(산라쿠 공원) 12 월 16 일 13:30~15:30
			・上の原公園(우에노하라 공원) 12 월 17 일 9:30~11:30
			・栗山公園(쿠리야마 공원) 12 월 17 일 13:30~15:30
3	필수	기입	전화번호
4	필수	기입	이메일 주소
5	임의	기입	주소
섹션 2 참가하시는 분의 정보를 알려주세요.			
1	필수	기입	성명
2	필수	기입	후리가나
3	필수	기입	나이
4	필수	선택	신체 장애 등으로 인해 특별한 배려가 필요한 경우, 알려주세요.
			・있음
			・없음
		기입	・그 외
5	임의	기입	신체 장애의 종류를 알려주세요.
6	필수	선택	그 외, 함께 참가하시는 분이 있으신가요?
			・네, 있습니다.
			・아니오, 참가자는 더 없습니다.
섹션 3~4 는 섹션 2 와 같음			
섹션 5 신청자 이외에 참가하시는 분의 정보를 알려주세요. 5 인 이상일 경우, 2 회로 나누어 신청해 주시기 바랍니다.			
1	필수	기입	성함
2	필수	기입	후리가나
3	필수	기입	나이
4	필수	선택	신체 장애 등으로 인해 특별한 배려가 필요한 경우, 알려주세요.
			・있음
			・없음
		기입	・그 외
5	임의	기입	신체 장애의 종류를 알려주세요.
섹션 6 아래 내용을 잘 읽어보시고, 충분히 확인하신 후에 신청해주시기 바랍니다.			
1	필수	선택	■개인정보 보호에 관하여
			기입하신 개인정보에 관해서는 본 사업내에서만 취급하며, 제 3 자에게 공개하지 않습니다. 단, 불의의 사고 등에 의한 긴급 대응이 필요한 경우, 개인정보가 이용되는 경우가 발생할 수 있습니다.

			회의중에 자녀분의 사진 및 동영상 등의 촬영이 이루어져 사업의 기록 등에 이용되는 경우가 있으므로, 미리 양해 바랍니다. 사진 및 동영상 등의 촬영과 그 이용을 거부하시는 경우에는, 본 신청서 끝부분에 있는 자유기입란에 반드시 기입을 부탁드립니다. 기입하지 않으신 경우, 사진 및 동영상 등의 촬영에 동의해 주신 것으로 간주하겠습니다.
			•확인했습니다.
2	필수	선택	■자녀분의 안전 확보에 관하여
			회의 참가자는 전원 단체 보험에 가입됩니다.
			자녀분이 부상을 당하거나 질병이 의심되는 경우, 신속하게 의료기관에 연락하겠습니다.
			자녀분께 지병 등이 있는 경우에는 반드시 본 신청서 끝부분에 있는 자유기입란에 기입해 주시기 바랍니다. 보호자의 동반이나 약품 등의 지참 등, 필요한 대응을 부탁드립니다.
			회의 개최시에는 일반 약품과 구급용품이 준비되지만, 의약품 등의 복용 등을 도와드릴 수는 없으므로 미리 양해 바랍니다.
			•확인했습니다.
3	필수	선택	■면책사항에 관하여
			회의장 왕복 이동 중에는 보호자의 책임하에 자녀분의 안전을 확보하여 주시기 바랍니다. 이동중에 발생하는 사고, 트러블 등에 대해서, 당사의 고의 또는 중과실이 있는 경우를 제외하고는 그 책임을 지지 않습니다.
			당사는 회의에서 참가자 또는 그 보호자와의 상호간 및 참가자 또는 그 보호자와 제 3 자간에 발생한 일체의 트러블에 관하여, 당사에 고의 또는 중과실이 있는 경우를 제외하고는 책임을 지지 않습니다.
			본 회의 참석시, 개인 소지품은 직접 관리하시기 바랍니다.
			•확인했습니다.
4	필수	선택	■설비 손상에 관하여
			참가자가 고의 또는 과실에 의해 설비 등에 손상을 주었을 경우, 그 수리비 등을 부담해야 하는 경우가 있습니다.
			•확인했습니다.
5	필수	선택	■회의의 중지에 관하여
			부득이한 사유로 회의의 개최 일시 변경 및 회의 취소가 발생할 수 있으므로 양해 바랍니다.
			•확인했습니다.
섹션 7 자유롭게 기입해 주세요.			
1	임의	기입	특수한 배려가 필요한 경우, 구체적으로 기입해주세요.
2	임의	기입	참가에 관하여 불안을 느끼는 요소나 의문 등이 있으신 경우, 여기에 기입해주세요.

(1) しおりの作成

みんなの公園会議

第1回ワークショップ開催概要

目次

1. 企画概要
2. ワークショップ当日 (AM・PM) 試演スケジュール
3. 施設紹介 (公園内・三茶会館・上ノ原会館)
4. 試演イメージ (公園内・三茶会館・上ノ原会館)
5. アーブルの準備 (千代しね・おとなね)
6. 自己紹介 (千代しね・おとなね)
7. 公園に対する思いを聞き出す (千代しね・おとなね)
8. 体験・動き回りの結果発表 (全体)
9. 公園の未来像を描く (千代しね・おとなね)
10. みんなの公園マップを作る (千代しね・おとなね)
11. 施設「意見共有」(全体)
12. 順の挨拶など

1. 会場概要

会場（ワークショップ）を通じて、子どもたちが現在の公園に対しての意見と、未来の公園に対しての思いを聞き取り、今後の公園整備計画の検討に反映させるための意見としてとりまとめることにし、ワークショップ参加者の意見発表を行います。

■ 開催時期・場所

第1回目：12/16（土）9:30-11:30秋祭公園（南支：区畜産課事務所）
第2回目：12/16（土）13:30-15:30定本公園（南支：区畜産会館）＊
第3回目：12/17（日）9:30-11:30定本公園（南支：区畜産会館）＊
第4回目：12/17（日）13:30-15:30豊山公園（南支：区ロケットパーク）
定本公園と上の図の赤線部分の公園は、南支の公園整備計画で、年内に完成予定の公園です。
定本公園と上の図の赤線部分の公園は、年内に完成予定の公園です。

■ 参加人数

第1回目：12/16（土）9:30-11:30秋祭公園 14名
第2回目：12/16（土）13:30-15:30定本公園 14名
第3回目：12/17（日）9:30-11:30定本公園 14名
第4回目：12/17（日）13:30-15:30豊山公園 20名

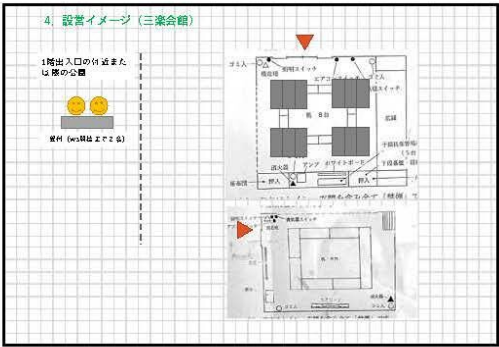
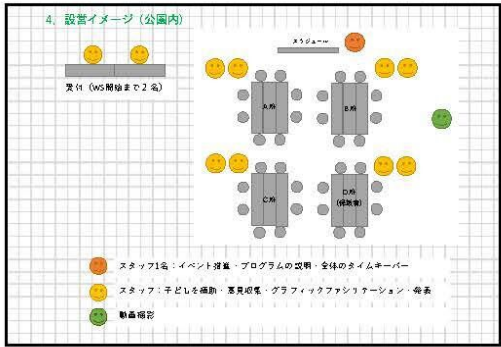
1. 会議概要

会場は、大きく【前半】と【後半】を分けて行う。

【前半】は、参加者を3~4桁程度の班に分け、自己紹介して、ゲームしながら、参加者が現在感じている公園に対する思いを質問し、グラフィックフロンティエーションの形式で意見をまとめる。

【後半】は参加者の公園の未来像を描く時間です。目下の公園でやりたいことや、あったら欲しいと思う事などを紙に書いてもらう。紙に書いてもらった意見は、公園マップに貼り付けられ、各グループで出来上がった公園の地図にまとめる。それぞれの場で発表をしてもらう。

[illegible][illegible]



4. 設置イメージ（上ノ原会館）

1階出入口の隣
または隣の公園



5. テーブルの準備イメージ（子ども班）



テーブル上：
① A3サイズの公園マップ2枚
② 大きいマーカーペン2セット
③ 旗のマーカーペン1セット
④ サインペン10本
⑤ 旗を巻いている旗
⑥ ネームプレート 30個
⑦ 名札用紙8枚
⑧ 自己紹介用質問カード

ダンボール箱内：
① 名札用紙5枚ぐらい
② 前半用質問カード
③ 後半用質問カードを巻いているA3サイズの旗
④ ハガキ
⑤ 宛先したもの
⑥ その他の備品

ダンボール箱

5. テーブルの準備（おとな班）



テーブル上：
① A3サイズの公園マップ2枚
② 大きいマーカーペン2セット
③ 旗のマーカーペン1セット
④ サインペン10本
⑤ 旗を巻いている旗
⑥ ネームプレート 30個
⑦ 名札用紙8枚
⑧ 自己紹介用A3サイズの旗
⑨ 付箋 5枚、ブルー1個

ダンボール箱内：
① 名札用紙5枚ぐらい
② 前半用質問カード
③ 後半用質問カードを巻いているA3サイズの旗
④ ハガキ
⑤ 宛先したもの
⑥ その他の備品

ダンボール箱

6. 自己紹介

- ・ 会前、前列並の子どしちがお互いに顔しを待ってしらい、これからの会場で会しをすくするたに、自己紹介をす。
- ・ 会前が会しにニックネームをきき、順番に自己紹介し、その時、質問カードをきいて、カードの質問にきえる。

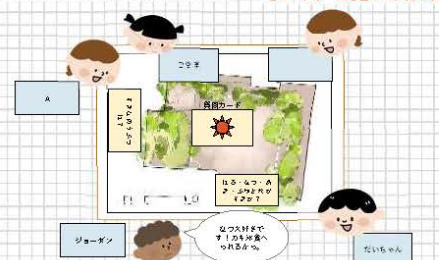
質問リスト（3種類の質問を順番にきく）

1. すきなべしのは？
2. すきなどうづつは？
3. こいしとあしうしのは？
4. どんなスポーツがすき？
5. はる・なつ・あき・ふゆどれがすき？
6. さいきんうれしきことは？
7. さいきん、どのようなことであつたか？
8. さいきんどこにあそびにいったか？
9. いつらどこであそびにいったか？
10. いまいちばんはしいものは？
11. タイムマシーンがあつたらいつにいたい？
12. さいきんがつかえたらなにをすきたい？
13. とべるとしたらどこへとんでいきたい？

6. 自己紹介のイメージ（子ども班）

※スタッフさんと子どもと一緒に自己紹介をす。

①ニックネームをきいて、掛ける



②質問カードをきいてきえる

6. 自己紹介（おとな班）

- ・ 保護者同士の交流を促進するため、保護者たちも自己紹介をす。
- ・ 簡単な質問カードをテーブルに用意してあそびます。

①ネームプレートに名前をきいて、首に掛ける



②自己紹介

7. 公園に対する思いを聞き出す・意見共有（子ども班）

- 各組で、子どもたちに現在の公園について感じたことや思いを言葉で発表してもらいます。
- 子どもたちから出た意見や思いは、グラフィックファシリテーションの形で最終版までし、子どもたちの意見を整理するとともに、他班理解の一助とします。
- 現状に対する多様な意見を出してもらうよう、事前に以下のような質問を書いたカードを用意し、順番に聞いてもらいます。
- グラフィックファシリテーションで描いた絵により、自分以外の多様な意見を共有します。

質問リスト

1. たのしかったこと
2. すみなげなこと
3. アツクだったこと
4. おもしろかったこと
5. うれしかったこと
6. だまされたこと
7. かなしかったこと
8. がんばったこと
9. いやだったこと
10. いやなげなこと
11. こまったこと
12. このかったこと
- etc.

グラフィックファシリテーション完成イメージ

7. 公園に対する思いを聞き出す・意見共有（子ども班）

点・算・算・算でプラス・マイナス・その他の意見を示します。

子どもの意見を文章で書いてもらいます。

具体的な場所に対する意見があれば、番号をご記入ください。

グラフィックファシリテーション完成イメージ

7. 公園に対する思いを聞き出す・意見共有（子ども班）

- * スタッフは、子供たちが自分の意見を多く出すよう工夫する必要があります。
- * 一人のスタッフは子供たちを導き、しるう人のスタッフは意見を聞くことに専念します。

①子どもは質問カードを引く

②スタッフは子どもの思いを聞き出す

③グラフィックファシリテーション

グラフィックファシリテーション完成イメージ

7. 公園に対する思いを聞き出す・意見共有（おとな班）

- 保護者の班は子どもの視点と自分自身の視点を区別するため、子どもの班と同じ質問リストを使用します。
- 回答の際には異なる視点を示すために違う色の付箋を使います。

①保護者は質問を選んで、自分の回答を書く

②スタッフは思いを聞いて、付箋を張り付ける

グラフィックファシリテーション完成イメージ

8. 休養・前半部分の結果共有（全席）

- 前半が完了後、10分間の休養を取ります。
- 休養時間に、他の班でどのような意見が出たのを見に行ってみてもらうように案内します。
- * A-C班各席に1名スタッフを配置します。

グラフィックファシリテーション完成イメージ

9. 公園の未来像を描く（子ども班）

- 子どもたちに公園の未来像を自由に想像してもらうために、未来の公園について考えてもらったことをハガキ大の紙に書いてもらいます。
- * カードについては、一人1枚だけでなく、複数のカードに書いてもらってほしいです。
- * ハガキの裏面に絵を描くことも可能とし、子どもたちの希望したいことを可能な限り描いてもらうよう促します。
- 未来の公園に対する多様な意見を出してもらうよう、事前に以下のような質問を用意しておきます。

グラフィックファシリテーション完成イメージ

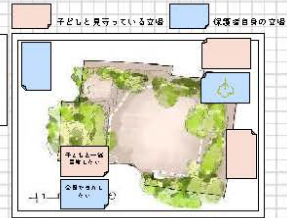
9. 公園の未来像を描く（おとな班）

- ・保護者ら公園の未来像を描きます。
- ・保護者の班は子どもの視点と自分自身の視点を区別するために、子どもの班と別に質問リストを使用しますが、回答の際には異なる視点を示すために違う色の付箋を使います。

質問リスト：

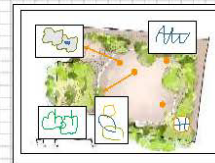
1. やってみたいと思うこと
2. あったらいと思う設備
3. あったらいと思う場所
4. あったらいと思う物
5. いっしょに遊びたいのは誰か
6. 情報してみたいこと

etc.

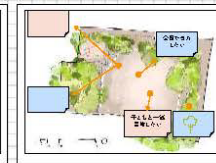


10. みんなの公園マップを作る（全体）

- ・大きな横並びに公園の図面を貼いたしを制作し、子どもたちの思いを貼いたカードをマップ上に貼り付けていきます。
- ・各グループ出来上がった公園マップをしとに、各班の中で、どのような思いや意見があったかを共有し、各班の中での意思疎通を図ります。



完成イメージ（A～D区）



完成イメージ（D区）

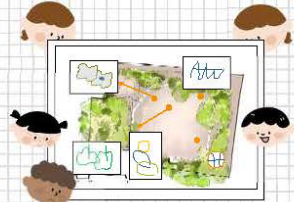
11. 発表（意見共有：全体）

- ・班ごとに各自で作成した「みんなの公園マップ」をそれぞれの班から発表していきます。
- ・他の班で、どのような思いや意見が出たのか、参加者の場を共有し、相互理解を図ります。

*保護者の班は発表しません。

*子どもたちは発表して、スタッフは子どもの発表を補助します。

*なるべく感想します。



12. 締め挨拶など

■ 締めの挨拶

- ・105への参加のお礼を述べるとともに、今後の**先行事例検証型**やその後の**実証型**のアンケート調査について、協力を依頼する。

■ ワークショップに対するアンケートの依頼

- ・参加者に対して、ワークショップ自体に対するアンケート調査も実施し、参加者の満足度や進行等に対する意見をいただき、今後のワークショップの改善・運営に活かします。
- ・随時、その場での感想を記入してもらって回収することとします。
- ・当日回答できない参加者の声を聞く（希望として、アンケートのフォームを用意しアンケート用紙に**QRコード**を記載してあり、後日回収できるように配慮する。

■ お土産を渡す

- ・参加のお礼のお土産については、抽選で105参加者に対するアンケートと**お礼の図紙**に**合わせて**参加者へ渡します。（1人1個：お礼の図紙）

(2) 会場掲示物等の作成

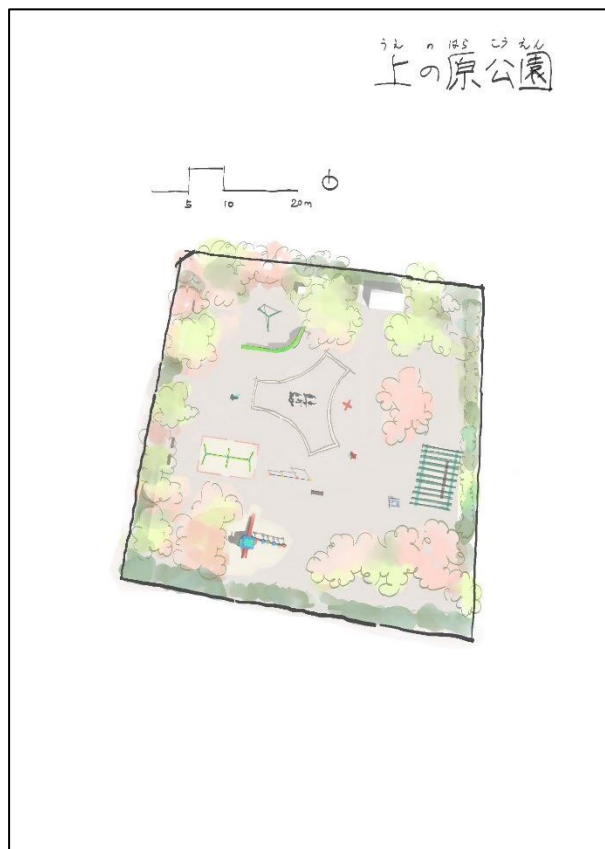
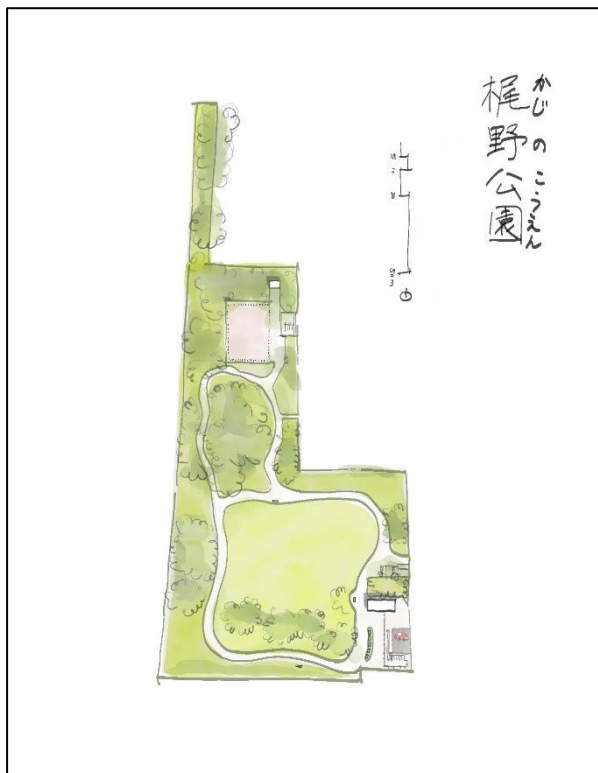
1) 次第の作成

参加者のための次第を作成し、会場に掲示した。



2) 公園マップの作成

グループワークで用いる公園マップを作成した。AO サイズで作成し、テーブルの上に広げて、参加者の意見交換に利用した。



3) 登りの作成

「みんなの公園会議」開催場所の目印として登りを制作した。



会議現場で飾っている様子

【巻末資料】実施事業の報告

2. みんなの公園会議・事例視察

目次

1. 実施概要	1
1.1 実施目的	1
1.2 開催日時と参加人数	1
1.3 プログラム内容	1
2. 実施結果	2
2.1 世田谷区立羽根木公園（1 月 27 日午前）	2
2.2 砧公園（1 月 27 日午後）	8
2.3 練馬こどもの森公園（1 月 28 日午前）	18
2.4 都立府中の森公園（1 月 28 日午後）	25
3. 視察結果の分析	31
3.1 参加者意見の分析	31
3.2 利用者ヒアリング	38
3.3 施設管理者からの説明から	41
4. 準備・運営作業	46
4.1 実施要項の作成	46
4.2 募集	52
4.3 当日資料	66

1. 実施概要

1.1 実施目的

インクルーシブデザインや、こどもの居場所・遊び場に配慮して先行的に整備された近郊の公園に伺い、多様な子どもたちを受け入れる公園の整備や運営、実際の利用のされ方等を、実際に「見て体感すること」を通じ、誰もが楽しく過ごせる公園づくりについて、参加者が「考え・気づきを得ること」を目的とする。

また、視察ツアーを通じ、参加者同士のつながりが生まれることで、相互理解を促し、今後の整備実施に向けた足がかりのひとつとなることを目指す。

1.2 開催日時と参加人数

開催日時と参加人数

公園名	実施内容	実施日	参加人数	
			こども	おとな
羽根木公園	プレーパーク体験	1/27(土)8:30～17:30	5人	5人
都立砧公園	インクルーシブ遊具広場体験			
練馬こどもの森公園	プレーパーク体験	1/28(日)8:30～17:30	4人	4人
都立府中の森公園	インクルーシブ遊具広場体験			

1.3 プログラム内容

(1) 移動中のバス内での趣旨・視察のポイント説明（バス車内）

インクルーシブな遊び場づくりとはなにか、何故必要なのかを説明し、留意点についても説明。

(2) 公園の整備・運営に関係する職員・からの解説（現地）

実際に、施設の整備や運営に関わっている職員やスタッフから整備、運営の目的や苦労、課題として感じている点など、インクルーシブな遊び場にするために工夫していることについて聞く。

(3) 公園職員・スタッフへのインタビュー体験（現地）

参加した子ども自身が、公園職員・スタッフに対し、公園整備や運営に関する疑問を直接聞く。

(4) 視察先の公園での広場・遊具体験（現地）

実際に遊び、広場や遊具を体験し、遊びやすいのか、楽しいのかを素直に感じてもらう。

2. 実施結果

2.1 世田谷区立羽根木公園（1 月 27 日午前）

(1) 公園管理者からの説明の概要

最初に公園管理者の方から説明を受けた。

概要は以下のとおりである。

- ・ 羽根木プレーパークは、世田谷区が子どもたちのやりたいことを実現できる場所を地域ごとに提供するため、自然体験型の遊び場として創られた場所の一つ。
- ・ この場所は行政が主導したものではなく、地域住民が子どもたちを自由に遊ぶ場を作りたいという思いから生まれた。
- ・ 本来は常設のものではなかったが、1979 年の国際児童年を契機に、世田谷区が子どもたちの健全な発達を考慮し、この場所を常設化した。
- ・ 羽根木プレーパークは日本初のプレーパークであり、「自己責任で遊ぼう」という考え方や「やりたいことを尊重する」ことを重視しながら、木登りや穴掘りができるような、自由に遊べる場所だ。
- ・ 見守りのスタッフは地域住民であるボランティアであり、「世話人」と呼ばれる。
- ・ 地域に住む子どもたちが遊んでいるだけでなく、地域住民が子どもの成長発達を支援する仕組みを構築した。
- ・ スタッフたちは、子どもたちに自然に関わり、遊び方を教えたり、手助けしたりする。
- ・ 基本的には、子どもたちが自分で遊びを感じることを大切にしている。

(2) 視察状況

視察の写真を以下に整理した。



住民企画イベント



リーダーハウス



焚火可能なエリア



登れる屋根



工作コーナー



スロープで作ったブランコ

(3) 参加者意見（レポート）

参加者が視察を通して感じたこと等をレポートに記載していただいた。
レポートから得られた主な意見を以下に整理した。

■ こども

自由な遊び方や、いろいろな体験ができることを楽しんでいた。

■ おとな

個人間・組織単位、子ども同士、近隣住民など様々な方と繋がり。
自然の中で遊ばせたく、危険でも良いが、自由な遊び方が良いと思う。

提出された意見の詳細は、以下のとおりである。

1) こどもの意見

- ・ 屋根の上に登れて楽しかった。アニメでは見たことあるけれど、自分がいざ登ると何回も登りたくなりました。
- ・ 釘刺しを初めてやってみた。釘刺しは五寸釘を地面にたたきつけて刺す遊びです。なかなか刺さらないものだとプレーワーカーの方はおっしゃっていました。
- ・ 大人商店街の米美人さん。お米を使ったアクセサリーを売っていました。巫女の姿がとてもきれいだったのが印象的でした。
- ・ 自由に遊べるプレーパーク。自分の好きなことができて、本当の自分になれる場所だと思いました。プレーパーク最高。

2) おとなの意見

- ・ 木の根っこがむき出しでデコボコした地面を走ったり、廃材に釘を打ったり、のこぎりで切ったりと、自然の中で土や木に触れて遊ぶことができました。
- ・ うれしくて、楽しくて、広い斜面を登ったり下ったり転んだりして、全身が土砂まみれになりました。
- ・ 昔ながらの遊びや木登りも楽しそうでした。
- ・ プレーパークは、アウトドア好きな親子が楽しめそうだなと感じました。
- ・ 自然に触れて、危険を伴いながらも、自ら遊びを生み出すことで、生きる力が育まれる場所だと思います。
- ・ インクルーシブに関しては、プレーパークが掲げている「自分の責任で自由に遊ぶ」というのは身体障がいがあるお子さんには高い木や屋根に登りたくても不可能ですので、遊びは限られてきてしまうだろうと感じました。
- ・ 健常児との差を感じてしまわないかなとも思いました。
- ・ 娘は、プレーパークを出たところにある、迷路やトンネルや棒の通路を、何度も行ったり来たりを繰り返し楽しんでいました（小金井の公園にはないもの）。迷路では私達以外にも楽しんでいる親子がいて、親子で遊べるのでコミュニケーション取れていいなと思いました。

- ・ プレーパークでは野外保育園の園庭にも使われているとのことで、初めて訪れると、どうい
うところなのだろうと仕組みがよくわからず入り込みづらい雰囲気、遊ぶのに躊躇してし
まいました。
- ・ 自分で川づくりをしている子がいて、素敵だなと思い見ていましたが、一緒におられるのが、
親子なのか、保育園の子と先生なのかは分かりませんでした。
- ・ 自然の中にある公園。
- ・ 小金井市の学芸大のプレーパークと似ている。
- ・ 親が積極的に子どもの遊びに関わっている。
- ・ 土曜日はとても人が多い。
- ・ 月曜日が休みのため学校の振替休日で遊べないのは残念。
- ・ 子どもの自発性に合わせた遊びの提供。
- ・ 幅広い年齢の子どもが遊べる環境。
- ・ 危険行為があるため、インクルーシブな遊び場ではあるが障がい（知的・発達）がある子に
は見守りが必要だと感じた。
- ・ 顔が見える・対等。
- ・ 環境的に車イスは難しい。
- ・ 世話人の福島さんに伺ったところ、障がいをお持ちの方も定期的にいらっしゃって楽しんで
いるそうです。
- ・ 人をつなげる存在がいる。
- ・ 様々な繋がりがそこにある。
- ・ 個人間の小さな繋がり・助け合い。大人だけでなく子ども同士でも、こども商店街では特に
見られる。
- ・ 組織単位の大きな繋がり、「プレーパーク」が大切な場所であるという共通認識。
- ・ 配慮の必要な人との関わり（特別支援学校の子が遊びに来る、支援の必要な子の子育てに疲
れた親子が見守ってくれる協力者を得る）。
- ・ 雑居まつり：公園、市民、プレーパーク、光明学園（特別支援学校）色々な人が関わる。

(4) 現地利用者ヒアリング

現地で、利用者にヒアリングを行った。

1) ヒアリング対象者

- ・ 対象人数：2 人
- ・ 来園方法：2 人とも徒歩 30 分～40 分
- ・ 同行者：2 人とも親子での利用であった

2) 伺った意見

■ 他の公園と違うと思うこと

- ・ 子どもは自分でやりたいこと、遊びたいことができる。
- ・ 他の公園より自由度が高い。
- ・ 他のプレーパークより広いため、大きな声を出しても近所に迷惑をかけることを心配せず楽しめる。

■ この公園の良いと思うところ

- ・ プレーワーカーから怪我のケアをしてもらえる。
- ・ 近所の住民の間で交流ができ、平日に声を掛けて、考え方を伝えている。
- ・ 園内が広く、施設と遊具（滑り台、鉄棒など）が充実している。
- ・ イベントが多い（花見、梅まつりなど）。最低限のルールを守れば皆楽しめる。
- ・ 夏の水遊び場が人気：自分で土を堀り、ビニールシートを使用することで、じゃぶじゃぶ池を作れる。
- ・ 子どもが自主的に遊具を創造できる。
- ・ 他の公園より広く、自由に遊べる。
- ・ 近所にあり、来園が便利（昼食後遊び、来園ピクニックなど）。
- ・ イベントが豊富。

■ よくないと思うところ、改善点など望むこと

- ・ 子ども一人での来園の場合、通り道で交通ルールを守れるかが心配。
- ・ 小さい子どもを近くで見守らなければいけないが、親はベンチなどで座れるところが少ない。
- ・ 園内の案内が不明確、トイレが遠いので小さい子には不便。
- ・ 多目的トイレを設置してほしい。
- ・ 今の公園の運用は自由度の高い遊びができ、幅広い来園者に対応している。しかし、今のプレーワーカーがいなくなった時にこれまでと同じ活動が維持できるか心配。
- ・ プレーパークは市から許可を得ることが難しい。
- ・ 手作り遊具について、小さい子は身体能力的に作れない遊具が多い。
- ・ 初めて来園する親子が慣れるように理解と工夫が必要。
- ・ 公園内にお弁当を買える場所がない。
- ・ 公園が遠い。

- ・ 手作り遊具が経年劣化した場合、捨てるのかリニューアルするのか迷う。遊具の後始末は難しいのではないかと心配。
- ・ 木が多いところは「雑」と感じられる。荒々しい自然と、整える場所をバランスよく作ればよいと思う。

2.2 砧公園（1月27日午後）

(1) 公園管理者からの説明の概要

最初に公園管理者の方から話を伺った。

説明の概要は以下のとおりである。

1) 公園を囲んでいるフェンス

- ・ 設置して初めの時には、これはバリアだと思う人がいたが、4年間を経て、フェンスがあることで安心して子どもをこの中で遊ばせられるという声に変わった。
- ・ フェンスは白いが、目の不自由な方のため、3つの出入口の扉は別の色で表示されている。色のみならず、扉に小さい鈴が掛けてある。
- ・ フェンスがあると、入りにくいという声もあるが、出入口に「0歳から300歳まで、だれでも、どうぞ」と書いてあり、お年寄りも連れてきやすい雰囲気を作っている。

2) 遊具について

- ・ 転んでも怪我しないように、ゴムチップ舗装を設置した。
- ・ シーソーも、ユニバーサル遊具であり、幅を広げて保護者と一緒に乗ることができる。
- ・ 車いすの子どもでも遊べる楽器遊具を設置している。
- ・ インクルーシブに配慮したブランコは人気であり、混んでいる時期には、列が遊具を一周するほどになる。
- ・ 夏場の気温を下げるために、樺の木を植えている。切り株シェルターというクールダウンできるスペースを設け、木陰で誰でも休憩できるようにしている。
- ・ 保護者が子どもを見守れる場所に、回転遊具を設置してある。この遊具の一番良いところは、列が一行にならないところ。遊具を回ると同時に子どもは自由に出入りができる。
- ・ 遊具が出来上がった際に、高学年の子どもは速いスピードで回したが、小さい子が弾かれた様子を見た後、スピードを落としたことで、遊びのルールが自然に生まれていき、現在はどんな年齢の子どもでも遊べるようになった。

3) 公園の設備にもインクルーシブに配慮する

- ・ 園路の柱の周囲にある緩衝材について、視覚障がいの親子の声を取り入れて、高い位置まで巻くことにした。
- ・ 子供連れの家族でも気持ちよく過ごせるように、夏場はよしずで影を作る。
- ・ 車いすでも入れるように複合遊具には幅広いスロープが付いている。
- ・ ここは元々がアスレチック遊具広場だったが、整備するにあたり、ユニバーサルデザイン以外の遊具は、公園内の他の場所に移した。

4) 連携について

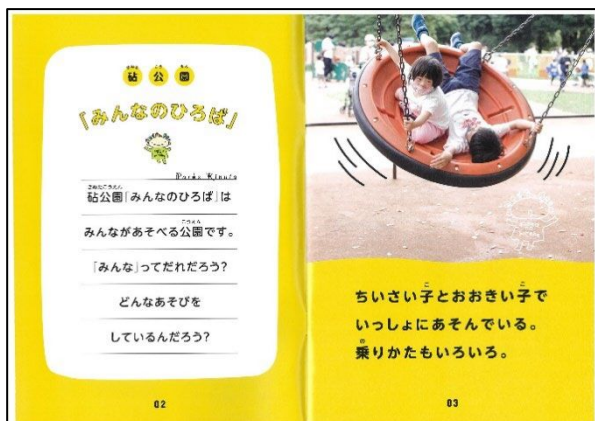
- ・ 隣には国立成育医療センターがあり、重度障がいを持つ子どもでも遊ぶことができ、うれしそうに笑顔を見せた。
- ・ 元々は9時開園だが、現在は8時開園で、障がいを持つ子どもの優先時間を設けている。

- ・ この近くで活動する支援団体グループ「arTeaTreaT」はアートワークショップを開催し、春と秋に毎年２回行っており、隣の世田谷区区民ギャラリーを借りて子どもたちの作品を展示したりしている。
- ・ 公園側も子どもとのつながりが欲しいので、活動と同じ日に花の種を植えたりしている。

5) イベントについて

- ・ 世田谷区を中心にインクルーシブの概念を知っていただくため、３月１７日と３月２０日をインクルーシブスペシャルデーとし、様々な関係団体がイベントを開催している。
- ・ ３月１７日は遊びの日に設定し、「ねむの木広場」で様々な体験型の遊びを準備して、誰でも遊んでもらえるようにしている。
- ・ ２０日は音楽の日であり、広場をステージにして、様々なパフォーマンスをしている。

(2) 公園からの提供資料



砧公園「みんなのひろば」



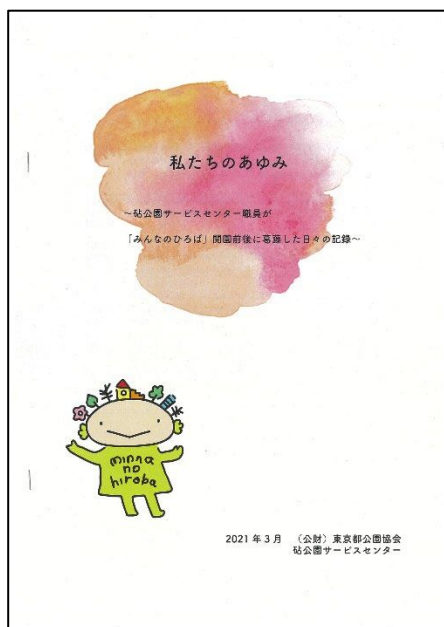
砧公園「みんなのひろば」に行ってみよう



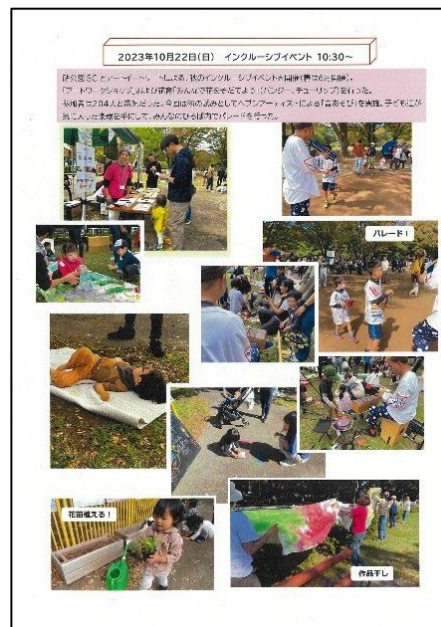
砧公園遊具設置工事に関する資料



みんなの広場の案内資料



インクルーシブイベントの紹介資料



みんなのひろば開園前の記録

(3) 視察状況



二人で乗れるシーソー



写真展と花壇コーナー



横になっても楽しめるブランコ



迷路を遊んでいる子ども



多年代の子どもが遊べる回転遊具



参加者が説明を聞いている様子

(4) 参加者意見（レポート）

参加者には、視察終了後にレポートを提出していただいた。

主な意見を以下に整理した。

■ こども

- ・ インクルーシブ遊具は小さい子が遊びやすいが、大きい子は遊びにくいという感想があった。
- ・ 梶野公園に設置するインクルーシブ遊具は、お皿型ブランコがよいという意見があった。

■ おとな

- ・ 園路や柵を認識しやすい色など設備の整備より、障がいを持つ子及び、一般の子の安全を守ることができるという感想が最も多い。
- ・ 遊具が沢山あって嬉しいが、遊具エリアは混雑しており、障がいを持つ子の利用に懸念を持っている。
- ・ 何歳の方でも利用できるが、家庭ごとに遊んでいる印象があり、交流が生まれるかについて懸念を持っている。

提出された意見の詳細は、以下のとおりである。

1) こどもの意見

- ・ 小さい子などが遊びやすいインクルーシブ遊具。小さい子などは遊びやすいが、大きい子は遊びにくそうだった。
- ・ 梶野公園に置いたらよさそうなものはお皿型ブランコだと思った。

2) おとなの意見

- ・ 「0歳から300歳までだれでもどうぞ！」と書かれた看板がかけられていました。
- ・ 周りは柵で囲まれており、小さい子や認知症、その他行動に不安のある方でも安心して遊べる空間でした。
- ・ 地面にはゴムチップ舗装がされており、回転遊具から振り落とされても平気でした！
- ・ 羽根木のプレーパークとは真逆で、作り込まれた公園だと思いました。
- ・ ケガや事故のリスクを減らすための工夫がされていて、安心感があります。
- ・ 地面はクッション性に優れたゴムチップ舗装、アスファルト部分は滑りにくい樹脂系舗装で、これらの境界にはほとんど段差がなく、車いすやバギーもスムーズに移動できるようになっていて、仰向けが楽な人や赤ちゃんのために、寝そべることができる幅広のベンチが設置されていました。
- ・ 車いすユーザーも一緒にテーブルを囲める設計や、広場全体をフェンスで囲うことで子どもの急な飛び出しや動物の侵入などを防ぐ工夫が見られました。
- ・ 日除けはあるが、ほとんど日差しを遮れておらず、アスファルトの照り返しも考えると夏場は辛いと感じました。その点、自然が多い羽根木のプレーパークがよいと感じました。
- ・ 娘が広場へ行く途中、落ち葉を足踏みしたり、葉っぱのシャワーを浴びたりして楽しんでい

ました。

- ・ 広場に到着してからは、まるで遊園地かのような景色で、遊具が沢山あり、親の私も子供心をくすぐられ娘と共にワクワクした気分になりました。
- ・ 後半では遊具遊びではなく、枝や葉っぱなどを集めてごっこ遊びを楽しんでいました。
- ・ 遊具も自然遊びも好きです。
- ・ 一緒に参加されていた小学生のお姉さんは羽根木のプレーパークを楽しんでいたのも、砧では幼児向けで物足りなかったようです。
- ・ 出入口の扉の色を変えている。
- ・ 柵で公園（遊具）を囲んでいる。
- ・ 地面にゴムチップが埋めこまれていてやわらかい。
- ・ 子どもたちが自由に遊ぶのを保護者が見守れる。
- ・ 開閉時間があり、きちんと管理されていて安心感がある。
- ・ 誰もが安心して遊べる公園。
- ・ パニックがおこった時の落ち着く場所（きりかぶシェルター）があるのがとても好感がもてます。
- ・ 特別な配慮が必要な子どもの保護者は周りに気を使うことが多いため、オープン 1 時間前に遊べる時間設ける取り組みはとてもいいと感じた（知り合いにも定型発達の子と同じ場所を共有する勇気がもてないと聞いたことがあるため）。
- ・ 知的障がいがある人とのトラブル例もとても参考になりました。不審者と感じる気持ちもわかり身構えてしまうので、お互いが気持ちよく過ごせるようスタッフが見守って頂けるととてもありがたいです。
- ・ 大型幼児遊具としての利用が多く混雑。
- ・ 低年齢の子どもが多い。
- ・ 家庭ごとに遊んでいる印象。
- ・ 懸念（音の鳴る遊具：聴覚過敏の子）。
- ・ 懸念（雑踏の中：自閉スペクトラム症）。
- ・ 懸念（混雑する遊具：車イスの子、移動傾向など）。
- ・ 果たして、配慮の必要な子が遊びたい時に利用できる状況になっているのか。
- ・ 障がいのある子どもとない子供が一緒に利用していたとき、どのような配慮が生まれるのか。生まれないのか。
- ・ インクルーシブ遊具自体を否定する訳ではないが、設置するだけでは「インクルーシブ」な社会に繋がっていかないように強く感じた。
- ・ 一つのツールとして、どのように人と人を繋げていくか道筋を示していくことがより大切
- ・ 選択できる場がたくさんあることも大切。
- ・ センター長からは、車いすの方でも楽しめるように遊具の通る道の幅を広げる、認識しやすい色を使う、などの工夫を行っていると言いました。

3) 世田谷区立羽根木公園と砧公園の共通意見

- ・ 私たちが公園の趣旨をよく理解して利用することが大切だと思いました。
- ・ 小金井市立公園の遊具導入が楽しみです。
- ・ セキュリティー面。
- ・ 今回、スタッフの方々が子ども達を見守ってくださっていたおかげで、親も子ものびのびと安心できました。
- ・ 離れていても見守りやすく安心でき、親も子ものびのび楽しい、頭も体も使える遊び場。
- ・ 両方の良さを取り入れた公園があると嬉しいです。
- ・ 地面は、クッションでなく土に触れさせてアーシングさせたいです。
- ・ 遊具は、極力天然の木を使った遊具で SDGs を意識し環境にも優しい環境作り。
- ・ ツリーハウスも憧れます。（未就園児～高学年までの高さがあると楽しめますね。）
- ・ 公園の夏と言えば、日陰は欲しいけど公園選びの理由として、蚊が沢山出るところを避けるママさんが多いです。私達親子は刺されやすい体質なので、日陰が多い公園はなるべく避けています。
- ・ 砧公園にあった切り株の中に椅子があるのものも休憩ができていいなと思いました。
- ・ 吹き抜けじゃなければ暑さも凌げるなと思いました。
- ・ 子どもは秘密基地など隠れられる場所が好きなので、日除けにもなるしいなと思いました。
- ・ ごっこ遊びが好きな子もいるので家やお店の形もいいなと思います。
- ・ 今回このイベントに参加したのはインクルーシブな遊び場に興味があったからです。
- ・ インクルーシブという言葉にまだ馴染みがなくこれを機会に勉強したいと思っています。
- ・ また子どもとの思い出作りもかねていました。
- ・ コロナ禍が子どもの遊びに大事な 3～5 歳の時期に重なり、コミュニケーションが苦手になっていると感じていました。
- ・ 私自身仕事柄いろんな公園へ行く機会もあり、特別な配慮が必要な子との関わりを持つ機会もよくあります。
- ・ また児童発達支援施設や放課後デイサービスともご縁があり、みんなで一緒に過ごす場所が大事とは知りつつ難しさも実感しております。
- ・ その為時間に配慮があることもある砧公園はとてもよい取り組みだと感じました。
- ・ インクルーシブといってもすべてを最初から出来るわけではないので、お互いを知る機会がもてるイベントも素敵だと思いました。
- ・ 順番を待つことや、気持ちのコントロールが苦手な子（を持つ保護者）にとっても気兼ねなく過ごせる場所があることは孤立を防ぐことにもつながるのではと思います。
- ・ 周りと比べてしまうことでとても落ち込むことがあると聞くので、心が癒せるインクルーシブな公園が出来ることを願っています。
- ・ そして羽根木公園でも伺ったように官民との話し合いが常にできる場を持ちつつ、アップデートしていける公園が小金井にも出来ればと思います。
- ・ お隣の武蔵野市（や杉並区）はアスレチック系の遊具がある公園も多いので、個人的にはそういう公園、またはボール遊びが出来る柵付きの公園もあれば、ボールだけではなく衝動的な飛び出しなどある子（や保護者）も安心できるのではと思います。
- ・ 丘は体幹が弱い子供にとって、踏ん張る力がつくので、小さな子どもにもいいのかなと思い

ます。

- ・ どんな子どもたちにも安全にかつ楽しんでもらえる公園が出来ることを願っています。
- ・ 子どもと一緒にこういった機会を設けて下さりありがとうございました。
- ・ 小金井市が沢山の人に愛される街になりますように微力ではありますが協力できたこと嬉しく思います。
- ・ 屋根の上に登れて楽しかった。アニメでは見たことあるけれど、自分がいざ登ると何回も登りたくなりました。
- ・ 釘刺しを初めてやってみた。釘刺しは五寸釘を地面にたたきつけて刺す遊びです。なかなか刺さらないものだと言っていた方はおっしゃっていました。
- ・ 大人商店街の米美人さん。お米を使ったアクセサリーを売っていました。巫女の姿がとてもきれいだったのが印象的でした。
- ・ 自由に遊べるプレーパーク。自分の好きなことをできて、本当の自分になれる場所だと思いました。プレーパーク最高。
- ・ 小さい子などが遊びやすいインクルーシブ遊具。小さい子などは遊びやすいが、大きい子は遊びにくそうだった。
- ・ 梶野公園に置いたらよさそうなものはお皿型ブランコだと思った。

(5) 現地での参加者ヒアリング

現地で、参加者にヒアリングを行った。

1) ヒアリング対象者

ヒアリング対象人数：2人

2) ヒアリングした意見

■ この公園を見てどう思われたか

- ・ 遊具が充実している。
- ・ 公園には遊具が充実しているが、自分で創造できる遊び方が少ないため、高学年の子どもにとっては物足りなく、既製品の遊具で遊ぶのは楽しくない。
- ・ 人が混雑し、知っている友達がいないので、どこからどう遊ぶか迷う。
- ・ 砧公園が広く、特にインクルーシブな遊び場で小さい子どもが遊びやすい。
- ・ 砧公園（公園全体）が広い。インクルーシブな遊び場を囲んでいる高い木も多く、自然の雰囲気が良い。
- ・ ゴミ箱を設置してほしい。
- ・ 障がいのある人たちがこの公園を見て行きたくなるのか疑問である。インクルーシブのことを頑張って整備しているのに、障がいのある利用者を見かけなかったのは何か問題があるのではないのでしょうか。障がい者はどんな時でも来られるとは思いにくく、ここは賑やかすぎて、他人の目線に気にするからかも知れない。
- ・ 遊具は小さい子向けのほうが多くて、年齢層が限られてしまう。高学年の子がここで遊ぼうとすると、小さい子に配慮してしまう。
- ・ プレーパークは自分の能力で遊び方を選んで、みんなの遊び場のイメージだと感じるけど、ここはみんなの遊び場だと感じない。
- ・ 障がいのある子のために、隣の医療福祉保健センターの先生が仕組みを作って、障がいを持つ子どもたちを連れて来て、遊具の遊びではなく、芝生に寝転んだりして、ちょっと体が動けるだけでも遊びになる。
- ・ お互いに声をかけられるのはインクルーシブだと思うが、ここはまだそのような雰囲気は生まれえないと感じる。

■ 小金井にこういう公園を作ることについて、どう思うか

- ・ 遊具のルール作りは難しいと思う。
- ・ 梶野にはこのような遊具は望ましくない。

(6) 現地利用者ヒアリング

現地で、利用者にヒアリングを行った。

1) 利用者の情報

- ・ ヒアリング対象人数：5 人
- ・ 同行者：5 人とも親子の利用であった

2) ヒアリング意見

■ 他の公園と違うと思うこと

- ・ 珍しい遊具が多く、他の公園では見られないタイプの遊具が充実している。
- ・ 車いすでも遊べる遊具がある。
- ・ 砵公園（公園全体）が広く、インクルーシブ遊具も多く、充実して遊ぶことができる。
- ・ 公園が家の近くにあって便利。
- ・ 遊具が多い。

■ この公園の良いと思うところ

- ・ 障がいを持つ子どもが外で遊べるスペースが広い。
- ・ 遊具が大きく、さまざまな使い方ができる。
- ・ 年齢層の違う子どもたちが一緒に遊べる。
- ・ ベビーカーを使っている、不便を感じない。
- ・ 近隣の他の公園よりも遊具が多い。

■ よくないと思うところ、改善点など望むこと

- ・ 安全のため、遊び方のルールを明確に設定してほしい。（例：滑り台で逆流しないように等）
- ・ 人で混雑しているため、障がいのある子どもは遊べなくなる。普通の子どもと競争しなくても遊べるように、順番を守るルールを明確に設けたい。（例：5 人で一緒に遊ぶ・5 分待つ等）
- ・ 障がいのある子どもへ理解を持っていただきたい、遊べる機会を譲り合ってほしい。
- ・ 屋根のあるスペースがあればいいと思う。
- ・ 遊具が非常に人気で、混雑していることが多い。
- ・ もっと広いスペースがあれば良いと思う。

2.3 練馬こどもの森公園（1月28日午前）

（1）公園管理者からの説明の概要

最初に公園管理者から説明を受けた。

概要は、以下のとおりである。

- ・ 練馬こどもの森は「PLAY TANK（プレイタンク）」が運営管理している。
- ・ 農園があることがこの公園の特徴である。ここではキウイ、ウメやカキを植えていて、みんなで遊ぶことができることが特徴である。
- ・ こどもの森のコンセプトは都会の中で畑や自然に触れるということだが、内容的には冒険遊び場である。
- ・ 小さい子から大きい子まで誰でも遊ぶことができる。乳幼児のために、午前中はちびもりタイムとなり、公園の一部分をちびっ子エリアとしている。
- ・ 園内の土は雨でぬかるむドロでなく、少し雨が降ったとしても歩きやすいように、ぬかるまない土も入れた。
- ・ 遊びに慣れない子がどう遊んだらいいのわからなくなっても、遊びの道具を用意したり、プレーリーダーと一緒に遊んでくれたり、遊び始めるためのきっかけを作ることができる。
- ・ 馴染めない子がいたら、他の子と遊べるようにプレーリーダーは必ず声をかける。木工コーナーや工作コーナーがあり、子どもは遊びたいが、手が出しにくい時に、プレーリーダーが手伝ってくれる。
- ・ 冒険遊び場は子どもの居場所であり、子どもの声を聴いて反映することや、不登校の子を受け入れることなどができる。
- ・ 子どもの森を作った時には上記のような効果を考えず、ただ「誰でも楽しく遊ぶ」、「遊ぶことで人と人がつながっていく」という考えだったが、プレーリーダーが子どもたちと遊ぶことで、良い効果となった。
- ・ 地域の方との関わりも深く、農家さんが高齢のため来られなくなった時、地域の方が自発的に農園のボランティアとして立ち上がり、一緒に農園の活動を行うようになった。
- ・ 園内に虫コーナーがあり、虫について詳しい管理者がいる。暖かい季節になると様々な生き物が見られる。
- ・ この地域にプロフェッショナルな技術や知識を持つ人がいたら、こどもの森の活動に加わってもらい、遊びを盛り上げる活動をしてもらっている。

(2) 公園管理者からの提供資料

こどもり新聞

発行：PLAY PARK 令和5年(2023年)11月
 発行所：松島区児童センター2階2号 松島区内小中学校から
 発行：9月～17日(12月～2月)
 発行：9月～17日(12月～2月)
 ※12月29日～1月3日まで、
 当年度最終版のため印刷です。

無料

カントリー！
 ドロケイ
 ドッチボール

布ぐるぐるまき
 ひみつち

冬がきた！
 こどもりで遊べば
 ポカポカさ！

たき火スタート!!

炭ぼっくり
 キラビー
 焼き板
 焼き

土をほる
 しっぽとり

KODOMORI EVENT

「毎月、第2・4日曜日」は勝負が熱い!!!

第2日曜日
 13:00～14:00
 14:00～16:00
 【参加費】無料
 【持ち物】なし(手ぶらでOK)
 ※マイバレーを履いて大会に出てもいいよ。

第4日曜日
 13:00～14:00
 14:00～16:00
 【参加費】無料
 【持ち物】なし(手ぶらでOK)
 ※全員こどもりのくまをいただきます。

達人と遊ぼう!

昔遊び
 12月2日(土)・3日(日)
 10:00～16:00 ※雨天中止
 対象：誰でも
 参加費：無料

火つけ
 12月9日(土)・16日(土) 13:00～15:30
 対象：こどもりでたき火経験の少ない1～6年生
 参加費：無料

遊びに来るときは
 こどもの服装は、服装中いつでも構ってOK。
 お金はかかりません。
 汚れてもいい服や靴で来てね。お替えもあるといいよ。
 なくなったら出る大事なものは、持ってこないでね。

松島区立こどもの森 TEL: 03-5999-6200
 Web: kodomo-kodomonen.com Instagram: kodomo_kodomonen

提供資料の一部（こどもり新聞）

(3) 視察状況



園内の農地



どろだんご道場となる管理棟



リサイクルの布で作った吊り床



着替えができる場所



土を遊べるエリア



自由に組合せる道具

(4) 参加者意見（レポート）

参加者には、視察終了後にレポートを提出していただいた。

提出された意見の詳細は、以下のとおりである。

1) こどもの意見

- ・ お兄さんお姉さんの様子を見ながら初めての遊びもしました。
- ・ また来たい。
- ・ ピタゴラススイッチ勝負ができて楽しかった。
- ・ 竹のレールと竹の筒で遊んだ。
- ・ 水道管みたいなやつは初めて見た。
- ・ レールを重ねて遊んだ。
- ・ 思ったより泥んこにならなかった。
- ・ 練馬区子どもの森は都心でありながら自然を満喫できる森です。
- ・ プレーリーダーがいるので、友達や親と共にいけなくても安心です。
- ・ また、工作ができたり、穴を掘ったりすることもできます。
- ・ そして、決まった日に焚火や逃走中、釘差し大会などを行っています。

2) おとなの意見

- ・ 気温がかなり低かったこともあってか、なかなか遊びださなかったが、リーダーの女性がうまく誘導してくれました。
- ・ 一度遊び始めると、他の子どもたちが楽しく遊んでいるのにつられてか、興味を持っていました。
- ・ ペットボトルキャップを合わせてボールのようにしたり、端材を組み合わせたり、安価でも遊べるようになっている。
- ・ 野菜を育てるのは食育としても、植物を育てるということにもなり、良い取り組み。
- ・ 近隣住民や保護者も参加して遊び場を作っており、コミュニケーションが取れている。
- ・ リーダーとの遊びは子どもとの関係づくりにも重要である。
- ・ 子どもたちもリーダーに信頼を置いているので、グルーミングなど性被害を生み出すことは容易であり、やはりリーダーを誰にし、どうするのかというのが重要。

(5) 現地での参加者ヒアリング

現地で、参加者にヒアリングを行った。

1) この公園を見てどう思われたか

- ・ 遊びやゲームの種類が豊富で、ニーズの違う子どもに対応できる。
- ・ 手作りの遊び方を通じて子どもが鍛錬できる。
- ・ 動物園へ行かなくても、生き物の観察ができる。
- ・ 環境を守るため、普通の公園で穴掘りなどの冒険ができない。
- ・ プレーリーダーからの指導をもらえ、成長できる。
- ・ 自分で遊び方を想像して遊ぶことができる。
- ・ 1人で遊んでいたが、他の子どもと一緒に協力して遊ぶことで子ども同士と友達になれる。
- ・ 夏場や将来に来園者数が増え、今の手洗いスペースが足りない可能性がある。手洗い場を増やしてほしい。
- ・ アクセスの手段を増やしたい。
- ・ 遠くの方が来園しやすいように、駐車・駐輪スペースが充実に整備してほしい。
- ・ 昆虫や生き物の観察・ふれあいができる遊び方。
- ・ 自由度が高い、固定的な遊び方ではない（ペットボトルで水遊び、泥団子、ビー玉焼きなど）
- ・ 普通の公園での既製品のブランコで遊ぶことや、砂場で砂を掘って遊ぶことなどと比べて、プレーパークではのこぎりで木をひいてブランコを作り、地面に大きい穴を掘ることができる。子どもがプレーパークで思い切り全身を使って遊ぶことができる。
- ・ 高学年の子どもにも木登りを楽しめるように、園内の高い木でロープを結わえ付けたいのではないか。
- ・ 冬でも生物に触れられる場を作りたい。
- ・ 冬にできる遊びや、畑でできることを増やしたい。
- ・ 小さい子は衛生と安全の意識ができないので、プレーパークに慣れない親は、子どもの見守り方に工夫が必要。
- ・ 自由すぎるので、小さい子どもは何で遊べばよいか迷う。
- ・ 子どもが刃物を使う時、安全管理や、衛生管理が必要。
- ・ 初めて来園した人に参考となる遊び方を示す案内があればよい。
- ・ 障がいのある子どもは、自分の行動が周りの人を不安な気持ちにさせてしまうことに意識しないといけない。プレーパークは子どもの個性を引き出すことができるので、障がいのある子どもがプレーパークで自由に遊んでいて他の人に迷惑を掛けないか心配。
- ・ トイレがキレイで、使いやすい。
- ・ 外から公園の中が見えることで、公園の雰囲気分かり、明るく安心感がある。
- ・ 初めて遊びに来た方は、遊び方が分からないことがある。遊び方を説明できるスタッフがいれば、始めやすくなると思う。
- ・ ここではオープンすぎて、何を使って良いのか、何を使ってはいけないのかのルールの説明が乏しいと感じる。
- ・ 我が子は遊具が好きだが、遊び方を教えてもらえる方がいないと遊具を楽しめる方法が分からない。また、3歳ぐらいの子は案内図や案内文を読めないなので、案内してくれる方がいれ

ば助かる。

- ・ お母さんたちが子どもを公園に連れて行く理由は情報交換なので、大人が安心して過ごせる雰囲気が大切。

2) 小金井にこう公園を作ることについて、どう思うか

- ・ 遊び方を教える方がいればいいと思う。
- ・ ここはオープンすぎて、何を使ってよい、何を使ってはいけないかのルールの説明がない。

(6) 現地利用者ヒアリング

現地で、利用者にヒアリングを行った。

1) ヒアリング意見

■ 他の公園と違うと思うこと

- ・ 城北中央公園にもよく行く。そこは広くて、遊べる遊具も多い。
- ・ ここではよく同じ子ども、お兄さんやお姉さんと遊ぶことができる。

■ この公園の良いと思うこと

- ・ 子供たちが五感を使って遊んでいる様子が好き。
- ・ ここでは子供たちは自分自身で実体験をすることができ、それが良いと思う。例えば、12月の焚き火イベントでは家からさつまいもを持ってきて、焼き芋の作り方を教えた。このような体験は子供たちの健全な成長に役立つと思う。
- ・ また、ここではキウイフルーツを植えていて、子供たちはキウイの熟成過程を見ることができ、収穫の体験もできる。特別な体験をすることで、子供たちの経験を豊かにすることができると思う。
- ・ 他の子供たちの遊び方を見て学ぶこともできる。
- ・ 子供たちは自分で遊びの役割分担を決め、みんなで助け合って共同の目標に向かうことができる。成功した時は、子供たちは高い達成感を感じられる。

■ よくないと思うところ、改善点など望むこと

- ・ 初めて来る人は遊び方を知らないかもしれないので、教える人がいると良いと思う。
- ・ 1人で来る子供が他の子供と交流できるかどうか心配している。

2.4 都立府中の森公園（1月28日午後）

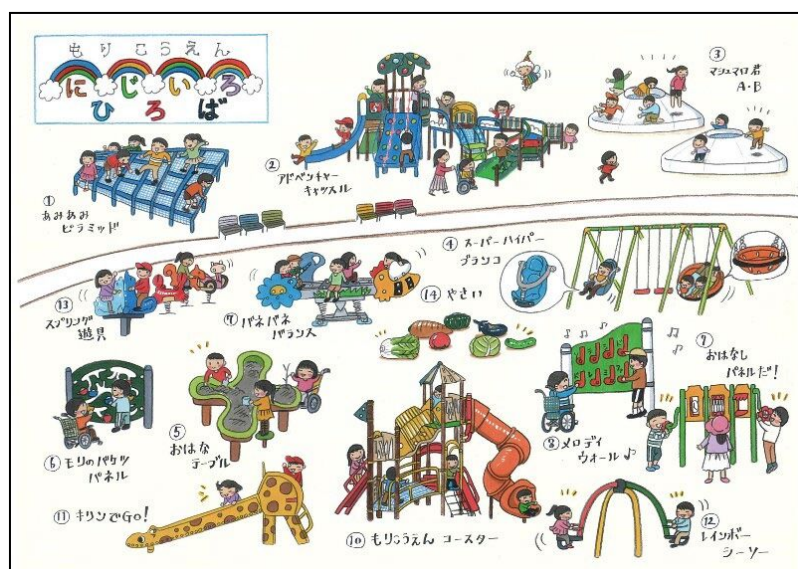
(1) 公園管理者からの説明の概要

最初に、公園管理者から説明をいただいた。

概要は、以下のとおりである。

- ・ 府中の森公園は平成3年にリニューアルオープンした。既存の遊具を集めたことと、新しくインクルーシブ遊具を9つ導入した。
- ・ 車いすでもアプローチしやすいこと、寝転がるだけで遊具を楽しめることや体を支えられることなどに工夫がされていた。
- ・ 特にアドベンチャーキャッスルとマシュマロ君は車いすが上りやすい高さになっている。
- ・ インクルーシブ遊具は現在全国的に導入している流れがあるが、導入して終わりではなく、どう活用していくのは次の課題となる。
- ・ 今年度はここで「虹の橋」というプロジェクトを立ち上げた。地域のボランティアたちがいて、プログラムを提供し、誰でも遊べるようにすることで、交流が生まれ、活性化していくということを目指している。
- ・ 「見守りボランティア」のような固定化された呼び方ではなく、みんなが参加しやすいために、活動をする方を「虹かけさん」と呼んでいる。
- ・ 誰でも来られる公園なので、誰でも来やすいような仕掛けをしている。

(2) 公園管理者からの提供資料



にじいろひろばマップ



イベントチラシ

(3) 視察状況



大人と一緒に乗れるシーソー



マシュマロ君



寝転がらただで遊べるブランコ



立ったまま遊べる砂場



大人が休憩できるスペース



にじいろ広場の利用やくそく

(4) 参加者意見

参加者には、視察終了後にレポートを提出していただいた。

提出された意見は、以下のとおりである。

1) こどもの意見

- ・ 遊びたい遊具がいっぱい。
- ・ 府中の森公園にはインクルーシブな遊び場がたくさんあり、日本全国から多くの方が視察に訪れるようです。
- ・ 私は多くの遊具の中でブランコが一番目に留まりました。
- ・ 町中にあるブランコはもちろんのこと、寝ながら楽しめるブランコ、ストッパーがついていて落ちないように工夫されているブランコがあります。
- ・ そして、車椅子のまま乗り降りしやすいように、高さが調整されています。
- ・ このように、虹色広場には様々な工夫がされています。

2) おとなの意見

- ・ 練馬こどもの森公園は小学生が対象なのに対し、虹色広場は乳幼児から小学生と対象が幅広い。
- ・ ユニバーサルデザイン遊具は決して「そういった子」だけではなく、一般の子どもたちにも人気がある。
- ・ 一度に遊べる人数が限られている遊具には「並んでいるときは〇回まで」といった表記があり、多くの利用者が守っている。
- ・ 案内看板にも注意事項が記載されている。
- ・ LD など、文字を読むことが難しい・理解することが困難な子（人）もいるため、QRコードなど音声案内があるとより良いのでは。
- ・ 大人はとても疲れましたが、なかなか参加できないプレーパークや初めての公園を体験することができて、子どもは楽しかったと思います。貴重な機会をありがとうございました。

3) 練馬こどもの森公園と府中の森公園の共通意見

- ・ 一緒に遊んでくれるプレーリーダーがいることは、遊びの面でも安全、防犯の面でも有り難いと感じた。
- ・ 公園に行ったとき、あると良いなと思うことは、「おむつ交換台のあるだれでもトイレ」、「スタッフの目が行き届くところにある清潔で安全な授乳室」、「更衣室」、「適切な場所、適切な蛇口の水場」です。
- ・ 今回、お邪魔した公園ではないですが、東小金井駅と武蔵境駅の間にある武蔵境ぽっぽ公園は高架下にあり、多少の雨や雨上がりでも濡れずに遊べます。地面もゴムチップ？で柔らかいです。毎日子どもをどこかしらの公園に連れ出さないといけない立場からすると、濡れずに遊べる場所というのも重宝すると気付きました。
- ・ 一昔前はうっそうと木が生い茂り薄暗い公園もありましたが、最近は減ったと感じています。
- ・ 防犯面で安心して遊ばせることができます。

(5) 現地での参加者ヒアリング

現地で、参加者にヒアリングを行った。

1) この公園を見てどう思われたか

- ・ 人が沢山
- ・ 他の子どもと触れ合うことができる。
- ・ 小さい子用の遊具があって個数が多い。
- ・ 公園が広く、ボール遊びができる。
- ・ 公園管理員が管理していて安心。
- ・ 汚れを気にする人にとって、汚れにくい遊び方ができることが良い。
- ・ 既存の「マシュマロ君」が小さすぎるので、大人数に対応できる大きなふわふわドームがほしい。
- ・ ジングルジムのようなアスレチック遊具がほしい。
- ・ 遊具が目前にあり、形や種類が豊富。
- ・ 人によってそれぞれの遊び方で楽しめる
- ・ 初めて利用の方に優しく、使いやすい
- ・ 大きい子と小さい子は成長の具合に合わせる遊び方を分けてそれぞれ楽しめる。
- ・ 1人でも思い切り遊べる。
- ・ 障がいの有無にかかわらず、園内の遊具は誰もが利用できる。
- ・ 障がいのある子どもも遊ぶチャンスをちゃんともらえるように、遊具の利用ルールを明確に制定しないとイケない。

(6) 現地利用者ヒアリング

現地で、利用者にヒアリングを行った。

1) 他の公園と違うと思うこと

- ・ 他の公園で見たことがない、珍しい遊具が多い。
- ・ 近所の公園より広い。
- ・ 遊具が新しい。
- ・ 遊具の個数が多い。
- ・ 公園が広い。
- ・ 普通の公園では見かけない遊具がある。
- ・ 子ども同士が友達になる。
- ・ 年齢に合わせた遊具が充実している。
- ・ 来園者が多く、賑わっている雰囲気を感じる。
- ・ 遊具が豊富。
- ・ 他の公園では見ない遊具がある。
- ・ 遊具がいっぱいある公園が最近少なくなり、こちらの公園は珍しい。
- ・ 公園が広い、ボール遊びができて楽しい。
- ・ 木が多いところに自然を感じ、リフレッシュができる。
- ・ 遊具が安全に管理してある。錆や壊れている箇所がない。
- ・ よく羽根木公園へピクニックに行く。
- ・ 羽根木公園にプレーパークがあるが、小さくて、土だらけで、子供が服に土をつけてしまい、とても困っている。
- ・ よく土日に黒鐘公園に遊びに行く。この公園には遊具が多い。
- ・ 家の近くの公園によく遊びに行く。
- ・ 近くの公園でその場で友達ができる。

2) この公園の良いと思うこと

- ・ 園内が綺麗、ゴミが少ない。
- ・ 見通しがよく、子どもを見失わなくて安心。
- ・ 園路の舗装が柔らかく、小さい子が自転車練習中でもけがをしにくいため安心。
- ・ 丁度よい広さ、子どもを見守できる。
- ・ ベンチが多く、荷物を置いたり、休憩や食事をしたりすることができて便利。
- ・ トイレが近くて便利。
- ・ 自転車置場に近いため、自転車で来る子どもに便利。
- ・ 園路の舗装が柔らかく、怪我をしにくいため安心。
- ・ 管理人が見回ってくれているため、物騒な世の中でも安心。
- ・ 遊具の個数が丁度よい。
- ・ 広くて遊具も多いためここが好き。川があって、夏に水遊びが出来て、子どもたちはとても楽しかった。

- ・ 遊具が多い。
- ・ この公園では年齢層の違う子どもたちが一緒に遊べる。
- ・ 広くて、遊具も多い。
- ・ 遊具が多くて、子どもたちは楽しんでいる。
- ・ 子どもの年齢が広くて、バランスが良い。年齢の違う子は一緒に遊べる。
- ・ 年齢層が広く、年齢の小さい子供は、年齢の大きい子供に手伝いされながら、より挑戦的な遊具で遊ぶことができる。
- ・ 公園の広さがちょうどいい。
- ・ ベンチは遊具スペースの真ん中に置いている。公園の状況を 360 度あらゆる角度から見る事ができて、見守りやすいので、安心する。
- ・ ベンチが多い。
- ・ 芝生広場は広くて、自由に遊べる。
- ・ 駐輪場は公園近くにある。
- ・ 野菜の形の遊具は、遊び方が自由なので好き。子どもは野菜が嫌いだけど、野菜の遊具で遊んで、野菜が好きになれば良いなと思っている。
- ・ マシュマロ君が好き。（子ども）

3) よくないと思うところ、改善点など望むこと

- ・ 室内の遊び場がなく、雨・冬の日には外遊びは実施しにくい。
- ・ 人が多く、ぶつかって怪我をしないか心配。
- ・ 夏場で日差しが強いため、屋根付きの空間がほしい。
- ・ 大きい子どもでも遊べるように「マシュマロ君」を拡大してほしい。
- ・ 人が混んでいる道路でぶつかったら危ない。
- ・ 雨の日には遊べる、屋根付き広場がほしい。
- ・ 遊具は夏の日差しで熱くなるので、小さい子が火傷しないかと心配になる。
- ・ マシュマロ君（遊具）の締め時間が早すぎる。夏には使用できる時間を延長したらいいと思う。
- ・ 駐車場が無料だったらありがたい。
- ・ 日除けシートがあれば良い。
- ・ 室外で手を洗える施設があれば良い。トイレに洗面台があるが、子どもと一緒に外で食事した時、荷物を外に残したまま、トイレに行くと不安。
- ・ 売店があったらうれしい。公園内におむつを売っている売店がないため、おむつが足りない時非常に困った。

3. 視察結果の分析

3.1 参加者意見の分析

(1) インクルーシブ・ユニバーサルデザイン・障がいに関する意見

- ・ 遊具だけではなく、園地のデザインや仕様での配慮についての気づきがあった。
- ・ 遊具がでただけでは、障がいのある子が必ずしも使いやすい状況になるわけではないことについても気づきがあった。

- ・ 遊具について、障がいへの様々な配慮の仕方について取り上げた意見が多い。
- ・ 遊具だけではなく情報提供のあり方などについて言及している意見もある。
- ・ 遊具が整備されても、実際には障がいのある子にとっては使いづらい状況が生じていることについての意見もある。
- ・ プレーパークにおけるインクルーシブの考え方については受け止め方が一定していない。

全体	羽根木	練馬	砧	府中	共通
21	5	0	7	5	4

府中にじろ広場	ユニバーサルデザイン遊具は決して「そういった子」だけではなく、一般の子どもたちにも人気。
府中にじろ広場	LDなど、文字を読むことが難しい・理解することが困難な子（人）もいるため、QRコードなど音声案内があるとより良いのでは。
府中にじろ広場	府中の森公園にはインクルーシブな遊び場がたくさんあり、日本全国から多くの方が視察に訪れるようです。
府中にじろ広場	町中にあるブランコはもちろんのこと、寝ながら楽しめるブランコ、ストッパーがついていて落ちないように工夫されているブランコがあります。
府中にじろ広場	そして、車椅子のまま乗り降りしやすいように、高さが調整されています。
羽根木公園	世話人の福島さんに伺ったところ、障がいをお持ちの方も定期的にいらっしゃって楽しんでいるそうです。
羽根木公園	インクルーシブに関しましては、プレーパークが掲げている「自分の責任で自由に遊ぶ」というのは身体障害あるお子さんには高い木や屋根に登りたくても不可能ですので、遊びは限られてきてしまうだろうと感じました。
羽根木公園	また、健常児との差を感じてしまわないかなとも思いました。
羽根木公園	危険行為があるため、インクルーシブな遊び場ではあるが障害（知的・発達）がある子には見守りが必要だと感じた。
羽根木公園	配慮の必要な人との関わり（特別支援学校の子が遊びに来る、支援の必要な子の子育てに疲れた親子が見守ってくれる協力者を得る）。
砧公園	センター長からは、車いすの方でも楽しめるように遊具の通道の幅が広かったり、認識しやすい色を使うなどの工夫を伺いました。
砧公園	地面はクッション性に優れたゴムチップ舗装、アスファルト部分は滑りにくい樹脂系舗装で、これらの境界にはほとんど段差がなく、車いすやバギーもスムーズに移動できるようになっていて、臥位が楽な人や赤ちゃんのために、寝そべることができる幅広のベンチが設置されていました。
砧公園	他にも、車いすユーザーも一緒にテーブルを囲める設計だったり、広場全体をフェンスで囲い、子どもの急な飛び出しや動物の侵入などを防いでいました。
砧公園	出入口の扉の色を変えている。
砧公園	特別な配慮が必要な子どもの保護者は周りに気を使うことが多いため、オープン1時間前に遊べる時間があつたことがあるという取り組みはとてもいいと感じた（知り合いにも定型発達の子と同じ場所を共有する勇気がもてないと聞いたことがあるため）。
砧公園	知的障害がある人とのトラブル例もとても参考になりました。不審者と感じる気持ちもわかり身構えてしまうので、お互いが気持ちよく過ごせるようスタッフが見守って頂けるととてもありがたいです。
砧公園	果たして、配慮の必要な子が行きたい時に利用できる状況になっているのか。
共通	とはいえインクルーシブという言葉にまだ馴染みがなくこれを機会に勉強したいと思っています。
共通	私自身仕事柄いろんな公園へ行く機会もあり、特別な配慮が必要な子との関わりを持つ機会もよくあります。
共通	その為時間に配慮があることもある砧公園はとてもよい取り組みだと感じました。
共通	順番を待ったり、気持ちのコントロールが苦手な子（を持つ保護者）にとっても気兼ねなく過ごせる場所があることは孤立を防ぐことにもつながるのではないかと思います。

(2) 遊び方に関連する意見

- ・ プレーパークの効果について確認する機会となった。
- ・ 遊具での遊びより、自然の中での遊びが好きな子もいる。

- ・ 遊び方に関する意見は、羽根木と練馬が主となった。
- ・ 建材などを使って自分で遊具・遊びを創り出すこと楽しさ、自然の中での遊びの楽しさに気づいた意見が多くみられる。
- ・ プレーパークでは気づきや学び、チャレンジがあり生きる力を育む効果があると評価する意見がある。
- ・ インクルーシブ遊具の遊びには関心が低い子もいる

全体	羽根木	練馬	砧	府中	共通
21	11	8	2	0	0

羽根木公園	木の根っこがむき出しでデコボコした地面を走ったり、廃材に釘を打ったり、のこぎりで切ったりと、自然の中で土や木に触れて遊ぶことができました。
羽根木公園	うれしくて、楽しくて、広い斜面に登ったり下ったり転んだりして、全身が土埃まみれになりました。
羽根木公園	昔ながらの遊びや木登も楽しそうでした。
羽根木公園	プレーパークは、アウトドア好きな親子が楽しめそうだなと感じました。
羽根木公園	自然に触れて、危険を伴いながらも、自ら遊びを生み出すことで、生きる力が育まれる場所だと思います。
羽根木公園	娘は、プレーパーク出たところにある、迷路やトンネルや棒の通路が小金井市にはなく、何度も行ったり来たりを繰り返し楽しんでいました。迷路では、私達以外にも楽しんでる親子がいて、親子で遊べるのでコミュニケーション取れていいなと思いました。
羽根木公園	自分で川づくりしてる子がいって、素敵だなと思い見てましたが、親子なのか、保育園の子と先生なのか分かりませんでした。
羽根木公園	あとは丘は体幹が弱い子供にとって、踏ん張る力がつくので、小さな子どもにもいいのかなと思います。
羽根木公園	屋根の上に登れて楽しかった。アニメでは見たことあるけれど、自分がいざ登ると何回も登りたくまりました。
羽根木公園	釘刺しを初めてやってみた。釘刺しは五寸釘を地面にたたきつけて刺す遊びです。なかなか刺さらないものだと言っていた方はおっしゃっていました。
羽根木公園	自由に遊べるプレーパーク。自分の好きなことをできたり、本当の自分になれる場所だと思います。プレーパーク最高。
練馬こどもの森	ペットボトルキャップを合わせてボールのようにしたり、端材を組み合わせて、安価でも遊べるようになっている。
練馬こどもの森	お兄さんお姉さんの様子を見ながら初めての遊びもしました。
練馬こどもの森	竹のレールと竹の筒で遊んだ。
練馬こどもの森	水道管みたいなやつは初めて見た。
練馬こどもの森	レールを重ねて遊んだ。
練馬こどもの森	そこまで泥んこにならなかった。
練馬こどもの森	また、工作ができたり、穴を掘ったりすることもできます。
練馬こどもの森	そして、決まった日にたき火や逃走中、くぎさし大会などを行っています。
砧公園	娘は、後半は、遊具遊びではなく、枝や葉っぱなどを集めてごっこ遊びを楽しんでいました。
砧公園	遊具も自然遊びも好きです。

(3) 安全・安心・防犯などに関連する意見

- 公園における安全・安心の確保には、遊具やその他の施設・設備の配慮・工夫だけでなく、見守る人が必要だと受け止められている。

- プレーパークでは安全・安心の確保のために、プレーリーダーの配置の必要性についての報告が複数ある。
- インクルーシブ公園では安全管理のために、設備的な配慮、運営管理上の工夫があることに気づいた意見が複数ある。

全体	羽根木	練馬	砧	府中	共通
19	1	3	10	0	5

羽根木公園	危険行為があるため、インクルーシブな遊び場ではあるが障害（知的・発達）がある子には見守りが必要だと感じた。
練馬こどもの森	子どもたちもリーダーに信頼を置いているので、グルーミングなど性被害を生み出すことは容易であり、やはりリーダーを誰にし、どうするのかというのが重要。
練馬こどもの森	一緒に遊んでくれるプレーリーダーがいることは、遊びの面でも安全、防犯の面でも有り難いと感じました。
練馬こどもの森	プレーリーダーがいるので友達がなくても、親が森に行けなくても安心です。
砧公園	周りは柵で囲まれており、小さい子や認知症、その他行動に不安のある方でも安心して遊べる空間でした。
砧公園	地面にはゴムチップ舗装がされており、回転遊具から振り落とされても平気でした！。
砧公園	ケガや事故のリスクを減らすための工夫がなされていて、安心感があります。
砧公園	他にも、車いすユーザーと一緒にテーブルを囲める設計だったり、広場全体をフェンスで囲い、子どもの急な飛び出しや動物の侵入などを防いでいました。
砧公園	柵で公園（遊具）を囲んでいる。
砧公園	地面にゴムチップが埋めこまれていてやわらかい。
砧公園	子どもたちが自由に遊ぶのを保護者が見守る。
砧公園	開閉時間があり、きちんと管理されていて安心感がある。
砧公園	誰もが安心して遊べる公園。
砧公園	懸念（雑踏の中：自閉スペクトラム症）
共通	セキュリティ面。
共通	どちらも出入り口があるのに関わらず、警備の方がいらっしゃるのに、自由に遊ばせるにしても不安ではあります。
共通	離れてても見守りやすく安心でき、親も子どものびのび楽しい、頭も体も使える遊び場。
共通	お隣の武蔵野市（や杉並区）はアスレチック系の遊具がある公園も多いので、個人的にはそういう公園またはボール遊びが出来る柵付きの公園もあれば、ボールだけではなく衝動的な飛び出しなどある子（や保護者）も安心できるのではと思います。
共通	どんな子どもたちにも安全にかつ楽しんでもらえる公園が出来ると願っています。

(4) 交流に関連する意見

- ・ 子ども同士だけでなく、親・大人の関わりが大切であることについて気づきを得た。
- ・ お互いを理解したり、交流したりする機会の必要性を感じた。
- ・ 主に、プレーパークに関わる意見となった。
- ・ 親子の交流、関わりについての意見が複数出されている。
- ・ プレーリーダーだけでなく、他の大人が見守ってくれることの効果に触れている意見も複数出されている。
- ・ インクルーシブ公園における、人の繋がりづくりについて言及する意見も出されている。

全体	羽根木	練馬	砧	府中	共通
17	10	3	1	0	3

羽根木公園	娘は、プレーパーク出たところにある、迷路やトンネルや棒の通路が小金井市にはなく、何度も行ったり来たりを繰り返し楽しんでいました。迷路では、私達以外にも楽しんでる親子がいて、親子で遊べるのでコミュニケーション取れていいなと思いました。
羽根木公園	親が積極的に子どもの遊びに関わっている
羽根木公園	人をつなげる存在がいる
羽根木公園	様々な繋がりがある
羽根木公園	個人間の小さな繋がり・助け合い。大人だけでなく子ども同士でも、こども商店街では特に見られる
羽根木公園	組織単位の大きな繋がり、「プレバ」が大切な場所であるという共通認識
羽根木公園	配慮の必要な人との関わり（特別支援学校の子が遊びに来る、支援の必要な子の子育てに疲れた親子が見守ってくれる協力者を得る）
羽根木公園	雑居まつり：公園、市民、プレバ、光明学園（特別支援学校）色々な人が関わる
羽根木公園	顔が見える・対等
羽根木公園	大人商店街の米美人さん。お米を使ったアクセサリーを売っていました。巫女の姿がとてもきれいだったのが印象的でした。
練馬こどもの森	一度遊び始めると、他の子どもたちが楽しく遊んでいるのにつられてか、興味を持っていました。
練馬こどもの森	近隣住民や保護者も参加して遊び場を作っており、コミュニケーションが取れている
練馬こどもの森	プレーリーダーがいるので友達がなくても、親が森に行けなくても安心です。
砧公園	一つのツールとして、どのように人と人を繋げていくか道筋を示していくことがより大切
共通	子どもとの思い出作りもかねていました。
共通	インクルーシブといってもすべてを最初から出来るわけではないので、お互いを知る機会がもてるイベントも素敵だと思いました。
共通	子どもと一緒にこういった機会を設けて下さりありがとうございました。

(5) 遊具に関する意見

- ・ インクルーシブ遊具の種類の多さや効果について気づきがあった。
- ・ 多様な子が利用するためにルールが必要なことにも気づきがあった。

- ・ 遊具については、砧と府中のインクルーシブ公園における意見が多数となった。
- ・ インクルーシブ遊具は、障がいのない子も多く利用しており、その中でお互い利用するためのルールがあることへの気づきに関する意見がある。
- ・ インクルーシブ遊具が多種多様にあることへの気づきに関する意見が複数ある。
- ・ 遊具が混雑していることを懸念する意見も複数みられる。

全体	羽根木	練馬	砧	府中	共通
16	1	0	9	5	1

府中にじいる広場	ユニバーサルデザイン遊具は決して「そういった子」だけではなく、一般の子どもたちにも人気。
府中にじいる広場	一度に遊べる人数が限られている遊具には「並んでいるときは〇回まで」といった表記があり、多くが守っている。
府中にじいる広場	遊びたい遊具がいっぱい。
府中にじいる広場	私は多くの遊具の中でブランコが一番目に留まりました。
府中にじいる広場	町中にあるブランコはもちろんのこと、寝ながら楽しめるブランコ、ストッパーがついていて落ちないように工夫されているブランコがあります。
羽根木公園	ツリーハウスも憧れます（未就園児～高学年までの高さがあると楽しめますね。）。
砧公園	広場に到着してからは、まるで遊園地かのような景色で、遊具が沢山あり、親の私も少女心をくすぐられ娘と共にワクワク気分になりました。
砧公園	遊具も自然遊びも好きです。
砧公園	遊具は、極力天然の木を使った遊具でSDGsを意識し環境にも優しい環境作り。
砧公園	パニックがおこった時の落ち着く場所（きりかぶシェルター）があるのがとても好感がもてます。
砧公園	大型幼児遊具としての利用が多く混雑。
砧公園	懸念（音の鳴る遊具：聴覚過敏の子）
砧公園	懸念（混雑する遊具：車イスの子、移動傾向など）
砧公園	小さい子などが遊びやすいインクルーシブ遊具。小さい子などは遊びやすいが、大きい子は遊びにくそうだった。
砧公園	梶野公園に置いたらよさそうなものはお皿型ブランコだと思った。
共通	小金井市立公園の遊具導入が楽しみです。

(6) 施設・設備に関連する意見

- ・ 遊具以外にも安全管理のための種々の施設整備の必要性に気づきがあった。
- ・ 日除け、更衣室など、休憩等のための利用環境の整備の必要性の指摘がある。
- ・ 施設、設備については、砧公園と全体をとおしての意見となった。
- ・ 安全確保のための柵や遊具回りの素材に関する意見が複数ある。
- ・ 日除け、休憩場所など利用環境に関する意見も多くみられる。

全体	羽根木	練馬	砧	府中	共通
14	0	0	6	0	8

砧公園	周りは柵で囲まれており、小さい子や認知症、その他行動に不安のある方でも安心して遊べる空間でした。
砧公園	地面にはゴムチップ舗装がされており、回転遊具から振り落とされても平気でした！。
砧公園	地面はクッション性に優れたゴムチップ舗装、アスファルト部分は滑りにくい樹脂系舗装で、これらの境界にはほとんど段差がなく、車いすやバギーもスムーズに移動できるようになっていて、臥位が楽な人や赤ちゃんのために、寝そべることができる幅広いベンチが設置されていました。
砧公園	ただ、日差しが強く、日除けはあるが、ほとんど意味ないとのこと、アスファルトの照り返しも考えると自然が多い羽根木のプレーパークとの違いを感じました。
砧公園	砧公園にあった切り株の中に椅子があるのも休憩ができていいなと思いました。
砧公園	出入口の扉の色を変えている。
共通	公園の夏と言えば、日陰は欲しいけど公園選びの理由として、蚊が沢山出るところを避けるママさんが多いです。
共通	私達親子は刺されやすい体質なので、日陰が多い公園はなるべく避けてます。
共通	子どもは秘密基地など隠れられる場所が好きなので、日除けにもなるしいなと思いました。
共通	お隣の武蔵野市（や杉並区）はアスレチック系の遊具がある公園も多いので、個人的にはそういう公園またはボール遊びが出来る柵付きの公園もあれば、ボールだけではなく衝動的な飛び出しなどある子（や保護者）も安心できるのではと思います。
共通	公園に行ったとき、あると良いなといつも思うこと ①おむつ交換台のあるだれでもトイレ
共通	公園に行ったとき、あると良いなといつも思うこと ②スタッフの目が行き届くところにある清潔で安全な授乳室、更衣室
共通	公園に行ったとき、あると良いなといつも思うこと ③適切な場所、適切な蛇口の水場
共通	地面もゴムチップで柔らかいです。

(7) 遊びの志向に関する意見

- 公園や遊具整備の趣旨や意義について、地域住民・利用者への理解を広げることが必要であり、そのためにはイベントなどきっかけづくりも有効である。
- インクルーシブ公園は高学年の子には物足りず、どちらかというと低学年の子向きではないかという意見が複数ある。
- いろいろな選択肢の必要性を指摘する意見もある。

全体	羽根木	練馬	砧	府中	共通
9	2	0	6	0	1

羽根木公園	子どもの自発性に合わせた遊びの提供。
羽根木公園	幅広い年齢の子どもが遊べる環境。
砧公園	娘は、後半は、遊具遊びではなく、枝や葉っぱなどを集めてごっこ遊びを楽しんでいました。
砧公園	一緒に参加されてた小学生のお姉さんは羽根木のプレーパークを楽しんでいたので、砧では幼児向けで物足りなかったようです。
砧公園	地面は、クッションでなく土に触れアースングさせたいです。
砧公園	低年齢の子どもが多い。
砧公園	選択できる場がたくさんあることも大切。
砧公園	小さい子などが遊びやすいインクルーシブ遊具。小さい子などは遊びやすいが、大きい子は遊びにくそうだった。
共通	両方の良さを取り入れた公園があると嬉しいです。

(8) 理解、意識に関連する意見

- 公園や遊具整備の趣旨や意義について、地域住民・利用者への理解を広げることが必要であり、そのためにはイベントなどのきっかけづくりも有効である。
- インクルーシブ公園（遊具）でも、プレーパークでも、整備意義・趣旨を周囲が理解していることが重要だと意見が複数出されている。

全体	羽根木	練馬	砧	府中	共通
8	3	0	1	0	4

羽根木公園	私たちが公園の趣旨をよく理解して利用することが大切だと思いました。
羽根木公園	インクルーシブに関しましては、プレーパークが掲げている「自分の責任で自由に遊ぶ」というのは身体障害あるお子さんには高い木や屋根に登りたくても不可能ですので、遊びは限られてきてしまうだろうと感じました。
羽根木公園	プレーパークでは野外保育園の園庭にも使われているとのことと、初めて訪れると、どういところなんだろうと仕組みがよくわからず入り込みづらい雰囲気、遊ぶのに躊躇してしまいました。
砧公園	私たちが公園の趣旨をよく理解して利用することが大切だと思いました。
共通	私自身仕事柄いろんな公園へ行く機会もあり、特別な配慮が必要な子との関わりを持つ機会もよくあります。
共通	また児童発達支援施設や放課後デイサービスともご縁があり、みんなで一緒に過ごす場所が大事とは知りつつ難しさも実感しております。
共通	その為時間に配慮があることもある砧公園はとてもよい取り組みだと感じました。
共通	インクルーシブといってもすべてを最初から出来るわけではないので、お互いを知る機会がもてるイベントも素敵だと思いました。

3.2 利用者ヒアリング

(1) 遊具についての意見

・ 砧公園と府中の森公園のインクルーシブ遊具の数と種類の充実に関する意見が多い。	
羽根木	手作り遊具について、若い子は身体能力的に作れない遊具が多い。
羽根木	手作り遊具が経年劣化して捨てるかリニューアルするか迷う。遊具の後始末は難しいのではないかと心配。
砧	珍しい遊具が多く、他の公園でないタイプの遊具が充実。
砧	車いすでも遊べる遊具がある。
砧	砧公園（公園全体）が広く、インクルーシブ遊具も多く、充実して遊ぶことができる。
砧	遊具が多い。
練馬	城北中央公園にもよく行く。そこは広くて、遊べる遊具も多い。
府中	普通の公園でない遊具がある。
府中	他の公園で見たことなく、珍しい遊具が多い。
府中	遊具が新しい。
府中	遊具の個数が多い。
府中	年齢に合わせる遊具が充実。
府中	他の公園でない遊具がある。
府中	遊具がいっぱいある公園が最近少なくなり、こちらの公園は珍しい。
府中	木が多いところに自然が感じ、リフレッシュができる。
府中	よく土日曜日に黒鐘公園に遊びに行く。この公園には遊具が多い。
府中	野菜のような遊び方は自由な遊具が好き。子どもは野菜が嫌いだけど、野菜の遊具で遊んで、野菜が好きになれば嬉しい。
府中	遊具が多くて、子どもたちは楽しんでいる。
府中	広くて、遊具も多い。
府中	遊具の個数が丁度よい。
府中	大きい子どもでも遊べるように「マシュマロ君」を拡大してほしい。
府中	遊具は夏の日差しで熱くなるので、小さい子が火傷しないかと心配になる。
府中	マシュマロくん（遊具）の締め時間は早すぎる。16：00までが、夏には使用できる時間を延長したらいいと思う。

(2) 設備に関する意見

・ 保護者が休む場所、ベンチなどに関する意見が多い。 ・ トイレに関する意見も複数ある。 ・ 駐車場や駐輪場からのアクセスに関する意見も複数ある。	
羽根木	小さい子どもを近くで見守らなければいけないが、親はベンチなどで座れるところが少ない。
羽根木	園内の案内は不明確、トイレは遠いので小さい子には不便。
羽根木	多目的トイレを設置してほしい。
府中	駐輪場は公園近くにある。
府中	ベンチが多い。
府中	ベンチは遊具スペースの真ん中に置いている。公園の状況を360度あらゆる角度から見る事ができて、見守りしやすいので、安心する。
府中	自転車置場に近い、自転車に乗ったり、置いたりしたい子どもに便利。
府中	トイレが近い、便利。
府中	ベンチが多く、荷物を置いたり、休憩や食事をしたりすることができて便利。
府中	駐車場が無料だったらありがたい。
府中	室外で手を洗える施設があれば良い。トイレに洗面台があるが、子どもと一緒に外で食事した時、荷物を外に残したまま、トイレに行くと不安。

(3) 広さについて

- 来園理由として「広さ」を挙げている人が複数いる。

羽根木	他のプレーパークより広くて、大きな声を出しても近所に迷惑をかけることを心配しないで楽しめる。
羽根木	園内が広く、施設と遊具（滑り台、鉄棒など）が充実して整備されている。
羽根木	他の公園より広く、自由に遊べる。
練馬	城北中央公園にもよく行く。そこは広くて、遊べる遊具も多い。
府中	近所の公園より広い。
府中	公園は広い。
府中	公園が広い。
府中	公園が広い、ボール遊びできて楽しい。
府中	芝生広場は広くて、自由に遊べる。
府中	公園の広さはちょうどいい。

(4) 公園施設について

- 飲食の物販や、屋内スペースを望む意見が複数みられる。

羽根木	夏の水遊び場が人気：子どもは自分で土堀り、ビニールシートでじゃぶじゃぶ池を作る。
羽根木	ここでピクニックしようとしたら、公園内にお弁当を買える場所がない。
府中	芝生広場は広くて、自由に遊べる。
府中	室内遊び場がなく、雨・冬の日以外遊びは実施しにくい。
府中	夏場で日差しが強いため、屋根付きの空間がほしい。
府中	雨の日に遊べる屋根付き広場がほしい。
府中	遊具は夏の日差しで熱くなるので、小さい子が火傷しないかと心配になる。
府中	日除けシートがあれば良い。
府中	売店があったらうれしい。また、公園内におむつを売っている売店がない。おむつが足りない時、薬屋で1枚のおむつを売っていないので、非常に困った。

(5) 安全・安心について

- 見渡せる広さと、転んで怪我をしづらい素材が評価されている。
- 混雑による、錯綜（人がぶつかる）を懸念する意見がある。

羽根木	6歳以上の子どもは自分で遊べるが、子ども一人で来園の場合、通りで交通ルールを守るべき点が心配。
府中	園内が綺麗、ゴミが少ない。
府中	管理人が回ったり観察したりして物騒な世の中でも安心。
府中	園路の舗装が柔らかく、怪我しにくい安心。
府中	丁度よい広さ、子どもを見守できる。
府中	園路の舗装が柔らかく、小さい子は自転車練習中でけがをしにくく安心。
府中	見通しがよく、子どもを見失わなくて安心。
府中	人が多く、ぶつかり怪我をするのは心配。
府中	人が混んでる道路でぶつかったら危ない。

(6) 遊び方について

- ・ プレーパークは、自分たちで遊びを創り出し、実体験できる効果があることが評価されている。

羽根木	子どもは自分でやりたいこと、遊びたいことができる。
羽根木	発想が湧き上がり、NG感が少なく、他の公園より自由度が高い。
羽根木	子どもは自主的に遊具を創造できる。
羽根木	6歳以上の子どもは自分で遊べるが、子ども一人で来園の場合、通り道で交通ルールを守るべき点が心配。
練馬	子供たちが五感を使って遊んでいる様子が好き。
練馬	ここでは子供たちは自分自身で実体験をすることができ、それが良いと思う。例えば、12月の焚き火イベントでは家からさつまいもを持ってきて、焼き芋の作り方を教えた。このような体験は子供たちの健全な成長に役立つと思う。
練馬	初めて来る人は遊び方を知らないかもしれないので、教える人がいると良いと思う。
府中	芝生広場は広くて、自由に遊べる。

(7) 交流

- ・ プレーパークでもインクルーシブ公園でも子ども同士で交流して友達になり、一緒に遊んでいる。
- ・ プレーパークでは近隣住民の交流も進んでいる。

羽根木	近所住民の間で交流ができ、平日に声掛け、考え方を伝える。
練馬	ここではよく同じ子ども、お兄さんやお姉さんと遊ぶことができる。
練馬	1人で来る子供が他の子供と交流できるかどうか心配している。
府中	子ども同士は友達になる。
府中	近くの公園でその場の友達ができる。
府中	年齢層が広く、年齢の小さい子供は、年齢の大きい子供に手伝いされながら、より挑戦的な遊具で遊ぶことができる。
府中	子どもの年齢が広くて、バランスが良い。年齢の違う子は一緒に遊べる。

(8) 学び・体験について

- ・ 農園は子どもたちにとって特別な体験と学びの場となる。
- ・ 多世代の交流は、助け合いや、学び、チャレンジにつながる。

羽根木	発想が湧き上がり、NG感が少なく、他の公園より自由度が高い。
羽根木	子どもは自主的に遊具を創造できる。
練馬	また、ここではキウイフルーツもあり、子供たちはキウイの熟成過程を見ることができ、収穫の体験もできる。特別な体験をすることで、子供たちは生活経験を豊かにできると思う。
練馬	他の子供たちの遊び方を見て学ぶこともできる。
練馬	子供たちは自分で遊びの役割分担を決め、みんなで助け合って共同の目標に向かうことができる。もし成功すれば、子供たちは達成感がすごく高い。
府中	年齢層が広く、年齢の小さい子供は、年齢の大きい子供に手伝いされながら、より挑戦的な遊具で遊ぶことができる。

3.3 施設管理者からの説明から

(1) 羽根木

- ・ 自然体験型の遊び場であり、子どもの自主的な遊びを重視。
 - ・ 子どもたちは、それぞれのできることをするのが基本。大人の過剰な手助けはしない。
- ・ 羽根木プレーパークは、世田谷区が子どもたちのやりたいことを実現できる場所を地域ごとに提供するため、自然体験型の遊び場として創られた場所の一つ。
 - ・ この場所は行政が主導したものではなく、地域住民が子どもたちを自由に遊ぶ場を作りたいという思いから生まれた。
 - ・ 本来は常設のものではなかったが、1979年の国際児童年を契機に、世田谷区が子どもたちの健全な発達を考慮し、この場所を常設化した。
 - ・ 羽根木プレーパークは日本初のプレーパークであり、「自己責任で遊ぼう」という考え方や「やりたいことを尊重する」ことを重視しながら、木登りや穴掘りができるような、自由に遊べる場所だ。
 - ・ 見守りのスタッフは地域住民であるボランティアであり、「世話人」と呼ばれる。
 - ・ 地域に住む子どもたちが遊んでいるだけでなく、地域住民が子どもの成長発達を支援する仕組みを構築した。
 - ・ スタッフたちは、子どもたちと自然に関わり、遊び方を教えたり、手助けしたりする。
 - ・ 基本的には、子どもたちが自分で遊びを感じることを大切にしている。

(2) 砧

- ・ 遊具以外の設備でも様々な配慮が必要。理解には時間がかかるものもある。
- ・ 利用しているうちにルールができるものもある。
- ・ 近隣の病院と連携し、重度障がいの子の優先時間を設けている。
- ・ 市民団体等と連携し、普及啓発イベントや活動を展開している。

1) 公園を囲んでいるフェンス

- ・ 設置して初めの時には、これはバリアだと思う人がいたが、4 年間を経て、フェンスがあることで安心して子どもをこの中で遊ばせられるという声に変わった。
- ・ フェンスは白いが、目の不自由な方のため、3 つの出入口の扉は別の色で表示されている。色のみならず、扉に小さい鈴が掛けてある。
- ・ フェンスがあると、入りにくいという声もあるが、出入口に「0 歳から 300 歳まで、だれでも、どうぞ」と書いてあり、お年寄りも連れてきやすい雰囲気を作っている。

2) 遊具について

- ・ 転んでも怪我しないように、ゴムチップ舗装を設置した。
- ・ シーソーも、ユニバーサル遊具であり、幅を広げて保護者と一緒に乗ることができる。
- ・ 車いすの子どもでも遊べる楽器遊具を設置している。
- ・ インクルーシブに配慮したブランコは人気であり、混んでいる時期には、列が遊具を一周するほどになる。
- ・ 夏場の気温を下げるために、樺の木を植えている。切り株シェルターというクールダウンできるスペースを設け、木陰で誰でも休憩できるようにしている。
- ・ 保護者が子どもを見守れる場所に、回転遊具を設置してある。この遊具の一番良いところは、列が行列にならないところ。遊具を回ると同時に子どもは自由に出入りができる。
- ・ 遊具が出来上がった際に、高学年の子どもは速いスピードで回したが、小さい子が弾かれた様子を見た後、スピードを落としたことで、遊びのルールが自然に生まれていき、現在はどんな年齢の子どもでも遊べるようになった。

3) 公園の設備にもインクルーシブに配慮する

- ・ 園路の柱の周囲にある緩衝材について、視覚障がいの親子の声を取り入れて、高い位置まで巻くことにした。
- ・ 子供連れの家族でも気持ちよく過ごせるように、夏場はよしずで影を作る。
- ・ 車いすでも入れるように複合遊具には幅広いスロープが付いている。
- ・ ここは元々がアスレチック遊具広場だったが、整備するにあたり、ユニバーサルデザイン以外の遊具は、公園内の他の場所に移した。

4) 連携について

- ・ 隣には国立成育医療センターがあり、重度障がいを持つ子どもでも遊ぶことができ、うれしそうに笑顔を見せた。
- ・ 元々は 9 時開園だが、現在は 8 時開園で、障がいを持つ子どもの優先時間を設けている。

- ・ この近くで活動する支援団体グループ「arTeaTreaT」はアートワークショップを開催し、春と秋に毎年2回行っており、隣の世田谷区区民ギャラリーを借りて子どもたちの作品を展示したりしている。
- ・ 公園側も子どもとのつながりが欲しいので、活動と同じ日に花の種を植えたりしている。

5) イベントについて

- ・ 世田谷区を中心にインクルーシブの概念を知っていただくため、3月17日と3月20日をインクルーシブスペシャルデーとし、様々な関係団体がイベントを開催している。
- ・ 3月17日は遊びの日に設定し、「ねむの木広場」で様々な体験型の遊びを準備して、誰でも遊んでもらえるようにしている。
- ・ 20日は音楽の日であり、広場をステージにして、様々なパフォーマンスをしている。

(3) 練馬

- ・ 練馬の原風景でもある農も取り入れた冒険遊び場
 - ・ 子どもは自発的に遊ぶが、迷っている子にはプレーリーダーがサポートする。
 - ・ 冒険遊び場は子どもの居場所である。
 - ・ 地域の人との関わりが深い。
-
- ・ 練馬こどもの森は「PLAY TANK（プレイタンク）」が運営管理している。
 - ・ 農園があることがこの公園の特徴である。ここではキウイ、ウメやカキを植えていて、みんなで遊ぶことができることが特徴である。
 - ・ こどもの森のコンセプトは都会の中で畑や自然に触れるということだが、内容的には冒険遊び場である。
 - ・ 小さい子から大きい子まで誰でも遊ぶことができる。乳幼児のために、午前中はちびもりタイムとなり、公園の一部分をちびっ子エリアとしている。
 - ・ 園内の土は雨でぬかるむドロでなく、少し雨が降ったとしても歩きやすいように、ぬかるまない土も入れた。
 - ・ 遊びに慣れない子がどう遊んだらいいのかわからなくなっても、遊びの道具を用意したり、プレーリーダーと一緒に遊んでくれたり、遊び始めるためのきっかけを作ることができる。
 - ・ 馴染めない子がいたら、他の子と遊べるようにプレーリーダーは必ず声をかける。木工コーナーや工作コーナーがあり、子どもは遊びたいが、手が出しにくい時に、プレーリーダーが手伝ってくれる。
 - ・ 冒険遊び場は子どもの居場所であり、子どもの声を聴いて反映することや、不登校の子を受け入れることなどができる。
 - ・ 子ども森を作った時には上記のような効果を考えず、ただ「誰でも楽しく遊ぶ」、「遊ぶことで人と人がつながっていく」という考えだったが、プレーリーダーが子どもたちと遊ぶことで、良い効果となった。
 - ・ 地域の方との関わりも深く、農家さんが高齢のため来られなくなった時、地域の方が自発的に農園のボランティアとして立ち上がり、一緒に農園の活動を行うようになった。
 - ・ 園内に虫コーナーがあり、虫について詳しい管理者がいる。暖かい季節になると様々な生き物が見られる。
 - ・ この地域にプロフェッショナルな技術や知識を持つ人がいたら、こどもの森の活動に加わってもらい、遊びを盛り上げる活動をしてもらっている。

(4) 府中

- ・ 遊具を導入して終わりにならないように、交流を生むプログラムを展開するために、地域のボランティアとプロジェクトを立ち上げている。
- ・ 府中の森公園は平成 3 年にリニューアルオープンした。既存の遊具を集めたことと、新しくインクルーシブ遊具 9 つ導入した。
 - ・ 車いすでもアプローチしやすいこと、寝転がるだけで遊具を楽しめることや体を支えられることなどに工夫がされていた。
 - ・ 特にアドベンチャーキャッスルとマシュマロ君は車いすが上りやすい高さになっている。
 - ・ インクルーシブ遊具は現在全国的に導入している流れがあるが、導入して終わりではなく、どう活用していくのは次の課題となる。
 - ・ 今年度はここで「虹の橋」というプロジェクトを立ち上げた。地域のボランティアたちがいて、プログラムを提供し、誰でも遊べるようにすることで、交流が生まれ、活性化していくということを目指している。
 - ・ 「見守りボランティア」のような固定化された呼び方ではなく、みんなが参加しやすいために、活動をする方を「虹かけさん」と呼んでいる。
 - ・ 誰でも来られる公園なので、誰でも来やすいような仕掛けをしている。

4. 準備・運営作業

4.1 実施要項の作成

実施要項を以下のとおり作成した。

インクルーシブ公園体験ツアー・実施企画書

1. 目的

インクルーシブデザインに配慮して先行的に整備された近郊の公園へ出向き、障害のある子どもを特別扱いするのではなく、だれでも当たり前のように利用でき、楽しめる遊び場の整備状況や利用のされ方を実際に「見て体感すること」を通じて、誰もが楽しく過ごせる公園づくりについて参加者に「考え・気づき得ること」を目的とする。

また、視察ツアーを通じて、参加者同士のつながりが生まれることで、相互理解を促し、今後の整備実施に向けた足がかりのひとつとなることを目指すものです。

2. 「見たいこと・体感したいこと」と「考えたいこと・気づきを得たいこと」

「見たいこと・体感したいこと」

- ・インクルーシブデザインに配慮して整備された空間
- ・すべての子どもの成長と発達支援につながる多様な遊び場環境
- ・個人の特性や背景の違いに関わらず、すべての子どもが遊んでいる様子

「考えたいこと・気づきを得たいこと」

- ・公園にあるバリアとはなにか
- ・だれもが利用できる変化に富んだ豊かな遊び場環境の大事さ
- ・バリアのない空間が、出会いや相互理解につながる

3. 視察ツアーの概要

(1) 視察日程

日程①：令和6年1月27日（土曜） 8:30 集合～17:00 解散

日程②：令和6年1月28日（日曜） 8:30 集合～17:00 解散

※集合場所：市役所第一庁舎駐車場

(2) 視察先（候補）

No.	公園名	主な整備・実施内容	日程
1	世田谷区立羽根木公園（世田谷区）	プレーパーク	日程①
2	都立砧公園（世田谷区）	インクルーシブ遊具広場	日程①
3	練馬区立こどもの森公園（練馬区）	プレーパーク	日程②
4	都立府中の森公園（府中市）	インクルーシブ遊具広場	日程②

(3) 視察プログラム内容

①移動中のバス内での趣旨・視察のポイント説明（バス車内）

- インクルーシブな遊び場づくりとはなにか、何故必要なのかを説明
- インクルーシブな遊び場づくりの留意点についても説明（ただ整備するだけでなく、地域がそのあとで関わっていくことの重要性について解説）
※TOKYO PLAY 作成の、「はじめよう！地域のみんなで育てる公園 インクルーシブな遊び場づくり（はじめの一步編）」と、「地域のみんなで育てる公園 インクルーシブな遊び場づくり よくある5つの疑問（ここに注意！編）」の資料が非常にわかりやすくまとめられていることから、これらの資料にもとづいて、参加者に対して説明できると、より深い理解につながることが期待できると思われる。（※資料配布・利用については確認中）
- 公園のパフレット、写真、絵などを活用して、簡単な調査報告書の作成をお願いする。

②公園の整備・運営に関係する職員・からの解説（現地）

- 実際に、施設の整備や運営に関わっている職員やスタッフから話を聞く
- 整備、運営の目的や苦労、課題として感じている点などについて聞く
- インクルーシブな遊び場になるために工夫していることについて聞く

●解説いただきたい主な内容

- ✓ 公園の概要や整備の状況（規模・利用者・整備内容等）
- ✓ インクルーシブデザインに配慮して整備された内容
- ✓ インクルーシブデザインに配慮して運営しているプログラム
- ✓ 整備や運営面で苦労していることや、課題として感じている点
- ✓ 整備や運営面で工夫していること
- ✓ 利用者から寄せられている様々な意見（良いもの、悪いもの）
- ✓ 整備や運営面で、今後取り組んでいこうと考えていること 等

③公園職員・スタッフへのインタビュー体験（現地）

- 参加した子ども自身が、公園職員・スタッフに対してインタビューをしてみる
- 公園整備や運営に関する疑問を直接聞いてみる

●質問でお聞きしたい主な内容（基本的に参加者からお聞きする想定です）

- ✓ 整備や運営の目的に対して、実際の利用状況や想定外の内容
- ✓ 整備や運営にあたり、顕在化した課題や問題点
- ✓ 整備や運営を通じて、嬉しかった体験、悲しかった体験 等

※実際は参加者から質問していただくので、どのような意見が出るかはわかりません。

④視察先の公園での広場・遊具体験（現地）

- 実際に遊んでもらい、広場や遊具を体験してもらう
- 遊びやすいのか、楽しいのかを素直に感じてもらう
- 職員からの説明やインタビューをした後に、実際に広場や遊具で遊んでもらい、遊具や広場にどのような意味があるのか、インクルーシブデザインに配慮されていることに関する気づきの機会になることを期待する

⑤その他

インタビュー体験や、遊具・広場体験をより身近に感じてもらい、気づきの機会になることを期待し、親子調査員としての報告書作成（A4 用紙 1 枚程度）の実施についても検討する。報告書は、視察終了後に作成してもらい、郵送等にて回収する方法も検討する。

（４）タイムスケジュール（案）

開始	終了	内容	備考
8：30	8：45	集合場所にて受付	市役所近く
8：45	10：00	貸切バスにて移動	ツアー概要や取り組み紹介
10：00	12：00	視察	職員・運営スタッフ等より
12：00	13：30	昼食・移動	
13：30	14：00	関係者からの説明	職員・運営スタッフ等より
14：00	14：30	インタビュー体験	職員・運営スタッフへ質問
14：30	15：15	広場・遊具を体験	子ども自身による体験
15：15	15：30	貸切バスへ移動	1日の振り返りと感想（子どもの声）
15：30	17：00	貸切バスにて移動	参加アンケート回答
17：00		集合場所にて解散	

※道路の渋滞状況等により行程が少し遅れる可能性有り（17 時までに全て完了予定）

（５）移動手段

貸し切りバスによる移動

※中型バス程度の大きさを想定（４列シート・定員 30 名程度）

※車椅子対応等が必要な場合は個別に調整

(6) 募集対象

小金井市に在住・在学の3歳から高校生までの子どもとその保護者

(7) 募集定員

20名(2日間 計40名)

※親子10組/日を想定(申し込み多数の場合は抽選)

(8) 申し込み方法

市役所ホームページからの申込フォームより

(9) 募集期間

令和6年1月10日(月曜) 午前0時から開始

令和6年1月22日(月曜) まで

(10) 広報の方法

- 市報への掲載(1月15日発行号予定)
- 市役所ホームページ
- 市内の小中学校へのチラシ配布(チラシ原案作成まで業務で対応)
- 近隣の特別支援学校への個別説明

4. ツアーの運営に関する事項

(1) スタッフ配置 (案)

ツアーに同行するスタッフは6名を想定

No.	役割	内容
1	統括・司会進行	全体の統括と進行
2	保護者サポート	視察先との対応
3	子どもサポート	インタビュー補助
4	保護者サポート	保護者へのヒアリング
5	子どもサポート	インタビュー補助
6	動画撮影	

(2) 参加申込者への連絡事項

- 当日は、出発 15 分前から受付を開始しますので、出発時間に間に合うように集合場所にお越しください。
- 集合場所には、「みんなの公園会議」の黄色の旗を設置していますので、それを目印にお越しください。
- 視察ツアーでの体験や気づきなどを、後日簡単な報告書（A4 用紙 1 枚程度）にまとめて提出していただきたいと思います。ご協力をお願い致します。
- プレーパークなどで実際に遊んでもらう予定なので、土や泥等で汚れた場合の着替えをご用意下さい。
- 当日は、視察の記録や今後実施を予定しているアンケートでの活用などのために、市ホームページ等に掲載する写真及び動画の撮影を行います。
- 写真や動画に映りたくない方は、受付の際に申し出て下さい。
- 英語、中国語、韓国語に対応します。
- 会議終了後に、一言インタビューをお願いしたいと考えておりますので、ご協力をお願い致します。
- 開催日の天気予報が雨の場合も、視察ツアーを実施する予定です。。

【視察にあたり、事前に確認したい内容】

- 当日、担当いただく方のお名前と連絡先（公園の電話番号で結構です）
- 公園側から視察参加者への解説時間は、最大 30 分程度を予定しています。この時間内で、解説いただける内容をご準備いただけるとありがたいです。また、なにか参加者へ配布できる資料等があれば、ご準備いただけるとありがたいです。（例：公園マップなど）
- ご準備いただける資料がある場合、事前に頂戴できるのであれば、移動中のバスの中で参加者に対して事前に配布し、説明を済ませておくことも考えております。
- 貸切バス（中型バスを想定）で参加者を送迎する予定です。バスの駐車場の有無について確認させて下さい。バス用の駐車場がない場合の運用方法があればご教示下さい。（例えば、近隣の路上で参加者が降車し、バスはどこかで待機 など）
- 緊急時の連絡先をお知らせ下さい。（当日の急な予定変更等の連絡のため）
- 公園を利用する上での注意事項があればご教示下さい。（プレーパークなどで遊んで汚れる場合があるので着替えを準備する、長靴を準備する など）
- 公園内で、事例視察の動画を撮影する予定です。撮影した動画は、今後実施予定の WEB アンケートの際に、市で実施している取り組みの紹介映像として使用することを想定しています。動画の撮影の可否や、撮影可能な場合の配慮事項等があればご教示下さい。
- 動画の撮影に際し、事前に申請や届け出等が必要であればご教示下さい。
- 今回の視察は、雨天決行で考えています。万が一当日が雨天の場合に、総勢 30 名程度が入れる会議室等があるのかご確認下さい。
- 当日は、弊社スタッフが、視察参加者以外の公園を利用されている一般の方に対して、ヒアリングを実施したいと考えています。ヒアリングの内容としては、公園に対して感じている課題や、未来の公園に対するご意見、インクルーシブ遊具に対する考えなどです。視察当日に、どの程度の利用者が居るかわかりませんが、こういった一般の利用者の方に対するヒアリングの実施は可能でしょうか？もし支障があるのであれば、ヒアリングは取り止めたいと考えております。

4.2 募集

募集期間は2024年1月10日（水）から2024年1月22日（月）までとした。

(1) 募集方法

1) 小金井市ホームページ

募集情報を小金井市のホームページに掲載した。

2) チラシ配布

参加者募集のチラシを作成し、以下のとおり市内小中学校で配布した。

■ 小学校生徒数とチラシ配布数

学校名	通常学級	特別支援学級	全生徒数	配布数
小金井第一小学校	724	17	741	770
小金井第二小学校	578	24	602	630
小金井第三小学校	876		876	910
小金井第四小学校	606		606	630
東小学校	820	17	837	870
前原小学校	619		619	640
本町小学校	576		576	600
緑町小学校	738		738	770
南小学校	602		602	630
計	6,139	58	6,197	6,450

■ 中学校生徒数とチラシ配布数

学校名	通常学級	特別支援学級	全生数数	配布数
小金井第一小学校	724	17	741	770
小金井第二小学校	578	24	602	630
小金井第三小学校	876		876	910
小金井第四小学校	606		606	630
東小学校	820	17	837	870
前原小学校	619		619	640
本町小学校	576		576	600
緑町小学校	738		738	770
南小学校	602		602	630
計	6,139	58	6,197	6,450

(募集チラシ)

<表面>

こどもたち
あつまれ～!!

こうえんかいぎ みんなの 公園会議

こうえん かいぎけん
インクルーシブ公園体験ツアー

さんかしゃ ほしゅう しめきり
参加者募集締切: 1/22 月

1/27 (土) 8:30 ~ 17:00
せたがやくりつ はねぎ
世田谷区立羽根木公園
とりつ きぬた
都立砦公園

1/28 (日) 8:30 ~ 17:00
ねりまくりつ もり
練馬区立こどもの森
とりつ ふちゅう もり
都立府中の森公園

みんなで
インクルーシブ公園に行って
遊んでみよう!

あそ



**みんなが楽しく過ごせる公園にするために、
みんなでインクルーシブ公園に行って遊んでみる体験ツアーを行います。**

募集対象 3歳～高校生までの子どもとその保護者

持ち物 昼食、飲み物、着替え（プレーパークで汚れる場合があります）

参加申し込み方法

右の二次元バーコードもしくは、次の URL から申し込みサイトにアクセスして申し込んでください。

URL : <https://forms.gle/45ccTmUXyFRN19vCA>



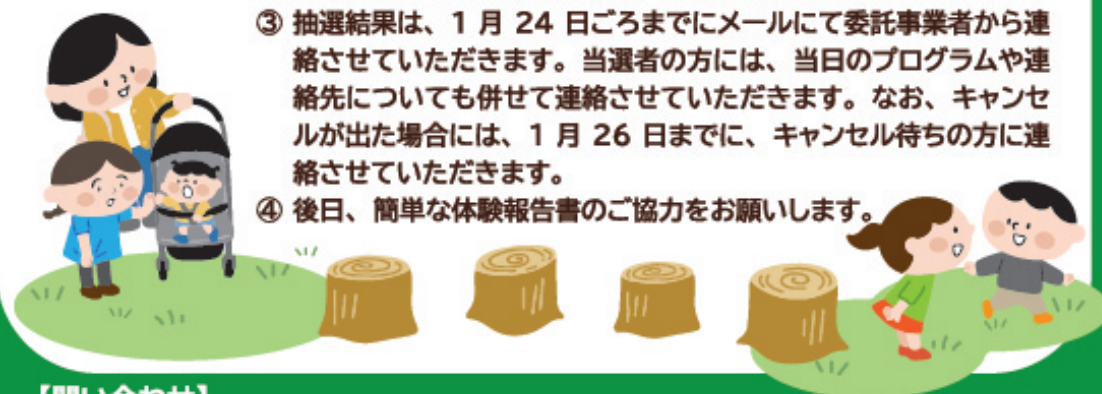
日付	時間	公園	募集人数
1/27(土)	8:30～17:00	AM: 世田谷区立羽根木公園 PM: 都立砧公園	親子10組 (20名)
1/28(日)	8:30～17:00	AM: 練馬区立こどもの森 PM: 都立府中の森公園	親子10組 (20名)

※申し込み多数の場合は抽選

※市役所本庁舎駐車場（小金井市本町 6-6-3）に集合し、貸切バス（無料）で移動します。

そのほか

- ① 必要に応じ、手話通訳者、英語、中国語、韓国語の話せるスタッフが参加します。
- ② そのほか、参加に際してなんらかの配慮が必要な方は、参加申し込み時に教えて下さい。事前に相談させていただきます。
- ③ 抽選結果は、1月24日ごろまでにメールにて委託事業者から連絡させていただきます。当選者の方には、当日のプログラムや連絡先についても併せて連絡させていただきます。なお、キャンセルが出た場合には、1月26日までに、キャンセル待ちの方に連絡させていただきます。
- ④ 後日、簡単な体験報告書のご協力をお願いします。



【問い合わせ】

小金井市 環境部 環境政策課 緑と公園係

電話：042-387-9860 メール：s040199@koganei-shi.jp

【委託先】パシフィックコンサルタンツ株式会社 総合プロジェクト部 環境デザイン室 担当者：松田

メール：koganei_kodomoasobiba@tk.pacific.co.jp

(2) 申し込みフォームの作成

インターネット上に、申し込みフォームを以下のとおりに作成した。

日本語、英語、中国語と韓国語の4か国語対応とした。

1) 1)申し込みフォーム 日本語版

「インクルーシブ公園体験ツアー」参加申し込み			
保護者が参加します。			
セクション 1 基本情報			
1	必須	選択	第 1 希望の日程を選んでください。
			・日程① 1/27（土）8:30～17:00（世田谷区立羽根木公園・都立砧公園）
			・日程② 1/28（日）8:30～17:00（練馬区立こどもの森公園・都立府中の森公園）
2	任意	選択	第 2 希望の日程を選んでください。
			・日程① 1/27（土）8:30～17:00（世田谷区立羽根木公園・都立砧公園）
			・日程② 1/28（日）8:30～17:00（練馬区立こどもの森公園・都立府中の森公園）
3	必須	記入	電話番号
4	必須	記入	メールアドレス
5	任意	記入	住所
セクション 2 参加される方のことを教えてください。			
1	必須	記入	保護者のお名前
2	必須	記入	ふりがな
3	必須	選択	年齢
			・20 代
			・30 代
			・40 代
			・50 代
			・60 代
			・70 代以上
4	必須	選択	障がい等によりなんらかの配慮が必要な方は教えてください。
			・あり
			・なし
		記入	・その他
5	任意	記入	障がいの種類を教えてください。
6	必須	記入	お子様のお名前
7	必須	記入	ふりがな

8	必須	記入	年齢
9	必須	記入	学年
10	必須	選択	障がい等によりなんらかの配慮が必要な方は教えてください。
			・あり
			・なし
		記入	・その他
11	任意	記入	障がいの種類を教えてください。
セクション 3 下記の内容をお読みいただき、十分に理解をされた上でお申し込みください。			
1	必須	選択	■ 個人情報保護について
			ご記入頂いた個人情報に関しては、本事業のみで取り扱い、第三者に開示することはございません。ただし、万が一事故等による緊急対応が必要な場合、個人情報を使用させて頂く場合がございます。
			体験ツアー中にお子様の写真・動画等の撮影を行い、事業の記録等に使用する場合がありますので、予めご了承ください。写真・動画等の撮影及びその使用を拒否する場合は、本申込み最後の自由記入欄に必ず記入してください。記入が無かった場合、写真・動画等の撮影に同意いただいたものとさせていただきます。
			・了解しました。
2	必須	選択	■ お子様の安全確保について
			会議の参加者は、全員、団体保険に加入致します。
			お子様が怪我をされた場合や、病気が疑われる場合は、速やかに医療機関へ連絡をいたします。
			<u>お子様に持病等がある場合は、必ず本申込み最後の自由記入欄に記入してください。</u> 保護者様の付き添いや持病のお薬の持参など必要な対応を行ってください。
			体験ツアーには、市販薬や救急用品を用意しておりますが、医薬品等の服用補助行為等を行うことができませんので、ご了承ください。
			・了解しました。
3	必須	選択	■ 免責事項について
			集合場所への往復の移動中及び公園内での体験中は、保護者様の責任においてお子様の安全を確保してください。移動中及び公園内の事故やトラブル等について、委託事業者が故意または重過失がある場合を除き、その責任を負うことができません。
			当社は、体験ツアーにおいて、参加者またはその保護者との相互の間で、及び参加者またはその保護者と第三者との間で生じた一切のトラブルに関して、委託事業者が故意または重過失がある場合を除き、責任を負うことができません。
			体験ツアーの参加にあたり個人の持ち物は自身で管理してください。
			・了解しました。

4	必須	選択	■ 設備の損傷について
			参加者が、故意又は過失により設備等に損傷を与えた場合はその修理費等を負担していただく場合があります。
			・了解しました。
5	必須	選択	■ 体験ツアーの中止について
			やむをえない理由により体験ツアーの開催日時の変更や、視察ツアーを中止する場合がありますので、ご了承ください。
			・了解しました。
セクション 4 ご自由記入してください。			
1	任意	記入	なんらかの配慮が必要なことがあれば、具体的に記入してください。
2	任意	記入	参加にあたって不安に思うことや疑問に思うことがあれば、こちらにご記入ください。

2) 申し込みフォーム 英語版

“Inclusive Park Experience Tour”Application Form			
Note: Participants also Include Children's Parents			
セクション1 Basic information			
1	必須	選択	Please choose your first preferred date.
			•Date① 1/27 (Sat.) 8:30~17:00 (Setagaya Hanegi Park/Tokyo Kinuta Park)
			•Date② 1/28 (Sun.) 8:30~17:00 (Nerima Kodomo no Mori Park/Metropolitan Fuchunomori Park)
2	任意	選択	Please choose your second preferred date.
			•Date① 1/27 (Sat.) 8:30~17:00 (Setagaya Hanegi Park/Tokyo Kinuta Park)
			•Date② 1/28 (Sun.) 8:30~17:00 (Nerima Kodomo no Mori Park/Metropolitan Fuchunomori Park)
3	必須	記入	Cellphone
4	必須	記入	E-mail
5	任意	記入	Home Address
セクション2 Please inform us of your simple backgrounds			
1	必須	記入	Parent's Name
2	任意	記入	Furigana
3	必須	選択	Age
			•20s
			•30s
			•40s
			•50s
			•60s
			•Over 70s
4	必須	選択	Do you need any help in case of disability or for any other reasons?
			•Yes, I do.
			•No, I don't.
		記入	•Others. (Please write down)
5	任意	記入	Please write down the types of disability.
6	必須	記入	Your child's name
7	任意	記入	Furigana
8	必須	記入	Age
9	必須	記入	School year
10	必須	選択	Do you need any help in case of disability or for any other reasons?
			•Yes, I do.

			・No, I don't.
		記入	・Others. (Please write down)
11	任意	記入	Please write down the types of disability.
セクション 3 Please read carefully and fully understand the information below before applying.			
1	必須	選択	About personal information protection
			The personal information you provide will be handled solely by this business and will not be released to third parties. However, in the unlikely moment to deal with accidents or for emergency response, personal information may be used.
			Please note that photos and videos of children may be taken during the experience tour and may be used for business records. If you would not like to be taken photographs, videos, etc., please make sure to note it in the space at the end of this application form. In the case of without notice from the participant, we will assume that you have given consent to the usage of photos, videos, etc. taken in the conferences.
			・I understand.
2	必須	選択	About ensuring the safety of children
			All conference participants will be covered by group insurance.
			If your child is injured or suspected of being ill, we will contact a medical institution immediately.
			<u>If your child has a chronic illness, please be sure to write it down in the free entry field at the end of this application.</u> Please take necessary measures, such as having a guardian accompanied or bringing medication for chronic illnesses with your belongings.
			At the time of the experience tour, we will have over-the-counter medicines and first-aid supplies available. However, please note that we will not be able to encourage or to give any advice for taking any medicine without proper instructions/prescriptions from a medical staff.
			・I understand.
3	必須	選択	■ About disclaimer
			Parents are responsible for ensuring the safety of their children while traveling to and from the meeting point and during experiences in the park. We are not able to take any responsibility for accidents or troubles during the transportation and experiences tour unless there is intentional negligence on our part.
			The Company shall not be held responsible for any troubles that arise between participants or their guardians, or between participants or their guardians and third parties during the experience tour, unless there is intentional or gross negligence on the part of the outsourced

			business operator.
			Please take care of your personal belongings while participating in the conference.
			•I understand.
4	必須	選択	Regarding equipment damage
			If a participant damages equipment, etc. intentionally or negligently, the participant may be required to pay for the repair costs.
			•I understand.
5	必須	選択	Regarding cancellation of the experience tour
			Please note that the date and time of the experience tour may be changed or canceled due to unavoidable reasons.
			•I understand.
セクション 4 Please feel free to fill in.			
1	任意	記入	If you need any accommodations or assistance, please write down with details.
2	任意	記入	If you have any concerns or questions regarding the conference participation, please write them down.

3) 申し込みフォーム 中国語版

「包容性公園体験之旅」申请表			
监护人陪同参加。			
セクション1 基本信息			
1	必須	選択	请选择您的第一志愿日程。
			日程①1/27（周六）8:30～17:00（世田谷区立羽根木公園・東京都立砧公園）
			日程②1/28（周日）8:30～17:00（练马儿童之森公園・東京都立府中之森公園）
2	任意	選択	请选择您的第二志愿日程。
			・日程① 1/27（周六）8:30～17:00（世田谷区立羽根木公園・東京都立砧公園）
			・日程② 1/28（周日）8:30～17:00（练马儿童之森公園・東京都立府中之森公園）
3	必須	記入	电话
4	必須	記入	邮箱
5	任意	記入	住址
セクション2 请告诉我们参会人员的信息。			
1	必須	記入	监护人的姓名
2	任意	記入	平假名
3	必須	選択	年龄
			・ 20 多岁
			・ 30 多岁
			・ 40 多岁
			・ 50 多岁
			・ 60 多岁
			・ 70 岁以上
4	必須	選択	如果您因残障而需要任何帮助，请告诉我们。
			・ 我需要帮助
			・ 我不需要帮助
		記入	・ 其他
5	任意	記入	可以告诉我们残障的类型吗。
6	必須	記入	您孩子的姓名
7	任意	記入	平假名
8	必須	記入	年龄
9	必須	記入	学年
#	必須	選択	如果您因残障而需要任何帮助，请告诉我们。
			・ 我需要帮助
			・ 我不需要帮助
		記入	・ 其他
#	任意	記入	可以告诉我们残障的类型吗。

セクション 3 请在提交申请前阅读并充分理解以下内容。			
1	必須	選択	■ 关于个人信息保护 您提供的个人信息将由本项目负责人单独处理，不会透露给第三方。但是，万一发生事故而需要紧急对应时，可能会使用个人信息。敬请谅解。 体验旅行期间可能会拍摄您和孩子的照片和视频等，用于工作内容记录等。<u>如果您不希望被拍摄，请务必在本申请表的末尾注明。</u>如果您并未注明，我们将视为您已同意拍摄。 ・我已经了解了。
2	必須	選択	■ 关于保障孩子的安全 我们为参会人员购买了团体保险。 如果您的孩子受伤或疑似患病，我们将立即联系医疗机构。 <u>如果您的孩子患有慢性病等，请务必在本申请的末尾注明。并且请采取监护人陪同、携带慢性病药物等必要措施。</u> 体验旅行期间，我们将提供非处方药和急救用品。但是我们无法提供服药等帮助，敬请谅解。 ・我已经了解了。
3	必須	選択	■ 关于免责事项 请监护人确保孩子在往返会议场地时的交通安全。除非主办方的重大过失，否则主办方不会对往返过程中的事故等负责。 除非主办方的重大过失，主办方对参会者或其监护人之间、参会者或其监护人与第三者之间发生的任何纠纷不承担任何责任。 请参会者自行保管好携带的财物。 ・我已经了解了。
4	必須	選択	■ 关于损坏设备 如果因参会者故意或过失损坏设备，参会者可能需要支付维修费用。 ・我已经了解了。
5	必須	選択	■ 关于活动终止 如果发生不可避免的原因，本次活动的日期和时间可能会更改或取消。 ・我已经了解了。
セクション 4 请告诉我们您的需求			
1	任意	記入	如果您需要帮助，请告诉我们。
2	任意	記入	如果您对本次活动有任何顾虑或疑问，请告诉我们。

4) 申し込みフォーム 韓国語版

「인클루시브 공원 체험 투어」 참가 신청서			
보호자가 참가함			
섹션 1 기본 정보			
1	必須	選択	첫 번째 희망 일정을 선택하십시오.
			• 일정① 1/27 (토요일) 8:30~17:00 (세타가야구 Hanegi 공원 • 도쿄 Kinuta 공원)
			• 일정② 1/28 (일요일) 8:30~17:00 (네리마구 Kodomo no Mori 공원 • 도쿄 Fuchunomori 공원)
2	任意	選択	두 번째 희망 일정을 선택하십시오.
			• 일정① 1/27 (토요일) 8:30~17:00 (세타가야구 Hanegi 공원 • 도쿄 Kinuta 공원)
			• 일정② 1/28 (일요일) 8:30~17:00 (네리마구 Kodomo no Mori 공원 • 도쿄 Fuchunomori 공원)
3	必須	記入	전화번호
4	必須	記入	이메일 주소
5	任意	記入	주소
섹션 2 참가하시는 분의 정보를 알려주세요.			
1	必須	記入	보호자 이름
2	任意	記入	후리가나
3	必須	選択	나이
			• 20 대
			• 30 대
			• 40 대
			• 50 대
			• 60 대
			• 70 대 이상
4	必須	選択	신체 장애 등으로 인해 특별한 배려가 필요한 경우, 알려주세요.
			• 있음
			• 없음
		記入	• 그 외
5	任意	記入	신체 장애의 종류를 알려주세요.
6	必須	記入	어린이의 이름
7	任意	記入	후리가나
8	必須	記入	연령
9	必須	記入	학년
10	必須	選択	신체 장애 등으로 인해 특별한 배려가 필요한 경우, 알려주세요.

			· 있음
			· 없음
		記入	· 그 외
1 1	任意	記入	신체 장애의 종류를 알려주세요.
섹션 3 아래 내용을 잘 읽어보시고, 충분히 확인하신 후에 신청해주시기 바랍니다.			
1	必須	選択	■개인정보 보호에 관하여
			기입하신 개인정보에 관해서는 본 사업내에서만 취급하며, 제 3 자에게 공개하지 않습니다. 단, 불의의 사고 등에 의한 긴급 대응이 필요한 경우, 개인정보가 이용되는 경우가 발생할 수 있습니다.
			체험 투어중에 아이의 사진·동영상등의 촬영을 실시해, 사업의 기록 등에 사용하는 경우가 있기 때문에, 미리 양해 바랍니다. 사진 및 동영상 등의 촬영과 그 이용을 거부하시는 경우에는, 본 신청서 끝부분에 있는 자유기입란에 반드시 기입을 부탁드립니다. 기입하지 않으신 경우, 사진 및 동영상 등의 촬영에 동의해 주신 것으로 간주하겠습니다.
			· 확인했습니다.
2	必須	選択	■자녀분의 안전 확보에 관하여
			회의 참가자는 전원 단체 보험에 가입됩니다.
			자녀분이 부상을 당하거나 질병이 의심되는 경우, 신속하게 의료기관에 연락하겠습니다.
			자녀분께 지병 등이 있는 경우에는 반드시 본 신청서 끝부분에 있는 자유기입란에 기입해 주시기 바랍니다. 보호자의 동반이나 약품 등의 지참 등, 필요한 대응을 부탁드립니다.
			체험 투어에 필요한 일반 의약품과 응급처치 용품을 제공하고 있으나, 의약품 복용 등의 지원은 불가능하오니 양해 바랍니다.
			· 확인했습니다.
3	必須	選択	■면책사항에 관하여
			집합 장소로의 왕복의 이동중 및 공원내에서의 체험중은, 보호자님의 책임에 있어서 아이의 안전을 확보해 주세요. 이동중 및 공원 내의 사고나 트러블등에 대해서, 위탁 사업자에게 고의 또는 중과실이 있는 경우를 제외하고, 그 책임을 질 수 없습니다.
			당사는 체험 투어에서 참가자 또는 그 보호자와의 상호간 및 참가자 또는 그 보호자와 제 3 자 사이에서 발생한 일체의 트러블에 관하여 위탁 사업자에게 고의 또는 중과실이 어떤 경우를 제외하고는 책임을 질 수 없습니다.
			본 회의 참석시, 개인 소지품은 직접 관리하시기 바랍니다.
			· 확인했습니다.
4	必須	選択	■설비 손상에 관하여
			참가자가 고의 또는 과실에 의해 설비 등에 손상을 주었을 경우, 그 수리비 등을 부담해야 하는 경우가 있습니다.
			· 확인했습니다.

5	必須	選択	■체험 투어의 중지에 대해서
			부득이한 이유에 의해 체험 투어의 개최 일시의 변경이나, 시찰 투어를 중지하는 경우가 있기 때문에, 양해 바랍니다.
			・ 확인했습니다.
섹션 4 자유롭게 기입해 주세요.			
1	임의	기입	특수한 배려가 필요한 경우, 구체적으로 기입해주세요.
2	임의	기입	참가에 관하여 불안을 느끼는 요소나 의문 등이 있으신 경우, 여기에 기입해주세요.

4.3 当日資料

(1) しおり

各公園の情報を参加者に共有するために、しおりを以下のとおりで作成した。

■羽根木公園・砦公園（1月27日午前・午後）

みんなの公園会議

インクルーシブ公園

体験ツアーのしおり

はねぎ こうえん
羽根木公園

きぬた こうえん
砦公園

2024年1月27日

スケジュール

8:30 集合	きぬた こうえん ちやく
8:45 出発（車内で自己紹介）	13:20 砦公園着
10:00 羽根木公園 着	13:30 説明（みんなのひろば）
10:10 説明（ブレイクパルク）	14:00 質問（インタビュー）
10:30 質問（インタビュー）	14:30 こうえん あそ
11:00 こうえん あそ	15:15 集合
11:45 集合	15:30 出発
12:00 昼食	17:00 小金井市役所着
12:30 出発	

バスの中ですること

自己紹介

なまえ
・お名前

ようちえん がっこう なまえ
・幼稚園、学校 の名前

がくねん
・学年

あそ こうえん
・よく遊ぶ公園

さんか りゆう
・このツアーに参加した理由

予習

あそ ぼ
インクルーシブな遊び場づくりについて

地域のみんなで育てる公園
インクルーシブな遊び場づくり

インクルーシブな遊び場って
なに？

マップ

はねぎ こうえん 羽根木公園

きぬた こうえん 砦公園

きぬた こうえん 砦公園 バリアフリーマップ

めあて

- ・インクルーシブ公園を見てみよう。
- ・インクルーシブ公園の人に話を聞いてみよう。
- ・インクルーシブ公園で遊んでみよう。
- ・みんなが楽しく過ごせる公園を考えてみよう。
- さんか ともだち
・参加したみんなと、お友達になろう。
- きょう つた
・今日のことを、みんなに伝えてみよう。

きつ
気を付けること

- きぶん わる がまん こえ
・ バスで気分が悪くなったなら、我慢しないで、すぐにスタッフに声をかけてください。
- い えんりょ こえ
・ トイレに行きたくになったら、遠慮しないで、スタッフに声をかけてください。
- しゅうごうじかん まも
・ 集合時間はかならず守ってください。
- こうえんない しゃしんさつえい こうえん まも
・ 公園内での写真撮影などは、それぞれの公園のルールを守ってください。
- どちゅう かえ かつ かならず こえ
・ 途中で帰られる方は、必ずスタッフに、声をかけてください。

みな
皆さんにお聞きしたいこと

- あそ
遊びやすかったですか。
- こま
困ったことはありましたか。
- だれ はな
誰かと話をしましたか。
- なに あそ
何をして遊びましたか。
- あそ こうえん なに ちが
いつも遊んでいる公園と何か違うところがありましたか。
- こうえん ひと い
公園にはどんな人が居ましたか。
- こがおいし こうえん おも
小金井市には、どんな公園があればいいと思いますか。

き
気になったことをメモしておこう

はねさこうえん 羽根木公園	きぬたこうえん 砧公園
--------------------------	------------------------

れんらくさき
連絡先リスト

- | | | |
|-------------------|----------------------------|--------------|
| はねごこうえん | | |
| ■羽根本公園 | プレーパーク | 03-3324-9284 |
| きぬたこうえん | | |
| ■砧公園 | サービスセンター | 03-3700-0414 |
| こがねいし | | |
| ■小金井市 | たんとう やまざき せきぐち
担当：山崎、関口 | |
| ■バンフィックコンサルタンツ（株） | | |
| たんとう おのざき | | |
| 担当：小野崎 | 090-7713-0093 | |
| まつだ | | |
| 松田 | 070-1294-8016 | |

これからこと

- あそ ば ちょうさ
2月中ごろ こどもの遊び場についてアンケート調査
- 令和6年度
- 5月～ ゆうぐ しけんせっち
インクルーシブ遊具の試験設置
かじのこうえん さんらくこうえん よてい
(梶野公園と三楽公園を予定)
- さいえん
菜園づくり
- いばしよ
こどもの居場所に関するアンケート
- 冬～ ゆうぐ せっち
インクルーシブ遊具の設置



視察レポート(例) 2024年1月●日 名前 こがねい たろう

△□ができて楽しかった！

※大きなふたつに遊んでみるのがいいな。

○○○○○○○
○.....
.....
.....
.....

写真 1

写真 2

どろんこになってた！

○○○○○○○
○.....
.....
.....
.....

写真 3

写真 4

ちず

写真 5

■練馬こどもの森・府中の森公園（1月28日午前・午後）

こうえんかいぎ
みんなの公園会議

こうえん
インクルーシブ公園

たいけん
体験ツアーのしおり

ねりま もり
練馬こどもの森

ふちゅう もりこうえん
府中の森公園

2024年1月28日

スケジュール

8:30 集合	13:20 ふちゅう もりこうえん ちやく 府中の森公園 着
8:45 しゅっぱつ (車内で自己紹介)	13:30 せつめい 説明（にじいろひろば）
10:00 ねりま もり ちやく 練馬こどもの森 着	13:30 説明（こどもの森）
10:10 せつめい 説明（こどもの森）	14:00 質問（インタビュー）
10:30 質問（インタビュー）	14:30 にじいろ広場で遊ぶ
11:00 こどもの森で遊ぶ	15:15 集合
11:45 集合同 ちゅうしゃよく	15:30 しゅっぱつ 出発
12:00 昼食	17:00 こがねいしやくしよちやく 小金井市役所着
12:30 しゅっぱつ 出発	

バスの中ですること

じしやうかい
自己紹介

なまえ
・お名前

ようちえん がっこう なまえ
・幼稚園、学校 の名前

がくねん
・学年

あそ こうえん
・よく遊ぶ公園

さんか りゆう
・このツアーに参加した理由

よしゆう
予習

あそ ぼ
インクルーシブな遊び場づくりについて

地域のみんなで作る公園
インクルーシブな遊び場づくり

インクルーシブな遊び場って
なに？

みんなが楽しく遊ぶ公園を作りたい！
障害のある人もない人も
みんなが楽しく遊ぶ公園を作りたい！
障害のある人もない人も
みんなが楽しく遊ぶ公園を作りたい！
障害のある人もない人も

マップ

こどもの森MAP

ふちゅう もりこうえん
府中の森公園

ふちゅう もりこうえん
府中の森公園
マップ

インクルーシブな遊び場

めあて

- ・インクルーシブ公園を見てみよう。
- ・インクルーシブ公園のひと話を聞いてみよう。
- ・インクルーシブ公園で遊んでみよう。
- ・みんなが楽しく過ごせる公園を考えてみよう。
- ・さんか ともち
・参加したみんなと、お友達になろう。
- ・きょう つた
・今日のことを、みんなに伝えてみよう。

きつ
気を付けること

- きぶん わる がまん こえ
・ バスで気分が悪くなったら、我慢しないで、すぐにスタッフに声をかけてください。
- い えんりょ こえ
・ トイレに行きたくなったら、遠慮しないで、スタッフに声をかけてください。
- しゅうごうじかん まも
・ 集合時間はかならず守ってください。
- こうえんない しやしんさつえい こうえん まも
・ 公園内での写真撮影などは、それぞれの公園のルールを守ってください。
- どちゅう かえ かた かならず こえ
・ 途中で帰られる方は、必ずスタッフに、声をかけてください。

みな
皆さんにお聞きしたいこと

- あそびやすかったですか。
- こま
- 困ったことはありましたか。
- だれ はな
- 誰かと話をしましたか。
- なに あそ
- 何をして遊びましたか。
- あそ こうえん なに ちが
- いつも遊んでいる公園と何か違うところがありましたか。
- こうえん ひと い
- 公園にはどんな人が居ましたか。
- こがねいし こうえん おも
- 小金井市には、どんな公園があればいいと思いますか。

き
気になったことをメモしておこう

ねりま もり 練馬こどもの森	ふちゅう もり こうえん 府中の森公園
---------------------------	--------------------------------

れんらくさき
連絡先リスト

ねりま もり かんりしや
 ■練馬こどもの森 管理者 03-5999-6200
 ふちゅうもりこうえん
 ■府中の森公園 サービスセンター 042-364-8021
 こがねいし たんとう こぼやし
 ■小金井市 担当：小林
 ■バシフィックコンサルタンツ（株）
 たんとう おのぶぎ
 担当：小野崎 090-7713-0093
 まつだ
 松田 070-1294-8016

これからのこと

あそ ば ちょうさ

2月中ごろ こどもの遊び場についてアンケート調査

令和6年度

5月～ ゆうぐ しけんせっち
インクルーシブ遊具の試験設置
かじのこうえん さんらんくこうえん よてい
(梶野公園と三楽公園を予定)

さいえん
菜園づくり
いばしよ
こどもの居場所に関するアンケート
ゆうぐ せっち
インクルーシブ遊具の設置

冬～

観察レポート 年 月 日 名前 _____



観察レポート(例) 2024年1月●日 名前 こがねい たろう

◎△□ができて楽しかった！

○○○○○○○○○
○
.....
.....

写真 1

写真 2

こんなののはじめてみた！

○○○○○○○○○
○
.....
.....
.....

写真 3

▼※＆\$なふうに進んでる子がいたよ

○○○○○○○○○
○
.....
.....
.....

写真 4

どろんこになってた！

○○○○○○○○○
.....
.....
.....

ちず

写真 5

【巻末資料】実施事業の報告

3. 市民アンケート

目次

1. 実施概要	1
2. 子どもの回答結果	2
2.1 回答者の属性	2
2.2 回答結果	3
3. 大人の回答結果	9
3.1 回答者の属性	9
3.2 回答結果	10
4. 自由意見の整理	36
4.1 公園に関する自由意見（良いところや悪いところなど）	36

1. 実施概要

(1) 目的

インクルーシブデザインに配慮した公園の整備にむけて、現在、子どもたちが公園で遊ぶ上で抱える課題や、将来の公園についての、あらゆる子どもたちの考えを収集するために、アンケート調査を実施する。

(2) 調査対象

市内の子ども、保護者、

(3) 調査方法

WEB 調査（Google フォーム）

(4) 実施期間

2024 年 2 月 13 日～3 月 12 日

(5) 使用言語

日本語、英語、中国語、韓国語

(6) 周知・PR 方法

- ①市内小学校等への案内の配布
- ②市ホームページへの掲載
- ③みんなの公園会議、公園事例視察等参加者（申込者）へのメール

(7) 内容

1) 情報提供

- ・ みんなの公園会議 + 事例視察の動画（数分）
- ・ みんなの公園会議 結果概要資料
- ・ 公園視察ツアー 結果概要資料

2) アンケート設問の種類

子どもと大人それぞれに以下の内容について回答を集めた。

- ・ 回答者の属性
- ・ インクルーシブについて
- ・ 公園について

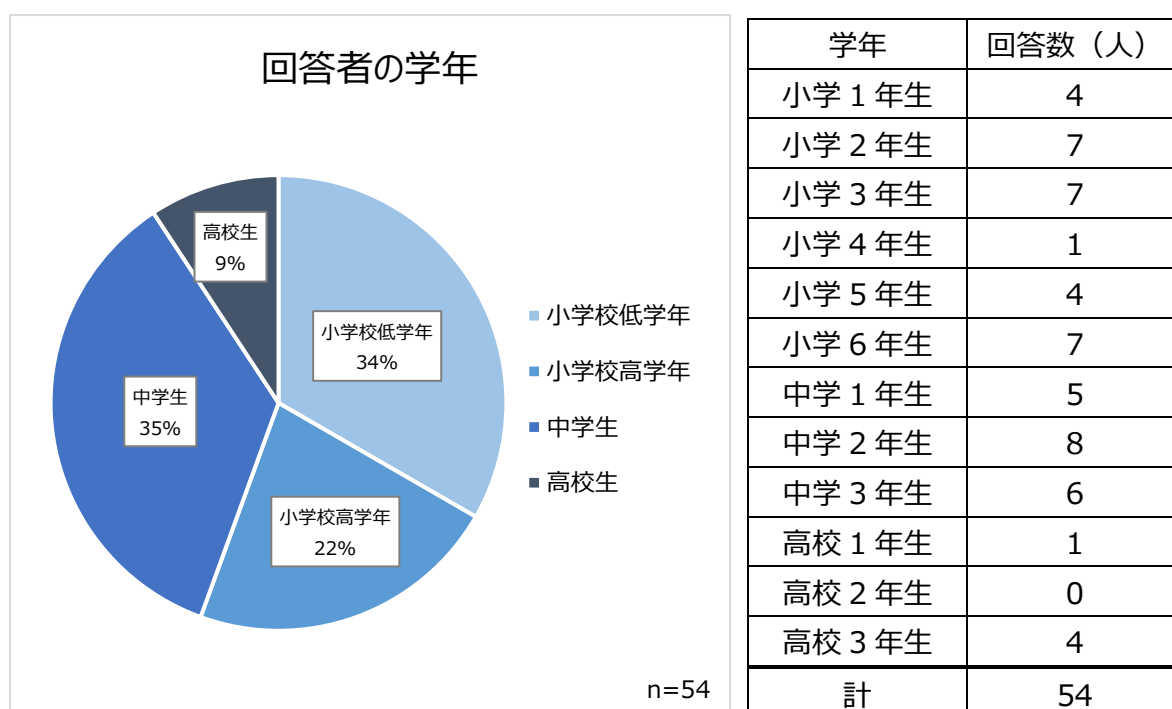
(8) 回答数

- ・ 日本語版：160 名（子ども：48 名、大人：112 名）
- ・ 英語版：6 名（子ども：3 名、大人：3 名）
- ・ 中国語版：3 名（子どものみ）
- ・ 韓国語版：なし

2. 子どもの回答結果

2.1 回答者の属性

- ・ 子どもの回答者の合計 54 人のうち、小学校低学年が 3 割強（18 人）、小学校高学年が 2 割強（12 人）、中学生が 3 強（19 人）と一定数回答があった。
- ・ 高校生は 5 人と回答数が少なくクロス集計の際には比較が難しいため、以降、中学生以上の分類で比較することとする。
- ・ 特別支援学校の方が 3 人、外国の方（外国語で回答された方を含む）が 7 人だった。※



※「特別支援学校の方」と回答した人：小学 3 年生 2 人、小学 6 年生 1 人

日本語版アンケートで「外国の方」と回答した人：小学 2 年生 1 人

英語版アンケートの回答者：小学 2 年生、5 年生、6 年生 各 1 人

中国語版アンケートの回答者：小学 1 年生、4 年生、6 年生 各 1 人

2.2 回答結果

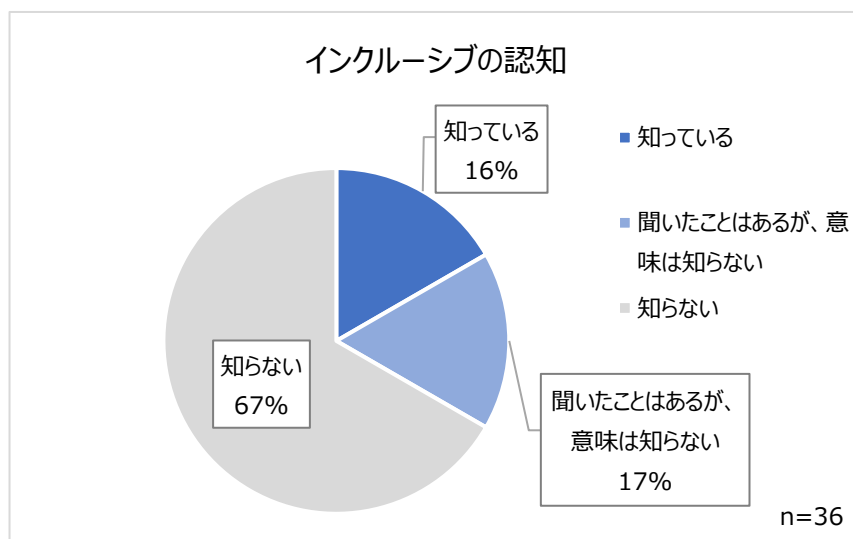
(1) インクルーシブについて

Q. 障がいや年齢、国籍や性別などを問わずお互いを認め合い、排除されないといった意味で使われている「インクルーシブ」という言葉を知っていますか。

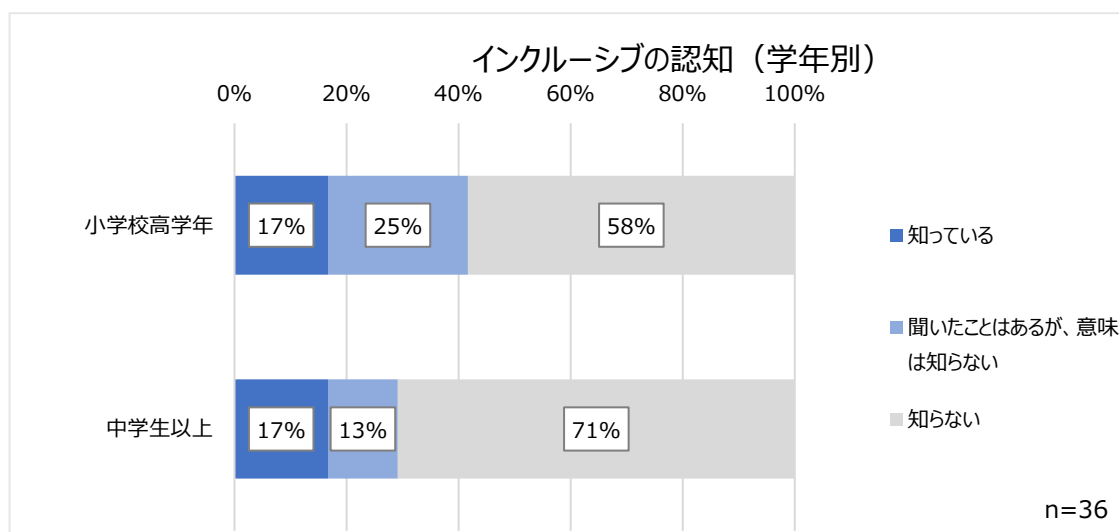
※小学校高学年以上が対象（計36名）

- ・ 「インクルーシブ」という言葉を知らない人が 7 割弱と、**回答者の過半数以上が知らなかった。**
- ・ 「インクルーシブ」の意味を知っている人は 2 割弱にとどまった。
- ・ 年齢層で比較すると、中学生以上の方がやや「知らない」の回答割合が高いが、際立った差は見られない。

〈全体〉



〈学年による比較〉



※参考

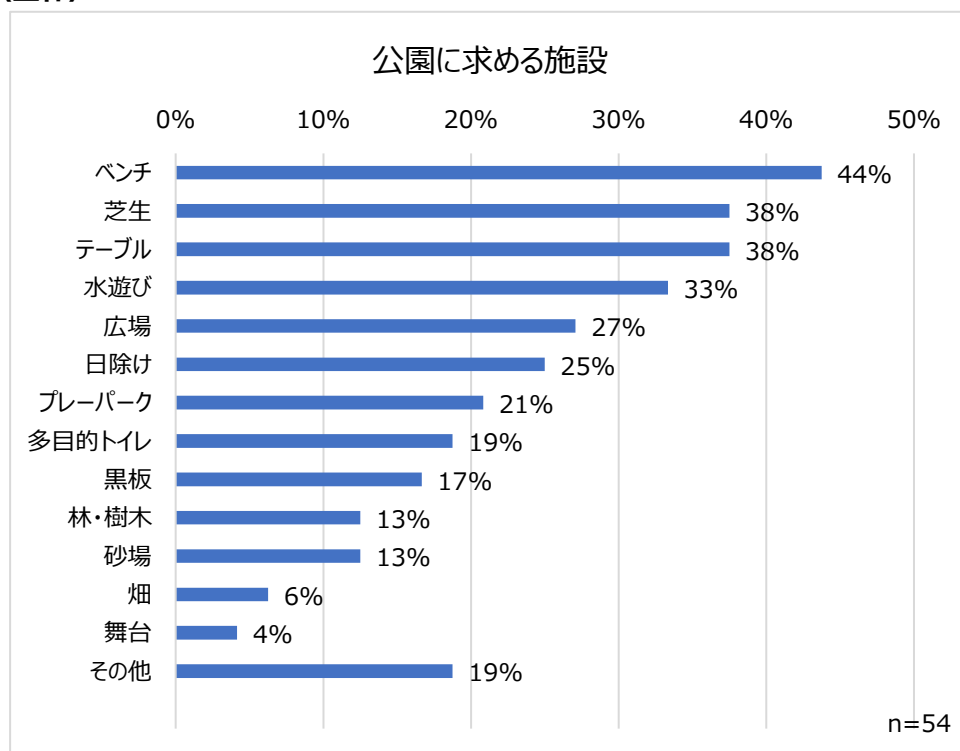
	結果（複数回答数）
特別支援学校の生徒（n=1）	知っている
外国の方（n=4）	知っている、聞いたことはあるが意味は知らない、知らない（2）

(2) 公園に求める施設について

Q. どんな遊び場や居場所があれば、公園にもっと行きたくなるか教えてください（3つまで）

- ・ 「ベンチ」、「芝生」、「テーブル」、「水遊び」、「広場」が上位 5 つの回答であった。
- ・ そのうち、「水遊び」は学年が低いほど回答率が高く、「ベンチ」「テーブル」は学年が高いほど回答率が高い。「芝生」も中学生以上で高く、小学校高学年より低学年が高く回答していた。
- ・ 「広場」は中学生上の半数が回答している一方、小学生は 1 割にとどまった。「日除け」も似た傾向があった。
- ・ 「プレーパーク」「多目的トイレ」「舞台」はいずれも小学校低学年の回答率が高い傾向があった。
- ・ 「黒板」「林・樹木」「砂場」「畑」は小学校高学年の回答率がやや高かった。
- ・ **小学校低学年は、五感を使つてのびのびと遊べる場（水遊び、芝生、プレーパークなど）、小学校高学年は、より多様な遊びの展開（黒板、樹木、砂場、畑など）、中学生以上は滞留できる空間（ベンチ、テーブル、芝生、広場、日よけなど）を求めていることが推察される。**

〈全体〉

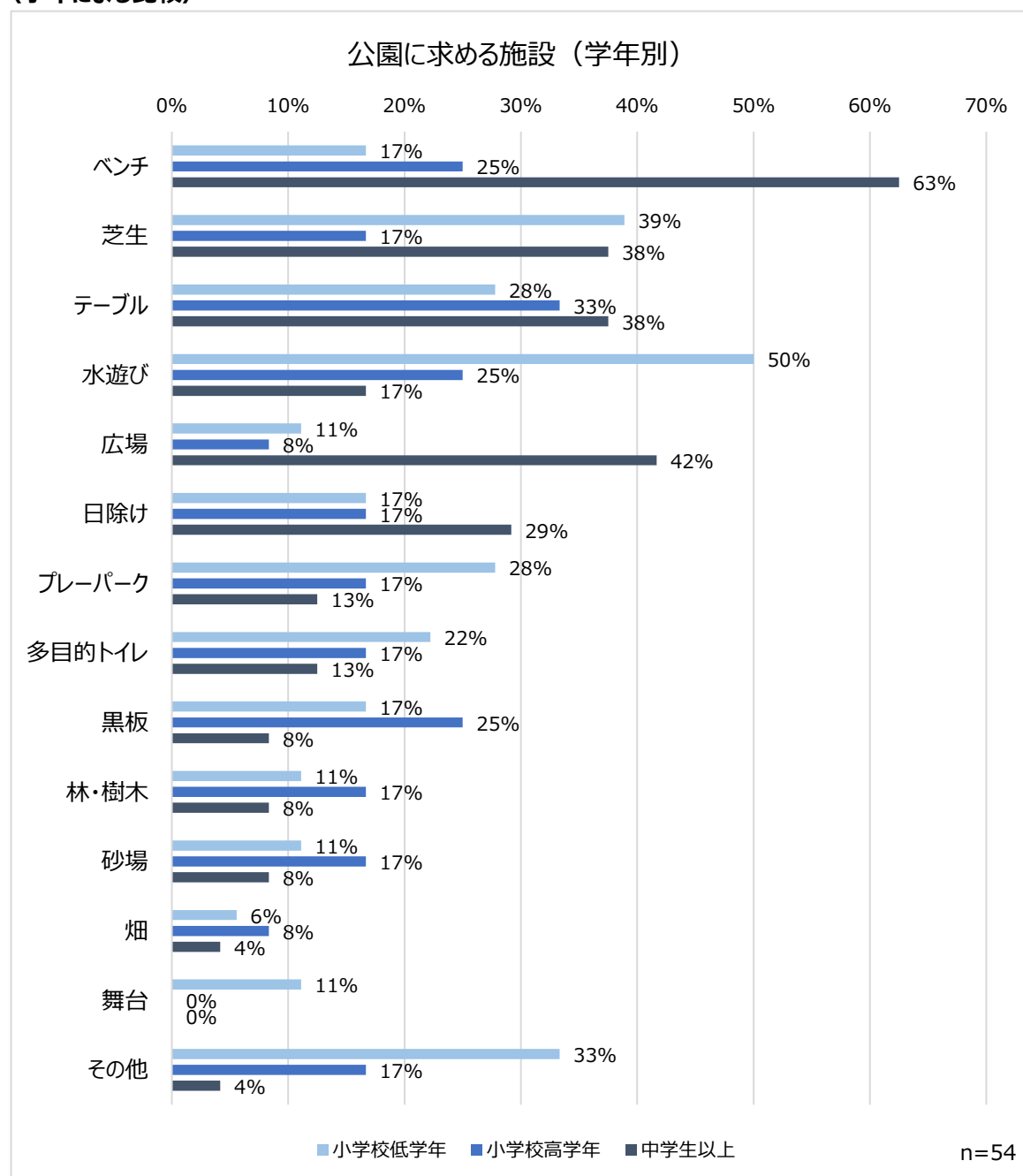


〈その他意見・要望〉

意見・要望

- ・ サッカーゴール
- ・ サッカーボールがけれる場所
- ・ ジップライン
- ・ とらんぼりん
- ・ ボール遊び楽しすぎる
- ・ 鬼ごっこやかくれんぼなどがたくさんできて楽しい場所
- ・ 小さな子と別に出来る場所
- ・ 沢山の遊具（取り合いになるため）
- ・ 池がある、稚魚や鴨がいる

〈学年による比較〉



※参考

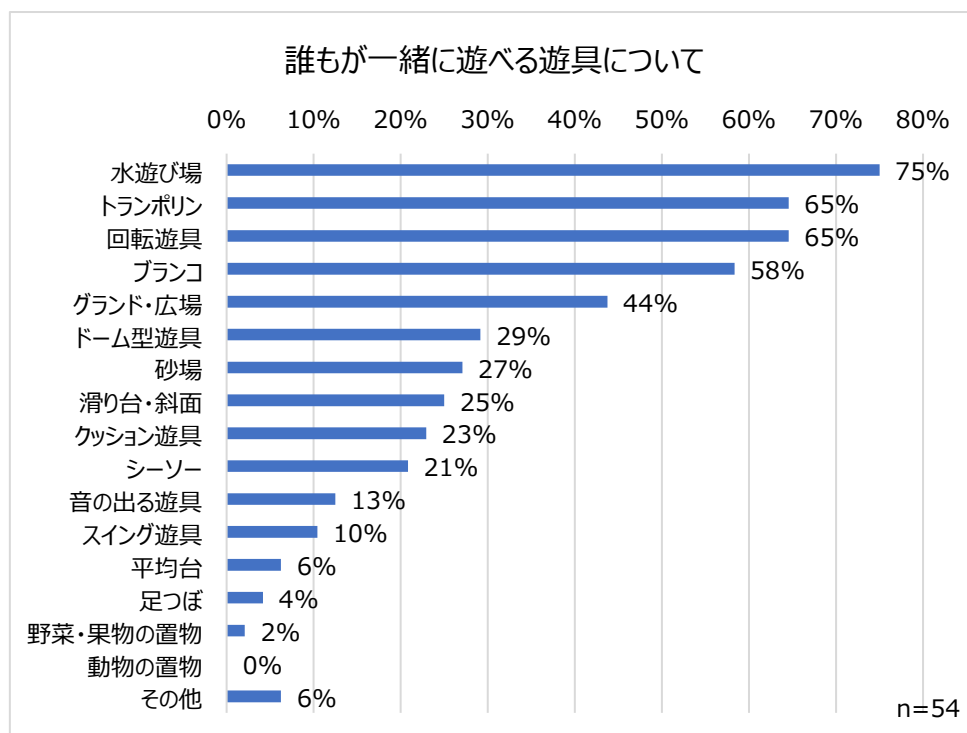
	結果（複数回答数）
特別支援学校の生徒（n=3）	水遊び（2）、多目的トイレ、プレーパーク、その他（2）
外国の方（n=7）	テーブル（6）、砂場（3）、水遊び（2）、畑（2）、ベンチ（2）、日除け、芝生、黒板

(3) 誰もが一緒に遊べる遊具について

Q. 誰もが一緒に遊べる遊具をつくる場合、どんな遊具があったらいいか教えて下さい（5つまで）

- ・ 「水遊び場」の回答率が8割弱と最も高く、いずれの年齢層でも同様に回答率が高いことから、**「水遊び場」は誰もが一緒に遊べる遊び場と年齢によらず認識**されていると考えられる。
- ・ 次に、「トランポリン」「回転遊具」「ブランコ」が6割前後の回答率があり、**低学年の回答率が高い**傾向があった。
- ・ 「グランド・広場」は全体で4割強の回答があり、**中学生以上の回答率は5割強と高い一方**、小学生は3割弱にとどまった。
- ・ 「ドーム型」「砂場」「クッション遊具」はどの年齢層でも2割～3割と一定数回答された。
- ・ 「滑り台・斜面」は、小学校高学年以上は一定数回答があるが、低学年の回答率が低い。
- ・ 「シーソー」は全体で2割の回答があるが、小学校高学年で回答率が低い。一方で、「音の出る遊具」は全体で1割強だが、小学校高学年からは3割弱と一定数回答された。

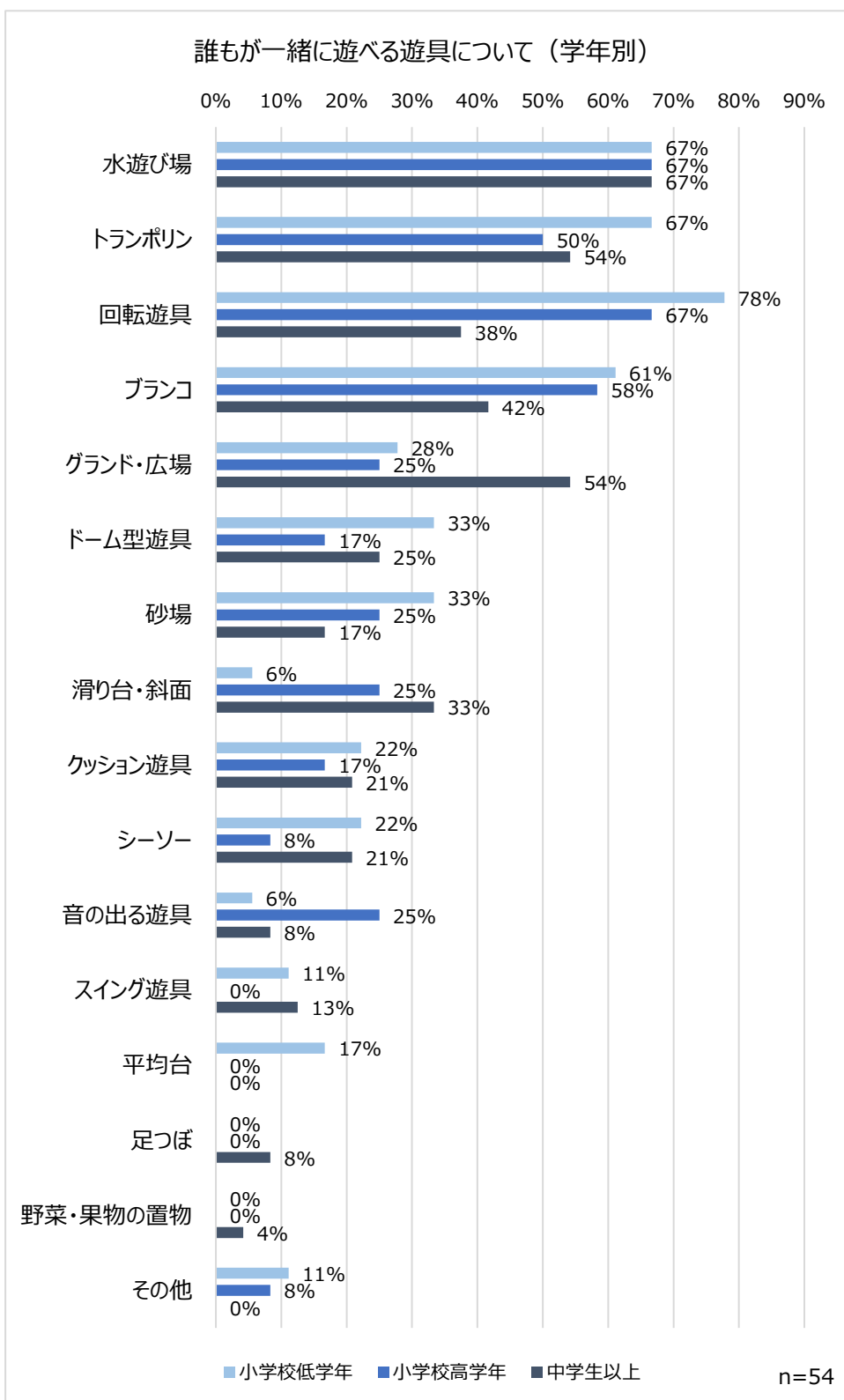
〈全体〉



〈その他意見〉

意見・要望	
・	ふわふわドーム（小金井公園）
・	よじのぼれる遊具
・	鉄棒

〈学年による比較〉



※参考

	結果（複数回答数）
特別支援学校の生徒（n=3）	回転遊具（3）、トランポリン（3）、シーソー、ブランコ、スイング遊具、水遊び場、滑り台、音の出る遊具、その他
外国の方（n=7）	回転遊具（6）、水遊び場（5）、ブランコ（5）、砂場（4）、グラウンド・広場、ドーム型遊具、シーソー

(4) 公園に関する意見

Q. その他に公園で楽しかった事や、困った事など、何か意見があれば教えて下さい。(自由回答)

意見・要望

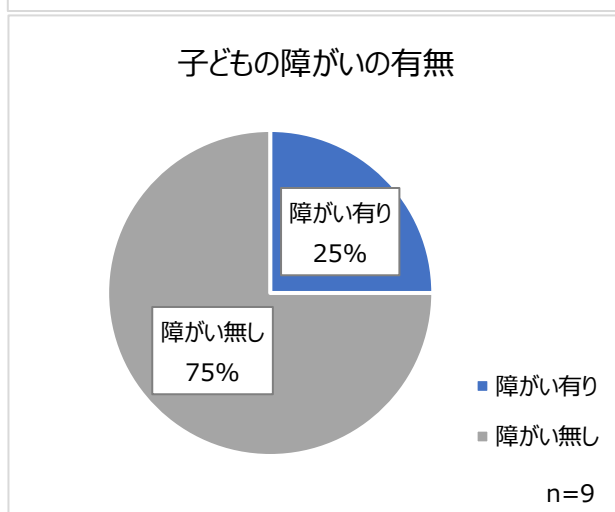
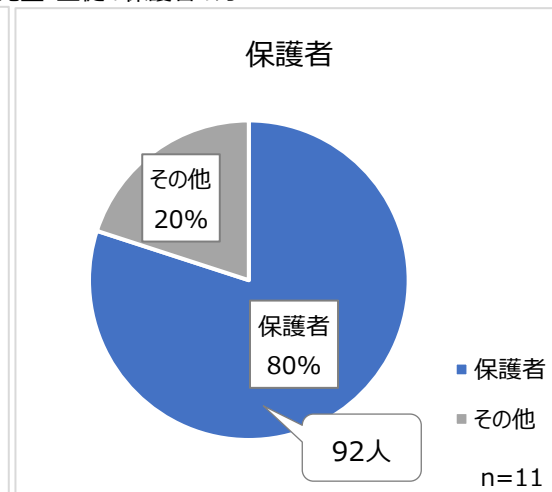
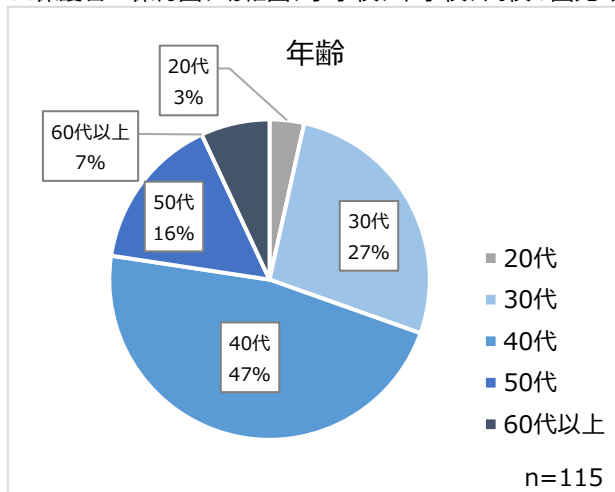
- ・ 野川公園を見習って広場もあっていいけどもう少し遊具を多くした方が良い
- ・ 水道に石鹸を置いて欲しい
- ・ ターザンロープや複合遊具についている滑り台は、障害のある子にとっては、皆がどう並んでいるのかがわかりにくい場合があって、滑り台自体はひとりでできる能力があっても、列の最後尾や見えないルールわからず、ひとりで参加し辛いことがあります。どう並んでいるのかが、パッと見て分かりやすい列ができるような遊具だと助かります(横入りしにくい幅の一本道など。)
- ・ プランコが大好きです。困ったこと:梶野町くぬぎ公園は楽しい遊具があるが蚊がたくさんいて 5 分も遊べないことがあった
- ・ ベンチがなかったらかなしいです。あかるいトイレがよいです。ジャングルジムがすきです
- ・ 中身が幼くても体格差で小さな子にケガをさせないか心配なため、大きい体の人用など分けるほうが安心。囲いがあってすぐに道路などに出られない方が追いかけやすい。看板で障がいの様子(大声が出ちゃうのは楽しいだけだよ、とか)がお知らせしてであると伝わりやすい
- ・ ドッチボールをやることが多いのでボール使用ありの公園があると嬉しいです
- ・ すべりだいのしたのみずたまりであそべないからなんとかして
- ・ キャッチボール
- ・ 知らない人に声をかけられて怖い思いをしました。子供だけで遊ぶことがよく見られる時間帯は、誰か大人の人が必ず見守ってくれと安心です
- ・ 友達と一緒に食事をおもてなしたかった時にテーブルがあった方がよいと思いました。
- ・ プランコが人気なので、なかなか遊べない。ボール遊びができる場所がない。
- ・ 人気の遊具は混んで入れ替え制で並ぶ、もっと色々な公園にあったら混まないのに。夏季は日中暑いので朝や夕方に使いたいけど利用時間が限られている(小金井公園ふわふわドーム)。夏はナイト営業してもらいたい。足が不自由なので駐車場がないと(連れて)いけない。都立公園のように手帳で駐車料金が減免(遠隔確認)になる所は行きやすい。多くの遊具は対象年齢が書かれているけど、障がい児なので小さい子用の遊具で遊びたいのに、体は大きいので遊べない。対象年齢+ヘルプマーク(OK)の表示にしてもらいたい。公園会議の動画にあったように、大病院があり障がいの子が多く来る地域など利用者層を考えた作りだといいい(特別支援学校の近くとか)。府中の森公園は冬は池が凍り、鴨が氷上を歩く姿を見るのが大好き(たまに氷の割れ目に落ちる)。郷土の森公園の池の鯉や鴨を見るのも好き。母代筆
- ・ 汚れたときに汚れを落とすためのキレイな水が必要だと感じる
- ・ ボール遊びができる公園が少ないため、そのための環境整備を行ってほしい
- ・ 公園のおかげで色々な人と仲良くなれました
- ・ ボール遊びができる公園がほしい
- ・ 冬以外は、蚊が大量にいて、嫌だから。また、本町 4 丁目の桜公園の横にある白いコンクリートの家のおばさんが、公園で子供が遊んでいるとクレームを付けてきたり、子供たちの写真を撮るから、安心して遊ばせられない
- ・ 子供が公園で遊んでいると、おばさんが盗撮をし、そのうえ、色々な理由で公園で遊ばないようにさせられます。そのため、家の近くや、家の中で遊んでいます、運動ができません。どうにか遊べるようにしてください
- ・ 子供が 2 歳ぐらいの時、遊んでいる時に、突然道路の方にてしまったことが怖かった。囲いがされてる公園がもっとあるといいと思う
- ・ ボール遊びができる公園が少ないので増やしてほしい
- ・ 小金井は小さな面積なので、遊具がある公園、水遊びできる公園、野球とかテニスができる公園がそれぞれ 1 個あればいいと思いますが、それぞれを充実させて欲しいです。家からは栗山公園が近いので、回る遊具やプランコが無いので作ってほしいです。水遊びができる公園も欲しいです

3. 大人の回答結果

3.1 回答者の属性

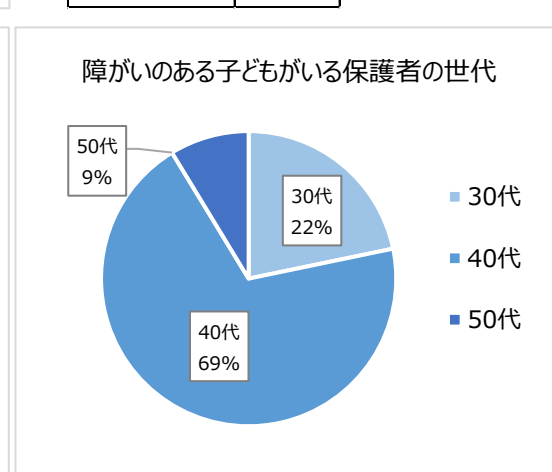
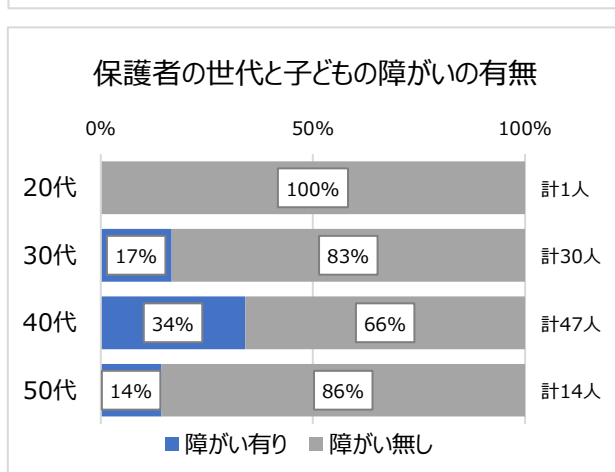
- ・ 大人の回答者（115 人、うち外国の方 3 人）は、40 代が約半数を占め、次いで、30 代、50 代の順位多い。20 代は 4 人と少ないため、次頁から 30 代以下の分類とする。
- ・ 高校生までの子どもの保護者※が 80%を占め、40 代、30 代の順に多かった。
- ・ 保護者（92 人）のうち子どもに障がいがある人は 3 割弱を占め、種別としては、知的障がいが多く、年代は 40 代が 7 割、30 代が 2 割を占めた。

※保護者：保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校の園児・児童・生徒の保護者の方



障がいの種別（n=23）

障がいの種別	人数
知的障がい	14
肢体不自由	9
自閉症	9
発達障がい	8
言語障がい	3
聴覚障がい	1
視覚障がい	1
内部障がい	1
精神障がい	0
自閉症スペクトラム	0
計	46



3.2 回答結果

(1) 障がいのある子とない子が遊ぶ機会

Q. 障がいのないお子さまは障がいのあるお子さまと一緒に公園で遊ぶ機会がありましたか。

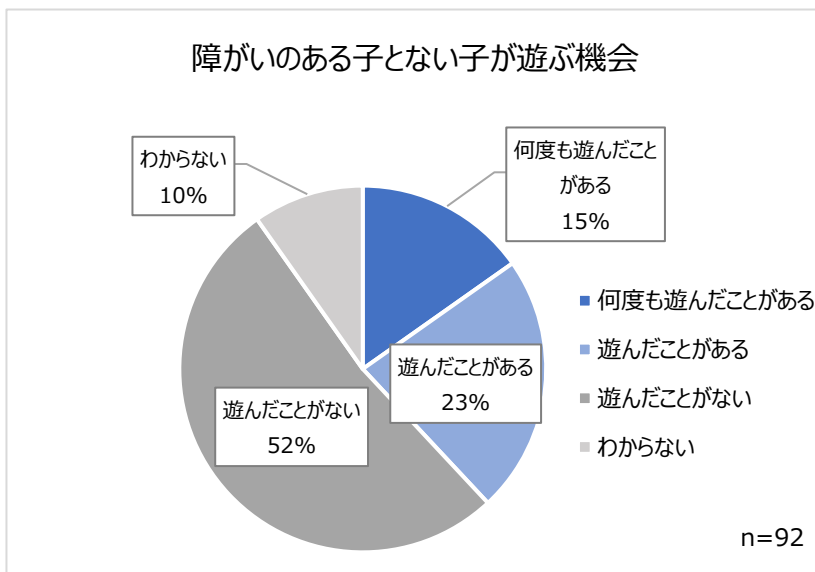
または、障がいのあるお子さまは障がいのないお子さまと一緒に公園で遊ぶ機会がありましたか。

※保護者が対象（計92名）

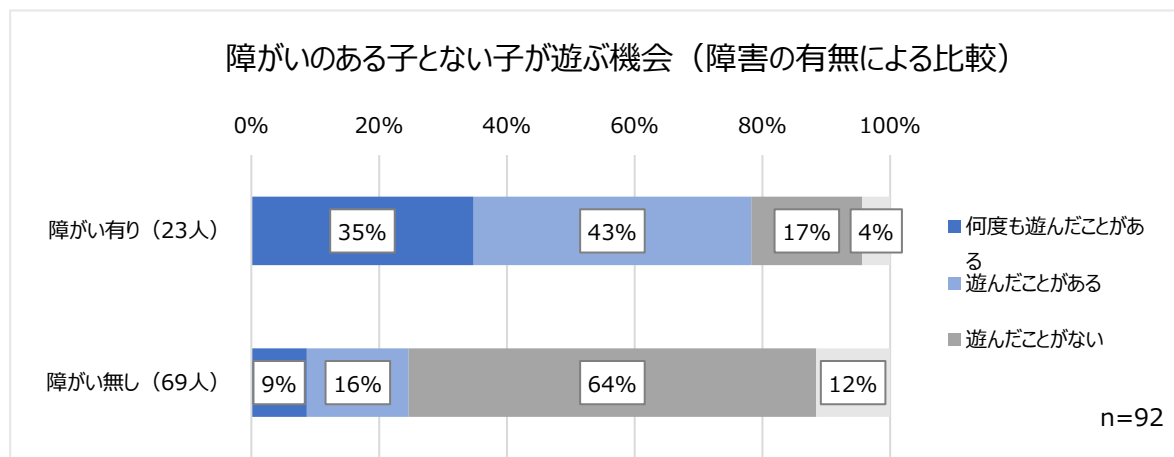
- ・ 障がいのある子とない子とが遊ぶ機会について、約半数が「遊んだことがない」と回答し、「遊んだことがある」は 2 割強、「何度も遊んだことがある」は 2 割弱を占めた。
- ・ **障がいのある子どもの保護者は、障がいのない子どもと 8 割弱が【遊んだことがある】※とした一方で、障がいのない子どもの保護者は、障がいのある子どもと【遊んだことがある】とした人は 2 割強にとどまった。**
- ・ 保護者の世代別で【遊んだことがある】の割合を比較すると、障がいのある子どもの保護者が多い 40 代が高い。

※【遊んだことがある】：「何度も遊んだことがある」と「遊んだことがある」の回答の合計

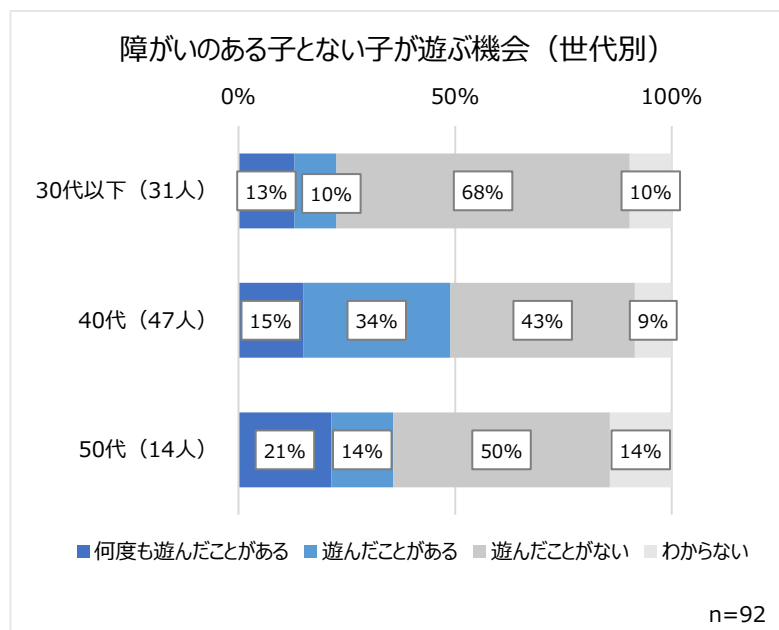
〈全体〉



〈障がいの有無に関する比較〉



〈世代による比較〉

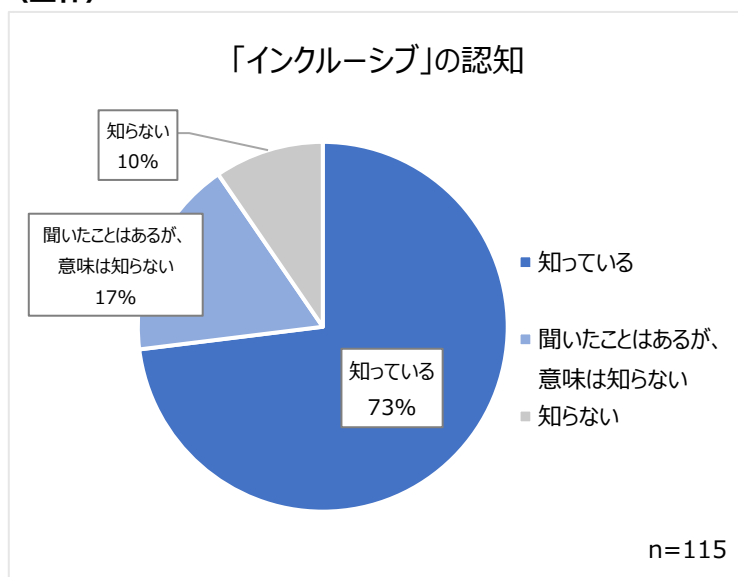


(2) 「インクルーシブ」について

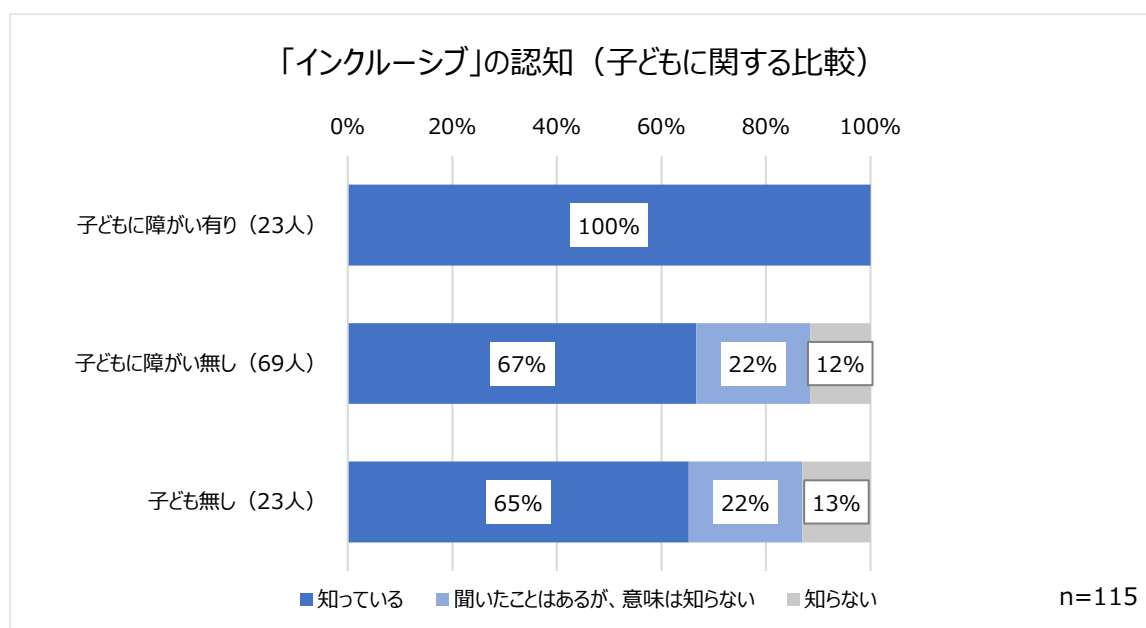
Q. 障がいや年齢、国籍や性別などを問わずお互いを認め合い、排除されないといった意味で使われている「インクルーシブ」という言葉を知っていますか。

- ・ **「インクルーシブ」という言葉を知っている人は全体で 7 割強**を占め、いずれの世代でも 6 割以上の人が認知しており、子どもよりも認知度が高かった。
- ・ 障がいのある子どもの保護者は全ての人を知っている一方で、障がいのない子どもの保護者、子どもがいない人は 2 割強が意味を知らないとし、1 割強が言葉自体を知らないとした。
- ・ 40 代、60 代、30 代以下の順に「知っている」の回答率が高かった。40 代と 30 代以下は、回答者に障がいのある子どもがいる保護者の割合が高いことが影響していると考えられる。
- ・ 50 代は、「聞いたことはあるが意味は知らない」の回答率がやや高かった。

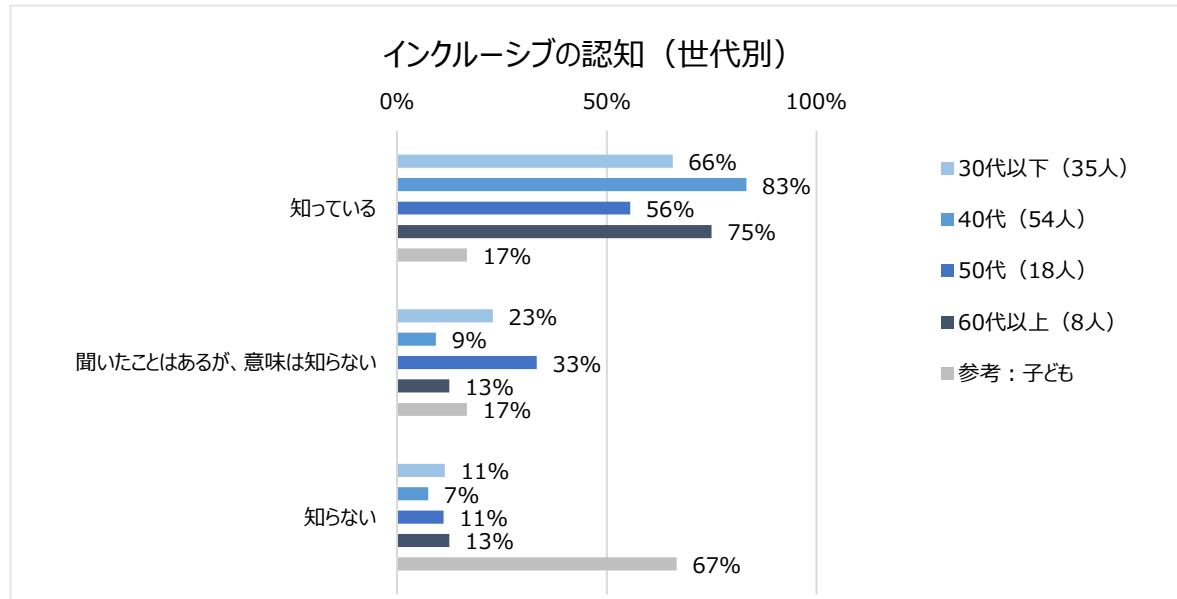
〈全体〉



〈子どもに関する比較〉



〈世代による比較〉



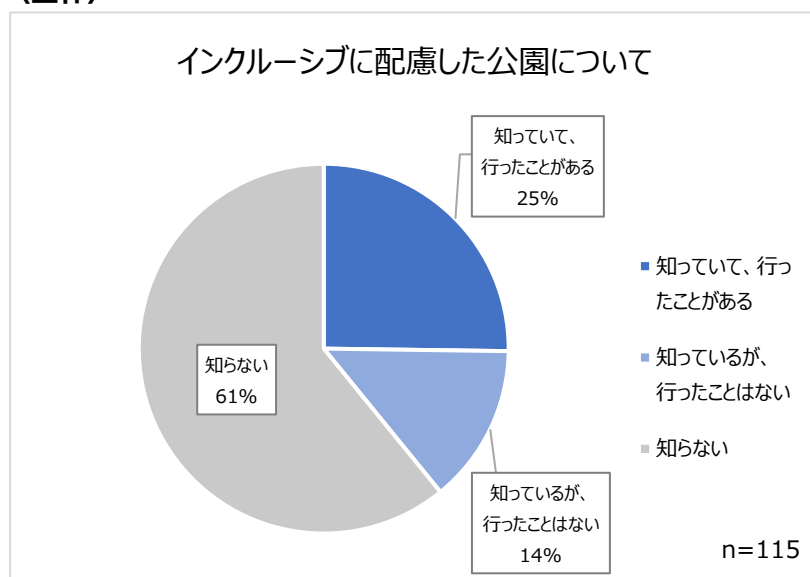
(3) インクルーシブに配慮した公園について

Q. インクルーシブに配慮した公園が近隣でも整備されていますが、知っていますか。

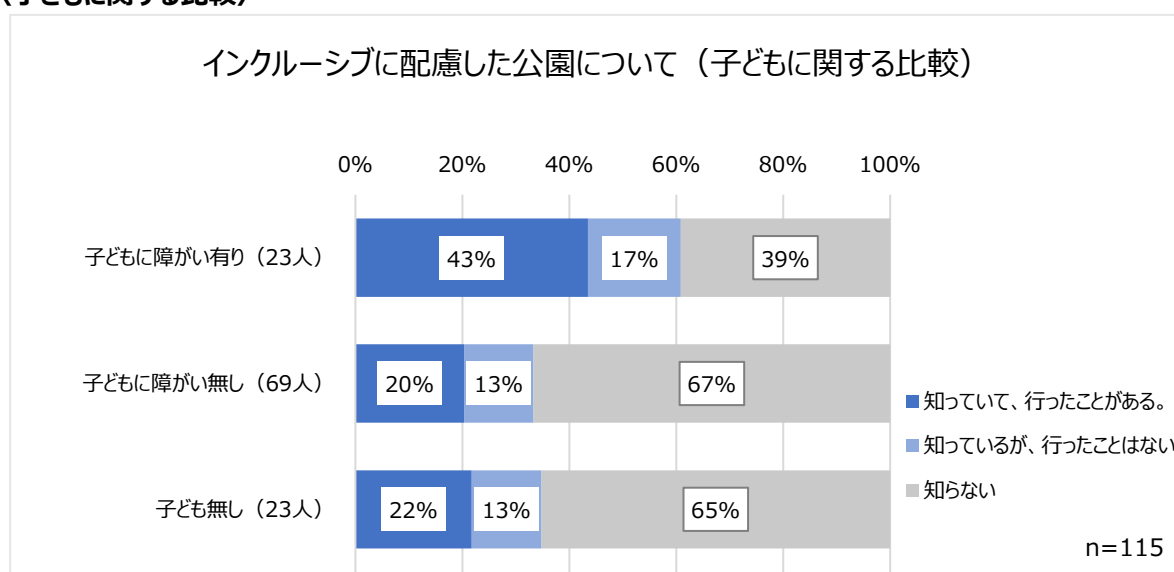
また、そこへ行ったことがありますか。

- ・ **インクルーシブに配慮した公園を「知らない」人が 6 割**を占め、「知っているが行ったことはない」人は全体で 1 割強、「行ったことがある」人は 3 割弱にとどまった。
- ・ 一方で、**障がいのある子どもの保護者では、4 割強の人が「行ったことがある」とした。**
- ・ 「行ったことがある」人は全体で 3 割弱を占め、40 代と 60 代の回答率が高く、30 代以下も一定数回答され、「インクルーシブ」という言葉の認知と同様の傾向だった。

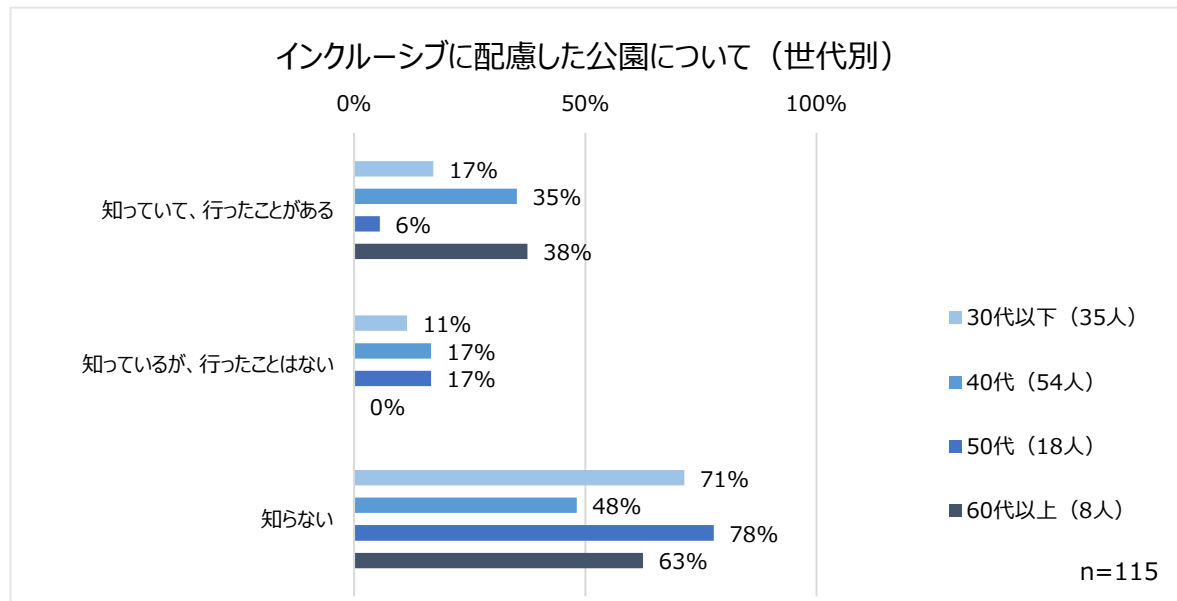
〈全体〉



〈子どもに関する比較〉



〈世代による比較〉

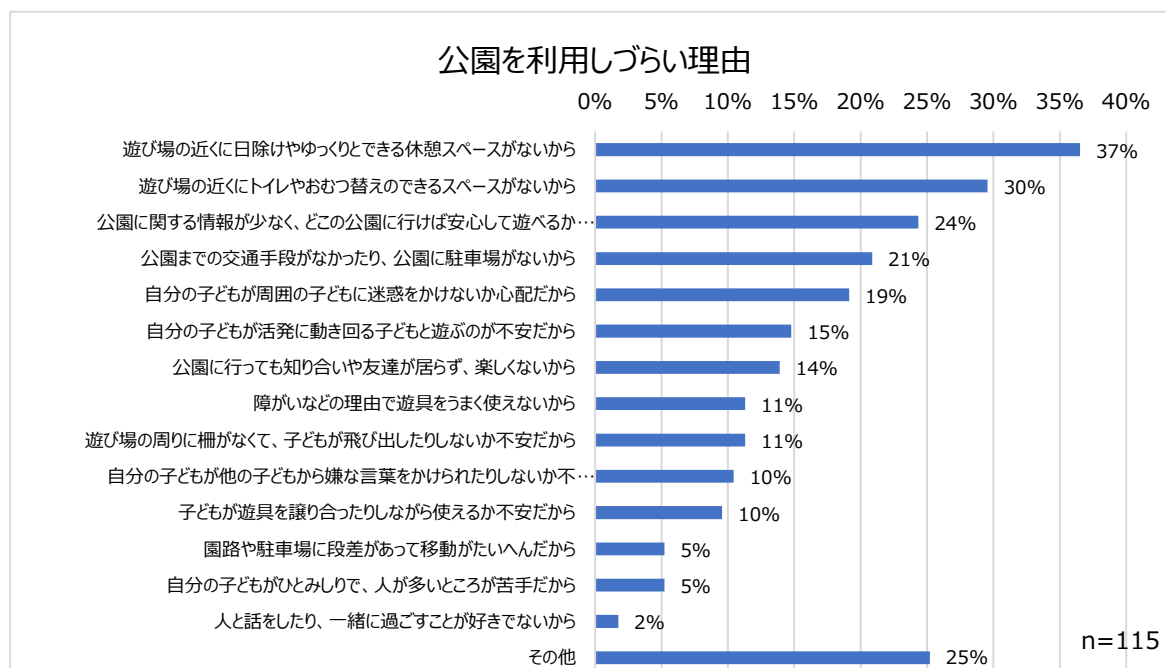


(4) 公園を利用しづらい理由

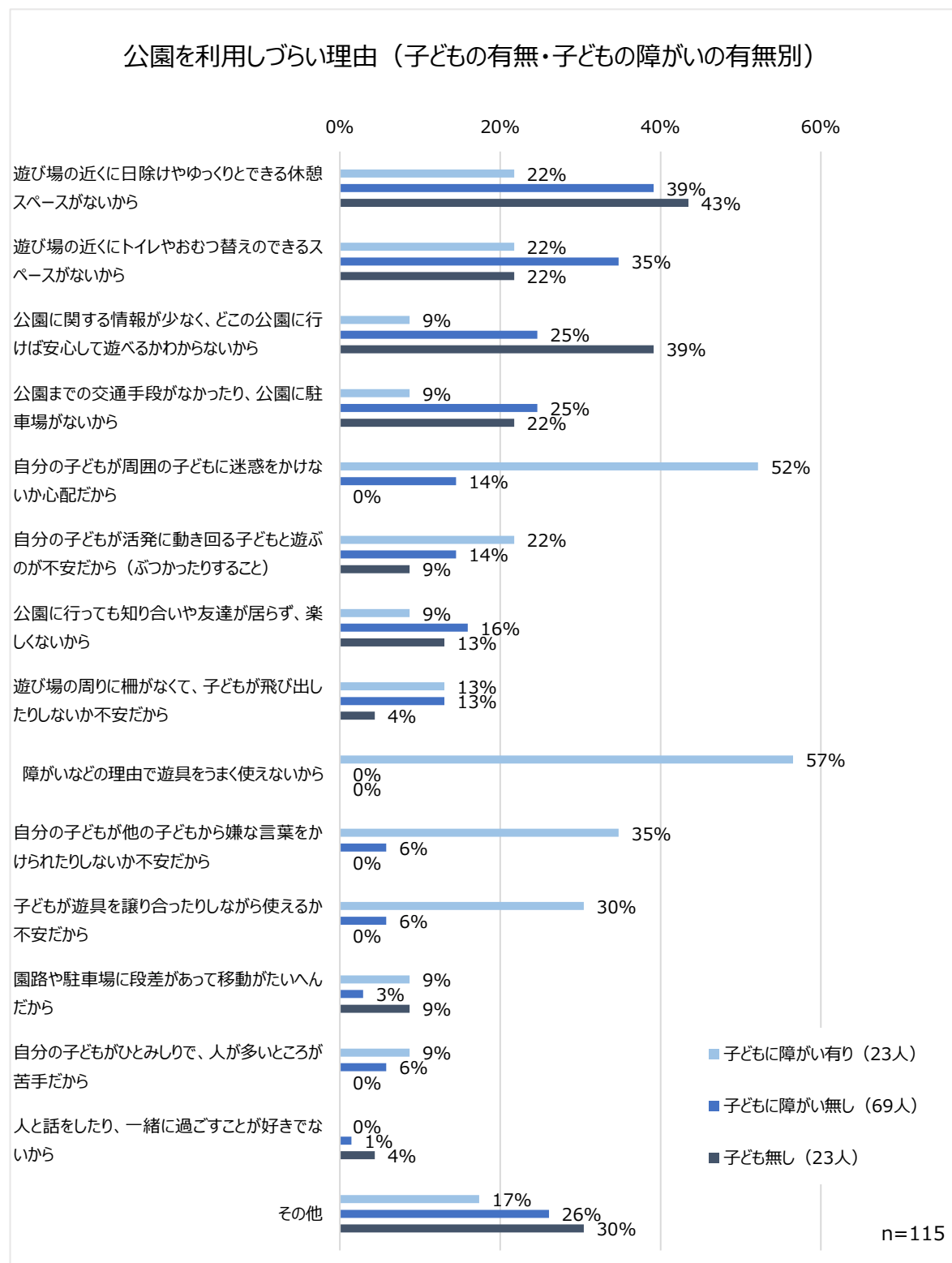
Q. 公園を利用しにくい時がある場合、どのような理由で利用しにくいですか。（最大 5 つ）

- ・ 公園を利用しにくい理由は、全体では「**日除けや休憩スペースがない**」が **4 割弱と最も回答率が高く**、障がいがない子どもの保護者や、子どもがいない人の回答率が高かった。年齢別では、**年齢が高いほど回答率が高い**傾向がある。
- ・ 次いで「**トイレやおむつ替えスペースがない**」の回答率が **3 割と高く**、40 代以下と、60 代以上の回答率が比較的高いため、低学年の保護者や高齢の人は、トイレ等を遊び場の近くに求めていると考えられる。
- ・ 障がいのある子どもの保護者では、「障がいなどの理由で遊具をうまく使えない」、「自分の子どもが周囲の子どもに迷惑をかけないか心配」、「自分の子どもが他の子どもから嫌な言葉をかけられたりしないか不安」、「子どもが遊具を譲り合ったりしながら使えるか不安」、の回答率の方が上記 2 項目よりも高く、**子どもに障がいがある保護者特有の不安がある**ことが伺える。
- ・ その他、ボール遊び等の利用制限、防犯上の不安、疎外感を感じる事、障がいのある子どもへのサポートや配慮がないこと、遊具や器具の不足などの意見があった。

〈全体〉

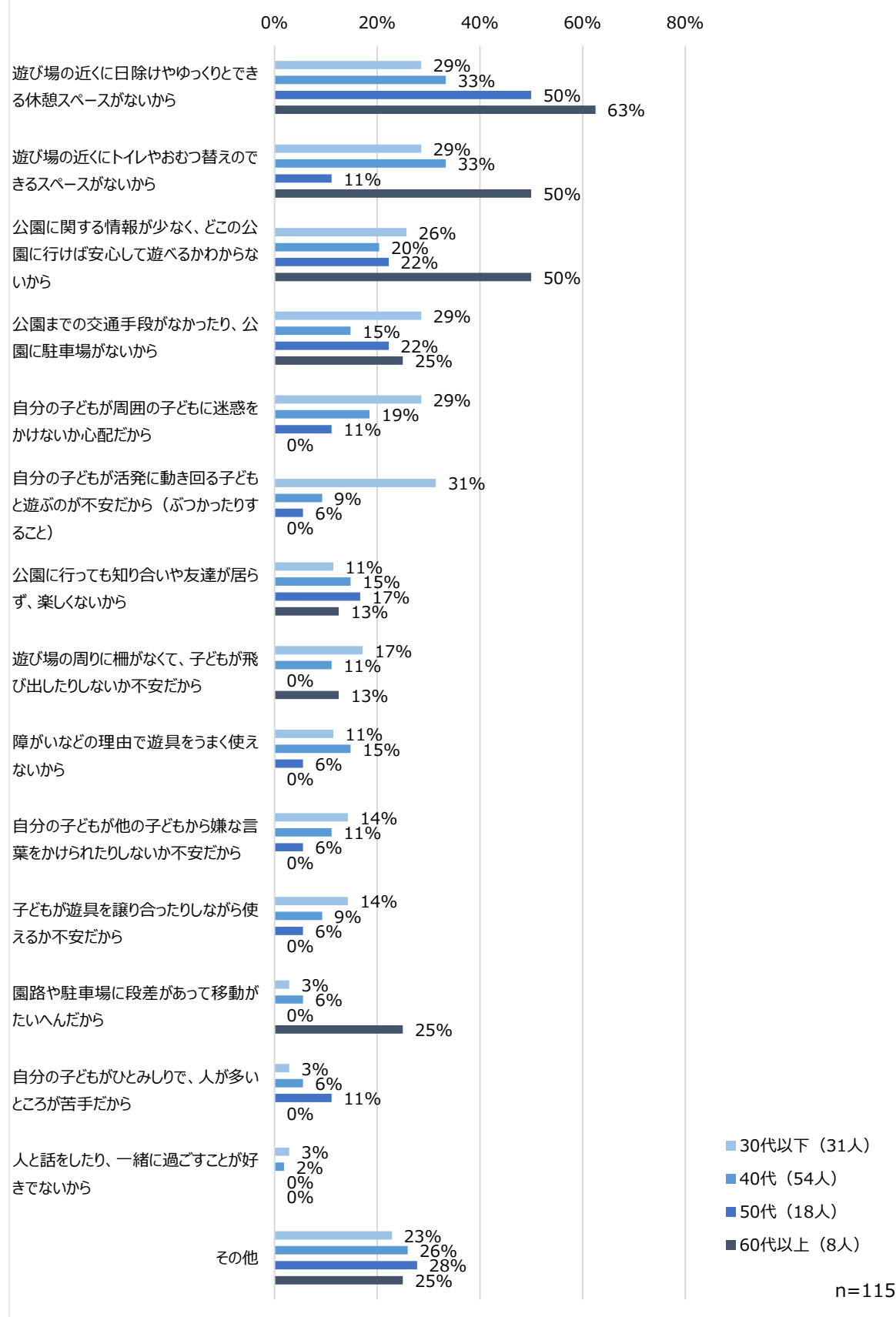


〈子どもに関する比較〉



〈世代による比較〉

公園を利用しづらい理由（子どもの有無・子どもの障がいの有無別）



〈その他の意見・要望〉

意見・要望

■ ボール遊び等の利用制限

- ・ ボール遊びができないから。
- ・ ボール遊びができないため。
- ・ ボール遊びをしたいのにできる公園がほぼほぼない為。
- ・ ボール使用禁止など、こどものやりたい遊びができないから。
- ・ ボール遊びをしたいが、できる場所が少ない。
- ・ ボール遊びをしたいのに禁止されているから。
- ・ 遊びや年齢の制限がある時。

■ 防犯上の不安

- ・ 広い公園の中でも安全面で人目につきにくい死角になるようなところは、子供には気づきにくい。人目につく場所でも不審な行動をする人はおり、1人で遊ぶのではなくても心配。
- ・ 防犯上危険を感じる公園は利用しにくい。外から見えにくい公園は避ける。
- ・ タバコの吸殻などが落ちている。ベンチなどで喫煙している人がいる。子どもの大声やボールが柵に当たる音を出さないようにという注意書きがあり、近隣の迷惑になりはしないか気を遣い緊張する。我が子2人が小学生になっても、「不審者などが心配なのでママついてきて」と言われ、下の子が公園に行きたくない等言うと、困る。平日日中は、保育園のお散歩グループがいて、保育園の引率の先生の目と手が足りておらずヒヤッしたり、大勢の保育園児が園庭のように公園を使うので、我が子が怖がり「かえりたい」と言うこともあった
- ・ 狭い。薄暗くて子供だけで遊ばせるのが不安。遊具が少ない、または壊れている
- ・ 冬以外は、蚊が大量にいて、嫌だから。また、本町4丁目の桜公園の横にある白いコンクリートの家のお婆さんが、公園で子供が遊んでいるとクレームを付けてきたり、子供たちの写真を撮るから、安心して遊ばせられない

■ 疎外感を感じること

- ・ あまり広くない公園で、特定の団体が活動していると利用できなかつたり、利用しづらかつたり、参加できるのかわからなかつたり、などの理由で疎外感を感じ公園にいくのを遠ざける時がありました
- ・ 村社会のような、固まって集まってガハハと笑っていたり、閉鎖的で謎のルールがある場所が苦手です。知らない地域の公園は、誰かがボスのような顔をしていたり、子どもが遊んでいるにしても「自分達の場所」としている場合は入りづらい。また、暗くて汚くジメジメとして、扱いが雑で愛されていない公園だと感じると近寄らない
- ・ 子供がいないため公園に行くと不審者と思われる
- ・ 近隣の方が迷惑と思っている場合

■ 障がいのある子どもに対するサポートや配慮がない

- ・ 障害のある子が2人居るので、ひとりで2人連れて行って見守り遊ばせるのは難しい。それをサポートしてもらえ市制度などが無い
- ・ 親ひとりでは介助が難しい。荷物を置いたままにして遊べないから
- ・ 健常の子供や親が遊具を譲ってくれない

■ 遊具や器具の不足

- ・ 目的の運動器具がないから
- ・ 遊具などの遊ぶものがなかつたり美しく整備されていないから
- ・ 家の近くに遊具の充実した公園がないから
- ・ リハビリテーションのトレーニングになりそうな器具や広場、動線が少ない。許容される持ち込み器具や音量がわからない

■ トイレやベンチの不足

- ・ トイレとベンチがないまたは少ないから
- ・ 座る場所が少ない

■ その他

- ・ 行きたい公園が遠いとき

■ 特になし

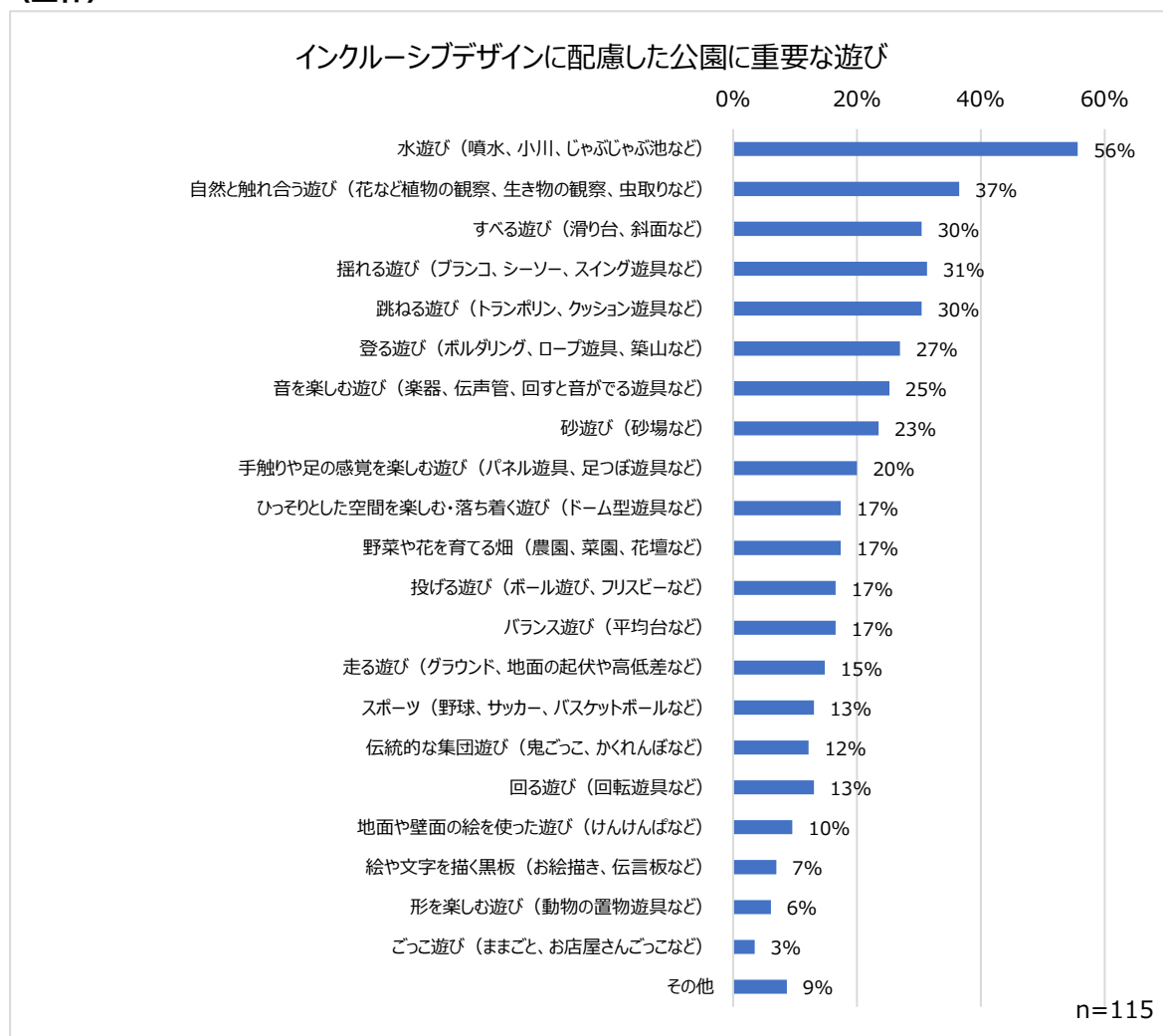
- ・ 特に思わない
- ・ 高齢期の私ですが、散歩の一休みに公園利用くらいです。ほとんどベンチもあり現状では不便はないと思いますが、当アンケートに興味あり参加しました。悪しからず
- ・ 特にそう思ったことは無い

(5) インクルーシブデザインに配慮した公園に重要な遊び

Q. インクルーシブデザインに配慮した公園にとって重要だと思われる遊びを、最大で5つお選び下さい。

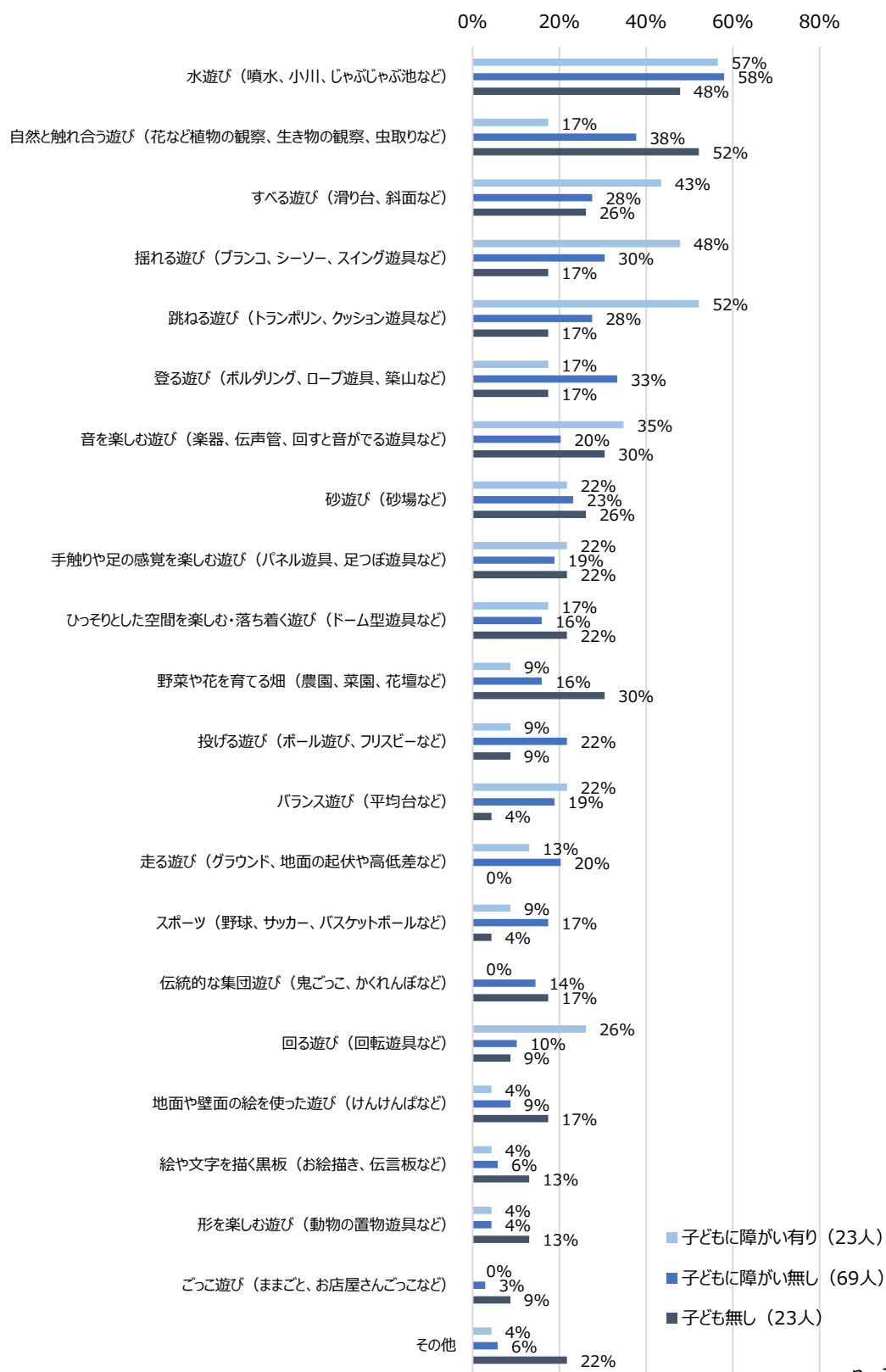
- ・ **「水遊び」の回答率が6割弱と最も高く、子どもの回答と同様の傾向であった。**子どもの有無、子どもの障がいの有無、年齢に関わらず回答率が高い傾向があった。
- ・ 次いで、全体で4割弱と回答率が高かった**「自然とふれあう遊び」は、年齢が上がるほど回答率が高い傾向があった。**
- ・ **子どもに障がいがある保護者については、「すべる遊び」、「揺れる遊び」、「跳ねる遊び」、「音を楽しむ遊び」、「砂遊び」、「手触りや足の感覚を楽しむ遊び」の回答率の方が「自然とふれあう遊び」よりも高かった。**
- ・ 上記の選択肢と同様に全体で3割弱の回答があった**「登る遊び」は子どもに障がいがない保護者の回答率が比較的高かった。**
- ・ その他、障がい者向けの器具や、自然観察の場、自由に遊べる広場などの意見があった。

〈全体〉



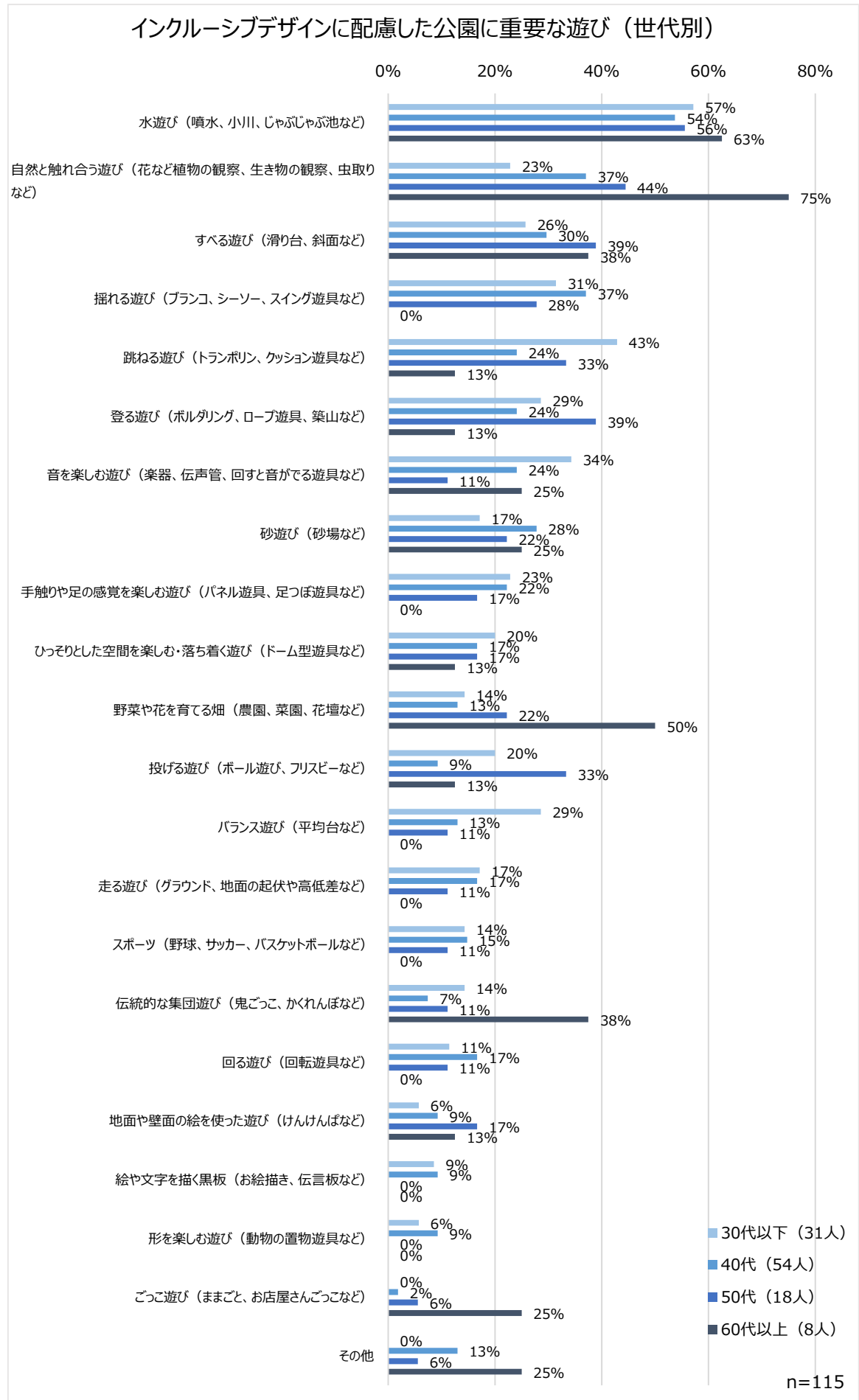
〈子どもに関する比較〉

インクルーシブデザインに配慮した公園に重要な遊び (子どもに関する比較)



n=115

〈世代による比較〉



〈その他意見・要望〉

意見・要望

■ 障がい者向けの器具など

- ・ 障がい者向けのリハビリテーション器具が無い。健康器具は健常な大人向けのものばかりになってる。訓練用の不整地や登板や降板の坂道
- ・ 特定のスポーツの器具（バスケットゴール、サッカーゴール、テニスのネットなど）
- ・ それをやると健康や発達にいいことがある
- ・ 鉄棒

■ 自然観察など

- ・ 川原や野川のような、自然な植栽が見られる場所に行くと、人との距離が取りやすく、ホッとしていました
- ・ 小金井は東京都の中ではとても自然が豊かで貴重な動植物がいるのでそういったものとうまく付き合っていける公園にすべきである。保護と観察をできる施設が大変重要と思います

■ 自由に遊べる広場など

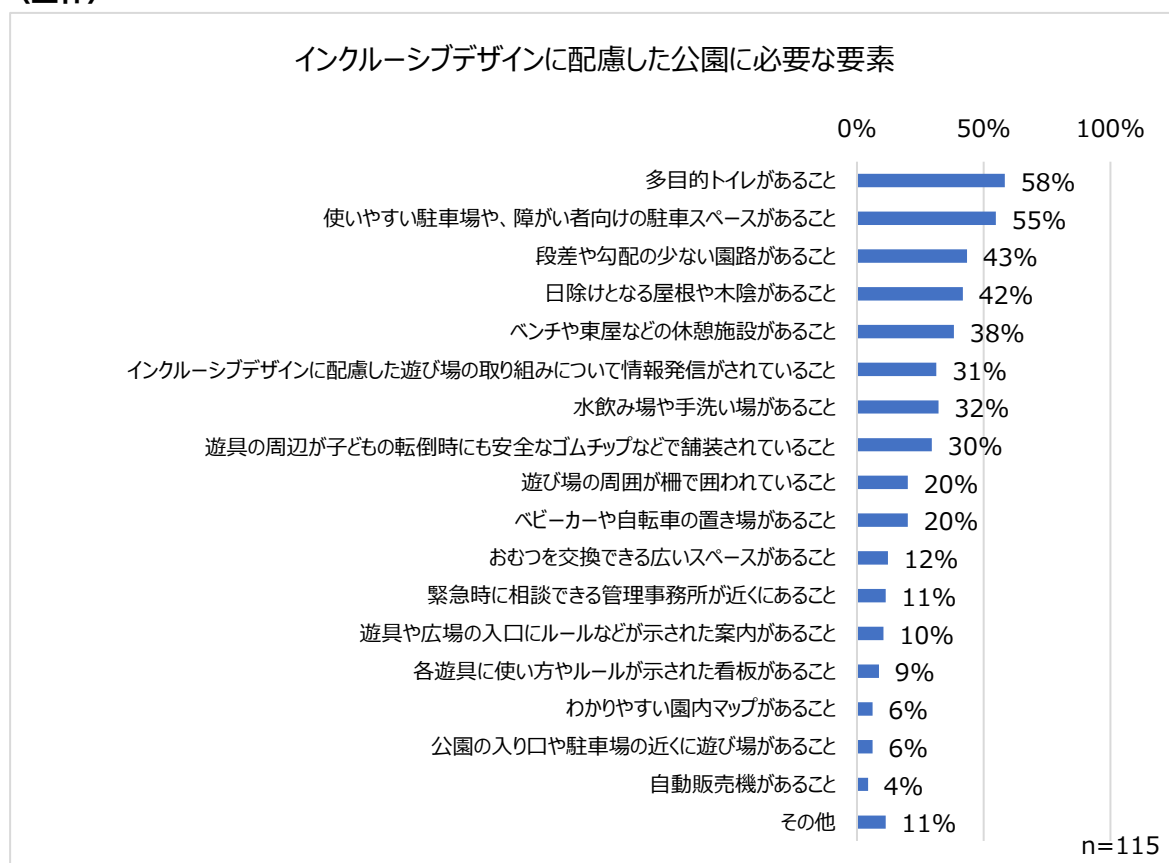
- ・ 特に遊具がなくても、自由な広場があれば工夫して遊べると思う
- ・ プレプレバのように自由に遊べる

(6) インクルーシブデザインに配慮した公園に必要な要素

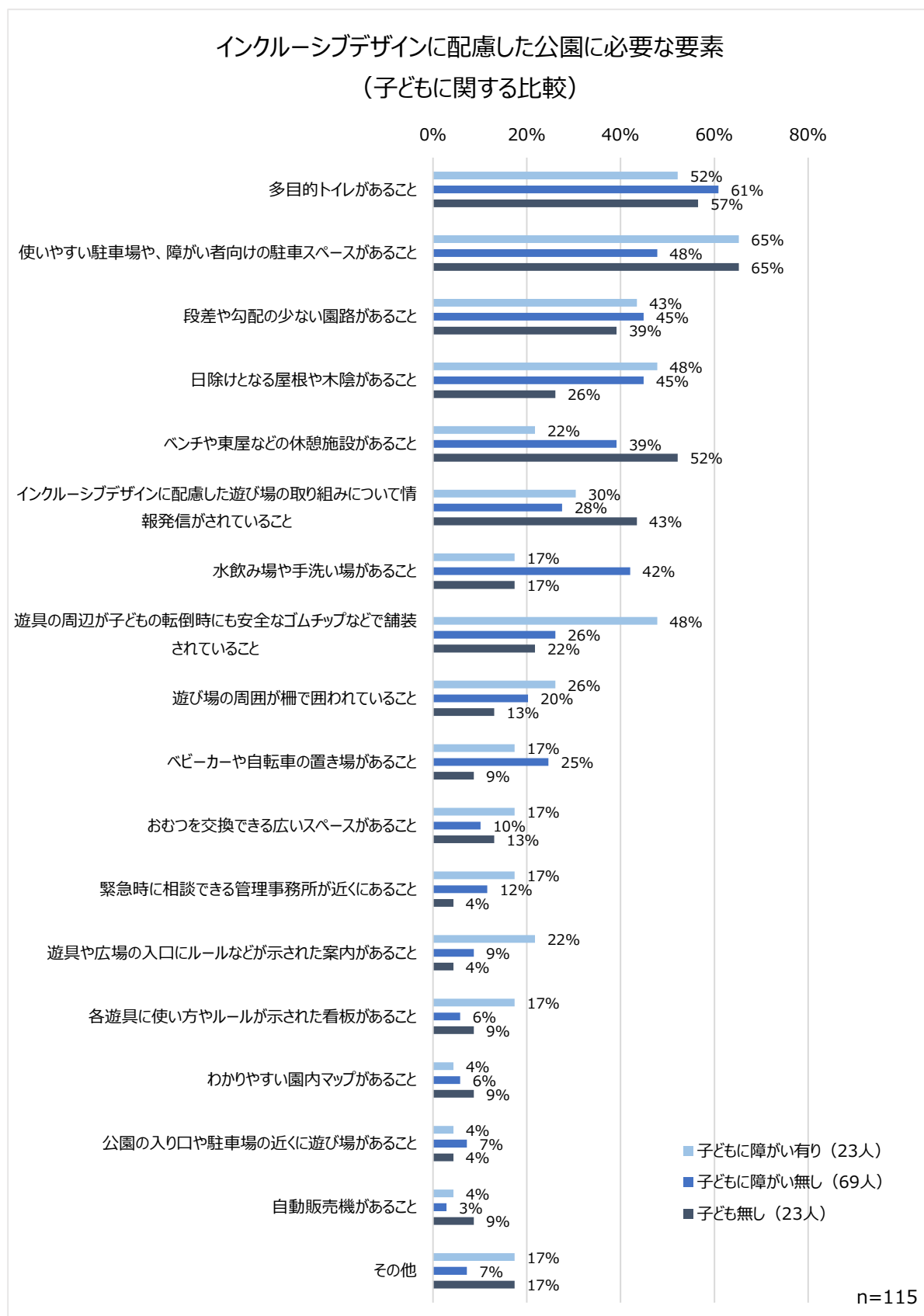
Q. インクルーシブデザインに配慮した公園にとって必要と思われる要素を、最大で5つお選び下さい。

- ・ 「多目的トイレがあること」、「使いやすい駐車場や、障がい者向けの駐車スペースがあること」、「段差や勾配の少ない園路があること」、「日よけとなる屋根や木陰があること」、「ベンチや東屋などの休憩施設があること」の順に回答率が高く、**多様な利用者に配慮した公園施設や、休憩機能が重視されている傾向**があった。
- ・ 障がいのある子どもの保護者からは、上記5項目に加え、「遊具の周辺が子どもの転倒時にも安全なゴムチップなどで舗装されていること」の回答率が比較的高かった。同項目は、回答者の世代が低いほど回答率が高く、**ゴムチップ舗装は障がいのある子どもや若い世代に重視**される傾向があった。
- ・ 「インクルーシブデザインに配慮した遊び場の取り組みについての情報発信」は、子どもがいない人、60代以上の回答率が高く、**子どもが身近でない人から情報発信の必要性が意識**されていた。
- ・ その他の意見・要望で、プレーリーダー等の専門性のあるスタッフの配置、パニック時の逃げ場がある施設配置、車いすに配慮した動線、年齢や国籍など関係なく一緒に遊べる場、自然環境への配慮と活用などの意見があった。

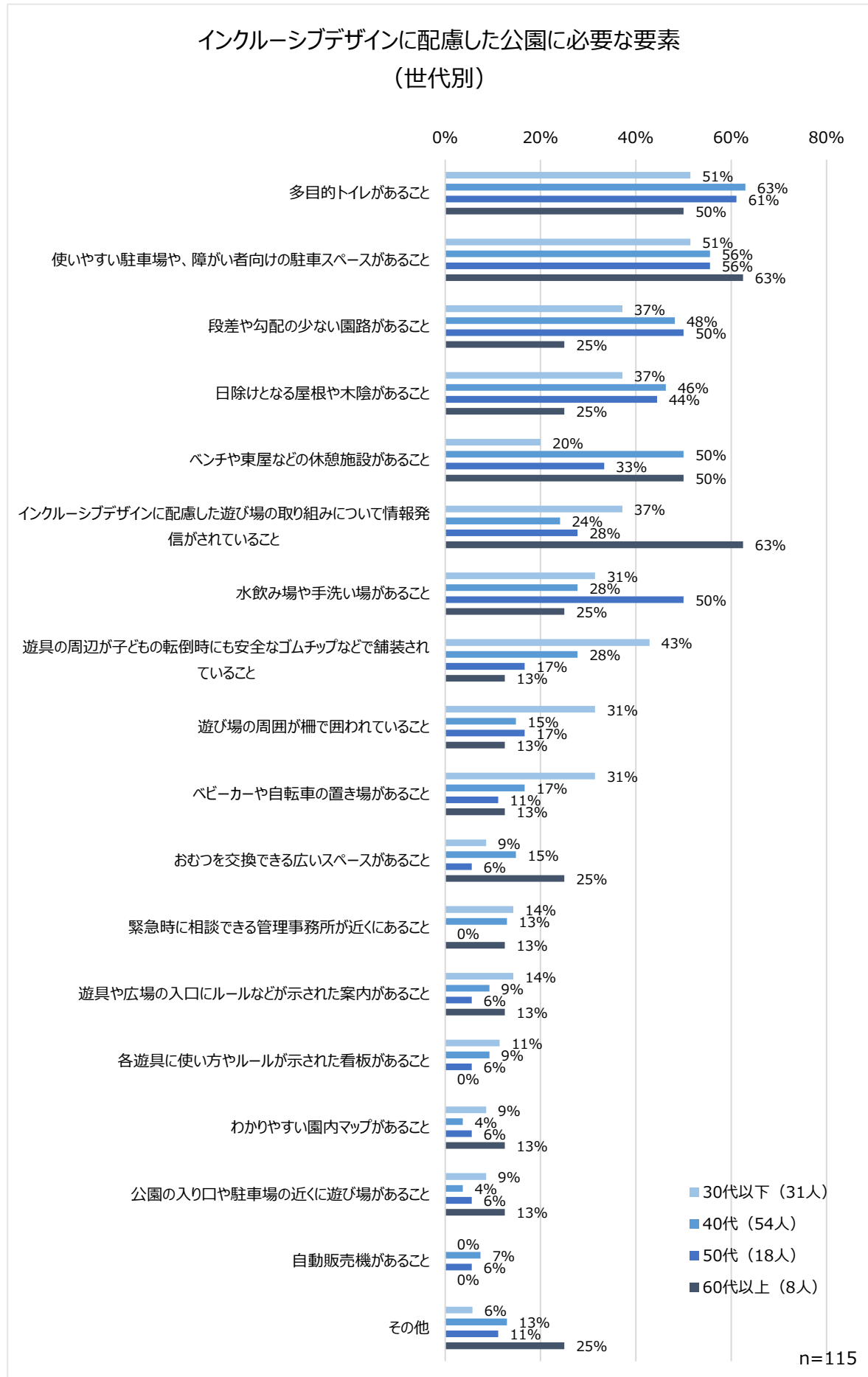
〈全体〉



〈子どもに関する比較〉



〈世代による比較〉



〈その他意見・要望〉

意見・要望

■ プレーリーダー等の専門性のあるスタッフの配置

- ・ プレーリーダーがいること
- ・ プレーリーダーやプレーワーカーなどと呼ばれる遊びの専門性を持つ人がいる事

■ パニック時の逃げ場がある施設配置

- ・ 公園自体が広いこと。パニックになった時の逃げ場が欲しいです。人の目が気になるので、広い公園にゆとりを持って、遊具を配置してほしいです

■ 車いすに配慮した動線

- ・ 動線がある作りである事、一方通行な作り且つ、どの方向にも車椅子で降りられる造りでないと大型遊具は目的をなさないと思う

■ 年齢や国籍に関係なく一緒に遊べる場

- ・ 一緒に遊ぶ器具があること（例小金井公園でバスケットをするとき、年齢や国籍に関係なくその場であった人を誘ってプレイしている）

■ 自然環境への配慮と活用

- ・ せっかく自然が豊富なので人工的な遊具にこだわらず自然のままに体験できるような施設を作るべきです。その際は公園整備にかこつけて異常な動植物を守れる体制を整えるべきで人工的な遊具や植栽を多用せず在来の植物等を生かす環境を整えるべきです
- ・ インクルーシブな公共空間があることはとても大切だと思います。また、樹木を伐ると環境が悪化し人はどんどん生きづらくなっていると思うので、自然をただの物として扱うのではなく、生物や草や自然もできるだけインクルーシブ？に育てるといいなと私は思っています。人間だけ特別扱いというのも、結局排他的な考えに繋がっていき、おかしいのではないかと思っています。一人で居たい場合は放っておいてくれる場所、ボランティア団体があるのはいいいとしても、声高な自治会などが仕切っていない場所、人々の理解が進んでいること

■ その他

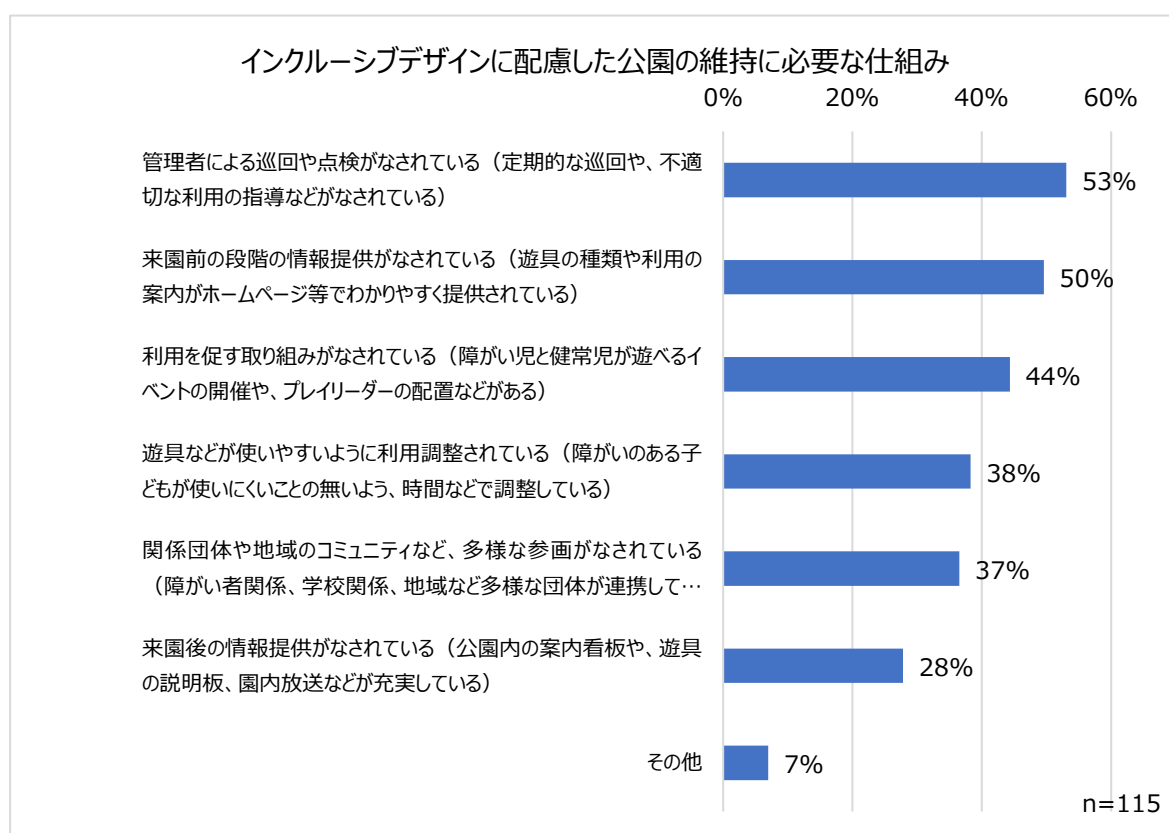
- ・ 清潔である程度のスペースを専有できる有料トイレ。多目的トイレやおむつ交換台は不潔で不衛生なら使わない。衛生用品を捨てるゴミ箱がある。受益者負担で有料の設備も考慮すべきで、衛生用品の持ち込みや交換に係る負担に比べたら金銭負担のほうが軽い
- ・ トイレや遊具、地面・草木などが整備されていること
- ・ 駐輪スペースの使い勝手や、電車や路線バス・ココバスなどの公共機関を鑑みた利便性
- ・ ボール遊びがしたいのにボール遊び禁止の公園しかないから。これだけ公園があるのに障がいがなくともボールで遊べないのはおかしいと思っています
- ・ 遊具や設備よりも周りを配慮しながら遊ぶという意識
- ・ カタカナのスローガンなどふりかざさない、地道であること

(7) インクルーシブデザインに配慮した公園の維持に必要な仕組み

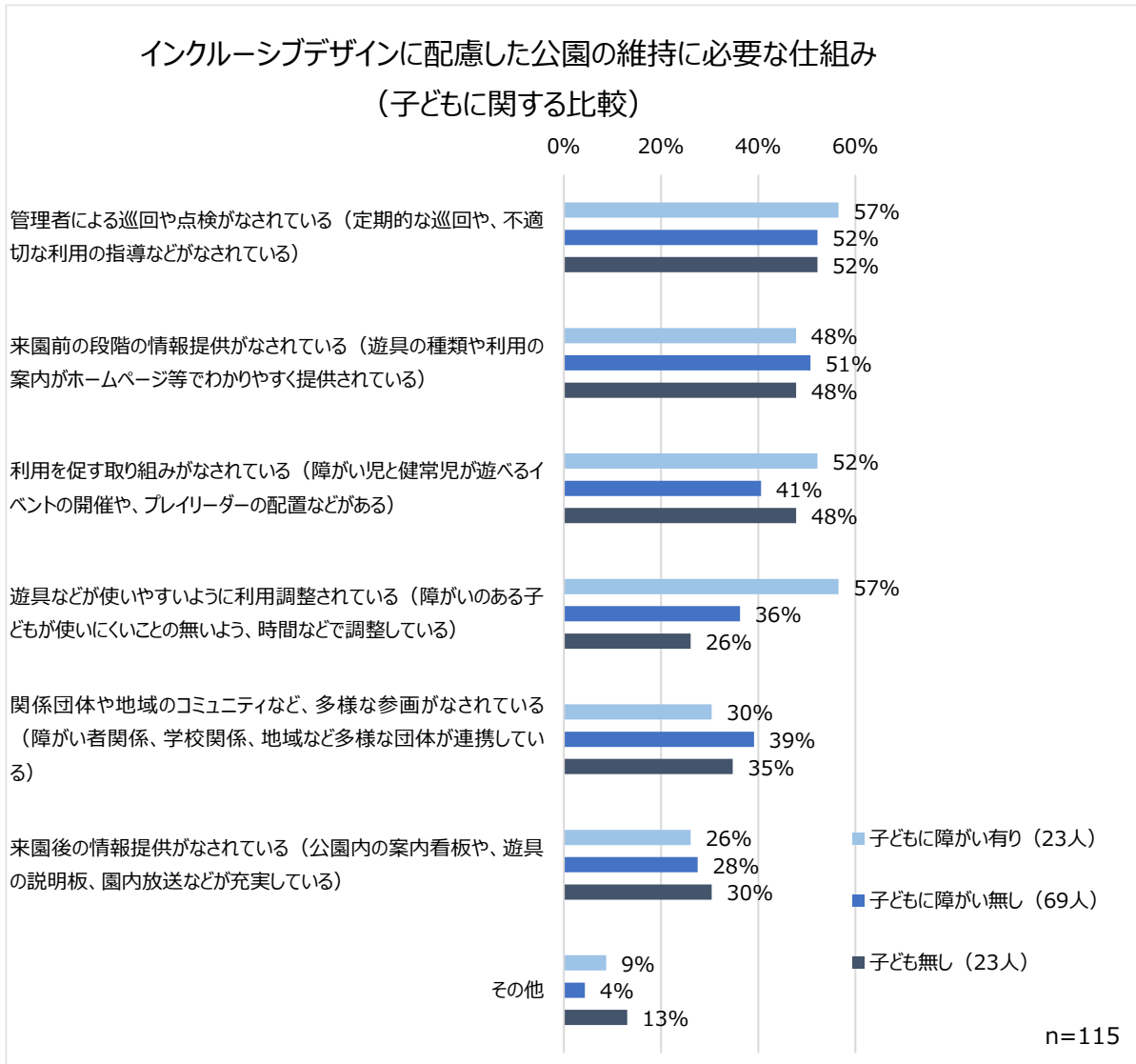
Q. インクルーシブデザインに配慮した公園を維持していくために必要な仕組みについて、最大で3つお選び下さい。

- ・ **「管理者による巡回や点検」、「来園前の段階の情報提供」が約半数の回答**があり、子どもの有無や障がいの有無に関わらず比較的重視されていた。
- ・ 次いで、「利用を促す取組」、「遊具などが使いやすいような利用調整」の回答率が高く、障がいのある子どもの保護者の回答率が比較的高かった。
- ・ その他、市民との継続的な対話や、サポートや教育、トラブル回避の環境づくりなどに関する意見があった。

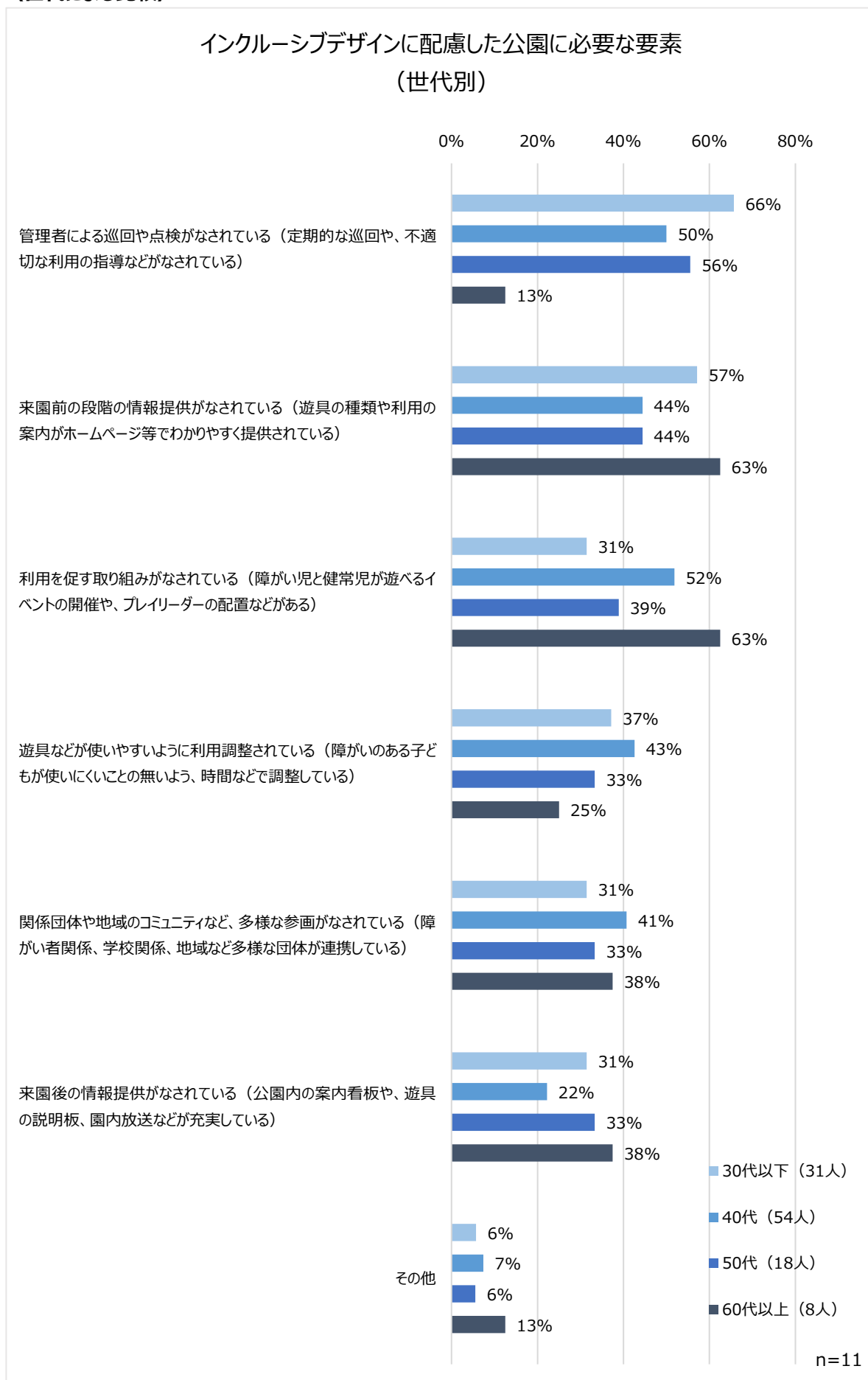
〈全体〉



〈子どもに関する比較〉



〈世代による比較〉



意見・要望

■ 市民との継続的な対話

- ・ インクルーシブが形骸化しないようにするには、手間がかかっても実際の利用者の人がどう感じているのか市民の声を聞き、市民が参加しやすいように考えていけば方向性を過たずに済むのではないかと思います

■ サポートや教育

- ・ 公園での遊び方や遊具での遊びをサポートしてくれたり、遊び方の助言をしてくれる人が常時いてくれると、保護者が1人でも子供を連れて足を運びやすくなるかと思います
- ・ 学校でインクルーシブな環境を作る（分けない教育）

■ トラブル回避の環境づくり

- ・ 実際、健常児は保護者がいない事がほとんど。トラブル回避には、親子で遊ぶ日などを設けてもらう必要がある。
- ・ 公園の近所の人のクレームも昔と比べると多すぎると思う。もう少し子供が思いっきり遊べる場所が増えると親も子も肩身が狭い思いをせずに生活していけると思っています
- ・ ゴミ箱が設置すること。ゴミ拾いに対するインセンティブを用意すること

■ その他

- ・ インクルーシブにしてくださいと言った覚えはありません
- ・ これに関しては分かりません

(8) 自由意見

Q. その他、ご意見や要望があれば教えてください。

意見・要望

- ・ インクルーシブな環境が早く実現することを望みます(現在 三鷹 武蔵野の 中央線の高架下にあるように)
- ・ 地域によっては公園が遠いため無料駐車場が欲しい
- ・ 子供達が大人になってもいまの自然の姿を維持してほしい。あまり工事を繰り返して変えて欲しくないです
- ・ 普段の生活のなかで、障害児者との関わりがあり、いろんな人がいて当たり前という感覚を大人も子どもももつことが大切だと思います。公園だけでなく、教育、福祉、市の取り組みすべてにおいてインクルーシブな考え方が当たり前になることを望みます
- ・ 公園でよくタバコの吸い殻を見かけます。子どもが遊ぶ場所ですし、誰でも気持ちよく使うために禁煙を徹底していただきたいです。せめて自身で出したゴミは自分で捨てるようにして欲しいです。小金井は喫煙スペースがないため、道で歩きタバコをして公園などで捨ててる人をよく見かけます。喫煙スペースを設けるなどして公共の場で吸うことを少なくして欲しいです
- ・ ユニバーサルベッドのあるトイレが、公園内、もしくは近くの施設に必要です
- ・ 公園管理の民営化はまだ課内検討中なのですか
- ・ 地方自治体によっては 公園整備や防災対策と言って 貴重な動植物の生息地をただでさえ少ないのにさらに開発でそういった場所を減らすところがあるようです。都心から これだけ近くにこのような貴重な自然環境が残っている場所は本当に少ないです。小金井で生まれ育った方は実感しないかもしれませんが 今この市で残っている自然環境は大変に貴重なものです。そういったものを残せるような公園の整備をすべきであると 強く強く考えます。他の市町村にあるような同じような公園を作るのでは 全く意味はありません。小金井市 独自の公園の整備計画を 熟慮していくべきだと思います
- ・ 誰でも使いやすい遊具や遊歩道等を色々と整備するよりは、広い平坦な芝生の広場やグラウンドとベンチとトイレがあれば、誰でも使いやすい公園になるのではないのでしょうか。植栽等についても最小限にして、できる限り人が遊べる面積を増やすことで、人との距離が開き、結果的に誰でも安全に遊べる空間になると思います。暫定整備の梶野公園は小さい子供でも比較的遊びやすいです
- ・ イラスト 1 枚目のフリガナに誤字がありましたので、念の為お伝えします。(イラスト右下、知り合えるのフリガナ)
- ・ 設問からも、インクルーシブ公園には遊具や場の設えだけでなく、人と人の関りが大事だとの考えが伝わり嬉しかったです
- ・ 小金井には市の事業でプレーパークがあるので、それを活かして今後は市立公園でのプレーパークがインクルーシブ公園になったらいいと思います。プレーリーダーは子どもの声を聞きそれを形にする事が得意ですから、子どもが参画する場づくりにもなります
- ・ こども基本法 11 条にもかなう事業になりますね。期待しております
- ・ 雨の日でも遊べる場所があれば助かるいつも思っています。他の自治体であれば土日祝も遊びに行ける児童館がありますが、小金井市にはありません。日祝に公園へ遊びに行くとしてもお天気が悪いといけません。たとえば武蔵境のポッポ公園のように、高架下に遊具のあるスペースがあると嬉しいです。小雨の日曜日にポッポ公園に行った時、同じく小金井市から来た人に会いました。その方も同じように「市内に雨の日祝に遊べる施設がない」と話していました。幸い、国立や府中には日祝開館し、市外の人も受け入れてくれる児童館がありますが、そちらにたより切っているのでしょうか。スタッフの休日のこともありますので、児童館を日祝開けて欲しいわけではないですが、みんなが遊べる公園作りを今後していくのであれば、お天気の影響を受けずに思い切り遊べる公園が欲しいという声も取り入れていただけると嬉しいです
- ・ インクルーシブな公園を作るという大きな目標はステキです。ですが、その前に、公園が地域によっては全くないところあるので、それも考えて欲しいです。ちなみに当方は第一町会の地域ですが、公園がありません。諸事情あるのかも知れませんが不平等を感じますし、防災の観点からも不安を感じます
- ・ 栗山公園にある様な大型アスレチックが他の公園にもあるとありがたい。大人の手を伸ばしやすいデザインになっていて側で見守ってあげられるので
- ・ 障がい児を育てる親としては、「障がいあるなしに関わらずみんなで楽しくハッピーに公園を一緒に楽しむ」ということは、現段階では正直非現実的なケースが多いです。公園自体が整っていても、保護者同士、子ども同士の気持ちにそこが追いついていないために、結局障がい児の親が心身疲弊してそこに気持ちが向かなかったり、差別がうまれてしまう、などです
- ・ 現状で障がい児の親が求めることは、障がい児だけが利用できる時間帯や場所が設けられていること（人数制限や様々な危険を回避できる対策含めて）。そういった環境の中でなら笑顔で過ごせるケースが増えるのではないかと想像します
- ・ インクルーシブの環境づくりは、当事者と当事者以外の考え方を同じにしていくような教育を地道に続けた先に真の成立があると考えています。そこに辿り着くまでは、時間がかかっても、当事者の声をきちんと聞き、現実の問題を徐々に緩和していきながら調整して理想に近づけていく段階が必要不可欠なのではと思います

- ・ 最近、思いっきり遊べる公園が少ないです。特に小金井市ではボール遊びができる公園が少なく、そのせいか東京都はスポーツテストでも平均が低い傾向にあります。近隣に迷惑などの理由であれば、一方的にその意見に従うのではなく、それを改善できる、お互いが歩み寄れる妥協策を探していける仕組みができるといいなと思います
- ・ スペースがあるのにボール遊びが禁止されている公園がありすぎだと思います
- ・ 使われない公園ではなく、使いやすい公園が増えることを願っています
- ・ 中学生以上の子が遊べるトランポリンがあるといい。自閉症でトランポリン好きな子は多いと思う
- ・ 小学生の子供達だけで長く遊べるためにトイレの設置やベンチ(特に雨や日差しを遮る屋根付き、テーブル付きのもの)が多くあるといい
- ・ 「インクルーシブ」という言葉に踊らされる前に、一般的な公園をまずしっかり整備してほしい。遊具は古く点検を受けた後は長い間使用禁止、安全な柵のある場所は少なく子どもは飛び出し、ボール遊びが安心してできる場所もなく、ゴミが散乱しているところが多い
- ・ 「インクルーシブ」以前に問題が山積している。小金井市の公園は他市と比べて整備状態がずるずる悪い。
- ・ 公園で遊ぶこと以外の目的で利用していることを考慮すべき。本アンケートはインクルーシブ公園といつつも遊ぶことが第1として、それ以外の利用をアンケート項目から排除している。リハビリテーション設備や器具が市内の公共施設に無く、トレーニングすることが困難である
- ・ パラスポーツ向けの器具については持ち込みできるとかの基準が明確ではない。車椅子の動作訓練や、ブラインド向けのサウンドトレーニングは、専有利用が必須になるが、そういった用途を想定されてない
- ・ ボール遊びについて年齢で区切られているが、障がいは年齢ではないので、ある年齢を超えた機能障害者はキャッチボール訓練ができなくなる。このように公園利用の規則や規約がインクルーシブになっていない
- ・ 受益者負担として、設備利用の有料化も考えるべき。遊具や器具の専有利用の仕組みも制度化すべき。器具や設備の有無ではなく、健常者との衝突を避けるため同時に使いたくない需要もある
- ・ 子供用トイレや専用トイレ等、使いやすいトイレを充実させてほしい。紙パンツが外れていない子の紙パンツを立ったまま交換したり、トイレ終わりで下を全部脱がなければトイレができない子の親が容易に服を脱がせる用にチェンジングボードの設置をお願いしたい
- ・ 子供達が安心して安全に使えるトイレが増える事を願ってます
- ・ 世界的に大変な気候変動の時期に、自然を破壊する公園づくりではなく、緑を担保する稀少部分であることも前提としてほしい。子どもたちにも人間も自然の一部であることを体現できる場にする事を求めます。ハンディを持っていても同じです。人口遊具の必要性はあまり感じません
- ・ 自主性を尊重して自由に開放した上で、実際に利用する人が楽しく過ごしているかどうかは、時々確認するのもいいかもしれません。元の方針が良ければ、共感して公園を大事にしようという人が増え、雰囲気よくなるのではないかと思います。障害児と健康児という区分けだけでなく、今は足の悪い方、車いすの大人も増えていると感じるので、多くの人が過ごせるように考え続けるのは素晴らしい姿勢で、結果的に共感する人が増えれば行政もやりやすくなるのでは？と思います。斎藤幸平著『コモンズ「自治」論』という書籍で、どうやって新しく自由な自治を作っていくかの話が興味深かったことを思い出しました。自分達がつくっていくという意識は、これからの時代とても大事だと思います。それを支えてくれる柔軟な考えの行政の人がいて行動してくれる小金井市は、幸せですね。応援しています
- ・ インクルーシブは理想であるが、実際に利用しているのはどこも健常児がほとんど。障害児施設と近隣幼稚園、小学校などを同時に招いて、一緒に遊ぶにはどうしたらいいかを学ぶ日を設けるなど、利用者への働きかけが必要不可欠だと考える。バリアフリーに作ったらからと言って、肢体不自由や重度知的の障害者が実際に利用することは、殆ど不可能だという事が全く知られていない
- ・ 今のような作るだけの公園であれば、障害者施設の校庭の遊具を、土日に開放する方がよほど有意義だと思う
- ・ 近年では、外遊びの機会が減少している中で素晴らしい取り組みだと感じました
- ・ 子供同士でも安心して公園で遊べるように、地域のセキュリティも含めた整備も同時に進めばと思います
- ・ 何回も来ないと分からない その公園ごとのルールみたいなものもあります 例えば 近所の人から苦情が出てここでボールは使えないんだよ と言われたりします
- ・ インクルーシブに配慮の前に、小金井市の公園のトイレと水道の整備を希望します。貫井坂下の大きな公園と言えば団地公園ですが、遊びに来る子どもが多いのに水道すら使えなくて不便です。市ではなく、団地の管理なので、使えないとのことですが、市が水道を管理し、(水道代を市が出す)などして解決策を考えてほしいです。とにかく不便。手を洗いたい時はわざわざコンビニへ行っています。水道やトイレを設置する事で災害対策にもなるのではと思います。ぜひ検討してほしいです
- ・ 医療的ケア、特に、常に繋がっている機器がある子は、どんな遊具でも他の方のサポートが無いと利用するのはとても難しい。ひとりならともかく、もう1人いると更に難しい
- ・ 健常児のご家族には、目に見えない障害を持つ子供に対しての理解が難しい。大声を出す、ルールが守れないもしくは理解が難しい等。そのために健常児から意地悪をされたり、怒鳴られたり、健常児の親御さんから嫌味を言われたり、と悲しいことが多々あった。そうしたことがないよう、障害児が安心して楽しく過ごせる公園にして欲しい。難しいとは思いますが、そのように願っている
- ・ 一つの公園に役目を集約するのではなく、ボール遊びするならA公園、砂遊びするならB公園…など各公園に役割を分散して欲しいです。葛飾区はネット完備でサッカーOKの公園が多数あります。東屋やベンチがあると動画撮影者が多いので、そのような公園は完全に大人向けとしても構いません

- ・ 乳児とゆっくりしたい、犬と走り回りたい…それぞれの特徴に特化した公園が点在し、棲み分けられるのが理想です
- ・ 急な天候変更や子どもの体調変化に対応できる、屋内休憩所、カフェ、冷暖房が効いているスペース。軽食や保冷剤が買える所があると、安心して利用できる
- ・ 遊具の整備や地面整備も必要ですが、どんな人も一緒にボール投げ（ドッジボールなど）が出来る場所を確保して頂けるとありがたい。公園内広場に金網等のフェンスを付けて、乳幼児の遊び場にボールが飛んで行かないようにする工夫があると良い。また、ボール遊びの場所だけ遊具の場所から見えないほど離れてしまうことなく、隣接していることが望ましい。年齢差のある子供たち、障がいのある子供達、様々な子供が同じ空間で遊べる場所を希望します
- ・ 小金井は公園が少なすぎる。小金井公園で事足りると小金井市は思いこんでいる
- ・ 小金井には大きな公園だけでなく、小さな公園もたくさんあるので、そこを有効活用できたらいいのと思っています。小さな遊歩道もあるのに、全く活用されてなくて、もったいないと思います
- ・ 栗山公園、桜町公園の手を洗う水道の排水が、土や砂でよく詰まっています。役所に電話したこともあります。改善されることを期待します
- ・ 小金井市に越えてきて感じた事は、清掃が行き届いてなく、ベンチ付近にはタバコの吸い殻が沢山落ちていること。安心して小さい子を遊ばせられないな…と思いました
- ・ 近隣の府中市には子どもしか入れない遊具のある公園、係りの方がいる公園、国分寺市には、NPO の遊びの場があり、こういった場があれば良いな…と思います。是非、子どもに優しい小金井と自慢できる市にして欲しいです
- ・ 我が家は、上が軽度の知的障がいに伴う自閉症(多動、会話は 3 語文程度、人とのコミュニケーションが苦手、大きな音や子供の騒ぐ声が苦手)、下が定型発達の 2 人の子供がいます。小金井公園が好きで二人とも行きたがるのですが、やはり上の子の障害が原因で難しいです
- ・ 思い通りにいかないと癇癪を起こしたり、そもそも言葉や会話の内容が理解できないので事情を知らない周りからルールを守ってと責められたり本人も辛いです。(うちの子は小児科の先生でも言わないと障がいがあるとは分からない感じで、話し方などで分かるタイプです) 2 人一緒に行ける時は上の子に夫が、下の子に私が付き添える時だけです。なので障がいの有無にかかわらず遊べる場所が欲しいです
- ・ 障がいがあると本当に運動する機会が少ないと感じています
- ・ 定型の子は体育、学校の休み時間、放課後などお友達と体を動かして遊ぶ機会が当たり前にあります。でも支援学校に通う程度の障害だとまず人との意思疎通が難しく、お友達を作ってそこから約束をし体を動かして遊ぶなんて夢のまた夢です。下の子も周りの目が気になる年齢に差しかかり、たまに周りの目に辛くなる時もあります。せめて家族という時は二人とも周りの目を気にせず、のびのびと当たり前に休みの日に家族で公園で遊ばせてあげられたらと思います。希望としては、柵のある遊具広場で障害のある子、ない子が時間などで分けて遊べると助かります
- ・ あとは定型の子供同士でも乳幼児、幼児、低学年、高学年など年齢別に遊べる場所があればいいなと思います
- ・ 小金井公園のふわふわドーム、高学年の子供達がめっちゃくちゃに走り回って強くぶつかられたり、強いジャンプの反動で投げ出されてしまったりで毎回酷いので利用できなくなりました。高学年の子供達は親御さんの付き添いも無く、いらしても何の注意もなかったり残念です
- ・ 差別ではなく区別はとても大事だと思います
- ・ 自分の子が他のお子さんに怪我をさせたりも心配ですし、落ち着いて安心して遊べる環境があれば親も子もゆとりができます。そうすれば遊具の遊び方や順番などのルールも根気よく教えられるので、障害があっても定型の子よりうんと時間はかかりますが経験の積み重ねで覚えられるおさんは多いです。長くなってしまい申し訳ございません。ですがこのような機会をくださってありがとうございます！！
- ・ 発達障害のお子さん、グレーも含めて年々本当に身近で多くなっています。どの子供達も公園が楽しい場所だと思えますように…！どうぞよろしくお願いいたします
- ・ 本町 4 丁目の桜公園の横にある白いコンクリートの家のおばさんが、公園で子供が遊んでいるとクレームを付けてきたり、子供たちの写真を撮るから、安心して遊ばせられない
- ・ まず基本的に小金井の公園には駐車場が無い、もしくは都立公園は 1 時間 300 円と毎日通える値段ではない為、子供が 2、3 人いて、ベビーカーがある場合、近くの公園で遊ばせる事しかできません。
- ・ その公園に遊具がない、狭い、高学年の方がいると何も出来ません
- ・ 良い公園が目の方の方は良いですが、結構深刻な悩みです。公園を大きくするのは難しいと思うので、私達がそういう公園へ行くとして、せめて都立公園は市内の方は駐車場無料にしていきたいと思います。よろしくお願いいたします
- ・ 障がい者を分けないまぜこぜの社会をつくるのが大事。公園が誰にとっても居場所となることを願います
- ・ インクルーシブ用の遊具を増設する場合、ブランコなどは乗れる数が減ると混んでしまって、結局皆乗れず本末転倒になるので、一人で長く遊ぶような遊具は数を減らさず差し替えてほしい
- ・ インクルーシブ公園のブランコも座面が直角で座り心地が悪く不安定なので、自由に角度を変えて乗れるなどアレンジができたらいいなと思います
- ・ キャスパーブランコを是非取り入れて欲しいです！！
- ・ 貫井北町 5 丁目周辺に子どもたちが集まって遊べる公園がないため、遊具の充実した公園を設置して欲しい

- ・ 昨今インクルーシブという言葉が先走りすぎて嫌悪感を感じます 海外の公園や葛西臨海公園のように自然とバリアフリーが整えられ利用者同士も必要があれば手助けするという意識が根付いているのが理想です。遊具などのハード面は考慮する必要がありますがそれ以外はあまり頭で考えるのではなく障害をそもそも意識しないようになるのが大切だと思います。小金井市は村社会的な部分が残っているのでまずは誰でも受け止めるところから変わってほしいです
- ・ 小学生の子どもからの要望があったので、こちらに書きます。「府中の森公園の、丸いブランコみたいな遊具を、他の公園にもつけて欲しい」「静電気が起きる滑り台はだめ」「木馬公園に、普通のブランコでもいいからつけて欲しい」だそうです
- ・ 小一の息子が公園が好きなので 市内の色々な公園に行きます 息子は元気いっぱいタイプで人見知りもなくみんな友達と思って話しかけるので 色々なタイプのお子さんから大人まで一緒に遊ぶことがあります
- ・ 遊具があればそれで遊ぶし なければ走り回るし 声をかけて一緒に遊べれば遊ぶし 無理そうなら諦めるし でも時々途中から遊ぶこともあったり 結局どんな人同士でも きっかけやウマが合う時があり 自然に関わって行けるのがインクルーシブだなと思いました
- ・ ただそのきっかけづくりの 1 つとして プレーパークの常設だったり 色々な人が参加出来るイベントだったりがあったらいいなと思います 小金井市には大小公園たくさんあるのでそれぞれで特徴を作っていくのも面白いかもしれません 考えるきっかけになるみんなの公園会議など企画していただいて ありがとうございます ぜひ 続けて開催していただけたら嬉しいです

4. 自由意見の整理

4.1 公園に関する自由意見（良いところや悪いところなど）

アンケートにて子どもと大人のそれぞれに自由回答で公園に関する自由意見を伺い、類似する見等について分類・整理した。

子どもからは21人、大人からは47人に意見をいただいている。

複数の要素を含む回答については、再掲している場合もある。

また、子どもの回答では親が代筆している場合と、親の回答に子どもの意見が追記されている場合があった。

(1) 遊具に関する意見

- ・ブランコの設置を希望する意見が子ども、大人共に多い。
- ・全体的に遊具の増設、充実を望む声が多い一方で、遊具を望まない意見もある。

1) 子どもの自由意見

野川公園を見習って広場もあっていいけどもう少し遊具を多くした方が良い。
ブランコが大好きです。
ジャングルジムがすきです。
ブランコが人気なので、なかなか遊べない。
人気の遊具は混んでて入れ替え制で並ぶ、もっと色んな公園にあったら混まないのに。母代筆
家からは栗山公園が近いので、回る遊具やブランコが無いので作ってほしいです。

2) 大人の自由意見

栗山公園にある様な大型アスレチックが他の公園にもあるとありがたい。大人の手を伸ばしやすいデザインになっていて側で見守ってあげられるので。
中学生以上の子が遊べるトランポリンがあるといい。自閉症でトランポリン好きな子は多いと思う。
人口遊具の必要性はあまり感じません。
インクルーシブ用の遊具を増設する場合、ブランコなどは乗れる数が減ると混んでしまって、結局皆乗れず本末転倒になるので、一人で長く遊ぶような遊具は数を減らさず差し替えてほしい。
インクルーシブ公園のブランコも座面が直角で座り心地が悪く不安定なので、自由に角度を変えて乗れるなどアレンジができればいいなと思います。
キャスパーブランコを是非取り入れて欲しいです！！
貫井北町5丁目周辺に子どもたちが集まって遊べる公園がないため、遊具の充実した公園を設置して欲しい。
小学生の子どもからの要望があったので、こちらに書きます。「府中の森公園の、丸いブランコみたいな遊具を、他の公園にもつけて欲しい」「静電気が起きる滑り台はだめ」「木馬公園に、普通のブランコでもいいからつけて欲しい」だそうです。

(2) ルールに関する意見

- ・ 子ども、大人共に現状ボール遊びができないと感じている意見が多い。
- ・ タバコの吸い殻やゴミのポイ捨て等利用者のマナーに対する意見もある。

1) 子どもの自由意見

ドッチボールをやる人が多いのでボール使用ありの公園があると嬉しいです。
キャッチボール
ボール遊びができる場所がない。
ボール遊びができる公園が少ないため、そのための環境整備を行ってほしい。
ボール遊びができる公園がほしい。
ボール遊びができる公園が少ないので増やしてほしい。

2) 大人の自由意見

公園でよくタバコの吸い殻を見かけます。子どもが遊ぶ場所ですし、誰でも気持ちよく使うために禁煙を徹底していただきたいです。せめて自身で出したゴミは自分で捨てるようにして欲しいです。小金井は喫煙スペースがないため、道で歩きタバコをして公園などで捨てる人をよく見かけます。喫煙スペースを設けるなどして公共の場で吸うことを少なくして欲しいです。
最近、思いっきり遊べる公園が少ないです。特に小金井市ではボール遊びができる公園が少なく、そのせいか東京都はスポーツテストでも平均が低い傾向にあります。 近隣に迷惑などの理由であれば、一方的にその意見に従うのではなく、それを改善できる、お互いが歩み寄れる妥協策を探していける仕組みができるといいなと思います。
スペースがあるのにボール遊びが禁止されている公園がありすぎだと思います。 使われない公園ではなく、使いやすい公園が増えることを願っています。
「インクルーシブ」という言葉に踊らされる前に、一般的な公園をまずしっかり整備してほしい。遊具は古く点検を受けた後は長い間使用禁止、安全な柵のある場所は少なく子どもは飛び出し、ボール遊びが安心してできる場所もなく、ゴミが散乱しているところが多い。 「インクルーシブ」以前に問題が山積している。小金井市の公園は他市と比べて整備状態がすこぶる悪い。
何回も来ないと分からない その公園ごとのルールみたいなものもあります 例えば 近所の人から苦情が出てここでボールは使えないんだよ とか言われたりします。
遊具の整備や地面整備も必要ですが、どんな人も一緒にボール投げ（ドッジボールなど）が出来る場所を確保して頂けるとありがたい。公園内広場に金網等のフェンスを付けて、乳幼児の遊び場にボールが飛んで行かないようにする工夫があると良い。また、ボール遊びの場所だけ遊具の場所から見えないほど離れてしまうことなく、隣接していることが望ましい。
小金井市に越してきて感じた事は、清掃が行き届いていなく、ベンチ付近にはタバコの吸い殻が沢山落ちていること。安心して小さい子を遊ばせられないな…と思いました。 近隣の府中市には子どもしか入れない遊具のある公園、係りの方がいる公園、国分寺市には、NPOの遊びの場があり、こういった場があれば良いな…と思います。 是非、子どもに優しい小金井と自慢できる市にして欲しいです。

(3) 植物に関する意見

- ・ 現況の自然環境の保全を求める意見が多い。
- ・ 子どもの自由意見では植物に関する意見は無かったが、大人の自由意見からは3件の意見があった

1) 大人の自由意見

子供達が大人になってもいまの自然の姿を維持してほしい。あまり工事を繰り返して変えて欲しくありません。

地方自治体によっては 公園整備や防災対策と言って 貴重な動植物の生息地をただでさえ少ないのにさらに開発でそういった場所を減らすところがあるようです。都心から これだけ近くにこのような貴重な自然環境が残っている場所は本当に少ないです。小金井で生まれ育った方は実感しないかもしれませんが 今この市で残っている自然環境は大変に貴重なものです。そういったものを残せるような公園の整備をすべきであると 強く強く考えます。

世界的に大変な気候変動の時期に、自然を破壊する公園づくりではなく、緑を担保する稀少部分であることも前提としてほしい。子どもたちにも人間も自然の一部であることを体現できる場にすることを求めます。ハンディを持っていたとしても同じです。

(4) 設備に関する意見

- ・現況の公園設備では、天候の変化があった場合の利用や、長期滞在することが難しいと感じている意見が多い。
- ・以下の設備の新設を求める意見がある。
 - ベンチ
 - テーブル
 - 水道（石鹸）
 - トイレ（ユニバーサルベッド、チェンジングボード）
 - 柵
 - リハビリテーション設備

1) 子どもの自由意見

水道に石鹸を置いて欲しい。

ベンチがなかったらかなしいです。

あかるいトイレがよいです。

友達と一緒にお菓子を食べたいと思った時にテーブルがあった方がいいと思いました。

汚れたときに汚れを落とすためのキレイな水が必要だと感じる。

2) 大人の自由意見

ユニバーサルベッドのあるトイレが、公園内、もしくは近くの施設に必要です。
雨の日でも遊べる場所があれば助かるというも思っています。他の自治体であれば土日祝も遊びに行ける児童館がありますが、小金井市にはありません。日祝に公園へ遊びに行くとしてもお天気が悪いといけません。たとえば武蔵境のポップ公園のように、高架下に遊具のあるスペースがあると嬉しいです。小雨の日曜日にポップ公園に行った時、同じく小金井市から来た人に会いました。その方も同じように「市内に雨の日祝に遊べる施設がない」と話していました。幸い、国立や府中には日祝開館し、市外の人も受け入れてくれる児童館がありますが、そちらにたより切っているのでしょうか。スタッフの休日のこともありますので、児童館を日祝開けて欲しいわけではなく、みんなが遊べる公園作りを今後していくのであれば、お天気の影響を受けずに思い切り遊べる公園が欲しいという声も取り入れていただけると嬉しいです。
小学生の子供達だけで長く遊べるためにトイレの設置やベンチ(特に雨や日差しを遮る屋根付き、テーブル付きのもの)が多くあるといい。
「インクルーシブ」という言葉に踊らされる前に、一般的な公園をまずしっかり整備してほしい。遊具は古く点検を受けた後は長い間使用禁止、安全な柵のある場所は少なく子どもは飛び出し、ボール遊びが安心してできる場所もなく、ゴミが散乱しているところが多い。 「インクルーシブ」以前に問題が山積している。小金井市の公園は他市と比べて整備状態がすこぶる悪い。
公園で遊ぶこと以外の目的で利用していることを考慮すべき。本アンケートはインクルーシブ公園といいつつも遊ぶことが第1として、それ以外の利用をアンケート項目から排除している。リハビリテーション設備や器具が市内の公共施設に無く、トレーニングすることが困難である。 パラスポーツ向けの器具については持ち込みできるかどうかの基準が明確ではない。車椅子の動作訓練や、ブラインド向けのサウンドトレーニングは、専有利用が必須になるが、そういった用途を想定されてない。 ボール遊びについて年齢で区切られているが、障害は年齢ではないので、ある年齢を超えた機能障害者はキャッチボール訓練ができなくなる。このように公園利用の規則や規約がインクルーシブになっていない。 受益者負担として、設備利用の有料化も考えるべき。遊具や器具の専有利用の仕組みも制度化すべき。器具や設備の有無ではなく、健常者との衝突を避けるため同時に使いたくない需要もある。
子供用トイレや専用トイレ等、使いやすいトイレを充実させてほしい。紙パンツが外れていない子の紙パンツを立ったまま交換したり、トイレ終わりで下を全部脱がなければトイレができない子の親が容易に服を脱がせれる用にチェンジングボードの設置をお願いしたい。 子供達が安心して安全に使えるトイレが増える事を願ってます。
インクルーシブに配慮の前に、小金井市の公園のトイレと水道の整備を希望します。貫井坂下の大きな公園と言えば団地公園ですが、遊びに来る子どもが多いのに水道すら使えなくて不便です。市ではなく、団地の管理なので、使えないとのことですが、市が水道を管理し、(水道代を市が出す)などして解決策を考えてほしいです。とにかく不便。手を洗いたい時はわざわざコンビニへ行っています。水道やトイレを設置する事で災害対策にもなるのではと思います。ぜひ検討してほしいです。
急な天候変更や子どもの体調変化に対応できる、屋内休憩所、カフェ、冷暖房が効いているスペース。軽食や保冷剤が買える所があると、安心して利用できる。
遊具の整備や地面整備も必要ですが、どんな人も一緒にボール投げ（ドッジボールなど）が出来る場所を確保して頂けるとありがたい。公園内広場に金網等のフェンスを付けて、乳幼児の遊び場にボールが飛んで行かないようにする工夫があると良い。また、ボール遊びの場所だけ遊具の場所から見えないほど離れてしまうことなく、隣接していることが望ましい。

(5) 安全・安心に関する自由意見

- ・ 子どもの飛び出し防止のため、囲いの設置を求める意見が多い。
- ・ 子どもだけでも安心して遊べる環境、整備を求める意見もあった。

1) 子どもの自由意見

囲いがあってすぐに道路などに出られない方が追いかけてやすい。

知らない人に声をかけられて怖い思いをしました。子供だけで遊ぶことがよく見られる時間帯は、誰か大人の人が必ず見守ってくれと安心です。

子供が2歳ぐらいの時、遊んでいる時に、突然道路の方にてしまったことが怖かった。囲いがされてる公園がもっとあるといいと思う。

2) 大人の自由意見

近年では、外遊びの機会が減少している中で素晴らしい取り組みだと感じました。

子供同士でも安心して公園で遊べるように、地域のセキュリティも含めた整備も同時に進めばと思います。

(6) アクセスに関する自由意見

- ・ 無料駐車場を求める意見が多い。

1) 子どもの自由意見

足が不自由なので駐車場がないと（連れて）いけない。都立公園のように手帳で駐車料金が減免（遠隔確認）になる所は行きやすい。母代筆

2) 大人の自由意見

まず基本的に小金井の公園には駐車場が無い、もしくは都立公園は1時間300円と毎日通える値段ではない為、子供が2、3人いて、ベビーカーがある場合、近くの公園で遊ばせる事しかできません。

その公園に遊具がない、狭い、高学年の方がいると何も出来ません。

良い公園が目の方の方は良いですが、結構深刻な悩みです。

公園を大きくするのは難しいと思うので、私達がそういう公園へ行くとして、せめて都立公園は市内の方は駐車場無料にしていきたいと思います。

よろしく願いいたします。

(7) インクルーシブに関する自由意見

- ・ インクルーシブな公園整備に関して前向きな意見が多い。
- ・ 一方で障がいを持つ子どもとそうでない子どもで遊ぶ場所、時間等の住み分けを望む意見も見られる。

1) 子どもの自由意見

ターザンロープや複合遊具についている滑り台は、障害のある子にとっては、皆がどう並んでいるのかわかりにくい場合があって、滑り台自体はひとりでできる能力があっても、列の最後尾や見えないルールわからず、ひとりで参加し辛いことがあります。どう並んでいるのかが、パッと見て分かりやすい列ができるような遊具だと助かります(横入りしにくい幅の一本道など。)

中身が幼くても体格差で小さな子にケガをさせないか心配なため、大きい体の人用など分けるほうが安心。

看板で障がいの様子（大声が出ちゃうのは楽しいだけだよ、とか）がお知らせしてあると伝わりやすい。

多くの遊具は対象年齢が書かれているけど、障害児なので小さい子用の遊具で遊びたいのに、体は大きいので遊べない。対象年齢＋ヘルプマーク(OK)の表示にしてもらいたい。母代筆

公園会議の動画にあったように、大病院があり障害の子が多く来る地域など利用者層を考えた作りだといい(特別支援学校の近くとか)。母代筆

2) 大人の自由意見

インクルーシブな環境が早く実現することを望んでいます(現在 三鷹 武蔵野の 中央線の高架下にあるように)。

普段の生活のなかで、障害児者との関わりがあり、いろんな人がいて当たり前という感覚を大人も子どもももつことが大切だと思います。公園だけでなく、教育、福祉、市の取り組みすべてにおいてインクルーシブな考え方が当たり前になることを望みます。

誰でも使いやすい遊具や遊歩道等を色々と整備するよりは、広い平坦な芝生の広場やグラウンドとベンチとトイレがあれば、誰でも使いやすい公園になるのではないのでしょうか。植栽等についても最小限にして、できる限り人が遊べる面積を増やすことで、人との距離が開き、結果的に誰でも安全に遊べる空間になると思います。暫定整備の梶野公園は小さい子供でも比較的遊びやすいです。

小金井には市の事業でプレーパークがあるので、それを活かして今後は市立公園でのプレーパークがインクルーシブ公園になったらいいと思います。プレーリーダーは子どもの声を聞きそれを形にする事が得意ですから、子どもが参画する場づくりにもなります。

障がい児を育てる親としては、「障がいあるなしに関わらずみんなで楽しくハッピーに公園を一緒に楽しむ」ということは、現段階では正直非現実的なケースが多いです。公園自体が整っていても、保護者同士、子ども同士の気持ちがそこに追いついていないために、結局障がい児の親が心身疲弊してそこに気持ちが向かなかったり、差別がうまれてしまう、などです。

現状で障がい児の親が求めることは、障がい児だけが利用できる時間帯や場所が設けられていること(人数制限や様々な危険を回避できる対策含めて)。そういった環境の中でなら笑顔で過ごせるケースが増えるのではないかと想像します。

インクルーシブの環境づくりは、当事者と当事者以外の考え方を同じにしていくような教育を地道に続けた先に真の成立があると考えています。

そこに辿り着くまでは、時間がかかっても、当事者の声をきちんと聞き、現実の問題を徐々に緩和していきながら調整して理想に近づけていく段階が必要不可欠なのではと思います。

公園で遊ぶこと以外の目的で利用していることを考慮すべき。本アンケートはインクルーシブ公園といいつつも遊ぶことが第1として、それ以外の利用をアンケート項目から排除している。リハビリテーション設備や器具が市内の公共施設に無く、トレーニングすることが困難である。

パラスポーツ向けの器具については持ち込みできるかどうかの基準が明確ではない。車椅子の動作訓練や、ブラインド向けのサウンドトレーニングは、専有利用が必須になるが、そういった用途を想定されてない。

ボール遊びについて年齢で区切られているが、障害は年齢ではないので、ある年齢を超えた機能障害者はキャッチボール訓練ができなくなる。このように公園利用の規則や規約がインクルーシブになっていない。

受益者負担として、設備利用の有料化も考えるべき。遊具や器具の専有利用の仕組みも制度化すべき。器具や設備の有無ではなく、健常者との衝突を避けるため同時に使いたくない需要もある。

医療的ケア、特に、常に繋がっている機器がある子は、どんな遊具でも他の方のサポートが無いと利用するのはとても難しい。ひとりならともかく、もう1人いると更に難しい。

健常児のご家族には、目に見えない障害を持つ子供に対しての理解が難しい。大声を出す、ルールが守れないもしくは理解が難しい等。そのために健常児から意地悪をされたり、怒鳴られたり、健常児の親御さんから嫌味を言われたり、と悲しいことが多々あった。そうしたことがないよう、障害児が安心して楽しく過ごせる公園にして欲しい。難しいとは思いますが、そのように願っている。

年齢差のある子供たち、障がいのある子供達、様々な子供が同じ空間で遊べる場所を希望します。

我が家は、上が軽度の知的障害を伴う自閉症(多動、会話は3語文程度、人とのコミュニケーションが苦手、大きな音や子供の騒ぐ声が苦手)、下が定型発達の2人の子供がいます。 小金井公園が好きで二人とも行きたがるのですが、やはり上の子の障害が原因で難しいです。 思い通りにいかないと癇癪を起こしたり、そもそも言葉や会話の内容が理解できないので事情を知らない周りからルールを守ってと責められたり本人も辛いです。 (うちの子は小児科の先生でも言わないと障害があるとは分からない感じで、話し方などで分かるタイプです) 2人一緒に行ける時は上の子に夫が、下の子に私が付き添える時だけです。 なので障害の有無にかかわらず遊べる場所が欲しいです。 障害があると本当に運動する機会が少ないと感じています。 定型の子は体育、学校の休み時間、放課後などお友達と体を動かして遊ぶ機会が当たり前にあります。 でも支援学校に通う程度の障害だとまず人との意思疎通が難しく、お友達を作ってそこから約束をし体を動かして遊ぶなんて夢のまた夢です。 下の子も周りの目が気になる年齢に差しかかり、たまに周りの目に辛くなる時もし出てきました。 せめて家族という時は二人とも周りの目を気にせず、のびのびと当たり前に休みの日に家族で公園で遊ばせてあげられたらと思います。 希望としては、柵のある遊具広場で障害のある子、ない子が時間などで分けて遊べると助かります。 あとは定型の子供同士でも乳幼児、幼児、低学年、高学年など年齢別に遊べる場所があればいいと思います。 小金井公園のふわふわドーム、高学年の子供達がめちゃくちゃに走り回って強くぶつかられたり、強いジャンプの反動で投げ出されてしまったりで毎回酷いので利用できなくなりました。 高学年の子供達は親御さんの付き添いも無く、いらしても何の注意もなかったり残念です。 差別ではなく区別はとても大事だと思います。 自分の子が他のお子さんに怪我をさせてしまったりも心配ですし、落ち着いて安心して遊べる環境があれば親も子もゆとりができます。
障がい者を分けないまぜこぜの社会をつくるのが大事。公園が誰にとっても居場所となることを願います。
小一の息子が公園が好きなので 市内の色々な公園に行きます 息子は元気いっぱいタイプで人見知りもなくみんな友達と思って話しかけるので 色々なタイプのお子さんから大人まで一緒に遊ぶことがあります。 遊具があればそれで遊ぶしなければ走り回るし声をかけて一緒に遊べれば遊ぶし無理そうなら諦めるしでも時々途中から遊ぶこともあったり。 結局どんな人同士でもきっかけやウマが合う時があり自然に関わって行けるのがインクルーシブだなと思いました。 ただそのきっかけづくりの1つとして プレーパークの常設だったり色々な人が参加出来るイベントだったりがあったらいいと思います。小金井市には大小公園たくさんあるのでそれぞれで特徴を作っていくのも面白いかもしれません。 考えるきっかけになるみんなの公園会議など企画していただいてありがとうございます。 ぜひ続けて開催していただけたら嬉しいです。

(8) その他の自由意見

1) 子どもの自由意見

困ったこと:梶野町くぬぎ公園は楽しい遊具があるが蚊がたくさんいて5分も遊べないことがあった
すべりだいのしたのみずたまりであそべないからなんとかして
夏季は日中暑いので朝や夕方に使いたいけど利用時間が限られている(小金井公園ふわふわドーム)。夏はナイター営業してもらいたい。母代筆
府中の森公園は冬は池が凍り、鴨が氷上を歩く姿を見るのが大好き(たまに氷の割れ目に落ちる)。郷土の森公園の池の鯉や鴨を見るのも好き。母代筆
公園のおかげで色々な人と仲良くなれました。
冬以外は、蚊が大量にいて、嫌だから。母代筆
また、本町4丁目の桜公園の横にある白いコンクリートの家のおばさんが、公園で子供が遊んでいるとクレームを付けてきたり、子供たちの写真を撮るから、安心して遊ばせられない。母代筆
公園で遊んでいると、おばさんが盗撮をし、そのうえ、色々な理由で公園で遊ばないようにさせられます。そのため、家の近くや、家の中で遊んでいますが、運動ができません。どうにか遊べるようにしてください。
小金井は小さな面積なので、遊具がある公園、水遊びできる公園、野球とかテニスができる公園がそれぞれ1個あればいいと思いますが、それぞれを充実させて欲しいです。水遊びもできる公園も欲しいです。

2) 大人の自由意見

公園管理の民営化はまだ課内検討中なのですか。
他の市町村にあるような同じような公園を作るのでは 全く意味はありません。 小金井市 独自の公園の整備計画を 熟慮していくべきと思います。
イラスト1枚目のフリガナに誤字がありましたので、念の為お伝えします(イラスト右下、知り合えるのフリガナ)。
設問からも、インクルーシブ公園には遊具や場の設えだけでなく、人と人の関りが大事だとのお考えが伝わり嬉しくなりました。 こども基本法11条にもかなう事業になりますね。期待しております。
小金井には市の事業でプレーパークがあるのですから、それを活かして今後は市立公園でのプレーパークがインクルーシブ公園になったらいいと思います。プレーリーダーは子どもの声を聞きそれを形にする事が得意ですから、子どもが参画する場づくりにもなります。
インクルーシブな公園を作るという大きな目標はステキです。ですが、その前に、公園が地域によっては全くないところあるので、それも考えて欲しいです。ちなみに当方は第一町会の地域ですが、公園がありません。諸事情あるのかも知れませんが不平等を感じますし、防災の観点からも不安を感じます。
自主性を尊重して自由に開放した上で、実際に利用する人が楽しく過ごしているかどうかは、時々確認するのもいいかもしれません。元の方針が良ければ、共感して公園を大事にしようという人が増え、雰囲気がよくなるのではないかと思います。障害児と健康児という区分けだけでなく、今は足の悪い方、車いすの大人も増えていると感じるので、多くの人が過ごせるように考え続けるのは素晴らしい姿勢で、結果的に共感する人が増えれば行政もやりやすくなるのでは？と思います。斎藤幸平著『コモンの「自治」論』という書籍で、どうやって新しく自由な自治を作っていくかの話が興味深かったことを思い出しました。自分達がつくっていくという意識は、これからの時代とても大事だと思います。それを支えてくれる柔軟な考えの行政の人がいて行動してくれる小金井市は、幸せですね。応援しています。
インクルーシブは理想であるが、実際に利用しているのはどこも健常児がほとんど。障害児施設と近隣幼稚園、小学校などを同時に招いて、一緒に遊ぶにはどうしたらいいかを学ぶ日を設けるなど、利用者への働きかけが必要不可欠だと考える。バリアフリーに作ったらからと言って、肢体不自由や重度知的の障害者が実際に利用することは、殆ど不可能だという事が全く知られていない。 今のような作るだけの公園であれば、障害者施設の校庭の遊具を、土日に開放する方がよほど有意義だと思う。
一つの公園に役目を集約するのではなく、ボール遊びするならA公園、砂遊びするならB公園…など各公園に役割を分散して欲しいです。葛飾区はネット完備でサッカーOKの公園が多数あります。東屋やベンチがあると動画撮影者が多いので、そのような公園は完全に大人向けとしても構いません。 乳児とゆっくりしたい、犬と走り回りたい…それぞれの特徴に特化した公園が点在し、棲み分けられるのが理想です。
小金井は公園が少なすぎる。小金井公園で事足りてると小金井市は思いこんでいる。
小金井には大きな公園だけでなく、小さな公園もたくさんあるので、そこを有効活用できたらいいのと思っています。小さな遊歩道もあるのに、全く活用されてなくて、もったいないと思います。
栗山公園、桜町公園の手を洗う水道の排水が、土や砂でよく詰まっています。役所に電話したこともあります。改善されることを期待します。
本町4丁目の桜公園の横にある白いコンクリートの家のお婆さんが、公園で子供が遊んでいるとクレームを付けてきたり、子供たちの写真を撮るから、安心して遊ばせられない。
昨今インクルーシブという言葉が先走りしすぎて嫌悪感を感じます 海外の公園や葛西臨海公園のように自然とバリアフリーが整えられ利用者同士も必要があれば手助けするという意識が根付いているのが理想です。遊具などのハード面は考慮する必要がありますがそれ以外はあまり頭で考えるのではなく障害をそもそも意識しないようになるのが大切だと思います。小金井市は村社会的な部分が残っているのでまずは誰でも受け止めるところから変わってほしいです。

【巻末資料】実施事業の報告

4. 関係者ヒアリング

目次

1. 実施概要	1
2. 実施結果	1
2.1 あいびー	1
2.2 きらり	3
2.3 梶野公園サポーター	5
2.4 弁天通り自治会	6
3. ヒアリング記録	7

1. 実施概要

ヒアリングの実施日を以下に示す。

対象	実施日
小金井市医療的ケア児相談窓口 あいびー	2023 年 12 月 8 日
児童発達支援センター きらり	2023 年 12 月 5 日
梶野公園サポーター 第 1 回	2024 年 1 月 25 日
第 2 回	2024 年 3 月 6 日
弁天通り自治会	2024 年 3 月 14 日

2. 実施結果

公園の利用、インクルーシブ遊具等の導入にむけた留意点、課題等について伺った意見の概要を以下に示す。ヒアリング結果の詳細は、巻末に示す。

2.1 小金井市医療的ケア児相談窓口 あいびー

(1) 公園・遊びの意義、効果

- ・ 遊具の利用は、筋肉の発達に有効である。
- ・ 感覚を研ぎ澄まさせる遊びは成長につながる。
- ・ 医療ケア児には、楽しみが大事であり、公園に行くことが楽しみになる。

(2) 留意点

- ・ 医療的ケア児は、他の子どもの利用がある場合、利用面で難しい場面もある。
- ・ 例えば、府中の森では健常児が走りまわっていて利用しづらいことがある。
- ・ 障がい者が利用する場合は、酸素吸入や痰の吸引用の電源も備えがあると良い。
- ・ 混雑時に一緒に使うよりも、時間を分けるなどして、お互いのストレスを感じないような時間を持ちたい。無理に我慢をさせてストレスをかけるよりは、のびのびと遊ばせたい。

(3) 遊具について

- ・ 登る遊具（足と手で登る遊具）があると良い。
- ・ ブランコなどは体幹の発達に効果がある。
- ・ 遊具がなくて広い広場があれば良いという意見もあるが、動きづくりのための遊具はあってよいと思う。
- ・ 発達障がいの子どもの遊具と、医療ケア児の遊具は違ってくる。

(4) 利用について

- ・ 保護者の中では、公園に遊びに行くという概念がない場合もある。（障がいが重い場合）
- ・ 移動の面で制約がある。（駐車場の整備は重要な問題になる）

(5) 事業について

- ・ 障がいのある子どもの親が、今回のワークショップのような情報を求めている。
- ・ 小さいころからいろいろな人と関わることが大事。小さいころから付き合うことで、変に気を使わなくなる。

2.2 児童発達支援センター きらり

(1) 公園の利用について

- ・ 梶野公園はよく利用している。園としては週に2回以上は行く時期もある。
- ・ 遊具があれば遊具で遊ぶ。梶野公園では走り回ったり、シャボン玉をおいかけていたりすることが多い。場があるので、思い切り走れるのが気持ちよさそうに見える。
- ・ 梶野公園では、複数の保育園が利用していることもある。混んでいるときには、奥に行くことが多い。（北側部分）

(2) 留意点

- ・ トイレが暗いとか、音が出るとか、そういう環境の変化が苦手な場合がある。
- ・ 道路に飛び出すとか、危険なエリアが近くにあると、安全の認識が低い子もいるので、ほっておくと大変になることから、最低限の安全、安心の確保は必要。遊具エリアには、柵があると良い。ある程度の高さ。
- ・ 一つだけではなく、魅力的な遊具がいくつかあれば、気持ちを分散することができる。
- ・ 他の公園でも一緒だが、あまり混んでいるところは避けるようにしている。
- ・ 障がいの有無に関係なく、子どもができるだけ遊べるようにしたいと、皆さん考えるのだと思う。

(3) 既存の公園施設について

- ・ すべり台の手すりが浅くて、手すりを超えて外に落ちそうになったりする。人が付いていないといけなところがある。
- ・ 遊具によっては気を付けるように、使わないように約束している場合もある。
- ・ 原っぱの良さというものもある。街中では全力で走り回れるようなところがない。公園にある地面が重要だと思う。
- ・ あまり手入れもなくてよいが、雨のあとの水たまりとかぬかるみはないほうが助かる。
- ・ 土の部分も芝生の部分も良い。土であれば泥遊びをしたり、掘ったりして遊べる。
- ・ 築山みたいなのがあったら良い。かけまわって運動になる。
- ・ 木登りしたい子もいる。登れる子は体力がある子である程度心配ない。
- ・ 梶野公園では、木を切って登れるようになっていところがあるが、これが人気で順番待ちになることが多いが、この順番を待つとか、交代でやるとかのルールの理解ができない場合もある。

(4) インクルーシブ遊具の導入について

- ・ 運動発達につながるようなものがあると良い。
- ・ 手足を使うような体験ができるようなもの。体を動かす。風を切るとか。
- ・ いろいろな運動をさせたい。そのための遊具はよいと思う。
- ・ 何人で遊べるかはっきりしているものが良い。程度をみて判断するとかは難しい。
- ・ 順番待ちになるのはある程度しかたないが、待っている間にも何かできるような工夫がある

とありがたい。足元に何か絵が描いてあるとか。

- ・ ルールがわかるものが必要。遊具について遊び方の説明があるのはよいと思う。
- ・ できるだけシンプルな遊具が良い。
- ・ 高さのあるものは避けたい。子どもが上ってしまい自分で降りられないとか、飛び降りてしまう遊具などは怖いところがある。
- ・ 大人が手助けできない、例えば狭くて入れないものなど、そういうものも避けたい。

(5) 利用環境について

- ・ 木陰、日陰がほしい。

2.3 梶野公園サポーター

(1) インクルーシブについて

- ・ 道具の整備のみならず、人々に障がいやインクルーシブを理解していってもらうのが重要だと考える。
- ・ 防災や医療などの講座を開催することにより、相互理解を促進できると考える。

(2) 障がいのある子とない子の交流について

- ・ 交流の機会を作れると良い。
- ・ まず交流のきっかけを作り、障がい者を「知る」から始めると交流を進めやすい。
- ・ モルックのような誰でも参加しやすいゲームは交流の良いチャンスだと考える。

(3) 設備について

- ・ 公園のトイレの整備は重要である。
- ・ 今より大きなベビーベッドがあると公園に行きやすくなる。
- ・ 公園に AED を設置してほしい。
- ・ イベント時にステージを毎回設置しているため、あると便利。
- ・ パーゴラや屋根があると、人が自然と集まって交流できるため良い。

(4) 会議について

- ・ 会議に参加したいが、現場に行けない方がいると考え、これらを会議に巻き込んでいければ良い。
- ・ みんなの公園会議の大人バージョンがあったら良い。
- ・ このようなインクルーシブ公園に対する意見交換会が大事である。

(5) 遊具について

- ・ 遊具は木製のものが梶野公園には合っていると感じる。
- ・ 梶野公園にもともと遊具が無かった分、子供たちが集まり過ぎてしまうことと、遊具があることで今までとは別の危険が懸念されることを踏まえると、梶野公園の良さ、らしさが失われてしまうと感じる。

(6) 留意点

- ・ 府中の森公園や砧公園は大変込み合っていたため、安心して使える印象は無かった。
- ・ ソフト面での充実が必要だとも感じた。
- ・ 公園と障がいのある子を繋ぐ、コーディネーターのような人が必要だと感じる。
- ・ 1 つの公園で全ての利用者を満足させるのではなく、小金井市全体の公園のバリエーションを増やす事で、利用者に選択肢を提示するのが望ましい。

2.4 弁天通り自治会

(1) 遊具について

- ・ 大型遊具は要らない、広い空間を残してほしい。
- ・ 既存の遊具を更新してほしい。
- ・ 新しい遊具を導入する際には、地域性を考えてほしい。

(2) 遊び方について

- ・ 子どもたちが自由に遊べる広い空間を提供できれば良い。
- ・ 子どもを自然の中で遊ばせたい。
- ・ 多少の危険はあってもいいので、自由に遊ばせてあげたい。
- ・ 今まで経験のない遊び方を教えてあげたい。

(3) 施設について

- ・ 入口の斜路がきつくて車いすには厳しいため改善が必要。
- ・ 駐車場、駐輪場やベビーカー置き場など施設を整備してほしい。
- ・ 防犯設備は欠かせない。

(4) 相互理解について

- ・ 施設の更新、樹木管理や公園イベントなどを実施する際には、近隣の理解を得ることが大切である。
- ・ 施設の使い方をみんなに理解してほしい。
- ・ 公園を整備すれば、新しいルール作りが必要。
- ・ 障がいに対する理解が重要である。

3. ヒアリング記録

各ヒアリングの実施記録を以下に示す。

医療的ケア児相談窓口 あいびー ヒアリング記録	
団体名	小金井市医療的ケア児相談窓口 あいびー（株式会社 Grand Life）
日時	2023年12月8日（金） 16時～17時20分
場所	あいびー
出席	医療的ケア児コーディネーター 田村相談員、内田相談員 （市）小林（PCKK）松田
・ 株式会社 Grand Life で、4つの施設を運営している ・ （訪問看護ステーション、児童発達支援保育所等訪問支援、マッチ相談支援ステーション、医療的ケア児相談窓口あいびー） ・ あいびーの利用状況は→20人前後（WSの話ができる人） ・ 施設に関係する児童→50～60名（近隣や武蔵野市などから通っている） ・ 公園整備につながる話をすると、株式会社 Grand Life として関わっていくのがいいと思う ・ 公園整備を通じて、子ども、保護者 相互理解を深めてもらいたい（市） ・ 公園整備担当なので、仕事の障がい等に関して知見がない、詳しい話を聞かせてもらい今後の整備に活かしていきたい（市） ・ いっしょに考えていければと考えている（市） ・ 外国にルーツを持つ子どもも対象に考えており、保護者同士の相互理解につながる事業にしていきたい（市） ・ どのような障がいに対し、どのような配慮が必要かわからない（市） ・ ふだん関わっている方々のお話を聞くことで、整備に役立つのではという思いもある（市） ・ お忙しいなか、意見交換の場面ができればありがたい（市） ・ 児童発達支援、医療的ケア、訪問看護等、様々な施設を運営している ・ 医療的ケア児とは、何らかの医療的なケアがないと生きていけない児童のこと ・ 障がいの種類では、知的、発達、身体、医療ケア、難病などがある ・ ダウン症は知的障害の分類→思いを伝えることができない（手が出る、発狂する） ・ 年齢→0歳から18歳 ・ 寝たきりの子もいれば、栄養を入れる管が鼻から胃に入っているだけのこともある ・ リハビリの際に、ある特定の遊具を利用すると、筋肉の発達等に役立つことから、公園の遊具を利用するという話は、会社の中で話が出ている ・ 医療的ケア児だと、他の普通の子どもとの利用がある場合、利用面で難しい場面があったりする ・ 障がいを持つ子どもに直接かかわっている職員もいるので、彼らの意見も聞いてもらえればと考えている ・ 公園を作りたいと考えている職員もいる ・ 施設の近くにある桐の木公園利用されるか？（市） →利用している。ある遊具を使えるかどうかで発達の度合いがわかる（例えば縄の網を登る遊具） ・ 登る遊具（足と手で登る遊具）があったらいい（きらりでも遊具や築山の話あり） ・ 遊具を使うことで、保護者が子供の発達の度合いを見れるといい ・ お母さんにだっこされてやるブランコだけでも、体幹の発達に関わってくる ・ かご型のブランコはとてもいいが、人気がありつかいにくい ・ 府中の森 健常児が走りまわって独占している状況 ・ 公園での駐車場の整備状況は？→梶野公園は有り、三楽公園は集会所の駐車場がある（運用上の工夫で対応可能かと考えている）（市） ・ 国立成育医療研究センター病院（世田谷区）にも身障者用駐車場があるが、健常者が駐車してしまい利用できない問題がある ・ 保護者の中では、公園に遊びに行くという概念がない場合もある（障がいが重い場合） ・ 公園利用でも散歩で公園に行くくらいの場合もある（遊具で遊ばない） ・ 子どもの成長につれて、だっこできなくなるようなこともある ・ 移動の面で制約がある（駐車場の整備は重要な問題になる） ・ 医療ケア児だと、成長につれて車いすも大きくなる ・ 医療ケア児でも、普通に公園で遊んでいる子どももいる ・ 医療ケア児でも障がいの度合いに程度があり、遊具で遊ぶことができる児童もいる ・ 問題なのは、重症心身障害児（寝たきり）の子どもは、公園で遊ぶことは難しい ・ ブランコが人気なのか？→揺れるということが楽しい→揺れる刺激が成長につながる	

- ・ 登るということも人気
- ・ 円盤型のブランコはかなり人気がある
- ・ どういったものを整備した方がいいのか？→直接子どもと関わっているスタッフからはリアルな意見が出てくるはず
- ・ 障がいをもつ子どもの親が、今回のワークショップのような情報を求めている
- ・ 「感覚統合」というものがあり、感覚を研ぎ澄まさせる遊びは成長につながると考えている→シーソー、ブランコ
- ・ 障がいを持つ子と持たない子の交流機会はあるか？（市）
→「愛の園保育園」（きらりの元の会社が貫井北で運営）と、毎月3人だけ障がいを持つ子どもを保育園に連れて行って交流している
- ・ コーディネーターやプレイワーカーのような立場の人がいて、ルールを伝えるようなことも必要になるので、児童青少年課と連携してやっていけばいいと考えている（市）
- ・ 子育て・福祉の部署の係長でつながりをつくり、分野横断してやりとりを進めている（市）
- ・ 市役所の中で協力して、遊び場を整備したいと考えている（市）
- ・ 監督的な立場の親が一人いるだけでかなり違う
- ・ 遊具整備予定は、梶野公園と三楽公園の予定（市）
- ・ WSは3歳から18歳で考えているが、保護者については年齢関係なく意見を聞きたいと考えている（市）
- ・ 聞こえてくる音が普通と違って聞こえる子もいる→いろいろな環境に触れることで、慣れていくという経験も重要
- ・ 障がいを持った子どもの保護者→普通のところに連れて行ってあげたいという思いが強い
- ・ 最近はある程度、障がい者に対する社会の理解が深まっていると考えている
- ・ きらりに通っている子どもは発達障害の子どものみ→一見すると普通に見えるので、その場合は、親が障がいを隠す傾向があったりもする
- ・ 発達障害の子どもと、医療ケア児の遊具は違ってくる
- ・ 公園をきっかけに、様々な交流が生まれるといい→小金井市は住みやすい街につながる（市）
- ・ 医療ケアで重症の子どもを持つ親と10年以上付き合っており、健常児の保護者は楽だと当初は言っていたが、その後健常者の子どもを持つと、健常な子どもの子育ても大変だと感じると聞いたことがある
- ・ 重症だと勝手に動き回らないので自分の予定で行動できるが、健常児は勝手に動き回るので違う苦労がある
- ・ 結局のところ、健常児の保護者も同じような悩みを持っているのではないかな？→公園で交流があればいいのでは？
- ・ 砧公園（インクルーシブ遊具がたくさんある）のような、障がいを持つ子どもと、健常な子どもがいっしょに遊べる公園に感銘を受けた（市）
- ・ 週末に行くと健常者が多くて遊具が使えないことが多い（市）
- ・ 遊具を待つのが大変なので、待つことに対する工夫も必要になる（市）
- ・ 府中の森公園→紙芝居をやったりしてソフト面で工夫している（市）
- ・ 小金井市では、学芸大学の学生が協力してくれるといい
- ・ 学生たちがお兄さんお姉さんとして子どもと関わってくれるといい
- ・ お母さんたちがほっとできる機会が公園にあるといい（市）
- ・ ワークショップに対する印象は？（市）
- ・ →2歳までの子どもの参加は可能かな？→問題なし（市）
- ・ 参加してもらって保護者同士で話してもらっただけでも意味がある（市）
- ・ チラシを訪問看護ステーションに配っていいかな？→問題ない（市）
- ・ 障がい者ウィーク（12/9）で宣伝もできる
- ・ 今回の募集では、あえて障がい者と記載はしていない（市）
- ・ 小金井市では、だれでも遊べる公園をつくることを考えている
- ・ ある保育園で実施している高齢者と子どもと一緒に過ごす空間がある
- ・ →「地域の寄り合い所 また明日」→森田さんは共通の知り合い
- ・ 明日（12/9）「また明日」でみちくさ市（貫井けやき公園）がある
- ・ 農産物の直売、ワークショップ、認知症アプリの講習会などいろいろやっている

- ・ 公園の整備で問題になっていることは？
- ・ 公園では様々な関わっている人がいるので、その中にはいまのままでいいと考えている人もいる（市）
- ・ 梶野公園には遊具がないが、そのままがインクルーシブだと考えている（市）
- ・ 選択肢が増えれば、新しく利用する子どももいると思う（市）
- ・ 一方、三楽公園は協力的で、自治会も理解があってやりやすく感じている（市）
- ・ 今年度は課題を聞きながら意見徴収し、来年度は試験設置を実施し、その姿を見てもらい、実際の状況を把握し、遊具を決めていきたい（市）
- ・ 試験設置は、猛暑になる前（梅雨に入る前）に実施したいが、時期的に少し厳しい（市）
- ・ 猛暑（酷暑）だと厳しい（市）
- ・ 遊具の設置場所は、樹木の近くに置くのがいい（市）
- ・ 無機質な環境でなく、緑の中に遊具があるイメージ（市）
- ・ 遊具を利用する際の失敗も経験だと考えている（市）
- ・ 梶野公園では、保護者達が話合えるような空間を整備できるといいと考えている（市）
- ・ 例えば、舞台や黒板などがあり、交流を図れるような環境（市）
- ・ 公園のイメージ（世代、性別、年齢、障がいの有無などに関係なく利用できる公園）
- ・ 小金井市公園で整備することはできないのか？→市の管理でないのでできない
- ・ 障がい者が利用する場合は、酸素吸入や痰の吸引用の電源があるといいとも考えている
- ・ 是非、これから関わっていききたい
- ・ 声掛けしてもらえれば市役所に行くので話をしていきたい
- ・ スタッフの中で、より深く考えている者もいる
- ・ 保護者と日々やりとりしており、保護者からの声を聴いている
- ・ 障がいを持つ子どもが気兼ねなく遊べる公園を作って下さいという職員からの声がある
- ・ 今回、東京都からのそれなりにいい金額の補助金が取れている（市）
- ・ 「合理的配慮」というものが日本だけ進んでいない
- ・ 保育園、小学校、中学校、高校 通いたい子どもが通うことができる必要がある
- ・ 小さいころからいろいろな人と関わることが大事
- ・ 自分の子どもは指がなく、最初は物珍しく見られていたが、次第に障がいも個性という認識になってきた（内田）
- ・ 小さいころから付き合うことで、変に気を使わなくなる
- ・ 施設でダンス教室をやっていて、そのうち 5～6 人かは健常児だが、その中に 1 年生のダウン症の女の子がいて全然踊れていないが、誰も邪魔にしない→本人は楽しんでいる
- ・ 健常児の中に障がいを持つ子どもがいるだけで、保護者は嬉しいこともある
- ・ 医療ケア児には、生きるか死ぬかの子どももいるが、その次になにか楽しむことが大事であり、それが公園に行くことかもしれない
- ・ 来年度、上の原公園でトイレと園路の整備をする予定（市）
- ・ トイレにタイルに絵を描いたものを貼り付ける計画がある（トイレが汚い）（市）
- ・ 他の自治体をもても、構想段階からさまざまな意見を聞いて遊具を設置している例は少ないように感じている（市）
- ・ どこにでもあるような遊具になるよりは、工夫された遊具があり、整備後にいかにみんなの理解を受け入れる環境があり、周りがサポートするような体制が重要（市）
- ・ やさしいまちになるために重要な事業だと考えている（市）
- ・ 福祉や教育の部署からでなく、公園の部門から、この事業が始まったことに意味がある（市）
- ・ ここ 2～3 年この案を温めていた（市）
- ・ 東京都の最初の補助金（市）
- ・ 各部署に後輩が居り、市役所内で連携を取りながらやっている（市）
- ・ これからはいろんな難しい面が出てくる可能性もあるかもしれない（市）
- ・ やれることはなんでも言って下さい

以 上

児童発達支援センター きらり ヒアリング記録	
団体名	児童発達支援センター きらり
日時	2023 年 12 月 5 日 16 時～17 時
場所	きらり
出席	佐々木センター長、宇佐美先生 (市) 小林 (PCKK) 小野崎
- 通園児は 21 名。年代は 2～5 歳。 - 通園は全員送迎バス。市内各地から来ている。 - 朝は、8:30～9:30、帰りは 14:00～15:00 にバスの送迎。 - 相談事業は、概ね毎年 新規 200 名程度 - 通園時は在園中に近隣の公園にはしばしば出かける - 梶野公園はよく利用している。園としては週に 2 回以上は行く時期もある。 春、秋などの季節の良い時期は多い。夏や冬は頻度が下がる。 - 概ね 10 時半～11 時半頃に行くことが多い - 現在、21 人が 3 クラスに分かれており、6～8 人のクラス単位で活動しているため、園内に残っているクラスもあれば、公園に行くクラスもある。 - 梶野公園には歩きで行く。 - そのほかの公園まで出かけることもある。パンダ公園など 小さい公園（あじさい公園、カバ公園、境西公園、ジャングル公園などに行っている） - ポッポ公園は、近年、ご近所から子どもの声がうるさいと苦情があったという話をきいたので行っていない。 - 公園では、遊具があれば遊具で遊ぶ。梶野公園では走り回ったり、シャボン玉をおいかけていたりしていることが多い。 - 広場があるので、思い切り走れるのが気持ちよさそうに見える - トイレなどは、公園に整備されているが、環境が変わったりするとトイレに行けなくなる子もいるので、基本的には園ですませていく - トイレが暗いとか、音が出るとか、そういう環境の変化が苦手な場合がある。 - カバ公園のブランコやすべり台が危ない。すべり台は浅くて急なので手すりを超えて外に落ちそうになったりする。人が付いていないといけない - アジサイ公園も、高いほうの滑り台のサイドが浅くて、子どもが落ちそうになる。 - 遊具によっては気を付けるように、使わないように約束している場合もある。 - 原っぱの良さというのものもある。街中では全力で走り回れるようなところがない。公園にある地面が重要だと思う。 - あまり手入れもなくてよいが、雨のあとの水たまりとかぬかるみはないほうが助かる。 - 土の部分も芝生の部分も良い。土であれば泥遊びをしたり、掘ったりして遊べる。 - 先日、2～3 歳児をつれて府中の森公園に行ってきた（送迎バスを利用）。インクルーシブ遊具があり、低い遊具では安心して遊べた。 - 築山みたいのがあると良い。かけまわって運動になる。 - 道路に飛び出すとか、危険なエリアが近くにあると、安全の認識が低い子もいるので、ほっておくと大変になるので、親は気を張っている。 - 最低限の安全、安心の確保は必要。 - 遊具エリアには、柵があると良い。ある程度の高さ。 - 木登りしたい子もいる。登れる子は体力がある子である程度心配ない。 - 木陰、日陰はほしい - 大きな木があればはっぱでも遊べる。 - 梶野公園では、複数の保育園が利用していることもある。混んでいるときには、奥に行くことが多い（北側部分）。 - 小ぶりの保育園が増えて、園庭無し保育園もあるので、そういうところが皆さん来ているのではないかな。 - 他の公園でも一緒だが、あまり混んでいるところは避けるようにしている。障害の有無に関係なく、子どもができるだけ遊べるようにしたいと、皆さん考えるのだと思う。 - 他の園の園児とトラブルになるようなことは、基本的にはない。大人がついていて、ある程度コントロールできる範囲で遊べるようにしている。	

- ・ 高さのあるものは避けたい。子どもが上ってしまい自分で降りられないとか、飛び降りてしまう遊具などは怖いところがある。
 - ・ 大人が手助けできない。せまくて入れないものなど、そういうものも避けたい。
 - ・ 地面との距離感をつかむのが苦手な子もいる。
 - ・ 梶野公園では、木を切って登れるようになっていところがあるが、これが人気で順番待ちになることが多いが、この順番を待つとか、交代でやるとかのルールを理解ができない場合もある。
 - ・ 一つだけではなく、魅力的な遊具がいくつかあれば、気持ちを分散することができる。
 - ・ 隣接うるけやき保育園とは交流保育のプログラムがあり、同じ公園で遊んだり、園庭で一緒に過ごしたりもある。
 - ・ あらかじめ定めたプログラムとして行っている。そういう機会は必要だと思っている。
 - ・ 外部の公園などで、他の園児たちと同じ場所で遊ぶことはあるが、混み合うのは避けたい。トラブル云々というよりも、たくさん遊ばせたいという気持ちが大きい。特に交わるのを避けているわけではない。
 - ・ 保護者には、交流をしたいという方もいるし、そうではない方（交流を避けたいという方）もいる。
 - ・ 待てないと手が出ちゃう子もいるので、迷惑をかけちゃうといけないからなどの理由もあることはあるが、対人的に迷惑をかけるよりは、お互いのストレスを感じないような時間を持ちたいという気持ちが大きいと思う。
 - ・ 無理に我慢をさせてストレスをかけるよりは、のびのびと遊ばせたいということだと思う。
 - ・ 遊具がなくて広い広場があればいいという話もあるとは思いますが、動きづくりのための遊具はあってよいと思う。
 - ・ 運動発達につながるようなものがあると良い。
 - ・ 手足を使うようなもの、体験ができるようなもの。体を動かす。風を切るとか。
 - ・ いろいろな運動をさせたい。そのための遊具はよいと思う。
 - ・ 何人で遊べるかははっきりしているものが良い。程度をみて判断するとかは難しい。
 - ・ 順番待ちになるのはある程度しかたないが、待っている間にも何かできるような工夫があるとありがたい。足元に何か絵が描いてあるとか。
 - ・ 障害のある子なども遊べる場所のようにエリアの違いを表記するようなものの必要性については、どちらがいいかわからない。
 - ・ 意識してしまう保護者もいると思う。
 - ・ ルールがわかるものが必要。遊具について遊び方の説明があるのはよいと思う。
 - ・ できるだけシンプルな遊具が良い。
 - ・ 保護者同士のつながり、保護者の会というものもある。先輩保護者に相談したりとか、そういう関係はそれぞれ作っている。
-
- ・ 通園している児童の家庭にチラシを渡せるようにする。
 - ・ 相談に来られる方もいるので受付のところにチラシを懸架しておく
 - ・ 特に保護者からインクルーシブ公園のことなどで相談を受けたり質問を受けたことはない。

以上

梶野公園サポーター（第1回） ヒアリング記録	
団体名	梶野公園サポーター会議
日時	2024年01月25日（木） 09時00分～11時00分
場所	婦人会館
出席	小金井市：小林係長、関口主任 パシフィックコンサルタンツ(株)：小野崎、松田、高
1. 意識について - みんなの公園会議のまとめから見ると、インクルーシブを意識した意見は非常に少ない。道具の整備のみならず、人々に障がいやバリアフリーを理解していただくのが重要だと考える。 - 防災や医療などの講座を開催することにより、相互理解を促進できると考える。 2. 交流について - 障がい者とどのように接触するのは難しいところであり、もっと交流の機会を作れると良い。障がい者と何かをすると目的化するのではなく、まず交流のきっかけを作り、障がい者を「知る」から始めると交流を進めやすいと考える。 - モルックのような誰でも参加しやすいゲームは交流の良いチャンスだと考える。 3. 設備について - 公園のトイレの整備は重要である。特に、現在のベビーベッドは狭く、子どもが転落する恐れがある。今より大きなベビーベッドがあると公園に行きやすくなる。 - 公園にAEDを設置してほしい。 4. 遊具について - 公園の現状を維持するだけではなく、未来の公園を考えながらチャレンジしていきたい。 - 近年、多数の公園にインクルーシブ遊具を整備し始めたが、利用者が本当に楽しく使えているのか、導入した意義は発揮されているだろうか。 5. みんなの公園会議について - 大人バージョンがあったら良い。 - 会議に参加したいが、現場に行けない方がいると考え、これらを会議に巻き込んでいけば良いと考える。 6. 連携について - 公園隣の児童病院と連携出来たらありがたい。 - 学校と連携し、多くの障がい児を今後の活動に巻き込む可能性はあるか。 ⇒小金井市立東中学校の教頭先生に聞いたが、学校との連携は難しい。（市） 7. 農園について - 農園の導入の計画はどこまで進んでいるのか。 ⇒来年度、農業の方と意見交換し、本日と同じように意見交換会を開催する予定である。（市） - 皆の意見に沿って農園を整備しても、荒廃の可能性がある。長期的に関わる方はいるか。公園との関係が深い方の意見を聞くと、より現実的な提案が出来ると考えている。 ⇒農園に興味を持っている方がいる。 指定管理者は来年度から入る予定である。（市） ⇒練馬こどもの森には農園が整備され、様々な方と関わり、参考になると思う。（PCKK）	

以 上

梶野公園サポーター（第2回） ヒアリング記録	
団体名	梶野公園サポーター会議
日時	2024年03月06日（水） 10時00分～12時00分
場所	婦人会館
出席	小金井市：小林係長、関口主任（市） パシフィックコンサルタンツ(株)：小野崎、松田、高、中村（PCKK） 梶野公園サポーター会議：小野代表、青木、木本
（意見をまとめた資料を提供） 1. インクルーシブ公園体験ツアー参加の感想について - 羽根木公園では子供たちが自分たちの世界を楽しんでいると感じ、魅力的だった。（小野） - 砧公園は家族づれが多く、テーマパークの様だった。そのため、大人が子供を安心して遊ばせていたが、障がい者が遊ぶには不向きだと感じた。また、ソフト面での充実が必要だとも感じた。小金井公園、梶野公園では、ソフト、ハード共に整備することで大きな公園とはまた違ったインクルーシブ公園の充実が図れそうだと思う。今後もこのようなインクルーシブ公園に対する意見交換会が大事である。（小野） →その通りである。（市） →ただ、ユニバーサルデザインやインクルーシブ遊具にもいろんなものがあると思うため、利用者がどんな遊具を欲しているかが大事だと感じる。利用者と、提案者の対話を重点的に行うことで、双方納得のいくもの、配置を考えていきたい。（小野） - 府中の森公園や砧公園は大変込み合っていたため、安心して使える印象は無かった。そのため、小金井市内の公園でインクルーシブ遊具を整備する際は、他の公園に人を分散させることを目的として、人気の遊具を設置（配置）するという考えもあるかもしれない。（PCKK） →人気の遊具は順番待ちが暗黙のルールとなっていたため、第三者（管理者）が管理する等ができるとう良い。（小野） - 羽根木公園の利用者は、他の利用者や公園自体を大切にしていると感じた。また、行政、市民、プレーパークの繋がりが出来ていてよかった。話し合いの場を月1で設ける取組みは、小金井市でもぜひやって欲しい。（木本） →整備後に意見交換できる場を設けることは確かに大切だと感じた。今後梶野公園サポーター会議とは別に、実施できるよう検討していきたい。市の事業課は予算が持てると自分事として捉えられると思うので、市の組織の中でも話し合える場ができるよう考えていきたい。（市） - 羽根木公園では、特別支援学校とプレーパークの人が対等にイベントを行っていることがすばらしかった。（木本） - 砧公園では、遊具目的で遊びに来ている印象を受けた。小さい子がたくさんいる中で、小学4年生の娘は遊びづらそうであった。障がいによって、インクルーシブ遊具も合う合わないがあるので、公園と障がいのある子を繋ぐ、コーディネーターのような人が必要だと感じる。1つの公園で全ての利用者を満足させるのではなく、小金井市全体の公園のバリエーションを増やす事で、利用者を選択肢を提示するのが望ましい。（木本） - 梶野公園の子供の意見で、お皿型の遊具が欲しいとの意見があったが詳しく教えて欲しい。（市） →大人の顔色を窺って選択したものである。ただ、お皿型遊具はハンモックでも代用できると感じた。（木本） →梶野公園に木があるからハンモックを設置できるということか。（PCKK） →その通りである。（木本） - 府中の森公園での遊具は色々な姿勢で乗れるからか、大きな子も楽しそうだった。インクルーシブ遊具でも色々な年代の子が楽しめる可能性を感じた。（PCKK） - プレイリーダーという、野外の遊びを教える専門の方がいる。小金井市でもプレーパークが必要と感じていて、梶野公園でもプレイリーダーが必要だと思う。（青木） →最低二人のプレイリーダーが必要なため、ハードルが高いと感じている。（PCKK） →行政内部で予算が確保できるかで変わってくる。梶野公園の場合、何らかの遊具等をせっかく整備したのだから、より有効活用するためにプレイリーダーが必要だ、という理由付けが無いと、新規予算の確保が難しいと考えている。（市） →近隣にメガロス（ジム）ができるため、公園の利用が変わることも考えられる。学童の利用のためにもプレイリーダーが必要だと考える。（木本） - 居場所空間のイメージはどんなものなのか。（木本）	

→今後具体的に考えていく予定だが、大人同士、子供同士で交流が図れるものが必要だと考えていて、それが遊具だと思っていた。実際に回る遊具の利用者は、自然と役割分担が生まれ、交流が生まれていた。大人も子供も共に滞留できる場所が望ましいと考えている。(市)

- ・ プレイリーダーが常駐する建物があれば良いと思うがどうか。(青木)

→行政としては新しい建物を建てるのが難しい。市の持ち物ではなく、利用者の建物であれば可能である。(市)

- ・ 遊具は木製のものが梶野公園には合っていると感じる。(木本)

→同感である。現在ある木馬のような遊具の方が、梶野公園に合っていると感じる。ただ手作り遊具のようなものは、人が常駐して安全を確保しなければならないため、雰囲気と安全面を両立できるような案を考えていきたい。(市)

- ・ プレーパーク以外でインクルーシブ、自然な交流の場を作る案を探る必要があると感じた。(PCKK)

→一緒にできるスポーツや遊びの企画、イベントを梶野公園で行えないか、考えている。3/3に小金井市観光まちおこし協会主催でこどもが主役のフリーマーケットが開催されたのだが、障がい者の人も気兼ねなく参加していた。(青木)

- ・ 皆が使いやすい公園として、まずトイレの整備が必要だと感じている。(青木)

→赤ちゃん、障がい者の両方が利用できるトイレのおむつ替え台等を新しく整備するのであれば、都の補助金が下りると思う。(市)

→既存トイレの改修となると、スペースの問題などで制約がある。(PCKK)

→梶野公園は車椅子のトイレが既設であるため、それをきれいに使える状態で維持することも大事である。(青木)

- ・ 梶野公園は広場がある公園だが、デッキやステージを設置することはどう思うか。(PCKK)

→イベント時にステージを毎回設置しているため、あると便利だと思う。(青木)

→平常時子どもたちが遊びに使ってもいいか判別できない大人から見ると、新たな火種にはなりそうである。(木本)

→デッキの上でボール遊びをしている事例もある。(市)

→公園内でのデッキの設置場所の検討が大事である。また、デッキの舞台やステージだと平常時利用していいのかが分かりづらいが、パーゴラや屋根があると、人が自然と集まって交流できるため良いと思う。風よけにもなるかもしれない。(木本)

→梶野公園では、風が強いのか。(PCKK)

→南側が何もないため風が吹く。設置する施設によってビル風等も懸念される。

- ・ 練馬では障害者に対する理解促進の研修を行っている。(市)

→研修場所として、梶野公園を利用してもらうのはどうか。(青木)

→働きかけ次第で可能だと思う。ただ、障がい者への理解を深めるための研修であるが、現状参加者が少ない。そのため、参加者募集の働きかけも大事である。(市)

- ・ 以前人材育成に予算を回せないか聞いたが、目的が違うため難しいと回答を頂いた。今後行政の横の繋がりを強めることで、予算を回していけることに期待する。(小野)

→今後関係課との協力が必要だと感じている。(市)

→人材育成とは、障がい者の安全確保や、突発的対応ができる人材育成ということか。(PCKK)

→その通りである。(小野)

- ・ 指定管理者の方は今後会議に参加されるのか。(小野)

- ・ 来年から参加する予定である。(市)

- ・ 実際に遊具を設置した所を見るために、試験設置を考えている。(市)

→現在回る遊具と砂場を検討しているが、遊具の安全領域確保のためにかなりの面積を必要とする。そのため、実際に遊具設置した時の利用、印象とは違ってくると思う。また、子供たちが自由に組み合わせることができる遊具の導入も検討している。(PCKK)

→子どもたちが自由に組み合わせる遊具はとても気になる。(木本)

→コトブキのモップスというもので、色は原色となってしまうが、遊びの自由度が高い。(PCKK)

→モップスは重いのか。大人の補助が必要となるのか。(木本)

→重い、一つ一つであれば子供だけで移動することも可能だと考える。モップスを収納する場所は別で考える必要がある。(PCKK)

- ・ 梶野公園にインクルーシブ遊具を試験設置するかどうかを決定したい。(PCKK)

→5/19にイベントを企画予定のため、その期間は設置しないよう調整して欲しい。(小野)

→梶野公園にもともと遊具が無かった分、子供たちが集まり過ぎてしまうことと、遊具があることで今までとは別の危険が懸念されることを踏まえると、梶野公園の良さ、らしさが失われてしまうと感じる。そのため試験設置にはあまり肯定的にはなれない。いつまでに返答すればよいか。(小

野、木本、青木)

→一週間程度の返答期間で考えている。(PCKK)

→市としても、試験設置する、しないで波紋を呼ぶことを懸念している。(市)

→インクルーシブ遊具の体験という名目で、イベントとして行うことも考えられる。ただ、インクルーシブ遊具の体験をすると、必ず欲しいということになるため、インクルーシブな場の創造という目的にはそぐわなくなってしまう。(PCKK)

→東京都からも大人ではなく、子どもの意見を聞くよう、念押しされている。(市)

→梶野公園の設置が難しいようであれば、栗山公園に設置することもできる。(PCKK)

→栗山公園の方が元々の遊具とインクルーシブ遊具の雰囲気も近いため、良いと思う。(小野、木本、青木)

→栗山公園に試験設置を検討するということで進める。(PCKK)

- ・ 今後は居場所空間の創出に関して、検討いただき、ご意見が欲しい。(PCKK)

→承知した。(小野、木本、青木)

2. 梶野公園の整備について

- ・ 居場所空間があった方がよい。(パーゴラの感触よし) 南側が設置場所として良さそう。
- ・ 砦公園のような、多くの人で溢れている将来は望ましくない。
- ・ 車椅子で入れるトイレのきれいな状態で維持する。できれば障がい者、赤ちゃんも使用できるおむつ替え台等の整備も検討する。
- ・ インクルーシブ遊具の試験設置は梶野公園ではなく、栗山公園で行う。

以 上

弁天通り自治会 ヒアリング記録	
団体名	弁天通り自治会
日時	2024年03月14日(木) 10時00分～12時00分
場所	三楽会館
出席	弁天通り自治会：中村会長、橋本副会長、小峰委員、前田氏(弁) 小金井市：小林係長、関口主任(市) パシフィックコンサルタンツ(株)：小野崎、松田、高(PCKK)
1. みんなの公園会議経緯 2. 三楽公園について市の考え - 三楽公園にもインクルーシブ遊具の導入について検討したい。 - 自治会、市、PCKKの三者で協議する機会を増やしたい。 3. 参加者の意見 - 菜園を整備するのではなく、自然を生かして、いつでも食べられる植物を植えておくことにより、子どもたちは食べる機会を増やすことができる。例えば、タンポポの天ぷらのように、公園に生えている植物を使った料理など、学校では実践できないことがあれば良いと感じる。 - そのような方法であれば、公園での遊びスペースも確保できる。 - 管理する必要があるが、柚子の木やサクランボなどを植えて、いつでも食べられる環境を整えることも三楽らしいと思う。 - 遊具に関しては、元々三楽はお祭りをしたりすることができる、広い場所だから様々な利用が考えられ、子供たちが自由に遊べる。そのため、完成された遊具を置けなくても良いのではないかな。 - 例えば、台のようなものを設置すれば、みんなが様々な遊びを楽しむことができる。 - これはインクルーシブの一環でもあり、車いすの方も参加できる環境を提供することができる。ここはみんなが一緒に楽しむための場所だということを求めていくことが良いと思う。 - 小金井市全体の公園の中で、インクルーシブ遊具を置くのは広い公園にするなど、計画を考えていく必要があるのではないかな。 - すべての機能を一つの公園に配置するのは難しい。小金井市全体として、どこにどう整備していくか、大きな設計や計画が必要だと感じる。 - ここに大きい遊具を置いて、みんなで遊ぼうということより、何か置いてあって子どもたちに考えさせて遊ばせることが良いと思う。三楽公園北側の森を利用して、子どもが自由に入って遊ぶ区域にしたらいと思う。 - 三楽公園は防災をテーマとする活動に注力して、災害時には仮設の住宅を建てる場所でもあるので、大きな遊具もおけないと思う。 ⇒インクルーシブ公園の遊具は大きいイメージがあるが、市の予算の関係があって、三楽公園で大きな遊具を設置するつもりはない。(市) - 遊具を整備するより、入口の段差を無くすことや、座れるところを整備すること、車いすでも使いやすい空間を設計するなどのほうが大事なことはないだろうか。 - 座る場所があれば、みんなで見守りができる。車いすの子でも樹林に中に入っていくことができるようにするなどできると良い。 - 今の子どもたちは遊びの経験が少ないため、遊具しか想像できない。もし、プレイリーダーがいて、遊び方を教えてくれる機会があれば良いと感じる。危険な要素があっても構わないので、子どもたちに遊ばせてあげたい。例えば、樹木や根っこなどの自然の要素を生かして遊ぶ。常に遊具を配置するのではなく、貸し出し可能な遊具を設けることが良いと思う。 - 貸し出し可能な遊具のようなものであれば、他の公園に持ち回って、各地域の子どもたちが体験できるようなこともできるのではないかな。 - 多動の子を持つ保護者とお話をしたが、上の原公園にはたくさんの遊具があるが、すでに物足りなくなってしまうっており、広い小金井公園のようなところまで行くことになるそう。遊具がいっぱいあったとしても、子どもは飽きてしまったり、発達の度合いによって、行く場所を選ぶことになってしまうと感じる。そうすると、結果的に広い場所のある大きな公園に行きたいという話になってしまう。 - 自治会にも一輪車などがあり、遊びのための道具や防災の道具などを用意して、日時を限定して貸し出すこともできる。	

- ・ 広いスペースと樹木を活用し、今までにない遊び方をしてみれば良いと思う。
- ・ 駐車場と駐輪場の整備については今後の問題だと感じる。駐車場の整備が難しい場合、小さなスペースでも障がい者や母親たちが利用しやすい環境を整えることが重要だと思う。
- ・ 現在、小学校の運動会などではベビーカーが多い状況であり、公園でもベビーカー置き場があれば便利だと思う。
- ・ 現在の親子は自然の中で遊ぶことに慣れていない。どうやって慣れていくのかはこれからの課題だと思う。
- ・ プレイリーダーのような方をどれだけ確保できるかは課題だと思う。
- ・ 三楽公園の周辺は住宅地なので、近隣の方々の理解を得ることが重要だ。一軒でも苦情が出てくると計画全体が進めなくなってしまう。理解を得るために時間を確保するのは必要だと思う。
- ・ 以前は砂場が汚くて、誰も遊ばなくなっていたが、障がい者の方々が清掃して、今はきれいになって遊ぶ人も増えている。周囲の人たちが、こういった取組みをどれだけ理解しているのか、知っているのかも重要だと感じる。引率する方も含め、こういった団体とコミュニケーションを十分に取っていくことが大事である。
- ・ 既存の遊具は整備から相当な年数が経っていて老朽化が進んでいるので、遊具の更新のことも踏まえると、三楽公園にどのような遊具を導入するかについての検討が必要だと思う。
- ・ 健康器具が設置されているが、高齢者や大人は使用しておらず、子どもの遊び道具になっている。設備の使い方をみんなにわかるようにしてほしい。
- ・ 以前、砂場周辺の近隣の方から騒音のクレームがあったが、リトルリーグの方々は、毎年近隣を回って挨拶し、説明とお願いをして理解を求めてきたことで、最近は苦情もなくなってきた。新しい事業を行う時に、苦情を出さないように、近隣の方の理解を得るのは大切だと思う。
- ・ 公園周辺の樹木管理でも、近隣との関係性を配慮する必要があると感じる。公園の周辺は真っ暗になると、不審者の問題が発生しやすくなる。これも近隣の理解を得る必要があると思う。
- ・ 地域内にどのような障がいのある方がいるか、障がいについての理解を深める機会があれば良いと感じる。
- ・ 新しい設備や使い方が入るのであれば、三楽公園に新たなルール作りが必要になるのではないかな。
- ・ 地域性を考えて、遊具の導入について検討することが良いと思う。
- ・ 焼き芋会を復活させたいが、そのためには煙の問題について、近隣の理解を得らなければいけない。近隣の方に理解して頂きながら、子どもたちを見守り育むことが重要だと思う。
⇒世田谷区のプレイパークや練馬区こどもの森には焚火が出来ているので、焚火の可能性まだあると思う。(PCKK)
⇒管理する方がいなければ、不可能だと思う。(弁)
⇒来年度からは公園管理が指定管理に移行していくことになるが、指定管理者も同じ意識を持つことが必要。(弁)
- ・ 昔は学童、学校、自治会がバラバラだったが、徐々に子どもを中心に協力し合って、今は連携ができるようになった。
- ・ ここはまだ安全な場所と言えず、警察と連携して、すぐに対応できるようなパイプづくりをしている。
⇒新たに防犯カメラが設置されたのは、安心安全のためか。(PCKK)
⇒防犯カメラは嫌だが、今の時代では欠かせないと思う。(弁)
- ・ 自治会の活動はどんな感じか。(PCKK)
⇒防災訓練や祭りがあり、親子や若い方も参加している。PTA と連携しており、近隣の方もよく行事に参加してくれている。活動のない公園ではない。(弁)
⇒小金井市の中で、三楽公園は PTA と自治会との結び付きが一番強い地域であるが、新しい方が馴染んでいくためのイベントは難しい。顔見知りが多ければ、災害時にお互いに支援し合うことができて、このような機会があることは重要だと思う。(弁)

4. まとめ

①菜園について

- ・ 畑ではなく、食べられる植物を植えてほしい。

②遊具について

- ・ 大型遊具は要らない、広い空間を残してほしい。
- ・ 既存の遊具を更新してほしい。
- ・ 新しい遊具導入する際には、地域性を考えてほしい。

③遊び方について

- ・ 子どもたちが自由に遊べる広い空間を提供できれば良い。
- ・ 子どもを自然の中で遊ばせたい。
- ・ 多少の危険はあってもいいので、自由に遊ばせてあげたい。
- ・ 今まで経験のない遊び方を教えてあげたい。

④公園計画について

- ・ 小金井市全体の公園計画を見直してほしい。

⑤施設について

- ・ 入口の斜路がきつくて車いすには厳しいため改善が必要
- ・ 駐車場、駐輪場やベビーカー置き場など施設を整備してほしい。
- ・ 防犯設備は欠かせない。

⑥相互理解について

- ・ 施設の更新、樹木管理や公園イベントなどを実施する際には、近隣の理解を得ることが大切である。
- ・ 施設の使い方をみんなに理解してほしい。
- ・ 公園を整備すれば、新しいルール作りが必要。
- ・ 障がいに対する理解が重要である。

⑦連携について

- ・ 学童、学校や自治会などの連携が大切である。
- ・ 行政とのパイプづくりが必要である。
- ・ 自治会と連携して、顔見知りが必要である。

以上

【巻末資料】実施事業の報告

5. みんなの公園会議・活動報告資料の作成

目次

1. 活動記録動画の作成	1
1.1 目的	1
1.2 企画資料の作成	1
1.3 作成した動画	3
2. WEB 記事の作成	7
2.1 みんなの公園会議（ワークショップ）の紹介ページ	7
2.2 事例視察の紹介ページ	10
3. 小金井市ホームページでの公開状況	12

1. 活動記録動画の作成

1.1 目的

市民アンケートの実施に際し、本事業の趣旨や取り組みについて動画で紹介することで、より多くの市民に関心を持っていただくことを目的として、みんなの公園会議の活動（ワークショップ、事例視察）を短編の動画で紹介することとした。

制作した動画は、市役所ホームページで公開した。

<https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/479/kouenitiran/minnanokoenkaigi.html>

1.2 企画資料の作成

動画の制作にあたり、撮影・制作のための企画資料を作成した。

(1) 事業の目的

あらゆる子ども（障がいのある子・ない子、外国にルーツを持つ子など、18歳以下の全ての子ども）や保護者同士の意見交換やインクルーシブデザインに配慮した遊び場、菜園及び子どもの居場所の整備を行うことにより、子ども同士及び保護者同士の相互理解を促し、共生社会の実現を目的とする。

(2) 動画の位置づけ

上記の目的で事業を実施するにあたり、12月中旬に実施予定のワークショップと、年明け1月中旬以降に実施予定の、先行的に子どもの遊び場等を整備している他の公園等の現地視察で、各行事の内容を動画で撮影し、行事の実施記録とするとともに、その後のアンケート調査に素材として活用することを目的としている。

(3) スケジュール

以下の4日間について、現地で撮影し、これを素材として、1本の動画を制作する。

1) 会議（ワークショップ）

- ・ 12/16（土） 9：30～11：30 小金井市内の梶野公園でワークショップを実施
- ・ 12/16（土） 13：30～15：30 小金井市内の三楽公園でワークショップを実施
- ・ 12/17（日） 9：30～11：30 小金井市内の上の原公園でワークショップを実施
- ・ 12/17（日） 13：30～15：30 小金井市内の栗山公園でワークショップを実施

2) 事例視察

- ・ 1/27(土) 8:30～17:30 東京都世田谷区 区立羽根木公園
東京都世田谷区 都立砧公園
- ・ 1/28(日) 8:30～17:30 東京都練馬区 区立練馬こどもの森
東京都府中市 都立府中の森公園

(4) 動画の活用

- ・ WEB を活用したアンケートの実施に際し、活動記録動画を紹介することで、この事業の趣旨や取り組みについて視覚的に市民に伝える。
- ・ 市役所の子ども子育てや、公園整備等の活動紹介や、共生社会実現の取り組みについての動画としても活用したいとも考えている。

(5) 動画の尺・長さ

- ・ アンケートに先立って視聴する動画として考えた場合、あまり長い動画は敬遠されるものと考えている。
- ・ 動画の編集内容にもよるが、例えば3分から5分程度にまとめられるのであれば、その程度の長さの動画がふさわしいと考えている。
- ・ 市の公式 Youtube で公開を踏まえても、最長で10分程度までの長さに収める。

(6) 素材

- ・ 市の公式 Youtube で公開するため、市のロゴ等の素材は市より提供を受ける。

(7) ナレーション・字幕の有無

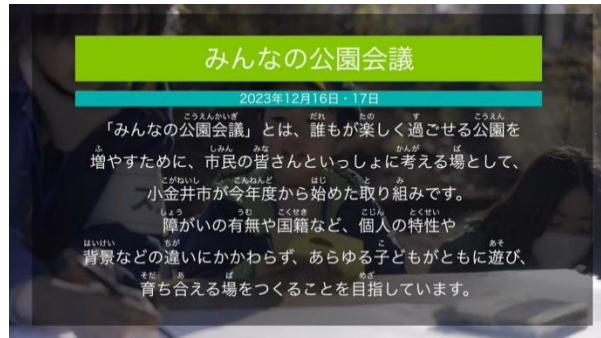
- ・ 聴覚障がい者の方が視聴することを考慮し、必要な範囲で字幕を挿入する。

(8) その他

- ・ 映像撮影に際しては、個人の顔が公開動画に移りこんで良いかどうかを事前に確認し、編集の際に配慮する。
- ・ 事例視察先についても、それぞれの公園管理者に動画撮影・公開についてあらかじめ伝え、扱いについて確認をとる。

1.3 作成した動画

(1) ワークショップの動画



「みんなの公園会議」のワークショップを開催し、会議の趣旨について紹介した。



梶野公園ではみんなが意見を交換し、カードに公園の未来像を絵と言葉を描いてマップに貼り付けた。



三楽公園では子どもから大人まで、興味津々に自分のアイデアをお互いに意見交換をした。



小金井市 上の原公園での
ワークショップ



小金井市 上の原公園での
ワークショップ

上の原公園では子どもと大人でチームを分けて、ゲームで遊んだり質問に答えたりして、公園の未来像について意見交換した。



小金井市 栗山公園での
ワークショップ

とも君は、自分でこうやって普通の椅子に座って
(体を)支えることができません。



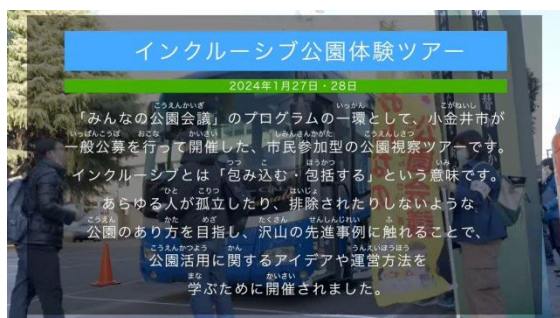
栗山公園では障がいを持つ子どもの保護者が子どもの状況を説明して、他の参加者に相互理解を促した。また、子どもと大人をチームを分けて、ゲームを通じて各々の意見と公園の未来像を意見交換した。



やっぱり自分の意見を皆に伝えられるってことが
一番楽しかったです。

会議後のインタビューでは、子どもがワークショップに対して自分の気持ちを伝えた。

(2) 先行事例の視察ツアーの動画



参加者はインクルーシブな公園体験におけるバスツアーに参加し、バス移動中に順番で自己紹介を行った。



羽根木公園では公園スタッフが参加者にプレーパークの取り組みを紹介した。参加者の子どもは一人で探検できた。



参加者はプレーパークの中を自由に遊んだり、イベントに参加したりして楽しんだ。



砧公園では公園スタッフがインクルーシブな遊び場について紹介した。参加者にはインクルーシブな遊び場に対する意見を聞くことができた。



練馬区こどもの森では NPO 関係者がプレーパークと NPO 団体の取り組みについて紹介した。



子どもがプレーリーダーと一緒に手作りのおもちゃで遊んで、色々な遊びを体験できた。



府中の森公園では公園スタッフがインクルーシブな遊び場について紹介した。障がいの有無にかかわらず、子どもがインクルーシブな遊具で楽しんでいる様子が見られた。



体験後のインタビューで、参加者からインクルーシブな遊び場について様々な意見を聞くことができた

2. WEB 記事の作成

市民アンケートの実施に際し、本事業の取り組み内容を紹介するために、みんなの公園会議（ワークショップ）と事例視察について、市公式ホームページに掲載する記事を作成した。

2.1 みんなの公園会議（ワークショップ）の紹介ページ



ねん がつ にち ど
★2023年12月16日(土)

かじの こうえん
梶野 公園



手話通訳もしていただきました



大人も子ども一緒に意見交換

こども4人、おとな5人が参加して話し合いが始まりました。

最初に、今の公園について感じていること、思っていることについて、みんなの意見を聞きました。



公園の将来像を絵に描いたり



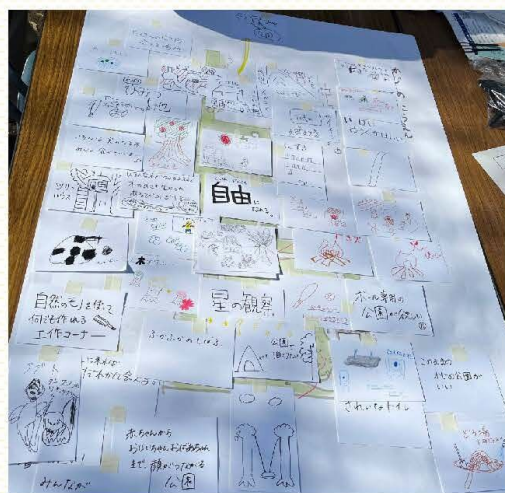
作文にしたり

次に、どんな公園になったらいいか、どんなことができればいいかを考えました。



ひとりひとり夢を発表

最後に、みんなの夢を発表して、未来の公園マップをつくりました



みんなの想いを載せた未来の公園マップ

ねん がつ にち ど さんらく こうえん
 ☆ 2023年12月16日 (土) 三楽 公園



ゲームのようにカードをひいて自己紹介



みんなの意見で未来の公園マップが完成

ねん がつ にち にち うえ はら こうえん
 ☆ 2023年12月17日 (日) 上の原 公園



お互いの意見をよくきいて確認!



大人も子どもも自分の夢を描きます

ねん がつ にち にち くりやま こうえん
 ☆ 2023年12月17日 (日) 栗山 公園



車いすの人の話もきいてみよう



マイクをまわしてみんなで発表

2.2 事例視察の紹介ページ

② インクルーシブ公園 体験ツアー

★★ プレーパークにて ★★



自分の力を試す

手伝わないで
みまもりましょう！



年代を超えた交流が生まれる



遊び道具を自分で工夫する



会話がうまれる



みんなで
力をあわせる

みんなで作るのが大切です。
遊んでいると交流が生まれます。
ここで育った人が手伝いに来てくれます。
地域と行政の連携が大切なんですよ。

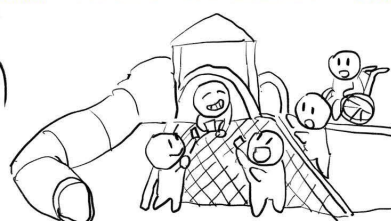


知らない子と、力をあわせる

重度の障害の子でも遊べる
遊具があります。
整備して終わりではなく、
どのように使っていくかが
大事で、交流のためのプロ
グラムも用意しています。



★★ インクルーシブ公園にて ★★



子ども同士の会話が生まれる



それぞれが楽しめる



初めて来た子でも遊
べる、開かれた公園
だと思いました。



ねんがつ にち ど はねぎ こうえん
 ☆2024年1月27日（土）羽根木 公園



こどもが主役のイベントの説明会をしていた



屋根でもロープでも自分の力で登っていく

ねんがつ にち ど きめた こうえん
 ☆2024年1月27日（土）砦 公園



多年代が一緒に



始めて会っても仲良く並んで



僕がまわすよ～！

ねんがつ にち にち ねりま もり こうえん
 ☆2024年1月28日（日）練馬こどもの森 公園



やすり使ったの初めて！



みんなで一緒に川づくり



どこまで長くできるかなあ

ねんがつ にち にち ふちゅうもり こうえん
 ☆2024年1月28日（日）府中の森 公園



今日は1日楽しかったね
 （参加者同士でシーソーに）



いろんな遊び方があるね



こんなブランコ初めて！

[illegible]

2024/03/28 15:58

子ども通いの施設見学申込について：小倉市市民会館のWEBへようこそ

インクルーシブ公園体健ツアーについて（令和6年1月10日更新）終了しまし た

参加者から非常に楽しく過ごせる公園づくりのため、市民の参加を促進していく公園と緊密に連携し、インクルーシブな空間づくりについて、提供してもらえる参加者を募集します。

参加者の子どもが遊びや学びの活動でくらしを学んでいきます。

※1歳以下児に対して、手洗いの指導、お昼、午睡後、体健活動の施設スタップを勉強します。

参加者により、定数は必要となります。申し込み時期により異なります。

日時等

開催日時及び場所

開催日	開催時間	会場
令和6年1月27日（土曜）	午前8時30分から午前10時まで	小倉木立公園（木立町16） 結城公園（豊田町16）
令和6年1月28日（日曜）	午前8時30分から午前10時まで	ごとの森（篠井町4） 緑の森公園（戸田町2）

※2：集合及び解散場所は、市役所入庁舎前駐車場です。

※3：当日の定員超過により、参加の制限が必要となる場合があります。

内容

- ・公園の整備、インクルーシブ公園等の施設体験
- ・公園スタッフへのインタビュー体験

対象

小倉市に在住・在学の子供及びその保護者までの方。

定員

※1：定員 親子10組（参加者20名）
 ※2：小倉市では保護者の性別の割合と、経験や定員の体系をいそいでいきますので、特別な事情がない限り、親子、大人1人・子ども1人としします。

申込み

※1：令和6年1月10日（土曜）午前9時から開始します。
 ※2：令和6年1月28日（日曜）午前9時から、申込フォームから申し込みください。
 ※3：参加に際して、参加が必要なのは申し込み後参加費の徴収となります。参加費の徴収はございません。

費用

※1：無料
 ※2：市営体育会館などの施設費、参加費は必要ありません。

持ち物

- ・飲み水（プレーン・パークで飲む場合があります。）
- ・飲み物
- ・服装（年中児に併せて公園で運動会をする予定です。）
- ・レジャーシート（公園内のベンチ等が利用できるので、必要があれば、ご持参ください。）

その他

参加者募集の開始について

※1：定員に達しない場合は開年通年募集をためていき、後日1回限り募集します。
 ※2：定員に達しない場合は開年通年、成果報告としてホームページ等に募集に達していただきますので、予めご了承ください。

参加費と参加者の負担について

<https://city.okajima.lg.jp/guide/shin473/kousen/kenmin/mind/comeing.jsp> 1/1

当日は、市ホームページ等に掲載する写真や動画の撮影も行います。
写真や動画の取りたい方は、事前申込は受付期にお伝えください。

雨天時等の対応について

雨天等の場合も雨天ツアーを実施する予定です。
なお、雨天の場合は、参加者に対して別途調整をします。

インクルーシブ公園体験ツアーのチラシ

[インクルーシブ公園体験ツアー（PDF：1.170KB）](#)

みんなの公園会議（ワークショップ）について（終了しました）

日時等

開催日時及び開催場所

	開催日	開催時間	開催場所	雨天時
1	令和5年12月16日（土曜）	午前9時30分から午後11時30分まで	森野公園	区民文化センター
2		午後1時30分から午後3時30分まで	三楽公園	三楽会館
3	令和5年12月17日（日曜）	午前9時30分から午後11時30分まで	上の町公園	上の町会館
4		午後1時30分から午後3時30分まで	南山公園	マインホール

内容

公園がよりよくなるために、みんなのアイデアを聞き取り、公園の魅力を伝えるだけでなく、公園にまつていることを知ってもらえるようなワークショップを実施します。

対象

小倉川市に在住・在学の子供から両親生家での子どもとその保護者
（小学3年生以上は、子どもだけの参加も可能です。）

定員

各回30名（先着順）

みんなの公園会議のチラシ

[みんなの公園会議（PDF：2.189KB）](#)

PDF形式のファイルを見るには、Adobe Acrobat Reader DC（旧Adobe Reader）が必要です。
お持ちでない方は、[Adobeから無料でダウンロード](#)できます。

 [Adobe Acrobat Reader DCのダウンロード](#)

お問い合わせ

協賛の連絡先と公団係

電話：042-387-9800

FAX：042-383-8377

メールアドレス：k010119@k010119@k010119.jp

（注）送付メールの宛先は、メールアドレスの誤記を一度確認してください。お間違いがなければ、メール送信のボタンをクリックしてください。

また、お申し込みのメールアドレスがメールアドレスにより、迷惑メールが送信できなかったり、迷惑メールフォルダに振り分けられたりする場合もあります。k010119@k010119.jp からメールを返信できるように設定してください。

[トップページへ戻る](#)